



Japan. Endless Discovery.

令和4年度

街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の調査検討業務

事業報告書

令和5年2月

国土交通省 関東運輸局

[目次]

1. 業務の概要	1
1-1 業務の目的等	1
1-2 業務フロー	3
1-3 業務工程	4
2. 街道をテーマとした既存取組事例の調査事業	5
2-1 調査手法	5
2-2 広域関東エリアでの取組事例の調査	6
2-3 広域関東エリア外での取組事例の調査	24
2-4 旅行メディアにおける街道観光の取り上げ方について	44
3. 街道をテーマとした既存旅行商品の調査事業	89
3-1 調査手法	89
3-2 調査結果	90
4. 市場のニーズ調査事業	91
4-1 インターネット調査	91
4-2 グループ・インタビュー	111
5. 連携可能なコンテンツの整理	114
5-1 調査手法	114
5-2 調査結果	114
6. 街道の成り立ちや歴史的な背景の整理	115
6-1 調査手法	115
6-2 総論	116
6-3 東海道	118
6-4 中山道	120
6-5 日光街道（日光道中）	124
6-6 甲州街道（甲州道中）	128
6-7 奥州街道（奥州道中）	130
6-8 五街道の特徴について（とりまとめ）	132
6-9 江戸街道のロゴマーク検討	146
7. 街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討	147
7-1 検討方針	147
7-2 検討結果	148
8. 次年度の進め方の検討	158
8-1 検討方針	158
8-2 検討結果	159

1. 業務の概要

1-1 業務の目的等

1-1-1 業務の目的

日本橋を起点とする五街道と、その枝道として整備された水戸街道や成田街道等の脇往還については、広域関東¹エリアを網羅しており、現在でもこの街道沿いには歴史的な観光資源はもとより、食や文化など魅力的なコンテンツが豊富に点在している。

関東運輸局では、コロナ禍で疲弊した広域関東の観光振興施策として、五街道を活用した『江戸街道プロジェクト』を立ち上げ、「『江戸街道プロジェクト』実施方針(案)」(関東運輸局観光部, 令和4年5月20日)²をとりまとめた。

本実施方針(案)に基づき、街道をテーマとした事業事例及び観光資源等を発掘する調査を行い、新たな観光振興施策として広域関東を「江戸街道」というテーマやキャッチコピー等によってブランディングし、効果的に国内及び海外へ発信し誘客を促進させるとともに、広域関東として地域の特性を活かしながら、観光客が滞在又は周遊でき、消費拡大につながる仕組みづくりを行うことを目的とした。

1-1-2 業務の概要

事業名：街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の調査検討業務
工期：令和4年9月27日～令和5年2月28日
発注者：関東運輸局 観光部 観光企画課
受注者：株式会社ケー・シー・エス 東京支社

1-1-3 業務項目・数量

表 1-1.1 業務項目・数量

業務項目	単位	数量	摘要
1. 計画準備	式	1	
2. 街道をテーマとした既存取組事例の調査事業	式	1	
2-1. 広域関東エリアでの取組事例の調査	式	1	
2-2. 広域関東エリア外での取組事例の調査	式	1	
2-3. 好事例におけるターゲット層とニーズの調査	式	1	
3. 街道をテーマとした既存旅行商品の調査事業	式	1	
4. 連携可能なコンテンツの整理	式	1	
5. 街道の成り立ちや歴史的な背景の整理	式	1	
6. 市場のニーズ調査事業	式	1	
7. 街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討	式	1	
8. 次年度の進め方の検討	式	1	
9. 報告書の作成	式	1	
10. 打合せ協議	回	6	

¹ ここでいう「広域関東」とは、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県をいう。

² 「『江戸街道プロジェクト』実施方針(案)」 (<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000267518.pdf>)

<参考：江戸街道プロジェクトについて>

『江戸街道プロジェクト』概要

【概要】

日本橋を起点とする**五街道**と、その枝道として整備された水戸街道や成田街道等の**脇往還**（以降、五街道と脇往還を合わせて「江戸街道」という。）については、**広域関東エリアを網羅**しており、現在でもこの江戸街道沿いには歴史的な観光資源はもとより、食や文化など魅力的なコンテンツが豊富に点在している。そこで、新たな観光振興施策として、現在インバウンド向けに「Tokyo & Around Tokyo」として展開している広域関東を「**江戸街道**」という**統一テーマ**によって更にブランディングすることで、効果的に国内及び海外へ発信し誘客を促進させ、コロナ禍で疲弊した広域関東に元気を取り戻す取り組みを行う。

また、**広域関東として地域の特性を活かしながら、DMO 等が地域において稼げる仕組みづくりを行う。**

【プロジェクトのメリット】

- ▶ 広域での取り組みができるため、各地域が持つ長所（観光地としての強み）を最大限に引き出ししながら、互いの短所（観光名所だけでなく観光に必要なインフラ等）を補うことができる。
- ▶ 江戸街道は地理的にJR（新幹線含む）等の鉄道路線や主要道路（高速道路含む）等に沿っており、旅行者の動線に合わせ、関係者間での連携が取りやすい状況にある。
- ▶ インバウンドでは、都県の枠を超えた統一テーマでの発信により地域一帯を強く印象づけることができる。

『江戸街道プロジェクト』意義

【広域関東におけるブランディングの必要性】

九州や北海道など他の地域と差別化することで、マーケティング全般において優位性を保つことができる。

例えば、顧客が旅行を企画する際に広域関東＝「江戸街道（五街道）」という統一的なイメージが浸透していれば、SNS 等での拡散も多くなり国内外から選ばれる可能性も高くなるので、他地域との競争力が強くなる。つまり、**ブランディングに成功すると広域関東に対する旅行者の愛着も高まり、リピーターを増やせる可能性も高くなるので、エリア全体における誘客促進に繋げることが出来る。**

【なぜ「街道」なのか】

- ▶ 「街道」による観光振興を行うと、様々な部分での整備も必要になる。ウォーキングだけでなく車や公共交通機関等を使うことも考えると、歩道や宿泊・休憩等施設の整備以外にも、駐車場、ターミナル等交通結節点の整備も必要となるので、道路管理者である国や自治体等と民間事業者団体等が余儀なく連携することになる。また、同時に地域住民による受入環境整備への協力が進むことで、必然的に観光による地域ネットワークが構築することが出来る。
- ▶ 観光振興による地域経済の活性化とは、まずは一人でも多くの観光客に来て頂き消費を促すことであるが、街道観光については、地域の産業や文化、食や自然等に地域住民との交流を通して接する機会（体験）が増えるので、SNS 等での情報拡散も含めた情報発信を行えば、観光客すなわち交流人口を増やすことが可能となる。
- ▶ 街道観光は、自治体の境界を越えた広域での取組が可能となるため、各地域が持つ長所（観光地としての強み）を引き出しながら、互いの短所を補うことが出来るが、特に江戸五街道に関しては、JR 等の鉄道路線や主要道路等に沿っていることから、旅行者の動線に合わせた関係者間での連携が取りやすくなる。

出典：「『江戸街道プロジェクト』実施方針(案)」(関東運輸局観光部, 令和4年5月20日)

1-2 業務フロー

本業務は、以下のフローに沿って執り行った。

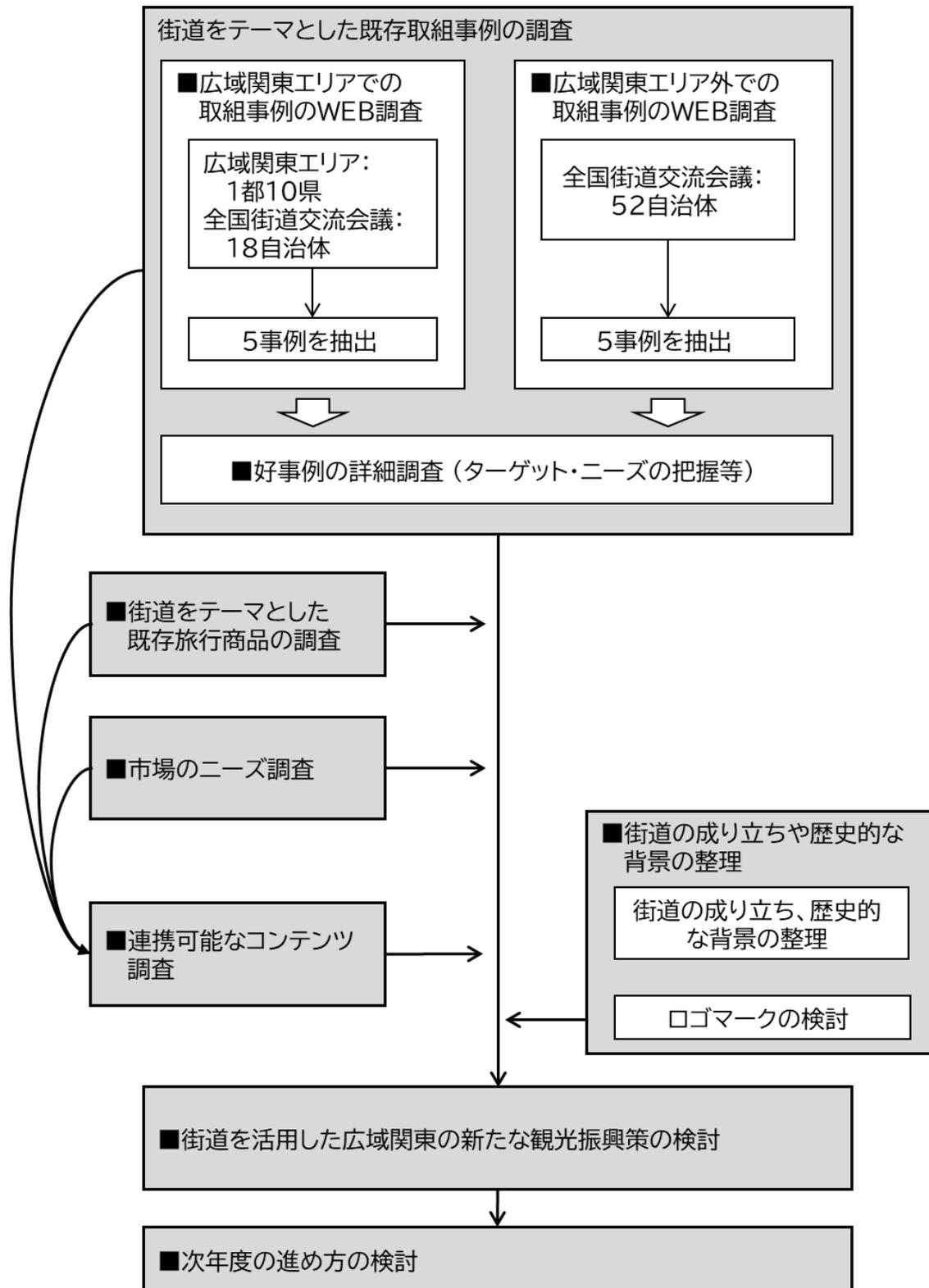


図 1-2.1 業務フロー

1-3 業務工程

本業務は、概ね以下の工程に従って実施した。

表 1-3.1 業務スケジュール

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	備考
計画準備	■						
街道をテーマとした 既存取組事例の調査事業		■	■	■	■	■	広域関東 の内・外
街道をテーマとした 既存旅行商品の調査事業		■	■	■	■	■	
市場のニーズ調査事業		■	■	■	■	■	
連携可能なコンテンツの 整理					■	■	
街道の成り立ちや歴史的な 背景の整理		■	■	■	■		
街道を活用した広域関東の 新たな観光振興策の検討					■	■	
次年度の進め方の検討					■	■	
報告書の作成						■	
打合せ		● ●	●	●	●	●	

2. 街道をテーマとした既存取組事例の調査事業

2-1 調査手法

1) 調査目的

五街道を活用した『江戸街道プロジェクト』の推進にあたっての基礎資料として、広域関東エリア内における街道観光に関連すると考えられる取組事例を収集した。また、広域関東エリア外についても取組事例の収集を行った。さらに、好事例について、ターゲット層やニーズの特性等を把握するため、ヒアリング調査による詳細情報を収集した。併せて、広域関東エリア内については、『江戸街道プロジェクト』に積極的な地域の抽出に留意した。

2) 調査方法

① 基本収集

街道観光に係る取組事例を WEB 調査等により収集した。

② 好事例を抽出する観点の検討

WEB 調査による基本収集で得られた事例に基づいて、好事例を抽出する観点を検討した。観点の例は次のとおりである。

例：取組の継続年数(ex.長く続いている等)、連携形態(ex.民間事業者が参画している等)、情報発信の状況(ex.情報発信が活発である等)、市場の認知状況(ex.商品化され人気がある、国内・国外メディアへの露出度が高い、等)、連携意欲・地域の思い、等

③ 好事例に関する詳細調査

好事例として抽出した 5 事例程度について、文献・資料調査やヒアリング調査により、ターゲット層やニーズの特性等に関する詳細調査を行った。なお、江戸街道プロジェクトとの連携意向についてもヒアリングした。

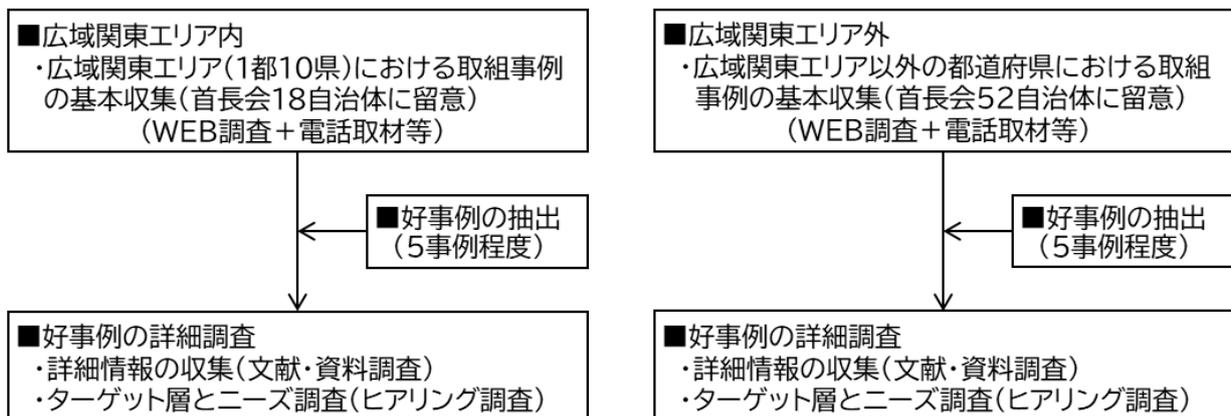


図 2-1.1 調査フロー

2-2 広域関東エリアでの取組事例の調査

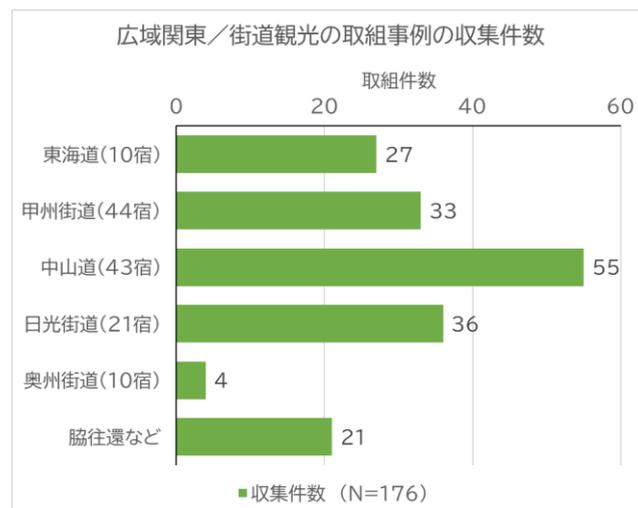
2-2-1 取組事例の基本収集（広域関東）

1) WEB 調査による収集事例数（広域関東）

広域関東エリアの1都10県（エリア内の全国街道交流会議首長会への参画自治体は18自治体）を対象地域として、WEB調査により、観光協会、DMO、自治体等による街道観光に係る取組事例を収集した。街道観光に係る取組事例の収集件数を図2-2.1及び表2-2.1に示す。ここでは取組主体（観光協会、DMO、自治体等）及び取組内容が把握できる事例を1事例とした。なお、事例整理の都合上、例えば「街道や宿場に関する情報発信」も取組の一形態であるため、同じ地域の取組であっても情報発信者が違う場合は別事例として計上した。このため、全体に宿場数より事例数の方が多くなる傾向になる。

日本橋を起点とする五街道を中心に、脇往還も含めて広くWEB調査を行った結果、街道に係る取組事例として総計176件が収集された（広域関東内の五街道の宿場数は128宿、自治体数は75自治体）。街道別にみると、街道の延長や宿場数、沿道の自治体数も違うので単純比較はできないが、事例数が多かったのは中山道の55件であり、次いで日光街道・奥州街道の40件、甲州街道の33件、東海道の27件の順となった。

以上のことから、広範囲に街道観光に係る取組が行われていることが窺われる。



注) 奥州街道は日光街道・宇都宮宿からの分岐以北を計上

図 2-2.1 事例の収集件数（広域関東）

表 2-2.1 街道観光に係る取組の収集事例数（広域関東）

街道名	収集された事例数	宿場数あたり事例数	収集事例の内訳		
			地域	地域間	広域連携
東海道五十三次（10宿）	27	2.7件	21	4	2
甲州街道四十四次（44宿）	33	0.8件	27	4	2
中山道六十九次（43宿）	55	1.3件	42	10	3
日光街道二十一次（21宿）	36	1.7件	31	4	1
奥州街道二十七次（10宿）	4	0.4件	4	0	0
脇往還など	21	—	9	6	6
合計	176	—	134	28	14

凡例 地域：自治体ごとの取組 地域間：複数の自治体が連携した取組 広域連携：複数の都道府県が連携した取組
注) 各街道のカッコ内に示した宿場数は、広域関東エリア内の宿場数を示す。

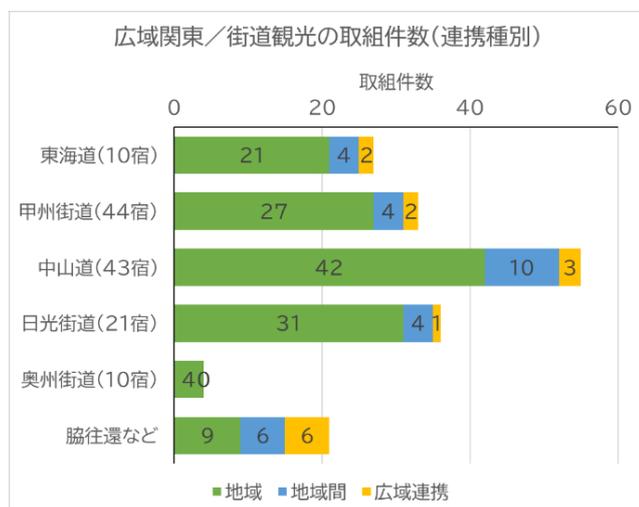
2) 連携形態別の事例数（広域関東）

収集した取組事例について、地域連携の形態を「地域」「地域間」「広域連携」に区分した件数を図 2-2.2 に示す。また、街道ごとの宿場別・自治体別に収集事例の件数を一覧表にしたものを表 2-2.2 に示す。

収集された事例件数 176 件に対し、五街道沿道の自治体数は 75 であり、各自治体で 2 件以上の取組があることになる。事例件数は取組主体ごとに計上しており、各自治体で複数の取組主体(自治体・観光協会・NPO 等)が活動している例が多いことを反映している。

連携の形態別にみると、「地域」は 134 件（76%）、「地域間」は 28 件（16%）、「広域連携」は 14 件（8%）である。したがって、少なくとも収集された 176 事例の内訳をみると、全体の約 4 分の 3 は自治体ごとの取組であり、自治体間または広域で連携している事例は約 4 分の 1 である。

以上のことから、街道観光に係る取組において、地域間の連携や広域連携については、さらに推進する余地（ポテンシャル）があるものと考えられる。



注) 奥州街道は日光街道・宇都宮宿からの分岐以北を計上

図 2-2.2 連携種別の件数（広域関東）

表 2-2.2 街道宿場別・自治体別の収集事例数の一覧表（広域関東）

■東海道 五十三次

都道府県	市区町村	宿場名	取組の件数			
			地域ごと		地域内連携 (自治体間の連携)	広域連携 (都県間の連携)
			宿場ごと	宿場間の連携		
1 東京都	品川区	品川宿	2			
2	川崎市	川崎宿	3			
3	横浜市	神奈川宿	1	1		
4		程ヶ谷宿	2	1		
5	神奈川県	戸塚宿	2			
6		藤沢宿	2		1	1
7	平塚市	平塚宿	2			
8	大磯町	大磯宿	2			
9	小田原市	小田原宿	2			
10	箱根町	箱根宿	3			1
静岡県	三島市	三島宿				
小計			23	2	2	27

■甲州街道 四十四次

都道府県	市区町村	宿場名	取組の件数			
			地域ごと		地域内連携 (自治体間の連携)	広域連携 (都県間の連携)
			宿場ごと	宿場間の連携		
1 東京都	新宿区	内藤新宿	1			
2	杉並区	下高井戸宿		1		
3		上高井戸宿				
4	調布市	国領宿				
5		下布田宿				
6		上布田宿	1			
7		下石原宿				
8		上石原宿				
9	府中市	府中宿	2			
10	日野市	日野宿	2			
11	八王子市	八王子宿	2			
12		駒木野宿	1			
13	神奈川県	小原宿	5			
14		与瀬宿		1		
15		吉野宿	1			
16		関野宿		1		
17		上野原市	上野原宿			
18	鶴川宿			1		
19	野田尻宿					
20	犬目宿					
21	山梨県		下鳥沢宿			1
22		上鳥沢宿				
23		猿橋宿				
24		駒橋宿				
25		大月宿				
26		下花咲宿		1		1
27		上花咲宿				
28		下初狩宿				
29		中初狩宿				1
30		白野宿				
31	甲州市	阿弥陀海道宿				
32		黒野田宿	1			
33		駒銅宿				
34	山梨市	鶴瀬宿		1		
35		勝沼宿				
36	栗原宿	1				
37	笛吹市	石和宿				
38	甲府市	甲府柳町宿				
39	韮崎市	韮崎宿	2			
40	北杜市	台ヶ原宿	2			
41	富士見町	教来石宿				
42		葛木宿	1			
43	茅野市	金沢宿	1			(1)
44	諏訪市	上諏訪宿			(3)	
小計			29	4	0	33

※ 中山道・下諏訪宿に合流

■中山道 六十九次

都道府県	市区町村	宿場名	取組の件数				
			地域ごと		地域内連携 (自治体間の連携)	広域連携 (都県間の連携)	
			宿場ごと	宿場間			
1 東京都	板橋区	板橋宿	4				
2	蕨市	蕨宿	3	1			
3		浦和宿	3				
4	さいたま市	大宮宿	1				
5		上尾市	上尾宿	2			
6	埼玉県	桶川市	桶川宿	1	1		
7		鴻巣市	鴻巣宿	1	(1)		
8		熊谷市	熊谷宿	1			
9		深谷市	深谷宿	1	(1)		
10	本庄市	本庄宿	1				
11	群馬県	新町宿					
12		倉賀野宿					
13		高崎宿					
14		安中市	板鼻宿		2		
15			安中宿		1		
16	松井田宿						
17	軽井沢町	坂本宿					
18		軽井沢宿					
19	沓掛宿	沓掛宿		1			
20		追分宿					
21	御代田町	小田井宿					
22		岩村田宿			1		
23	佐久市	塩名田宿			2		
24		八幡宿		3		1	
25		望月宿				1	
26		(茂田井間の宿)	1				
27	立科町	芦田宿	2				
28	長和町	長久保宿		1			
29		和田宿	3				
30	長野県	下諏訪宿	2				
31		塩尻宿	1			1	
32	塩尻市	洗馬宿					
33		本山宿		2			
34		鯉川宿					
35		奈良井宿					
36	木祖村	藪原宿	2				
37	木曾町	宮ノ越宿		1			
38		福島宿					
39	上松町	上松宿	1				
40	大桑村	須原宿		1			
41		野尻宿					
42	南木曾町	三留野宿		1			
43		妻籠宿					
岐阜県	中津川市	馬籠宿				1	
小計			41	10	4	55	

■その他、脇往還など

都道府県	街道名	地域ごと	地域間連携	広域連携
東京都・神奈川県	大山街道			1
神奈川県	中原街道・鎌倉古道ほか	1		
山梨県	みのぶ道(身延往還)	1		
長野県	千国街道・北國街道	3		
埼玉県	川越街道、日光御成道	1	1	
栃木県	日光例幣使街道		2	
栃木県・福島県	会津西街道、会津中街道			2
福島県・新潟県	八十里越街道			3
福島県	下野街道、会津米沢街道	2	2	
千葉県	水戸街道ほか	1	1	
小計		9	6	6

注1) カッコ書きの数字は、他で既に計上されているもの(重複回避)。
注2) 同色のセルは、連携している事例を示す。

■日光街道 二十一次

都道府県	市区町村	宿場名	取組の件数				
			地域ごと		地域間連携 (自治体間の連携)	広域連携	
			宿場ごと	宿場間			
1 東京都	足立区	千住宿	2				
2	埼玉県	草加市	草加宿	1			
3		越谷市	越ヶ谷宿	3			
4	埼玉県	春日部市	粕壁宿	3	(1)	2	
5		杉戸町	杉戸宿	4			
6		幸手市	幸手宿	3			
7	久喜市	栗橋宿	5				
8	茨城県	中田宿					
9		古河宿	1				
10	栃木県	野木町	野木宿	1			
11		小山市	間々田宿			(1)	1
12			小山宿	1	1		
13		下野市	新田宿				
14			小金井宿		2		
15	石橋宿		1		1		
16	宇都宮市	雀宮宿					
17		宇都宮宿		1			
18		徳次郎宿					
19	日光市	大沢宿				1	
20		今市宿		2			
21		鉢石宿					
小計			31	4	1	36	

■奥州街道 二十七次 (※千住～宇都宮宿までは日光街道を参照)

都道府県	市区町村	宿場名	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携 (自治体間の連携)	広域連携
			宿場ごと	宿場間		
※日光街道の宇都宮宿から分岐						
1	栃木県	宇都宮市	白沢宿		(1)	
2		氏家宿		1	(1)	(1)
3	大田原市	喜連川宿				
4		佐久山宿				
5		大田原宿				
6	那須塩原市	鍋掛宿		1		
7		越堀宿				
8	那須町	芦野宿	1			
9	福島県	白坂宿				
10		白河宿	1	0	0	4
小計			4	0	0	4

■事例数の集計

区分	地域	地域間	広域連携	合計
東海道	23	2	2	27
甲州街道	29	4	0	33
中山道	41	10	4	55
日光街道	31	4	1	36
奥州街道	4	0	0	4
脇往還など	9	6	6	21
合計	137	26	13	176

3) 収集事例の内容（広域関東）

広域関東エリアにおいて収集した 176 事例の概要を表 2-2.3 に示す。

① 収集した取組事例の概要（広域関東）

街道観光に係る取組内容として最も多かったのは、昔は宿場だったことを自治体や観光協会がHPでPRしているものである。それに関連して、当該宿場の歴史の紹介、関連する文化財の紹介、伝統の祭りや地元特産品の食や工芸品等と関連させる案内などがみられる。

「街道観光」に結びつき発展させられそうな取組としては、散策コース・トレッキングコースの案内やガイドマップの提供、ガイドの紹介等の取組がみられる。これらの取組の中には、東海道の「箱根八里³」、日光街道の「埼玉六宿⁴」、中山道の「上州七宿⁵」のように、複数の自治体が連携して“線”として行っている取組もみられる。

また、八王子メッセ「街道市」（八王子商工会議所）のように“宿場”のほかに“市場”に着目する事例も散見される。ちなみに、街道市とは「この甲州街道沿いの地域連携と交流を深める目的で開催されていて、会場には八王子周辺（日野市、神奈川県相模原市）や山梨県（甲府市、北杜市、笛吹市、山梨市、甲斐市、大月市、韮崎市）、そして長野県諏訪市までさまざまな地域の特産品やグルメが集結する」と位置づけられている広域的な取組である。

さらに、ウォークイベント（宿場めぐり、七福神めぐり、街道を歩く、歴史の道ツーリズム、謎解きツアー等）のほか、スタンプラリー系（御宿場印、お城印、お湯印等）の取組も多い。「印」を購入する形式や「通行手形」にスタンプを集める形式、スマホでデジタル・スタンプを集める形式のほか、「踏破証明書」を発行する事例もある。

³ 箱根八里とは、東海道の小田原宿から箱根宿までの四里と、箱根宿から三島宿までの四里を合わせた区間をいう。唱歌に「箱根の山は、天下の嶮」と歌われた難所である。（日本遺産）

⁴ 日光街道・埼玉六宿とは、埼玉県の草加宿(草加市)、越ヶ谷宿(越谷市)、粕壁宿(春日部市)、杉戸宿(杉戸町)、幸手宿(幸手市)、栗橋宿(久喜市)をいう。

⁵ 中山道・上州七宿とは、群馬県の新町宿・倉賀野宿・高崎宿(以上、高崎市)、板鼻宿・安中宿・松井田宿・坂本宿(以上、安中市)をいう。

② 取組事例の主な内容（広域関東）

取組事例の内容について、いくつかの観点からピックアップして紹介する。

< 観点1：取組主体の観点 >

取組主体は、自治体、観光協会、商工会議所や商店街連合会や金融機関のほか、街道名や宿場名を冠した団体等がみられる。

取組主体の観点から特筆すべき事例として「御宿場印プロジェクト」がある。

これは、足立成和信用金庫が日光街道・日光西街道で発信したプロジェクトであり、街道の各信用金庫・観光協会・NPO・民間事業者（飲食・宿泊・交通）等と連携している(下記参照)。多くのプレイヤーが参画でき、いずれの宿場にも適用可能な手法である点は注目される。

「御宿場印（ごしゅくばいん）」プロジェクトとは

足立成和信用金庫発祥の地「北千住」は、寛永2年（1625年）五街道の整備により、日光・奥州街道の初宿（第1番目の宿駅）に指定された宿場町となります。そのような街と共に歩む「信用金庫」として何かできないかと考え、「御宿場印」というものを発案いたしました。（2020年12月、商標登録出願）

そして、「コロナ禍における地域経済活性化」という当金庫と同じ想いを抱いていた、鹿沼相互信用金庫様、足利小山信用金庫様、結城信用金庫様、および各地域の観光協会様やNPO団体様にご協力をいただき、日光街道および松尾芭蕉が辿った日光西街道を来訪した証しに「日光街道・日光西街道 御宿場印めぐり」として、各地域にて「御宿場印」を販売することになりました。（2021年4月24日 先行販売開始、2021年7月4日 全30か所で全種類販売開始）

出典）足立成和信用金庫 HP

「御宿場印」の取組はこの後、会津西街道、東海道へと急速な広がりを見せている。

「東海道・御宿場印めぐり」は、当初は日本橋から三島宿まで、2022年10月7日から販売開始しており、その時点で参画している金融機関や団体、民間事業者は以下のとおりである。

■参加金融機関（担当宿場）

東京シティ信用金庫（日本橋）、城南信用金庫（品川宿）、川崎信用金庫（川崎宿）、横浜信用金庫（神奈川宿、保土ヶ谷宿、戸塚宿）、かながわ信用金庫（藤沢宿）、平塚信用金庫（平塚宿）、中南信用金庫（大磯宿）、さがみ信用金庫（小田原宿、箱根宿）、三島信用金庫（三島宿）

■販売場所

日本橋：日本橋観光案内所
品川宿：旧東海道品川宿交流館
南品川櫻河岸：まちなか観光案内所
川崎宿：東海道かわさき宿交流館
神奈川宿：慶運寺／sakura cafe／サンオリーブ／魚レストラン マルシェ／横浜マルニカフェダイニング／川窪牛豚肉店
保土ヶ谷宿：桑名屋
戸塚宿：交流広場とつか／純喫茶モネ
藤沢宿：藤沢市ふじさわ宿交流館
平塚宿：平塚市観光協会
大磯宿：大磯町観光協会
小田原宿：小田原市観光交流センター内
箱根宿：箱根関所内／箱根町観光交流センター／道の駅箱根峠
三島宿：三島観光案内所

<観点2：まちづくりの観点>

宿場が所在する自治体は、ほぼ例外なく「昔は宿場町」だったことを資源と捉えており、まちづくりのテーマとして、大なり小なり宿場や歴史・文化を取り上げている。ここでは、街道観光や宿場という要素に大きくフォーカスした事例をいくつか例示する。

- ・ 東海道・品川宿(東京都品川区)では、「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」が取組主体となって、まち並み整備プロジェクト等に取り組んでいる。また、川崎宿(川崎市)では、「川崎宿起立 400 年プロジェクト」が推進されている(街路灯フラッグ、浮世絵マンホール、祭り・イベント等)。
- ・ 埼玉県は、中山道・日光街道が通っており、県内の旧街道や旧宿場町、城下町などの歴史的な拠点や軸を明確にし、埋もれている歴史的資源を発掘し、保全・活用する「歴史のみち広域景観形成プロジェクト」に平成 22 年度から取り組んでいる。
- ・ 中山道では、古くから奈良井宿や妻籠宿の歴史的な街並みに全国的な知名度があり、小諸を始め街道景観や情緒を観光資源と捉えた取組があった。最近では、和田宿(長野県長和町)の「和田宿の明日を考える会」が和田宿街道の復元建設計画、宿泊設備の拡充、観光客用駐車場拡充、地産地消型レストラン誘致、農作物・畜産物のブランド化、伝統行事の充実、和田宿への移住 PR および援助等のプロジェクトを推進している(図 2-2.3 参照)。



出典) 和田宿のあしたを考える会 HP

図 2-2.3 和田宿街道復元完成予想イメージ(長野県長和町)

<観点3：人材育成の観点>

越ヶ谷市では、平成 27 年度より「こしがや『まち未来創造塾』(塾長：丁野朗氏)」を設けて、市内の人材・団体の取組支援を継続的に実施しており、日光街道の埼玉六宿のうち越谷宿としての街道観光の取組にも「まち未来創造塾」の取組成果が反映されている。

表 2-2.3 街道観光に係る取組事例の概要（広域関東：1/3）

番号	調査票名	取組主体	取組の名称	情報源URL	連携種別
1	東海道 東京都・品川区 (1)	旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会	お休み処プロジェクト まち並み整備プロジェクト まちの広報部プロジェクト 水辺プロジェクト 研究・事業開発プロジェクト 他	https://www.tou	3
2	東海道 東京都・品川区 (2)	しながわ観光協会	東海道品川宿～街道の史跡としながわみやげ名店めぐり～(約2km) 宿場町の史跡としながわみやげの名店を訪ねて	https://shinagawa	3
3	東海道 東京都・神奈川県ほか (1)	足立成和信用金庫、平塚信用金庫ほか	東海道宿場印めぐり	https://www.ad	1
4	東海道 国交省横浜国道事務所	国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所	てくてく 東海道 宿場探訪マップ	https://www.ktr	2
5	東海道 神奈川県・川崎市 (1)	川崎宿起立400年プロジェクト推進会議 事務局(川崎市川崎区役所 まちづくり推進部 地域振興課)	川崎宿起立400年プロジェクト・まちの取組み	https://www.kawasak	3
6	東海道 神奈川県・川崎市 (2)	NPO法人 かわさき歴史ガイド協会	モデルコースのご案内	http://www.kawasak	3
7	東海道 神奈川県・川崎市 (3)	川崎市 川崎区	東海道川崎宿(街路灯のフラッグ、史跡案内板、浮世絵マンホール、東海道川崎宿2023まつり、ウォークイベント、川崎宿発祥の「三角おむすび」の取組など)	https://www.city	3
8	東海道 神奈川県・横浜市 (1)	横浜市 神奈川区 総務部 区政推進課	神奈川宿歴史の道	https://www.city	3
9	東海道 神奈川県・横浜市 (2)	横浜市 政策局シティプロモーション推進室広報戦略・プロモーション課	横浜旧東海道の魅力に魅かれてみませんか(旧東海道ウォーキングマップ『みち散歩』、横浜旧東海道みち散歩すごろく)を作成	https://www.city	3
10	東海道 神奈川県・横浜市 (3)	神奈川県	旧東海道今昔物語・保土ヶ谷宿と神奈川宿を感じて	https://trip.pref	3
11	東海道 神奈川県・横浜市 (4)	横浜市 保土ヶ谷区	旧東海道保土ヶ谷宿について 保土ヶ谷歴史まちあるき2023～オープンハリティジ～	https://www.city	3
12	東海道 神奈川県・横浜市 (5)	(一社)横浜市商店街連合会「ハピゴラ!」	「帷子番所」は気軽に休憩も出来る資料館! @保土ヶ谷区・保土ヶ谷駅西口商店街	https://hapigola	3
13	東海道 神奈川県・横浜市 (6)	横浜市 戸塚区	旧東海道戸塚宿(とつか宿場まつり、散策マップ、旧東海道道しるべ)	https://www.city	3
14	東海道 神奈川県・横浜市 (7)	(公財)横浜市スポーツ協会	旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ	https://www.har	3
15	東海道ほか 神奈川県・藤沢市 (1)	藤沢市	文化財「イキキング」/片瀬旧道・江の島道コース	https://www.fuji	3
16	東海道 神奈川県・藤沢市 (2)	藤沢市ふじさわ宿交流館	旧東海道「藤沢宿」散策コース	https://fujisawa	3
17	東海道・山梨道 神奈川県・藤沢市、平塚市ほか (7)	神奈川県 湘南地域県政総合センター	湘南地域のモデルコース(「史跡で迎える、東海道宿場町コース」ほか)	https://www.pre	2
18	東海道 神奈川県・平塚市 (1)	神奈川県	神奈川トラベルガイド「史跡で迎える、東海道宿場町コース」(川崎、神奈川、保土ヶ谷、戸塚、藤沢、平塚、大磯、小田原、箱根の9宿のうち、「平塚宿編」)※多言語対応	https://trip.pref	2
19	東海道 神奈川県・平塚市 (2)	(一社)平塚市観光協会	東海道平塚宿をめぐる	https://www.hjr	3
20	東海道 神奈川県・大磯町 (1)	(公社)大磯町観光協会	史跡・東海道松並木	https://www.ois	3
21	東海道 神奈川県・大磯町 (2)	神奈川県	神奈川トラベルガイド「史跡で迎える、東海道宿場町コース」(川崎、神奈川、保土ヶ谷、戸塚、藤沢、平塚、大磯、小田原、箱根の9宿のうち、「大磯宿編」)※多言語対応	https://trip.pref	2
22	東海道 神奈川県・小田原市 (1)	小田原市	小田原宿観光回遊パス うめまる号 小田原宿なりわい交流館	https://www.city	3
23	東海道 神奈川県・小田原市 (2)	小田原かまほご通り活性化協議会	小田原かまほご通り・小田原宿場まつり	https://www.od	3
24	東海道 神奈川県・小田原市、静岡県・三島市ほか (1)	箱根八里街道観光推進協議会	日本遺産「箱根八里」	https://www.hak	1
25	東海道 神奈川県・箱根町 (1)	寄人プロジェクト	箱根寄人(よせびと)プロジェクト(東海道沿いに6カ所の給水スポットを設置)	https://www.hos	3
26	東海道 神奈川県・箱根町 (2)	(一財)箱根町観光協会	「箱根全山」(箱根町観光情報ポータルサイト・箱根町総合観光案内所)	https://www.hak	3
27	東海道 神奈川県・箱根町 (3)	箱根町	国史跡「箱根旧街道(石畳、杉並木等)で、史跡箱根旧街道保存活用計画」を策定	https://www.tov	3
28	甲州街道 東京都・新宿区 (1)	新宿区 文化観光産業部 文化観光課	内藤新宿コース(約6.0km、所要時間約5時間40分)新宿駅周辺エリア、四谷エリア	https://bunkaka	3
29	甲州街道・鎌倉街道 東京都・杉並区 (1)	杉並区産業振興センター 観光係	時をかけるなみすけ! 下高井戸の歴史に魅かれてみたよ/江戸時代の旅人気分から甲州街道から出発!	https://www.sug	3
30	甲州街道 東京都・調布市 (1)	調布市観光協会	観光スポット紹介/小島一里塚跡	https://csa.gr.jp	3
31	甲州街道 東京都・府中市 (1)	府中市観光振興プラン検討協議会	府中市観光振興プラン(案)多様性と持続性のある交流文化都市 府中～伝える つながる 仕掛ける	府中市観光振興プラ	3
32	甲州街道 東京都・府中市 (2)	東京都教育委員会	東京都文化財めぐり/府中散策コース(府中・国分寺を歩いてみませんか) / 5. 府中高丸場	https://www.svc	3
33	甲州街道 東京都・日野市 (1)	日野市観光協会	新選組市内探訪/日野宿	http://www.makoto.s	3
34	甲州街道 東京都・日野市 (2)	(財)東京観光財団	エリアガイド/調布&府中周辺エリア/日野宿本陣	https://www.got	3
35	甲州街道 東京都・神奈川県広域 (1)	甲州夢街道(八王子・相模湖・藤野エリア)/日本風景街道	甲州夢街道ウォーク2022開催「祝・日本遺産!」～八王子・桑都物語を巡る～、マップ「甲州古道案内図」作製	https://kosyuu	1
36	甲州街道 東京都・八王子市 (1)	八王子商工会議所	八王子メッセ「街道」	https://hachioji	1
37	甲州街道 東京都・八王子市 (2)	八王子市 産業振興部 観光課	観光スポット情報/みどころ風景/甲州街道イチヨウユ木・いちよう祭り	https://www.city	3
38	甲州街道 東京都・八王子市 (3)	八王子市役所 生涯学習スポーツ部 文化財課	観光・文化/小仏開所	https://www.city	3
39	甲州街道 神奈川県・相模原市広域 (1)	相模原市 広域広報課	相模原市内にあった甲州街道沿いの宿場町	https://www.city	3
40	甲州街道 神奈川県・相模原市 (1)	神奈川県 県央地域県政総合センター	旅たび相模/小原宿本陣	https://www.pre	3
41	甲州街道 神奈川県・相模原市 (2)	相模原市 文化財保護課	施設案内 小原宿本陣(おぼろじゅくほんじん)	https://www.city	3
42	甲州街道 神奈川県・相模原市 (3)	(公社)相模原市観光協会	観る/小原宿本陣 「第26回 甲州街道小原宿本陣祭」	https://www.e-s	3
43	甲州街道 神奈川県・相模原市 (4)	(一社)相模湖観光協会	あるく/小原宿本陣	https://saagamik	3
44	甲州街道 神奈川県・相模原市 (5)	小原宿活性化推進会議	甲州街道 小原宿(おぼろじゅく)本陣を100年後も残したい!(クラウドファンディング)	https://camp-fir	3
45	甲州街道 神奈川県・相模原市 (6)	(公社)相模原市観光協会	観る/吉野宿ふじや(甲州道中のおひな様展)	https://www.e-s	3
46	甲州街道 神奈川県・相模原市 (7)	(一社)藤野観光協会	歴史/甲州古道、藤野の一里塚、吉野宿ふじや、関野宿本陣跡	https://info-fuji	3
47	甲州街道ほか 山梨県全域 (1)	(公社)やまなし観光推進機構	やまなし歴史の道ツーリズム	https://rekishint	2
48	甲州街道 山梨県・上野原市ほか (1)	(公社)やまなし観光推進機構	旧甲州街道・宿場町をいく	https://www.yar	2
49	甲州街道 山梨県・上野原市 (1)	(公社)やまなし観光推進機構	JR重点プロモーション 甲州街道を行こう 上野原(その武)～葛飾八斎が眺めた?富士～ 鶴川宿から大目宿	https://www.yar	2
50	甲州街道 山梨県・大月市 (1)	大月市 産業建設部 産業観光課(大月桃太郎課) 観光担当	大月市内の「歴史宿場マップ」(大月市内の下鳥沢から黒野田宿まで12宿)	https://www.city	3
51	甲州街道 山梨県・大月市 (2)	大月市観光協会	みんなの甲州街道「黒野田宿本陣見学とディープな宿子を知るウォーキング」	https://otsuki-k	3
52	甲州街道 山梨県・大月市 (3)	大月市観光協会	大月桃太郎伝説(「大月桃太郎伝説の里めぐりMAP」)パンフレット無料配布中! 大月桃太郎ゆかりの地を歩くウォーキングツアー参加者募集!!	大月桃太郎伝説	3
53	甲州街道 山梨県・甲州市 (1)	甲州市観光協会	歴史/旧甲州街道 勝沼宿、駒胸宿、鶴瀬宿、等々力寺町	https://www.kos	3
54	甲州街道 山梨県・山梨市 (1)	峡東地域ワインリゾート推進協議会	日本遺産「葡萄酒畑が織りなす風景」/散策マップ/甲州街道栗原宿ルート	https://kyoto-ja	3
55	甲州街道ほか 山梨県・韭崎市 (1)	公益社団法人やまなし観光推進機構(山梨県庁)	やまなし歴史の道ツーリズム	https://www.yar	2
56	甲州街道ほか 山梨県・韭崎市 (2)	(一社)韭崎市観光協会	韭崎宿	https://www.nir	3
57	甲州街道 山梨県・北本市 (1)	北本市 観光課	南アルプスユネスコエコパーク/甲州街道台ヶ原宿	https://minami-	3
58	甲州街道 山梨県・北本市 (2)	台ヶ原宿市実行委員会	「台ヶ原宿市」クラウド+冊子+BONSAI市	https://daigahat	3
59	甲州街道 長野県・富士見町 (1)	富士見町	黒木宿、甲州街道ツアー	https://www.tov	3
60	甲州街道 長野県・茅野市 (1)	茅野市	茅野市公民館/信濃金沢名所史跡マップ・甲州街道てくてくマップ(人と人をつなぐお宝マップ作り)	https://www.city	3
61	中山道・川越街道 東京都・板橋区 (1)	板橋区役所 産業経済部 くらしと観光課	板橋散策コース、常盤台散策コース	https://www.city	3
62	中山道 東京都・板橋区 (2)	(一財)東京都つながり創成財団	板橋宿-歴史ある旧中山道を歩こう	https://tabunka	3
63	中山道 東京都・板橋区 (3)	東京都産業労働局	地域資源紹介/旧中山道「板橋宿」	https://chikishi	3
64	中山道 東京都・板橋区 (4)	板橋区観光協会	中山道戸田の渡し	https://itabashi	3
65	中山道 国交省大宮国道事務所	国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所	中山道マップ	https://www.ktr	2

分類の凡例 1…広域連携 2…地域間 3…地域

表 2-2.3 街道観光に係る取組事例の概要 (広域関東: 2/3)

番号	調査票名	取組主体	取組の名称	情報源URL	連携種別
66	中山道ほか 埼玉県内各地 (2)	埼玉県 都市整備部 都市計画課	歴史のみち広域景観形成プロジェクト (YouTube動画「サイタマ景観ちゃんねる」景観まち歩き、等)	https://www.pre	2
67	中山道 埼玉県・蕨市 (1)	埼玉県、中山道蕨宿商店街振興組合	中山道蕨宿を歩く (「中山道武州蕨宿宿場まつり」、「てくてく蕨宿」)	https://www.pre	3
68	中山道 埼玉県・蕨市 (2)	蕨市	歴史と文化が薫るまち蕨 宿場町の歴史を今に伝える宿場まつり (毎年11月3日)	https://www.city	3
69	中山道 埼玉県・蕨市 (3)	蕨市観光協会	中央観光スポット・北阿観光スポット・中山道武州蕨宿「宿場まつり」	http://www.wara	3
70	中山道 埼玉県・さいたま市 (1)	さいたま市 浦和区役所 区民生活部 コミュニティ課	浦和区文化の小径マップ「中山道浦和宿を歩く」、「浦和区文化の小径オンラインガイド(中山道浦和宿を歩く)」を配信しています!	https://www.city	3
71	中山道 埼玉県・さいたま市 (2)	浦和ガイド会	お勤めコース/コースその1 中山道浦和宿 (コースその7まで)	https://urawagu	3
72	中山道 埼玉県・さいたま市 (3)	さいたま観光国際協会	ガイド会おすすめ 中山道浦和宿コース	https://www.still	3
73	中山道 埼玉県・さいたま市 (4)	中山道まつり実行委員会	大宮夏まつり 2022中山道まつり【御展示のみ】	https://www.still	3
74	中山道 埼玉県・上尾市 (1)	上尾市 広報広聴課	上尾の古い地名を歩こう46 ~中山道の東裏通りを歩く~	https://www.city	3
75	中山道・鎌倉街道 埼玉県・上尾市 (2)	あけおアッピーガイドの会	中山道コース/上尾宿・鎌倉街道コース	http://apple.htr	3
76	中山道 埼玉県・浦川市 (1)	浦川市	中山道宿場園	https://www.city	3
77	中山道 埼玉県・鴻巣市 (1)	鴻巣市観光協会	観光ボランティア鴻巣ガイド会	https://www.kof	3
78	中山道・秩父往還 埼玉県・熊谷市 (1)	熊谷市	近世 (街道に係る歴史案内)	https://www.city	3
79	中山道 埼玉県・深谷市 (1)	(一社)深谷市観光協会	深谷アド街ックマップ/4、深谷宿	http://www.fuka	3
80	中山道 埼玉県・本庄市 (1)	埼玉県 企画財政部 北部地域振興センター 本庄事務所 地域振興・産業労働担当	中山道最大の宿「本庄宿」の再発見	https://www.pre	3
81	中山道ほか 群馬県・県内の全街道	地域創生部文化財保護課(群馬県庁)	「街道を歩く」群馬県歴史の道シリーズパンフレット の販売	https://www.pre	2
82	中山道 群馬県・高崎市、安中市	群馬県 高崎行政課 総務振興係	中山道を歩く「中山道上州七宿めぐり散策図」	https://www.pre	2
83	中山道 群馬県・安中市	安中市 産業政策部 観光課	おすすめ観光コース/歴史を訪ねる旅(旧中山道宿場と碓氷峠鉄道遺産を偲ぶ) (旧中山道コース、中山道板鼻宿コース、板鼻本陣跡(皇女和宮御仮泊所))	https://www.city	3
84	中山道 長野県広域 (1)	(一社)長野県観光機構	長野県に残る中山道と宿場町を巡る(歴史の浪漫があふれる中山道ウォーキング) 「軽井沢宿~下諏訪宿~妻籠宿」前編	https://www.go-	2
85	中山道ほか 国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	「信州の街道探訪マップ」	https://www.ktr	2
86	中山道ほか 長野県東部広域 (2)	長野県 産業労働部 営業局	長野県ブログ「佐久歴史の道案内人の会によるガイドウォーク」、「東信州中山道魅力向上・発信セミナー」を開催、「信州中山道サミット」を開催	https://blog.nag	2
87	中山道・北國街道 長野県東部広域 (3)	東信州中山道連絡協議会	信州中山道サミット、東信州中山道協議会によるサポート(案内人、ウォーキングマップ等)、東信州中山道の厳選おでかけコース	http://higashi-s	2
88	中山道・北國街道 長野県・軽井沢町 (1)	軽井沢観光協会	東信州 中山道を歩く(軽井沢宿・善番宿・道分宿 他/散策マップ・観光のご案内・バス路線図、ウォーキングルート、旧中山道踏破ルート)	https://karuizaw	2
89	中山道・北國街道 長野県・軽井沢町 (2)	軽井沢町	中山道	https://www.tov	3
90	中山道・北國街道 長野県・佐久広域連合 (1)	佐久広域連合	さくだいらの歴史を知る/街道の宿場	https://www.sak	2
91	中山道 長野県・佐久市 (2)	佐久市	観光スポット > 中山道 タウンガイド > 神社・仏閣 > 中山道5宿	https://www.city	3
92	中山道 長野県・佐久市 (3)	佐久市観光協会	中山道五宿	http://www.saku	3
93	中山道 長野県・佐久市 (4)	佐久市観光協会 望月支部	信州望月 Nakasendo	http://www.kom	3
94	中山道 長野県・佐久市 (5)	佐久歴史の道案内人の会(佐久案内人の会/佐久商工会議所)	長野県元気づくり支援金活用事業 佐久歴史の道 中山道/佐久甲州道のご案内 -歴史・文化・自然- 中山道 宿場巡り	https://www.sak	3
95	中山道 長野県・立科町 (1)	立科町	旧芦田宿本陣	https://www.tov	3
96	中山道 長野県・立科町 (2)	信州たてしな観光協会	芦田宿 本陣	https://shirakab	3
97	中山道 長野県・長和町 (1)	信州・長和町観光協会	長久保宿、和田宿	https://www.nag	3
98	中山道 長野県・長和町 (2)	NPO法人 和田のおしたをを考える会	和田宿 中山道六十九次内之二十八番	https://www.wa	3
99	中山道・秋葉街道 長野県・飯田市 (1)	遠山郷観光協会	和田宿(2008年:往時の和田宿の町並みを描いたイラストマップ完成など)	https://tohyama	3
100	中山道・秋葉街道 長野県・飯田市 (2)	和田宿にぎやかし隊	秋葉街道和田宿プラットフォーム「ワダパゴス」(プロモーションビデオ)	https://wadapas	3
101	中山道・甲州街道 長野県・下諏訪町、諏訪市 (1)	諏訪地方観光連盟	上諏訪街道まち歩き/レトロな宿場町 下諏訪町歩き	https://www.suv	3
102	中山道・甲州街道 長野県・下諏訪町 (2)	(一社)下諏訪町地域開発公社 観光振興局	下諏訪観光モデルコース/下諏訪の甲州街道をゆく	https://shimosu	3
103	中山道・三州街道(伊那街道) 長野県・塩尻市 (1)	塩尻市	街道を学ぶ 三州街道	https://www.city	3
104	中山道ほか 長野県・塩尻市 (1)	塩尻市	しおじり芋びの道・芋びガイド	https://www.city	3
105	中山道ほか 長野県・塩尻市 (2)	(一社)塩尻市観光協会	街道・宿場町 しおじり芋歩き(てくてくマップ、おひさまっが、てくてく健康)	https://tokimeg	3
106	中山道 長野県・木曾広域 (1)	木曾観光連盟	日本遺産「中山道~木曾路に出会う」(木曾広域公式観光サイト)	http://www.kiso	1
107	中山道 長野県・木曾広域 (2)	木曾地域文化遺産活性化協議会	木曾路はすべて山の中 ~山を守り 山に生きる~ (「木曾路はすべて山の中」をめぐる5通りのツアーをご紹介)	https://kisojita	1
108	中山道 国土省飯田国道事務所	国土交通省中部地方整備局 飯田国道事務所	ドライブマップ > 木曾路の宿場町マップ	https://www.cbr	1
109	中山道 長野県・木祖村 (1)	木祖村	鳥居峠 (里と峠の道・旧中山道鳥居峠越えコース)	http://www.vill.k	3
110	中山道 長野県・木祖村 (2)	木祖村商工会	木祖村の観光・レジャースポットのご案内	http://www.vill.k	3
111	中山道 長野県・木曾町 (1)	(一社)木曾おんたけ観光局	木曾義仲と密/越後	http://www.kan	3
112	中山道 長野県・上松町 (1)	上松町	中山道の教養に、ちよと役立つ案内集 (スマートフォン)	https://kiso-hin	3
113	中山道 長野県・大桑村 (1)	大桑村観光協会	中山道宿場町(古人の軌跡を満喫):須原宿・野尻宿詳細マップとスポット紹介	http://www.vill.c	3
114	中山道 長野県・南木曾町 (1)	(一社)南木曾町観光協会	歴史街道-中山道- (おすすめ観光コース、各種の体験、PR動画、パンフレット)	https://nagiso.jp	3
115	中山道 長野県・南木曾町 (2)	妻籠観光協会	妻籠を楽しむ (プラン、手荷物運搬サービス、クマ鈴の貸し出し、完歩証明書の販売)	https://tsumago	3
116	日光街道 東京都・足立区 御宿場印	足立成和信用金庫	日光街道・日光西街道 御宿場印(ごしごくばいん)プロジェクト	https://www.ad	1
117	日光街道 東京都・足立区 (1)	NPO法人 千住文化普及会	千住宿探訪・ガイド	https://senjubu	3
118	日光街道 東京都・足立区 (2)	東京都産業労働局観光部受入環境課	北千住・南千住/旧日光街道をたどる	https://www.sar	3
119	日光街道 埼玉県・埼玉六宿	(一社)埼玉県物産観光協会	埼玉六宿をふらり街歩き	https://chocota	2
120	日光街道 埼玉県・埼玉六宿 (2)	草加市 文化観光課	日光街道 埼玉六宿連携 電子スタンプラリー	https://www.city	2
121	日光街道 埼玉県・草加市 (1)	草加市 文化観光課	そうか 歩きINGマップ/草加宿エリア 「第23回草加宿七福めぐり」開催	https://www.city	3
122	日光街道 埼玉県・越谷市 (1)	一般社団法人越谷市観光協会	こしがや「まち未来創造塾」第7期 (2022年5月1日)	https://www.city	3
123	日光街道 埼玉県・越谷市 (2)	越谷市 市長公室 広報シティプロモーション課	日光街道越ヶ谷宿	https://www.city	3
124	日光街道 埼玉県・越谷市 (3)	(一社)越谷市観光協会	旧日光街道周辺 (スポット紹介)	https://www.kos	3
125	日光街道 埼玉県・春日部市 (1)	春日部市	歴史に魅れる かすかぶウォーク「宿場町ウォーク」	https://www.city	3
126	日光街道 埼玉県・春日部市 (2)	春日部市 教育委員会 文化財保護課・郷土資料館	日光道中船壁宿~歩いてみよう道しるべ	https://schit.net	3
127	日光街道 埼玉県・春日部市 (3)	(一社)春日部市観光協会	船壁宿 宿と町の歴史 (日光道中船壁宿めぐり 観光ガイド、船壁マップ)	http://www.visit	3
128	日光街道 埼玉県・杉戸町 (1)	杉戸町 産業振興課 商工観光担当	「杉戸宿まちあるきマップ「日光街道宿場めぐり杉戸宿」」が完成	https://www.tov	3
129	日光街道 埼玉県・杉戸町 (2)	杉戸町観光協会	日光街道すざと宿場めぐりコース・3年ぶりに杉戸宿宿場まつりを現地開催	https://www.kar	3
130	日光街道 埼玉県・杉戸町 (3)	埼玉県おもてなし力向上実行委員会	まち歩きで杉戸町の魅力を伝えよう【杉戸宿案内人の会】	https://www.om	3
131	日光街道 埼玉県・杉戸町 (4)	全国町村会	埼玉県杉戸町・開港400年、今と昔がつながる時 ~日光街道杉戸宿開港400年プロジェクト~	https://www.zck	3

分類の凡例 1...広域連携 2...地域間 3...地域

表 2-2.3 街道観光に係る取組事例の概要（広域関東：3/3）

番号	調査票名	取組主体	取組の名称	情報源URL	連携種別
132	日光街道 埼玉県・幸手市 (1)	幸手市 商工観光課	手宿「宿場あるき」について 幸手宿まちなあるきマップ(観光マップ) ※市民参加でマップづくり	https://www.city.saitama.jp/	3
133	日光街道 埼玉県・幸手市 (2)	幸手市観光協会	歴史と観光 / 幸手宿観光ガイドの会	https://www.sat.saitama.jp/	3
134	日光街道 埼玉県・幸手市 (3)	幸手宿観光ガイドの会	幸手宿観光ガイドの会 (facebook)	https://www.facebook.com/kuki-kan/	3
135	日光街道 埼玉県・久喜市 (1)	(一社)久喜市観光協会	観る 栗橋関所址碑・くりはし八福神巡り	https://kuki-kan.jp/	3
136	日光街道 埼玉県・久喜市 (2)	久喜市商工会(栗橋みなみ実行委員会)	久喜市栗橋地区の紹介	https://kurihashi.jp/	3
137	日光街道 埼玉県・久喜市 (3)	栗橋ひめづら協同組合(クラッセ栗橋)	久喜市栗橋地区観光紹介 (栗橋ガイドマップ・栗橋宿マップ)	https://kurihashi.jp/	3
138	日光街道 埼玉県・久喜市 (4)	日光街道 栗橋関所・栗橋宿を元気にする会(栗橋を元気にする会)	栗橋を元気にする会のコンセプト・栗橋宿まちなあるきマップ	https://kurihashi.jp/	3
139	日光街道 埼玉県・久喜市 (5)	行田市民大学同窓会	栗橋宿散策	https://www.gsjp.org/	3
140	日光街道 茨城県・古河市 (1)	(一社)古河市観光協会	歴史スポット/高礼場跡・本陣跡・日光街道から有町通りへ・日光街道古河宿道標	https://www.kogashiwa.jp/	3
141	日光街道 国土交通省宇都宮国道事務所	国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所	日光街道御徒マップ	https://www.ktr.go.jp/	2
142	日光街道 栃木県・野木町	野木町観光協会	旧日光街道沿いの史跡	http://www.nogi.jp/	3
143	日光街道 栃木県・小山市 (1)	小山市 シティプロモーション課 シティプロモーション係	歩いてみっかな 日光街道 一栃木県小山市編一	https://www.city.yamanashi.lg.jp/	3
144	日光街道 栃木県・小山市 (2)	小山市観光協会	日光街道 小宿 七福神めぐり 開運のまちおやまを歩こう!!	https://oyama-ki.jp/	3
145	日光街道 栃木県・下野市 (1)	下野市 教育委員会事務局 文化財課	「しもつけ歴史カード」を市内2か所の資料館で配布しています! 日光街道関連文化財群めぐり	http://www.shimoizumi-city.jp/	3
146	日光街道 栃木県・下野市 (2)	下野市観光協会	下野市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業 [平成30年度] (VR)により日光街道を復元、文化財周遊アプリの導入)	https://www.bunryu.or.jp/	3
147	日光街道 栃木県・下野市 (3)	下野市地域おこし協力隊	下野市の歴史を蘇らせた「日光街道一里塚保存会」という存在	https://shimotsu-city.jp/	3
148	日光・奥州街道 栃木県・宇都宮市 (1)	(一社)宇都宮観光コンベンション協会	「宇都宮の歴史」日光街道を歩く「日光街道ウォーキングマップ」 (倉宮宿、宇都宮宿、徳次郎宿、白沢宿)	https://www.utsunomiya-cit.go.jp/	3
149	日光街道 栃木県・日光市 (6)	日光市 建設部 都市計画課 都市整備係	日光街道パートナーシップ	https://www.city.nikko.jp/	3
150	日光街道ほか 栃木県・日光市 (7)	日光市観光協会	日光杉並木街道 (世界一長い並木道:ギネスブック認定)	http://www.nikkocity.jp/	3
151	日光街道・奥州街道 小山市、日光市、宇都宮市、さくら市	(公社)栃木県観光物産協会	観光スポット/関ヶ原宿問屋場跡 (日光杉並木観光ガイド・白澤宿、奥州街道へ)	https://www.tokai.or.jp/	2
152	奥州街道 栃木県・さくら市 (1)	さくら市 産業経済部 商工観光課	奥州街道史跡めぐり	https://sakura-city.jp/	3
153	奥州街道 栃木県・那須塩原市	黒磯観光協会	鍋掛ウォーキングマップ	https://www.nasu-shiobara-city.jp/	3
154	奥州街道 栃木県・那須町	那須町商工会	芦野宿と伊王野の里ガイドブック (二、奥州道中と芦野宿/三、史跡めぐり【芦野】)	https://nasu-shiobara-city.jp/	3
155	奥州街道 福島県・白河市 (1)	(公財)白河観光物産協会	モデルコース/初代藩主丹波長重頼と小南湖、そして旧奥州街道町屋めぐり	https://shirakawa-city.jp/	3
156	大田街道 国土交通省川崎国道事務所	国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所	大田街道(大田街道見どころマップ)	https://www.ktr.go.jp/	1
157	中原街道ほか 神奈川県・横浜市 (1)	横浜市 旭区	散策ガイドブック(鐘の渡し緑道、鎌倉古道(中の道)、旧中原街道)	https://www.city.yokohama.lg.jp/	3
158	みのぶ道 山梨県・身延町 (1)	身延町	みのぶ道～祈りの道～(パンフレット、モデルコース)/歴史の道百選	https://www.miryu-city.jp/	3
159	千国街道・千国古道 長野県・小谷村 (1)	小谷村観光連盟	塩の道を歩く「千国街道モデルコース」「千国古道モデルコース」(紹介動画あり)	https://www.vill.kinokuni.lg.jp/	3
160	北国街道 長野県・小諸市 (1)	一般社団法人 こもろ観光局	北国街道・小諸宿～信仰の道・金の道・大名行列～	https://www.komoro-city.jp/	3
161	北国街道 長野県・飯綱町 (1)	飯綱観光協会	古道・史跡を歩こう ～北国街道と牟礼宿をたどる旅～	https://1127.info/	3
162	川越街道 埼玉県・川越市 (1)	一般社団法人DMO川越	小江戸川越へようこそ	https://koedo.or.jp/	3
163	日光御成道 埼玉県・川口市・鳩ヶ谷市 (1)	川口市観光物産協会	日光御成道	https://kawakari-city.jp/	2
164	日光例幣使街道 栃木県・足利市 (1)	足利市	日光例幣使道とは(パンフレット、バーチャル映像、PR動画)	https://www.city.asahi.lg.jp/	2
165	日光例幣使街道 栃木県・佐野市 (1)	佐野市	例幣使道共同開発協議会(VR、PR動画、例幣使道スタンプラリーを開催)	https://www.city.sano.lg.jp/	2
166	会津西街道 栃木県・福島県 広域 (1)	足立成和信用金庫、会津信用金庫、鹿沼相互信用金庫ほか	会津西街道御宿場印めぐり	https://www.adachi-city.jp/	1
167	会津中街道 栃木県・福島県 広域 (1)	会津中街道交流実行委員会	会津中街道ウォーク、2018年「天空の古道 心の山歩き旅」の開催 2016・2017年ワークショップ型ウォーキング(トレッキング)の開催	http://aizu-naka-city.jp/	1
168	八十里越街道 新潟県・福島県 (1)	越後南会津八十里越プロモーション事務局	まほろしの街道 八十里越街道(広域観光連携HP)	https://www.hachirohime-city.jp/	1
169	八十里越街道 新潟県・福島県 (2)	三条市、新潟交通株式会社	秘境八十里越体験バス ～感じよう、あふれる自然・歴史ロマン・未来へつなぐ土木技術～	https://www.city.sanjo.lg.jp/	1
170	八十里越街道 新潟県・福島県 (3)	合同会社 ねっか	米焼酎「八十里越」	https://www.hachirohime-city.jp/	1
171	会津米沢街道 福島県 (1)	福島県観光交流局観光交流課	八重も通ったかもしれない 会津と米沢をつなぐ街道	http://www.yae-city.jp/	2
172	会津米沢街道 福島県・北塩原村 (1)	福島県多岐建設事務所企画調査課、北塩原村商工観光課、東京「桜」の交流プロジェクト	八重も通った「米沢街道」を活用した地域づくり	https://www.pre-city.jp/	2
173	会津米沢街道 福島県・北塩原村 (2)	会津米沢街道歴史ウォーク実行委員会 北塩原村	会津米沢街道歴史ウォーク2022	https://www.vill.kitaharajima.lg.jp/	3
174	下野街道 福島県・下郷町 (1)	大内宿観光協会	大内宿観光協会HP	https://www.guruma-city.jp/	3
175	水戸街道ほか 千葉県・松戸市 (1)	千葉県	ちばの街道を歩こう(ウォーキングの実施)	https://www.pre-city.jp/	2
176	水戸街道 千葉県・松戸市 (1)	(一社)松戸市観光協会	水戸街道と宿場(東漸寺境内で秋のフリーマーケットとイベントを開催、小金宿まつり)	https://www.matsudomachi-city.jp/	3

分類の凡例 1…広域連携 2…地域間 3…地域

2-2-2 好事例の詳細調査（広域関東）

1) 好事例の抽出の観点（広域関東）

好事例を抽出する視点として、大きく2つの視点を設定した。まず江戸街道プロジェクトの趣旨である「地域連携」を念頭に、次に街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討（本章7）の読み手として想定する「観光地域づくり法人（DMO）」への知見の横展開を想定し、取組みがイメージしやすい連携の区分を踏まえて選定した。

＜参考＞観光地域づくり法人（DMO）の登録区分について（観光庁 WEB サイトより）

「広域連携（広域連携 DMO）」

- ・地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。

「地域間連携（地域連携 DMO）」

- ・複数の地方公共団体に跨がる区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。

「地域連携（地域DMO）」

- ・原則として、基礎自治体である単独市町村の区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

また、選定する事例は必ずしも観光入込客数や観光消費額において成果を出しているものに限らず、新しい取り組みであっても参考となる事例は対象とすることとした。

以上の視点から、前項で示した様々なパターンをもった取組みを示す目的で、WEB 調査を通じて把握した広域関東の各事例の中から、以下の6つの事例について深掘りして取組を把握することとした。

表 2-2.4 抽出した好事例

	取組み箇所・事業名	実施主体	取組区分	観点
①	御宿場印プロジェクト	足立成和信用金庫	広域連携	取組主体
②	埼玉六宿	埼玉県利根振興センター	地域間連携	取組主体
③	妻籠宿保存事業	(公社)妻籠を愛する会	地域連携	まちづくり
④	継承されている城下町の江戸文化を活用したコンテンツ造成	DMO 川越	地域連携	まちづくり
⑤	和田宿再開発プロジェクト	和田のあしたを考える会	地域連携	まちづくり
⑥	こしがや「まち未来創造塾」	まちづくり越谷	地域連携	人材育成

2) 好事例の詳細調査結果（広域関東）

① 御宿場印プロジェクト

- ・「御宿場印」は、2021年4月に日光街道と会津街道から始まり、東海道にも拡大し、2023年3月には京都まで到達予定である。今後、奥州街道への展開が企画されている。また、宿場めしやスタンプラリー等への展開も検討されている。
- ・拡大の成功要因は、「御朱印」巡りが下敷きであり一般に分かりやすいこと、取組への各参加者にメリットがあるスキームだったこと、信金ネットワークを基盤にしたこと等が大きかったと考えられる。（ただし、信金としては異例の発想であったとのこと）
- ・地域との関係づくりにおいては、「日光街道でやると決めたが、日光街道沿いの関係者の横のつながりはなく、また宿場町であったという認知も持っていない状況」「地域ごとに最初に声をかけるべき箇所が異なり、慎重を期した」「できるところからやっていったことが成功のポイント」とのことであり、この点の進め方も他地域の参考になると思われる。
- ・全国展開が可能なスキームである。ただし、信金サイドの負担が大きくなっており、取組事務局を設けるなど適切な運営体制を検討する必要があると考えられる。

※江戸街道プロジェクトとの連携に前向きである。

「御宿場印（ごしゅくばいん）」プロジェクトとは

足立成和信用金庫発祥の地「北千住」は、寛永2年（1625年）五街道の整備により、日光・奥州街道の初宿（第1番目の宿駅）に指定された宿場町となります。そのような街と共に歩む「信用金庫」として何かできないかと考え、「御宿場印」というものを発案いたしました。（2020年12月、商標登録出願）

そして、「コロナ禍における地域経済活性化」という当金庫と同じ想いを抱いていた、鹿沼相互信用金庫様、足利小山信用金庫様、結城信用金庫様、および各地域の観光協会様やNPO団体様にご協力をいただき、日光街道および松尾芭蕉が辿った日光西街道を来訪した証しに「日光街道・日光西街道 御宿場印めぐり」として、各地域にて「御宿場印」を販売することになりました。（2021年4月24日先行販売開始、2021年7月4日全30か所で全種類販売開始）

出典）足立成和信用金庫 HP



表 2-2.5 好事例のヒアリング結果（御宿場印プロジェクト）

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	「御宿場印プロジェクト」
対象	足立成和信用金庫
区分	広域
観点	取組主体
街道	日光街道

項	収集内容
A	「御宿場印プロジェクト」の取組状況
	<p>○取組みの契機・経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千住の街は、ポテンシャルがあるものの（日本で六番目に乗降が多い駅、最も栄えた宿場町）あまり活気がなかったが、テレビなどへの訴求などを通じ段々と活気がでてきた。 ・そこで、この先の展開を考えた際に、新たな観光資源を作ろうとなり、御朱印の発想から「宿場印」ができないかと企画された。 ・企画は1人で考えるのではなく、ユニットを組んで取組んでおり、足立区との包括連携協定などが下支えとなり、東武鉄道や東京商工会議所などが絡み、足立区内はやりやすい環境ではあった。 ・信用金庫のネットワーク（エリアが被らないことが多い）を活用し、一緒になって頑張りようとなった。鹿沼相互信用金庫との連携していたことで、日光まで取組みを伸ばそうとなり、足立区のみにとどめず対象エリアを拡大することを決めた。 <p>○ターゲットの設定状況（性年代、ニーズ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康目的でウォーキング人口は増大しており、特に40～50代が大きく増加傾向。 ・御朱印巡りは知名度があり、現役世代（20～60歳代）がいる。

○関係づくり

- ・地域ごとに最初に声をかけるべき箇所が異なり、慎重を期した。スキームを作り、そのスキームがいかにかやりやすいかを示した上で、地道に対面や電話でのコミュニケーションをとっていった。（通達だけではうまくいかなかった）
- ・協力を投げかけた際、多くの関係者から「費用」と「手間」についての問合せが多かった。これに対し、「費用」は発生しないこと、「手間」はデザインを作ってもらうことと販売するところの手配（およびお金の管理）がかかることを示した。これにより大概のところは参画してくれた。一部、参画しないところは、NPOに依頼したり、足立成和信用金庫がカバーしたりすることとした。

○当初の課題

- ・自分たちも手探りで始めており、費用が見えないため、明確な説明ができなかった。
- ・日光街道でやると決めたと、日光街道沿いの関係者の横のつながりはなく、また宿場町であったという認知も持っていない状況であった。
- ・当初大々的にプロモーションやまち巡りを行うことを考えていたが、コロナでできなかった。

○ポイント

- ・できるところからやっていったことが成功のポイントであった。動いていった成果をマスコミに取り上げてもらい、その成果を見て参画を決めた箇所もあった。
- ・いろんな場所に寄ってもらい、そこで少しでもお金を落としてもらえるように工夫した。

○取組の近況

- ・東海道にも波及し、本年3月には京都までつながることとなった。各都道府県の信用金庫は隣接する信用金庫とネットワークがあるので、エリアを跨ぐところで上手くつなげることができた。

○取組みの成果

- ・商店街などに活気がでてきた、以前は夕方には店を閉めるところが多かった。
- ・街のイベント（祭りなど）も他地域からの来訪者を想定することができた。これまでは、街のためのイベントであり、平日に開催されていたが、休日開催にもなりビジネスの機会が増えた（夜も店が営業するなど）。
- ・旅行会社からもツアー化についての相談ももたらえた。

B 地域団体・民間企業との連携

○地域に期待すること

- ・どこかが幹事になってとりまとめてくれるとよい。現在は、すべて足立成和信用金庫でやっており、マンパワーの不足が課題である。
- ・今後、奥州街道でも企画しており、つながったタイミングで、「御宿場印サミット」のようなイメージで関係者が集まる機会を設けられるとよい。

○連携の成果

- ・どのくらいお金を落としているかまでは追えていないが、御宿場印は1,000枚以上売れていることから、それだけの人が動いており、なんらか訪問先で消費があったことを想定すると、地域の活性化には貢献できていると考えている。

C 街道活用の今後の展望

○今後の展開

- ・宿場めし、スタンプラリーなどの企画を検討中。
- ・宿場めしは、飲食店を盛り上げるため
- ・2025年は千住宿開宿400年を迎える。そのタイミングでは大きなイベントを行いたい。行政などでも話題が出ている。

○江戸街道プロジェクトとの連携意欲（どのような連携があるとよいか）

- ・盛り上げるための連携をしたい。
- ・例えば、それぞれの宿場がイベント補助を申請したら無条件で認可してもらえるなど、人の移動を後押しするような企画（3宿以上を廻った人に贈呈とか）への支援を期待する。
- ・仕掛けをする側、仕掛けに乗る側、両方にメリットのある仕組みを作ってもらえるとよい。

D その他

○信用金庫の地域における役割

- ・非営利団体であり、地域の盛り上がりにつながるためにお金を使う相互扶助の精神が根幹にある。
- ・信用金庫のリテールは地域活性化には絶大な力がある。

○金融機関（信用金庫）との連携について

- ・単発で終わるものではなく、地域の発展に持続的に貢献できる企画であること。
- ・事業協力の相談の際は、信用金庫の強みをしっかり理解をしていただき、宣伝や声掛け、紹介といった信用金庫のネットワークを活かせる企画であること。

② 埼玉六宿

項	対象箇所の情報
取組	「埼玉六宿」
対象	埼玉県利根地域振興センター、テレビ埼玉
区分	地域間
観点	実施主体
街道	日光街道

項	収集内容
---	------

実施主体：幸手市（現在事務局）
 エリア：日光街道 草加宿（草加市）、越ヶ谷宿（越谷市）、粕壁宿（春日部市）、
 杉戸宿（杉戸町）、幸手宿（幸手市）、栗橋宿（久喜市）

○主な取組

6市町村を紹介する地域連携マップの作成。
 当該エリアでのスタンプラリーの開催。

○事例のポイント

- ・杉戸町が平成28年の開宿400年を目指し、日光街道の埼玉県内の5自治体（宿場町）に連携を呼びかけ、日光街道埼玉六宿連携会議を組織。
- ・平成28年に自治体間の枠を越えて、日光街道埼玉六宿連携スタンプラリーを開催。また、令和3年度からは、JAFと連携しスマホを利用した六宿連携ドライブスタンプラリーを開催。このほか、埼玉県との連携により埼玉六宿の魅力を詰め込んだパンフレットを作成。
- ・自治体単独の「点」であった活動から日光街道を軸として一体となった取り組みで地域のにぎわい創出を図る。



③ DMO川越

項	対象箇所の情報
取組	継承されている城下町の江戸文化を活用したコンテンツ造成
対象	(一社)DMO川越
区分	地域
観点	オーバーツーリズム解決、消費額向上、回遊性向上
街道	脇往還

項	収集内容
A	「城下町のまちなみを活用したコース造成」の取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 川越市は、川越藩本丸御殿遺構があり、その城下町の江戸文化として継承される蔵造りの町並み、商いや食文化が体験できる本物の江戸文化・伝承され続けている商売・家が多く残っている。 道毎に明治・大正・昭和の時代を体験できるテーマ設定を行う。 東京からのアクセスがよいこともあり、観光客は多く、また若者の来訪も多くみられる。しかし、いわゆるオーバーツーリズムでもあり、週末を中心に、路線バスや地域住民の車の通行の地域住民が車の通行の妨げとなるなど課題も多い。 こうした課題に対して、市内のステークホルダーによる対応はまだ不十分であり、実行組織同士の連携を推進するために、DMO川越は事業を推進。 DMO川越が中心となり「小江戸川越文化体験ツアー」としてファミトリップを行い、コースを策定してコンテンツの発掘と磨き上げを図った。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<ul style="list-style-type: none"> (一社)DMO川越内に諮問機関として観光戦略会議を設置。メンバーに、地元企業なども入ってもらっている。 観光戦略として、6つの戦略を策定。戦略を念頭に置いて、川越街道(江戸街道)の魅力発掘を誘客や回遊性向上につなげたい。 市内には多言語案内も可能なシルバー人材センターがあり、歴史にフォーカスしたツアーを展開している。また、ボランティアガイドとして英語の通じる街川越、NPO法人 英語の通じる街実行委員会、川越を英語で歩こう会などの多言語対応可能なガイド団体もあり、これらと連携し、インバウンド対応についても展開していく。
C	街道活用の今後の展望
	<ul style="list-style-type: none"> 東京から近く、鉄道も3線が乗り入れており、交通の便がよいことから、日帰り客が多い。また、若者の来訪が多いものの、多くは食べ歩き観光がメインであり、地域消費を向上させることが課題。 蔵造りの町並みがある一番街エリアは、オーバーツーリズムとされており、郊外に周遊を促せていくことも課題。 一方、川越街道としてみると、コンテンツは多くはない（川越城本丸御殿、大手門、カギ道等のみ）。個々のコンテンツのブラッシュアップだけでなく、市内の各コンテンツとの結び付きも必要と考えている。 事業予算が厳しく、川越街道を川越市だけで盛り上げるのは難しい。地域連携が図れる仕組み作りおよび金銭的な支援を受けられる仕組み作りに期待している。
D	その他
	<ul style="list-style-type: none"> 関東運輸局の「江戸街道プロジェクト」と連携し、派遣された専門家と意見交換を行った。

④ 妻籠宿

項	対象箇所の情報
取組	「妻籠宿保存事業」
対象	(公財)妻籠を愛する会
区分	地域、地域間
観点	実施主体
街道	中山道

項	収集内容
○主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和43年の長野県明治百年記念事業を活用して町並みの保存事業を開始。 ・地域憲章を制定し、保全活動を通じた観光活動と地域住民の暮らしに指針を持って活動を展開。 ・保存事業開始を契機に開催した「文化文政風俗絵巻之行列」など、街道と宿場を感じてもらえるイベントを長く継続。
○事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町の町並みを保全することが観光開発につながり、過疎地だった地域を存続できた背景となった。 ・早くから住民憲章を定め、「売らない」、「貸さない」、「こわさない」の三原則を柱に取り組む。 ・事業を通じた不具合は、徹底的に話し合っ解決の方向を探ってきた（多数決で決めない）。 ・外部資本を制限し、観光消費が地域に還元されるよう配慮。 ・宿場町の景観を阻害するような宣材（ポスターやのぼり）などを禁止するほか、早くから電柱の撤去にも取り組む。 ・来訪者調査を継続して実施し、データを取得して活用（その結果、2019年では日本人よりも外国人の来訪が多いことが判明）。 ・昭和43年から続く「文化文政風俗絵巻之行列」では、馬籠峠から妻籠宿までの中山道を歩くイベント、164年前の旅人や宿場に住んでいた人の気持ちを知るところから開始した。



妻籠宿「脇本陣奥谷」

⑤ 和田宿再開発プロジェクト

項	対象箇所の情報
取組	「和田宿再開発プロジェクト」
対象	和田のあしたを考える会
区分	地域
観点	まちづくり
街道	中山道

項	収集内容
A	「和田宿再開発プロジェクト」の取組状況
	<p>○取組の近況</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野県の元気づくり支援金や空き家対策の補助を活用した古民家の再生。 町の協力隊制度を活用し、若い人に住んでもらう取組みなどを行っている。 若年層をターゲットとして、移住を勧める取組を行う。 県（地域政策課）と連携し今後の展開を模索するとともに、教育委員会や学識者からなる調査委員会にはたらきかけ、和田宿の史跡の保存整備計画の歴史的重要性から計画の意義を示してもらい、計画の早期実現要請を取り付けている。 町の協力隊のとりくみがバラバラであったのを、宿場を基本としつつ、どのようにとりまとめていくか意見を吸い上げ、一つにとりまとめ、そのなかで若い人たちの意見を反映していく。こういった取組みを通じて、行政にも目を向けてもらいたいと考えている。 そのほか、コロナにより3年休止となっていた宿場まつりの実行を準備中であり、若い人たちにも参加してもらい地域の活性化を図る。 <p>○取組みの契機</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が進み、地域が持続できない危機が迫っている。若い人たちに生業を提供できないかという視点で取り組んでいる。 町との認識の隔たりがあり、旧和田村の村民性が理解されにくいこともあり、合併から20年弱が経ち、あきらめの雰囲気も出てきた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材が不足しており、他地域の連携までは取組めていない。 和田村が長和町として合併された後、観光予算の分配が旧和田村に継続的に配分されなくなった。 住んでいるものが住めなくなってしまうところまで来ており、民間からの働きかけで社会をつないでいかねばならない。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<p>○地域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会の組織をベースとして、小売店や工務店などが考える会に参加。 和田宿おでんまの会と連携し、宿場の本陣の修理などを行う。 ※おでんま：まちの公共のものの修理など、ボランティアのこと 学校組織との夏祭り開催で灯籠に絵を描いてもらうなど連携をしている。 <p>○地域（または行政）に期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 町にまかせるではなく、自分たちで決めていかないとならない。地域としてバラバラにならないよう若い人たちの考えも尊重できる場をつくる。こうしたことを通じて行政にも住

民の想いに目を向けてもらえるようになって欲しい。

○連携の成果

- 若い人たちが少ないことは、次の世代に託せないということ。まちおこし協力隊のうち何人かは地域に残ってくれている。こういった人たちに次の和田宿を託したいと考えている。
- かつて楽しかったことは考えても仕方がない、未来を彼らにつなぐことは、期待を持って考えていくこと。そういった前向きになる楽しさを事務局として感じている。

C 今後の展望

○今後の展開

- 地域に残ってくれたまちおこし協力隊に次の事務局のメンバーとして継いでいてもらいたい。

○江戸街道プロジェクトとの連携意欲（どのような連携があるとよいか）

- 連携は大いに歓迎したい。

D その他

- なし

⑥ こしがや「まち未来創造塾」

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	こしがや「まち未来創造塾」
対象	㈱まちづくり越谷
区分	地域
観点	実施主体
街道	日光街道

項	収集内容
○主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 越谷を集客交流（観光交流）都市とすることを目標とし「地域を担う優れた人材を輩出すること」「地域ならではのビジネスを創出すること」を目的に活動。 越谷市では宿場町の歴史を通して古くから伝わる「技」・「生業」は多く隠れており、そういった掘り出しをまちの人々が行う。
○事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的建造物のような、見てわかりやすいコンテンツは少ないが、宿場の歴史を通じて現代に受け継がれた資源は多い。 そのため、観光の取組を支え、継続していける人材の育成を重視。 地域がコンサルタント等に答えを求めず、自ら考え、自らの責任でトライアル&エラーで企画を検討。 地域の魅力は地元の人では気づかないものもあることから、こしがや「まち未来創造塾」では、越谷市以外に在住する人も広く受け入れる。 こうした取組を通じて育成された人材が、市や商工会議所と連携する「越谷技博」や「越ヶ谷宿の雛めぐり」にて活躍。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「まち未来創造塾」を通じた地域の取組を支えていく人材の発掘と育成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>塾生が企画に活躍する「越谷技博」と「越ヶ谷宿の雛巡り」</p> </div> </div>

2-3 広域関東エリア外での取組事例の調査

2-3-1 取組事例の基本収集（広域関東エリア外）

1) WEB 調査による事例数（広域関東エリア外）

広域関東エリア外を対象地域として、全国街道交流会議首長会に参画する自治体に留意しながら、観光協会、DMO、自治体等による街道観光に係る取組事例について、WEB 調査により収集した。

広域関東エリア外の街道観光に係る取組事例の収集件数を図 2-3.1 に示す。ここでは取組主体（観光協会、DMO、自治体等）及び取組内容が把握できる事例を1事例とした。なお、同じ地域の取組であっても取組主体が違う場合は別事例として計上した。

五街道（関東広域エリア外）のほか、江戸時代及びそれ以前の街道や古道を中心に、近代以降に確立された新しい「道」を含めてWEB 調査を行った結果、街道に係る取組事例として総計 109 件が収集された。

地方別にみると、北陸・東海が最も多く 38 件であり、次いで九州・沖縄 21 件、中国・四国 19 件、近畿 18 件、北海道・東北 13 件となっており、収集事例は全国に分布している。北陸・東海が多いのは、中山道、東海道などの街道に係る市町村ごとの取組みが多いことが一つの要因になっている。

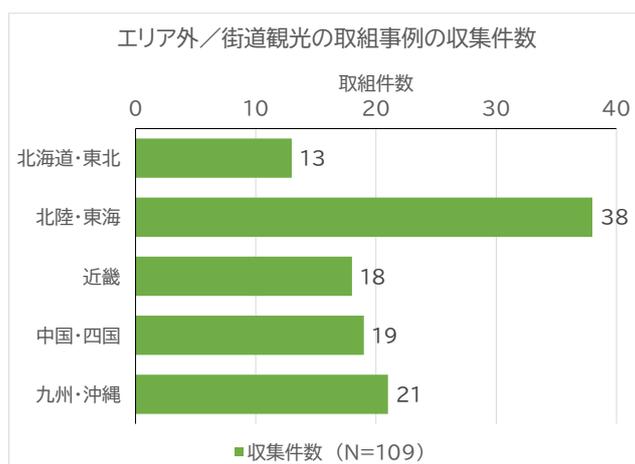


図 2-3.1 連携種別の件数（広域関東エリア外）

2) 連携形態別の事例数（広域関東エリア外）

収集した取組事例について、地域連携の形態を「地域」「地域間」「広域連携」に区分した件数を表 2-3.1 及び図 2-3.2 示す。また、地域ごとの街道別に収集事例の件数を一覧表にしたものを表 2-3.2 に示す。

連携の形態別にみると、「地域」は 67 件（62%）、「地域間」は 19 件（17%）、「広域連携」は 23 件（21%）である。自治体間または広域で連携している事例は、約 4 割を占め、多様な要素を考慮しない単純な比較では、関東広域（約 4 分の 1）よりは多い。

地方別にみると、広域連携の事例が、近畿 8 件（44%）、中国・四国 6 件（32%）と多いことが特徴的である。近畿では、歴史街道や熊野古道に係る取組、中国・四国では、中四国をつなぐ新しい周遊ルートに係る取組などがある。

なお、参考とするポイントで区分した参考種別の件数を図 2-3.3 に示している。

表 2-3.1 街道観光に係る取組の収集事例数（広域関東エリア外）

地方名	収集事例数	収集事例の内訳		
		地域	地域間	広域連携
北海道・東北	13	7	3	3
北陸・東海	38	25	10	3
近畿	18	8	2	8
中国・四国	19	10	3	6
九州・沖縄	21	17	1	3
合計	109	67	19	23

凡例 地域：自治体ごとの取組 地域間：複数の自治体が連携した取組 広域連携：複数の都道府県が連携した取組

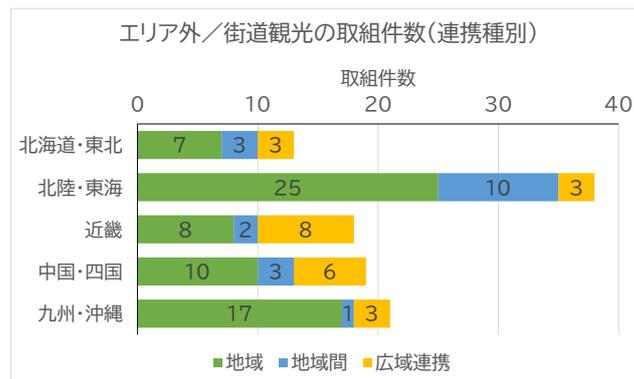
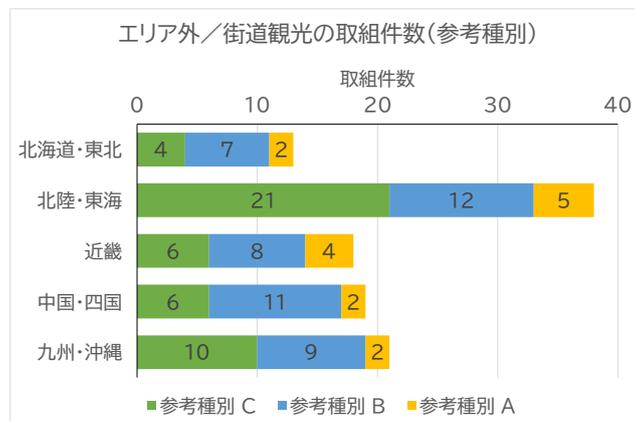


図 2-3.2 取組の連携種別の事例数（広域関東エリア外）



凡例 参考種別
 A…広域連携の参考になる事例
 B…他地域の参考になる事例
 C…街道観光につながる取組事例

図 2-3.3 取組の参考種別の事例数（広域関東エリア外）

表 2-3.2 地方別・自治体別の収集事例数の一覧表（広域関東エリア外）（1/3）

■北海道・東北

街道名・取組名	都道府県	市区町村	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携	広域連携
			宿場	宿場間		
日本のでっぺん。 きた北海道ルート。	北海道	北部エリア			1	
アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北海道	北海道	東部エリア			1	1
日本の奥の院・東北探訪ルート	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県	-				2
奥州街道	青森県	南部町	1			
	宮城県	富屋市	2			
	宮城県	大河原町		1		
鹿角街道	岩手県	八幡平市		1		
羽州街道	秋田県	秋田市		2		
越後米沢街道	山形県、新潟県	小国町、飯豊町、川西市、関川村				1
小計			7	3	3	13

■北陸・東海

街道名・取組名	都道府県	市区町村	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携	広域連携
			宿場	宿場間		
昇龍道	富山県、石川県、岐阜県、愛知県	-				1
北陸道	富山県	射水市		1		
北国街道	富山県	滑川市	1			
	石川県	広域			1	
鯖街道	福井県	広域			1	
	福井県、京都府	高浜町、おおい町、南丹市、京都市				1
おくのほそ道	福井県	若狭町	1			
	岐阜県	大垣市				1
中山道	岐阜県	広域			1	
	岐阜県	瑞浪市、御嵩町			1	
	岐阜県	瑞浪市	1	1		
	岐阜県	中津川市	1	1		
	岐阜県	恵那市	1			
	岐阜県	美濃加茂市	1			
	岐阜県	各務原市	1			
	岐阜県	岐阜市		1		
	岐阜県	瑞穂市		1		
	岐阜県	関ヶ原町		1		
飛騨街道	岐阜県	大垣市	1			
中馬街道	岐阜県	垂井町	1			
美濃路	岐阜県	大垣市	3			
	岐阜県	垂井町	(1)			
	愛知県	広域			(1)	
本坂通	静岡県	浜松市	1			
東海道	静岡県	広域			1	
	静岡県	静岡市、藤枝市			1	
	愛知県	広域			1	
	愛知県	豊橋市		1		
	三重県	亀山市	1	1		
飯田街道	愛知県	広域			(1)	
熊野古道	三重県	広域			3	
初瀬街道	三重県	伊賀市	1			
伊勢本街道	三重県	松坂市		1		
小計			25	10	3	38

注1) カッコ書きの数字は、他で既に計上されているもの(重複回避)。

注2) 同色のセルは、連携している事例を示す。

注3) 欄外の小計は、順に、地域ごと、地域間連携、広域連携、計の件数を示す。(他の表も同じ。)

表■近畿3.2 地方別・自治体別の収集事例数の一覧表（広域関東エリア外）（2/3）

街道名・取組名	都道府県	市区町村	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携	広域連携
			宿場	宿場間		
歴史街道 （歴史街道モデル事業）	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県、三重県	-				1
美の伝説 THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県、鳥取県	-				1
東海道	滋賀県	甲賀市	1			
北国街道	滋賀県	長浜市	1			
山背古道	京都府	城陽市、井出町、山城町、木津川市			1	
熊野古道	大阪府、和歌山県	-				1
	奈良県、和歌山県	-				2
葛城修験の道	大阪府、奈良県、和歌山県	-				2
竹内街道・横大路	大阪府、奈良県	大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町、葛城市、大和田高田市、橿原市、桜井市、明日香村				1
京街道	大阪府	枚方市	2			
西国街道	大阪府	高槻市	1			
柳生街道	奈良県	奈良市		2		
古座街道	和歌山県	広域			1	
	和歌山県	古座川町	1			
小計			8	2	8	18

■中国・四国

街道名・取組名	都道府県	市区町村	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携	広域連携
			宿場	宿場間		
緑の道～山陰～	鳥取県、島根県、山口県	-				1
しまなみ	島根県、広島県、愛媛県	-				1
中国やまなみ街道	島根県、広島県	-				1
	島根県	広域			1	
銀山街道	島根県、広島県	-				1
	島根県	美郷町		1		
因幡街道	岡山県	美作市	1			
瀬戸内しまなみ海道	広島県、愛媛県	-				1
西国街道	広島県	広島市		2		
ひろしま八区ぐるっと散策「みち」めぐり	広島県	広島市		1		
赤間関街道	山口県	萩市、下関市、長門市、美弥市			1	
	山口県	美弥市		1		
萩往還	山口県	萩市、山口市、防府市			1	
四国遍路	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	-				1
土佐街道	愛媛県	四国中央市		1		
陶街道五十三次	愛媛県	砥部町		1		
土佐塩の道	高知県	香美市		1		
橿原街道	高知県	梶原町		1		
小計			10	3	6	19

表 2-3.2 地方別・自治体別の収集事例数の一覧表（広域関東エリア外）（3/3）

■九州・沖縄

街道名・取組名	都道府県	市区町村	取組の件数			
			地域ごと		地域間連携	広域連携
			宿場	宿場間		
長崎街道	福岡県、佐賀県、長崎県	北九州市、飯塚市、佐賀市、小城市、嬉野市、大村市、諫早市、長崎市				1
	福岡県	飯塚市	1	1		
	佐賀県	神崎市	1			
	長崎県	大村市	1			
薩摩街道	福岡県	筑後市		1		
	熊本県、鹿児島県	-				1
唐津街道	福岡県	宗像市	1	1		
中津街道	福岡県	築上町	1	1		
島原半島うみやま街道	長崎県	島原半島全域			1	
日向往還	熊本県、宮崎県	御船町、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町、延岡市				1
豊前街道	熊本県	山鹿市	4			
豊後(肥後)街道	熊本県	菊陽町	1			
	大分県	大分市	1	1		
中城ハンタ道	沖縄県	中城村		1		
小計			17	1	3	21

■事例数の集計

区分	地域	地域間	広域連携	合計
北海道・東北	7	3	3	13
北陸・東海	25	10	3	38
近畿	8	2	8	18
中国・四国	10	3	6	19
九州	17	1	3	21
合計	67	19	23	109

3) 収集事例の内容（広域関東エリア外）

① 収集した取組事例の概要（広域関東エリア外）

収集した取組事例の中で、大きなグループとして、街道の周遊（散策）ルートの魅力発信による集客と周遊（散策）実現を図るものがみられた。

対象とする街道については、歴史的な街道等の魅力を掘り起こして示すものと、新しいコンセプトでの周遊（散策）ルート⁶を訴求するものがある。具体的には、街道等の歴史やコンセプトの紹介、周遊（散策）のルートやモデルコースの提示、みどころ紹介等を、ホームページでの情報提供、マップ、パンフレット、紹介動画の作成・提供で行う場合が多い。「線」の展開であり、複数の自治体が連携して行っている事例も多い。

もう一つの大きなグループは、ルートの中での核となる宿場等を中心に当該宿場やその周辺の魅力発信による集客、来訪者に楽しんでもらえるような情報提供や仕掛けの準備を行うもので、情報提供、まち歩きマップ、パンフレット、紹介動画の作成・提供に加え、来訪者の散策等の拠点となる施設整備⁷を行う事例もある。地区のまちづくりとも関連性が深く、当該宿場の歴史の紹介、関連する文化財の紹介、伝統の祭りや地元特産品の食や工芸品等と関連させる案内などがみられる。

そのほか宿場やかつての往来にちなむ祭りやイベントも多く行われている。イベントは市・マルシェとして行われている場合もある。

また、周遊（散策）ルートや宿場町等への来訪のきっかけづくり、誘客策として、ウォークイベント（宿場めぐり、街道を歩く、歴史の道ツーリズム、謎解きツアー等）のほか、スタンプラリー系（御宿場印、手形等）の取組も多い。「印」を購入する形式や「通行手形」にスタンプを集める形式、スマホでデジタル・スタンプを集める形式のほか、「踏破証明書」を発行する事例もある。

⁶ 北陸・中部の「昇龍道」、中国・四国の「瀬戸内しまなみ海道」、長崎県の「シュガーロード」などがある。

⁷ 奥州街道富谷宿「富谷宿観光交流ステーション」、唐津街道赤間宿の「街道の駅赤間館」などがある。

② 取組事例の主な内容（広域関東エリア外）

取組事例の内容について、いくつかの観点からピックアップして紹介する。

< 観点1：取組主体の観点 >

取組主体は、自治体、観光協会、商業者団体のほか、街道名や宿場名を冠した協議会や実行委員会などの団体等がみられる。

取組主体の観点から特徴的な事例として「越後米沢街道・十三峠」と「竹内街道・横大路（大道）～難波から飛鳥へ日本最古の官道活性化プロジェクト」を紹介する。

■ 越後米沢街道・十三峠⁸

地域の住民組織・NPO、市町村・県・国など「越後米沢街道・十三峠」に関わる多様な組織で構成する越後米沢街道・十三峠交流会が、この古道を活用した地域おこし活動に取り組んでいるものである。地域のNPOが事務局となり、地域住民が主体となって行政と協働して、十三峠やイベントの紹介、パンフレットやトレッキングマップの作成、観光情報の提供など多様な取組みを行っている。

そのほか、黒沢峠敷石道の修復事業（ボランティア作業等）、山形・新潟交流の素材探し事業（講師を依頼、住民参加）、十三峠観光資源活用事業（山形県から受託）、宇津峠踏査等の活動を行っている。

越後米沢街道・十三峠とは

「越後米沢街道」は山形県置賜地方と新潟県下越地方を結ぶ街道で、大小13の峠があることから別名「十三峠」と呼ばれている。平成8年には文化庁選定の「歴史の道百選」に選ばれ、平成20年には「日本風景街道」に登録された。

現在、十三峠が通る山形県川西町・飯豊町・小国町・新潟県関川村の2県3町1村では、各組織がこの古道を活用した地域おこし活動に取り組んでいる。

越後米沢街道・十三峠交流会とは

文化的・歴史的な地域振興資源として街道を保存、整備し活用を図って協働のまちづくりに寄与するため、平成20年地元の各団体で「越後米沢街道・十三峠交流会」が結成された。国道113号の山形県川西町～新潟県関川村周辺を対象に、峠の復元、ウォーキングイベントや峠まつり、フォトコンテスト、東北街道交流事業などの活動を展開し、日本風景街道のパートナーシップとなっている。

■ 構成団体

小松地区地域づくり協議会 / 手ノ子地区協議会 / 黒沢峠敷石道保存会
/ 玉川地域振興協議会 / 関川村自然管理公社 / NPO 法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
/ 米沢街道地域づくり検討会 / 小国町観光協会 / 飯豊少年自然の家
/ 山形県川西町 / 山形県飯豊町 / 山形県小国町 / 新潟県関川村
/ 山形県置賜総合支庁 / 国土交通省山形河川国道事務所
事務局 NPO 法人ここ掘れ和ん話ん探検隊

出典：越後米沢街道・十三峠交流会 HP

⁸ 情報源：<http://mount13.web.fc2.com/13pass0.html>

■ 竹内街道・横大路（大道）～難波から飛鳥へ日本最古の官道活性化プロジェクト⁹

難波から飛鳥に至る日本最古の官道《竹内街道・横大路(大道)》は、2013年に敷設1400年を迎えたのを契機に、街道沿線の自治体が一体となり、市民・企業・大学等が参画・連携・協働し、実行委員会を組成、さまざまな活性化事業を展開している。

実行委員会は街道沿線の10市町村と大阪府、奈良県の12自治体による横断的な連携組織として設置され、大阪芸術大学と連携するとともに、多数の企業の協賛を得るなど、多様な主体の参画を得ていることが特徴である。

また、プロジェクト（コンセプト、ロードマップ等）、アクションプログラムなどを明確にし、さまざまな取組を行っている。

実行委員会

竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会（以下、実行委員会）は、竹内街道・横大路の起源である難波から飛鳥へ日本最古の官道（大道）が整備されてから、2013（平成25）年をもって1400年を迎えたことを契機に、沿線の自治体が一体となり、産学民と連携し、竹内街道・横大路とその周辺地域の魅力を再発掘し、国内外に情報を発信することや、それら地域をつなぎ、紡ぐことにより、さまざまな交流を促進し、地域の活性化につなげ、地域に愛着や誇りを醸成することを目的として、街道沿線の10市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の12自治体による横断的な連携組織として設置されました。

プロジェクト～4大コンセプト

- ・訪ねたくなる街道、日本最高（最古）の感動（官道）を育む
- ・街道が地域や時代をつなぎ、つむぐ竹内街道・横大路（大道）のミュージアム化
- ・歴史の舞台を身近にあることを実感、シビック・プライドの醸成、住みたくなるまちをめざして
- ・未来に向けて魅力あふれる歴史的空間の再生・創造

アクションプログラム～骨格プログラム

- 1) 街道をつなぐ・紡ぐ（知ってもらおう。）
 - ・広報（プロモーション・共通フレーム・ロゴ・街道物語等）、地域の既存イベントと連携1400年祭（首長サミット）記念式典・市民参加型イベント
- 2) 街道をめぐる（たずねてもらおう。「あるく」「あそぶ」「楽しむ」）
 - ・ウォーキング・サイクリング、歴史を学ぶ（歴史資産・歴史博物館等）、食を楽しむ（大道ブランドなど）、フォトコンテストなど
- 3) 街道を創る（魅力あふれる街道へ。）
 - ・魅力発見プログラム（市民協働）＝コミュニティデザイン（街道を通じて、ひとのつながる仕組みをつくる）
 - ・歴史空間の保全（再生）・創造（歴まち法・景観法、みどりの一里塚・無電柱化など）

出典：活性化実行委員会 HP より抜粋

⁹ 情報源：<http://www.saikonokandou.com/>

<観点2：まちづくりの観点>

宿場等を中心に当該宿場やその周辺の魅力発信、街並み整備、来訪者に楽しんでもらえるような仕掛けの準備やイベントなどが、まちづくりと一体になって行われている。

まちづくりの観点から特徴的な事例として、「ちょっとよりみち 唐津街道むなかた」+「宗像市東部観光拠点施設 街道の駅 赤馬館」（事例としては2つであるが一体として取り組まれている）と、奥州街道の「富谷しんまちプロジェクト」を紹介する。

■ ちょっとよりみち 唐津街道むなかた／街道の駅 赤馬館¹⁰

唐津街道むなかたの事例は、街道の歴史・文化、街並みを活かしながら「街道の駅 赤馬館」を拠点に地域活性化と観光振興に向けたまちづくりを展開しているものである。

全体的な取組推進は唐津街道むなかた推進協議会（【民間】赤間地区コミュニティ運営協議会地域づくり部会、唐津街道南郷協議会、【行政】北九州国道事務所、福岡県、宗像市）が実施し、風景街道の仕組みを活用し、「来訪者にゆっくりと散策していただきながら、その魅力に親しめるまちづくり」をテーマに取組を行っている。

ちょっとよりみち 唐津街道むなかた

このルートには2つの昔ながらのなつかしいまちなみが残っています。一つは、辻井戸や造り酒屋を始めとする大きな商家など、江戸時代からの建物が多く残る、筑前21宿のひとつ「赤間宿」。一つは、まちに溢れる緑と昔ながらの民家が美しく調和するいやしの風景が広がる「原町」。

また、双方で美術が盛んで、個人美術館やギャラリーが街道沿いで営まれています。

現在、こうしたまちなみを活かしたまちづくりを進めていくべく、灯ろうの設置、道路の美化などが行われ、原町では「まちづくり協定」に基づいた建物の修景が行われています。また、2つのまちでにぎわい再生イベント「九州大道芸まつり」「赤間宿まつり」を開催しています。

今後、こうした取り組みを一層推進していくとともに、来訪者にゆっくりとまちを散策してもらう仕組みづくりや、まちの情報発信に力を入れていきたいと考えています。

出典：唐津街道むなかた推進協議会 HP

街道の駅 赤馬館は宗像の東部地域の魅力を発見してもらう情報拠点で、<ここから始まる宗像の旅>をキャッチフレーズに、観光情報コーナー、展示室、おみやげ処、喫茶・食事処などを兼ね備えている。

また、唐津街道むなかたの散策を支える次のような取組を行っている。

街道の駅 赤馬館

- ・赤間宿・唐津街道の紹介（情報発信）
- ・赤間宿周辺の有料ガイドの受付
- ・街歩きマップの作成
- ・定期季刊誌「往来」の発行（地域のイベント情報等）
- ・赤間宿まつりの際の和装着付け体験の実施 など

出典：街道の駅 赤馬館

¹⁰ 情報源①：<http://yorimiti.wawawa.org/index.html>

情報源②：<https://www.akamakan.info/>

■ 富谷しんまちプロジェクト¹¹

富谷しんまちプロジェクトは、かつて奥州街道の宿場町として栄え、400年近い歴史をもつ富屋宿であった「しんまち地区」を文化的、歴史的な地域資源として最大限活用し、富谷市の新たな観光ブランドを構築することを目的にしている。

取組の特徴は、しんまち地区を単に観光資源とするのではなく、地域の方に愛され、かつてのしんまち地区のように多くの人が行き交う場所になるような富谷市の発展の原点としてのアイデンティティを確立することを目指し、住民の理解と共感の醸成に重点を置き、富谷市民に愛される場所にするため、官民連携による協働プロジェクトとして実施していこうとしていることであり、まさにまちづくりとして街道観光の取組が行われている。

しんまち活性化協議会

「しんまち地区」のまちづくりのビジョンを示す「しんまち活性化ビジョン」を策定する上位組織。未来型交流エリアとしての「しんまち」のあり方を協議していく場とします。

○文化歴史グループ

ひと・もの・こと、しんまちの文化歴史風土を学ぶ「学びの場づくり」

開宿400年の豊かな歴史のアーカイブ

○環境整備グループ

多様な交流拠点をつなぐおもてなしの環境整備点として宿場町、線としての表通りから、面・ゾーン・エリアとしてしんまちづくり

○デザインプロジェクト2021

「魅せるまちづくり」から「歩きたくなるまちづくり」へ

デザインのチカラで魅力あるまちづくりを実践

出典：奥州街道宿場町 富谷しんまち Shinmachi Project HP

¹¹ 情報源：<https://shinmachi-tomiya.com/>

＜観点3：街道の物語の観点（街道に新しい物語の息吹を吹き込む）＞

街道観光は、人々の営みの中で培われてきた歴史や文化などに基づく「物語」が大きな魅力となっている。昔からの街道や古道の歴史・文化を踏まえながら、今日的な視点からの新しい物語をコンセプトとして打ち出そうとしている事例がある。

昔からの街道や古道の歴史・文化を踏まえながら、今日的な視点からの新しい物語を新しいコンセプトとして打ち出している特徴的な事例として、「長崎街道シュガーロード」を紹介する。

そのほか、「西の鯖街道」（西の鯖街道協議会）の取組がある。これは、人々の通った道に、再び光を当て「西の鯖街道」を新しい時代の街道として再生するために、この街道の環境保全と自然・歴史・文化資源の活用により、「自然の音が聞こえる道」として、当街道を訪れた方が「おもてなし」を体験できる交流空間を創造し、全国へ発信しようとするものである。

また、「行きたい街道日本一！ 司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく わかやま歴史物語」では、街道の歴史・文化を掘り起こし、魅力を再発見する方策として司馬遼太郎の作品を活用した事例もある。

■ 長崎街道シュガーロード¹²

シュガーロードの歴史と文化を活かし、西九州一体の地域の活性化を目指して、平成20年、長崎街道「シュガーロード連絡協議会」（事務局：長崎市商工部商工振興課）が設立された。その後、令和2年には、「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」が日本遺産に登録された。

連絡協議会には、3県（長崎、佐賀、福岡）、8市（長崎市、諫早市、大村市、嬉野市、小城市、佐賀市、飯塚市、北九州市）、民間団体及び民間事業者が加入しており、シュガーロードに関する情報の交換やPRなどを行なっている。

長崎街道「シュガーロード連絡協議会」

長崎街道シュガーロード沿線の3県8市の自治体が構成する事務局が主体となり、民間団体・企業が連携をはかり、情報交換や共同でのPR事業などを行っている。

- ・長崎街道シュガーロード GUIDE BOOK の作成
- ・長崎街道シュガーロードチラシの制作（物産展等イベントにおいて活用するためのチラシ）
- ・長崎街道シュガーロードホームページリニューアル

＜日本遺産事業＞

- ・人材育成 ガイドの育成事業
- ・普及啓発 シュガーロードシンポジウムの開催事業
- ・調査研究 マーケティング事業（オンラインツアー、海外アンケート調査、モニターツアー事業等）

出典：シュガーロード連絡協議会

¹² 情報源：<https://sugar-road.net/>

<観点4：歴史街道、風景街道、日本遺産など他の取組の仕組みの活用の観点>

歴史街道、日本風景街道、世界遺産、日本遺産などの取組の仕組みを活用、連携した街道観光の事例は多い。それらの取組の仕組みを直接活用したもの、それぞれの登録等が取組充実の契機や情報発信力の強化につながったもの等がある。2つ以上が重なっているものもある。

■ 歴史街道（出典：歴史街道推進協議会 HP）

歴史街道推進協議会は、「歴史を楽しむルート」として、日本の文化と歴史を体験し実感する旅筋をつくり内外に発信していこう、国際社会のなかで自国の文化や歴史を語れていない、という問題意識のもと、全国の広域連携・官民連携の先駆けとなる組織として1991年に設立されたもので、構成は関西の8府県をはじめ官民あわせて172団体および歴史街道計画を応援する「歴史街道倶楽部」会員約1900名（2020年9月時点）の支援により各種事業を進めている。歴史街道のメインルートは、神話のまち伊勢、古代から中世にかけての三つの都「飛鳥・奈良・京都」、元禄文化が花開いた商都「大阪」、そして明治以降の国際交流を象徴する都市「神戸」。これら日本史を代表する各地を結び、歴史の舞台を旅するルートである。

これまで歴史街道モデル事業、広域観光の振興、ウォーキングマップの作成をはじめとする多彩な事業を展開してきている。近畿には、直接・間接に関連する事例がある。

■ 日本風景街道

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とする取組である（国土交通省）。風景街道の仕組みを活用した街道観光の取組事例には、「越後米沢街道・十三峠」「西の鯖街道」「広島から愛媛へと島々をつなぐ「瀬戸内しまなみ海道」」「ちょっとよりみち 唐津街道むなかた」などがある。

■ 世界遺産

「道」に係る世界文化遺産として「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16年登録）がある。

熊野古道は、「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」の三つの霊場とそれらを結ぶ参詣道、そして自然と人の営みが長い時間をかけて形成した文化的景観が、人類共有の財産としてユネスコに認められ、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された。熊野古道には、「熊野参詣道伊勢路」「熊野参詣道紀伊路」「熊野参詣道中辺路」「高野参詣道」「大峰奥駈道」などがあり、三重県、和歌山県、奈良県、大阪府に関連するいくつかの事例がある。

■ 日本遺産

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援している（日本遺産ポータルサイト）。

収集した取組事例のうち、日本遺産になっているものとして、「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」「長崎街道シュガーロード」がある。

■ 広域観光周遊ルート

「道」に新しいコンセプトを持たせる取組として、訪日外国人を地方に誘客するため、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地をネットワーク化した広域観光周遊ルートの形成を促進し、海外へ積極的に発信する「広域観光周遊ルート形成促進事業」に基づく事例が多い。

収集した取組事例では、「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」「日本の奥の院・東北探訪ルート」「昇龍道（富山県～愛知県）」「美の伝説 THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI」「縁（えん）の道～山陰～」などがある。

表 2-3.3 街道観光に係る取組事例の概要（広域関東エリア外：1/2）

番号	調査票名	取組主体	取組の名称	情報源URL	連携種別	参考種別
1	きた北海道他 北海道・北部エリア・東部エリア (1)	JR北海道	LCCタイアップ商品「ひがし北海道フリーバス」「きた北海道フリーバス」	https://www.jrh	2	B
2	きた北海道 北海道・北部エリア (1)	きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会・稚内市	日本のてっぺん。きた北海道ルート。(広域観光周遊ルート)	https://www.cit	2	B
3	ひがし北海道 北海道・東部エリア (1)	近畿日本ツーリスト北海道とクラブツーリズム	「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」(広域観光周遊ルート周遊バス運行事業:実証運行)	https://www.kn	2	B
4	日本の奥の院・東北探訪ルート 東北広域 (1)	一般社団法人東北観光推進機構	日本の奥の院・東北探訪ルート(広域観光周遊ルート)	https://www.tol	1	B
5	日本の奥の院・東北探訪ルート 東北広域 (2)	JR東日本	東北観光推進機構「日本の奥の院・東北探訪ルート」事業と連携し 東北の観光案内所の整備・標準化を推進	https://www.jre	1	A
6	奥州街道 青森県・南部町 (1)	南部町	奥州街道文化財マップ	https://www.toy	3	C
7	奥州街道 宮城県・富谷市 (1)	富谷観光交流ステーション	古来と未来、人々がクロスする 交流ステーション(富谷観光交流ステーション)	https://tomiyad	3	C
8	奥州街道 宮城県・富谷市 (2)	富谷しんまちプロジェクト	奥州街道 宿場町 富谷しんまち(ホームページ)	https://shinmac	3	C
9	奥州街道 宮城県・大河原町 (1)	一般社団法人 大河原町観光物産協会	奥州街道プロジェクト進行中(パンフレット、御宿場印)	https://www.oo	3	A
10	鹿角街道 岩手県・八幡平市 (1)	八幡平市	八幡平市 鹿角街道WEB(観光資源情報、モデルコース)	http://www.hac	3	B
11	羽州街道 秋田県・秋田市 (1)	秋田市	秋田市街道ウォーキングのすすめ(ガイドブック、PR映像)	https://www.cit	3	B
12	羽州街道 秋田県・秋田市 (2)	秋田市	羽州街道歴史まつり	https://www.cit	3	B
13	越後米沢街道 山形県・新潟県 (1)	越後米沢街道・十三峠交流会	越後米沢街道・十三峠(モデルコース、パンフレット、トレッキングマップ)	http://mount13	1	C
14	昇龍道 富山県、石川県、岐阜県、愛知県 (1)	ドラゴンルート推進協議会	昇龍道(広域観光周遊ルート)	https://www.dr	1	B
15	北陸道 富山県・射水市 (1)	旧北陸道こすき商店街	旧北陸道こすき商店街ホームページ	https://kyuhoku	3	C
16	北国街道 富山県・滑川市 (1)	滑川市	宿場回廊めぐり(ガイドマップ)	https://www.cit	3	C
17	北国街道 石川県広域 (1)	加賀地域連携推進会議(オール加賀会議)	北国街道巡り ようこそ加賀の国 (パンフレット)	https://allkaga	2	B
18	鯖街道 福井県広域 (1)	(公社)福井県観光連盟	鯖街道を辿る旅(モデルコース)	https://www.fu	2	B
19	鯖街道 福井県・京都府 (1)	西の鯖街道協議会	西の鯖街道公式サイト(ドライブマップ、情報発信)	https://nishisab	1	B
20	鯖街道 福井県・若狭町 (1)	熊川区・若狭熊川宿まちづくり特別委員会・熊川宿伝統芸能保存会・熊川宿町並み保存伝統技術研究会・熊川宿つづく時代村実行委員会・熊川宿おもてなしの会	若狭鯖街道 熊川宿 文化と自然をたのしみ 観光・体験・暮らし情報(観光情報、広報誌、空き家対策、出店ガイド)	https://kumaga	3	C
21	おくのほそ道 岐阜県・大垣市 (1)	大垣観光協会	おくのほそ道の風景地巡礼スマホラリー	https://www.og	1	A
22	中山道 岐阜県広域 (1)	「日本歴史街道」美濃中山道連合、岐阜県	岐阜県十七宿 中山道散策ガイド	https://www.na	2	B
23	中山道 岐阜県・瑞浪市、御嵩町 (1)	中山道御嶽宿・細久手宿ウォーキング実行委員会	中山道往来 (ウォーキングイベント、フォトコンテスト)	https://matiduk	2	B
24	中山道 岐阜県・瑞浪市 (1)	大淵町コミュニティ推進協議会	大淵宿について	http://okute-sh	3	C
25	中山道 岐阜県・瑞浪市 (2)	瑞浪市観光協会	大淵宿・細久手宿(歴史紹介)	https://xn-w0y0	3	C
26	中山道 岐阜県・中津川市 (1)	(一社)中津川観光協会	観る・遊ぶ > ENJOY NAKATSUGAWA - 歴史・文化(宿場散策、モデルコース)	https://nakatsu	3	B
27	中山道 岐阜県・中津川市 (2)	馬籠観光協会	馬籠を知る	https://kiso-ma	3	C
28	中山道 岐阜県・恵那市 (1)	恵那市	中山道歩き旅マップ大井宿編	https://www.cit	3	C
29	中山道 岐阜県・美濃加茂市 (1)	美濃加茂市観光協会	中山道(太田宿)の歩き方	https://minoka	3	C
30	中山道 岐阜県・各務原市 (1)	各務原市	中山道鶴沼宿(観光施設情報)	https://www.cit	3	C
31	中山道 岐阜県・岐阜市 (1)	(公社)岐阜観光コンベンション協会	中山道 加納宿・河渡宿(ガイドマップ)	https://www.gif	3	C
32	中山道 岐阜県・瑞穂市 (1)	瑞穂市	瑞穂市の紹介(中山道に関する史跡)	https://www.cit	3	C
33	中山道 岐阜県・関ヶ原町 (1)	関ヶ原古戦場おもてなし連合(関ヶ原観光協会 事務局)	モデルコース > 中山道を巡るコース	https://www.se	3	C
34	中山道・美濃路 岐阜県・大垣市 (1)	大垣観光協会	中山道赤坂宿 ウォーキング・ボタリング	https://www.og	3	C
35	中山道・美濃路 岐阜県・垂井町 (1)	垂井町	垂井町観光ガイド(モデルコース、謎解きイベント)	http://www.taru	3	C
36	飛騨街道 岐阜県・下呂市 (1)	萩原町観光協会(下呂市)	"飛騨街道萩原宿"ガイドマップ 岐阜県下呂市のおいしい新発見	https://hgwit.jp	3	C
37	飛騨街道 岐阜県・下呂市 (2)	金山町観光協会	飛騨街道金山宿 筋骨めぐり(散策マップ、ガイドツアー)	http://hidakana	3	C
38	飛騨街道 岐阜県・下呂市 (3)	下呂温泉観光協会	飛騨街道 天領朝市 (情報発信)	https://www.ge	3	C
39	中馬街道 岐阜県・土岐市 (1)	土岐市	中馬街道(散策マップ)	https://www.cit	3	C
40	本坂道 静岡県・浜松市 (1)	浜松市姫様道中実行委員会	浜松市姫様道中	https://himesar	3	B
41	東海道 静岡県広域 (1)	一般社団法人 静岡県信用金庫協会	東海道で結ぶ御宿場めぐり	https://shizuok	2	A
42	東海道 静岡県・静岡市、藤枝市 (1)	静岡市(観光交流文化局 観光・MICE推進課)	しずおか東海道まちあるき(宿場の散策案内、施設・スポット紹介)	https://shizuok	2	B
43	東海道ほか 愛知県広域 (1)	愛知県街道観光推進協議会	「御宿印めぐり」キャンペーン	https://www.pr	2	A
44	東海道 愛知県・豊橋市 (1)	豊橋市	二川宿・吉田宿の「宿場印」を販売します	https://futagaw	3	A
45	東海道 三重県・亀山市 (1)	(一社)亀山市観光協会	亀山宿、関宿、坂下宿の宿場印を販売しています。	http://kumagai	3	A
46	東海道 三重県・亀山市 (2)	三重県観光連盟	関宿を歩く(モデルコース)	https://www.ka	3	C
47	熊野古道 三重県広域 (1)	三重県(地域連携部南部地域活性化局 東紀州振興課)	熊野古道伊勢路(コース紹介、動画、マップ・パンフレット、スタンプラリー)	https://www.ko	2	B
48	熊野古道 三重県広域 (2)	熊野古道世界遺産登録10周年事業 三重県実行委員会	熊野古道伊勢路踏破ウォーク	http://higashiki	2	C
49	熊野古道 三重県広域 (3)	東紀州地域振興公社	熊野古道・伊勢路手形ラリー	https://www.ku	2	B
50	初瀬街道 三重県・伊賀市 (1)	伊賀上野観光協会	初瀬街道まつり	https://www.iga	3	B
51	伊勢本街道 三重県・松阪市 (1)	松阪市観光協会	伊勢本街道 寄り道マップ	https://www.ma	3	C
52	歴史街道 近畿広域 (1)	歴史街道推進協議会	街道を歩く 歴史街道	https://www.re	1	A
53	世界遺産周遊 近畿広域 (1)	関西観光本部	美の伝説 THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI (広域観光周遊ルート)	https://ktb.icld	1	B
54	東海道 滋賀県・甲賀市 (1)	甲賀市観光まちづくり協会	「土山城御城印」東海道土山宿御宿場印販売開始!	https://koka-ka	3	A
55	北国街道 滋賀県・長浜市 (1)	北国街道きのもと宿祭り実行委員会	きものとつぼ 北国街道木之本宿ホームページ	https://kinomot	3	C
56	山背古道 京都府・城陽市 (1)	城陽市	山背古道(やましろこう)ガイドブックマップについて	https://www.cit	2	B
57	熊野古道 大阪府・和歌山県(1)	株式会社日本ユニスト、和歌山大学	「熊野街道」宿場町再現や観光商品開発に向け大学と企業が共同研究を開始	https://www.n-	1	A
58	熊野古道 奈良県、和歌山県 (1)	熊野本宮観光協会	熊野古道	https://www.ho	1	C
59	熊野古道 奈良県、和歌山県 (2)	和歌山県観光連盟	高野巡り・熊野古道 街道マップ	https://www.wa	1	B
60	葛城修験の道 大阪府、奈良県、和歌山県 (1)	葛城修験日本遺産活用推進協議会	日本遺産 葛城修験 一人ひとりに守り伝える修験道はじまりの地(葛城修験道ストーリー、構成文化財、周遊マップ、モデルコース、パンフレット)	https://katsura	1	B
61	葛城修験の道 大阪府、奈良県、和歌山県 (2)	葛城修験日本遺産活用推進協議会、柳ヤマップ	日本遺産「葛城修験」をめぐる『巡礼の旅』を提案	https://prtimes	1	B
62	竹内街道・横大路(大道) 大阪府、奈良県他 (1)	竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会	竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道活性化プロジェクト	http://www.saik	1	A
63	京街道 大阪府・枚方市 (1)	一般社団法人枚方宿くらわんか五六市	枚方宿くらわんか五六市	https://www.go	3	C
64	京街道 大阪府・枚方市 (2)	枚方市	京街道枚方宿～京都・大阪の中継地～(ガイドマップ)	https://www.cit	3	C
65	西国街道 大阪府・高槻市 (1)	(公社)高槻市観光協会	散策モデルコース > 西国街道(芥川宿)コース	https://www.tak	3	C
66	柳生街道 奈良県・奈良市 (1)	近畿日本鉄道株	てくてくマップ 柳生街道	https://www.kir	3	C
67	柳生街道 奈良県・奈良市 (2)	奈良市	柳生街道(YAGYU KAIDO) 静寂 古道 体感(ガイドブック、マップ、PR動画)	https://www.cit	3	B
68	古座街道 和歌山県広域 (1)	和歌山県(観光振興課)	行きたい街道日本一! 司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく わがやま歴史物語 (モデルコース)	http://wakayam	2	B
69	古座街道 和歌山県・古座川町 (1)	「やまさき屋旅館」(古座川町高池)	「古座街道」でマルシェ	http://kyodoshi	3	B

凡例

連携種別 1…広域連携 2…地域間連携 3…地域

参考種別 A…広域連携の参考になる事例 B…他地域の参考になる事例 C…街道観光につながる取組事例

表 2-3.3 街道観光に係る取組事例の概要（広域関東エリア外：2/2）

番号	調査標名	取組主体	取組の名称	情報源URL	連携種別	参考種別
70	縁の道～山陰～鳥取県、島根県、山口県(1)	一般社団法人 山陰インバウンド機構	縁(えん)の道～山陰～(広域観光周遊ルート)	https://www.sai	1	B
71	しまなみ 鳥根県、広島県、愛媛県(1)	しまなみ・中国やまなみ沿線観光協会 連絡協議会	「しまなみ」(瀬戸内しまなみ海道・中国やまなみ街道)	https://syaman	1	B
72	中国やまなみ街道 鳥根県、広島県(1)	広島県・鳥根県観光連携協議会	第3回 やまなみ街道 サイクルスタンプラリー	https://yamanar	1	B
73	中国やまなみ街道 鳥根県(1)	(公社)鳥根県観光連盟	尾道松江線「中国やまなみ街道」	https://www.ka	2	B
74	銀山街道 鳥根県、広島県(1)	公益社団法人 鳥根県観光連盟	銀の道ツーリングマップ	https://www.ka	1	B
75	銀山街道 鳥根県・美郷町(1)	美郷町観光協会	銀山街道を知る(パンフレット)	https://www.mi	3	C
76	因幡街道 岡山県・美作市(1)	因幡街道 大原観光案内所	大原宿観光サイト 大原宿まち歩き	http://ohara-ka	3	C
77	瀬戸内しまなみ海道 広島県、愛媛県(1)	(一社)広島県観光連盟、広島市	広島から愛媛へと鳥々をつなぐ「瀬戸内しまなみ海道」	https://dive-hir	1	B
78	西国街道 広島県・広島市(1)	広島市中区地域起こし推進課	ほうじゃ! 西国街道で遊ぼう	https://www.cit	3	B
79	西国街道 広島県・広島市(2)	まちなか西国街道推進協議会	まちなか西国街道推進協議会	https://machina	3	A
80	ひろしま八区ぐるっと散策 広島県、広島市(1)	広島市企画総務局 地域活性化調整部	ひろしま八区ぐるっと散策「みちめぐり(街道紹介、パンフレット紹介)」	https://www.cit	3	C
81	赤間関街道 山口県・萩市、下関市、長門市、美弥市(1)	山口県立山口博物館	映像で見る防長の街道【公式】山口博物館(動画)	https://www.ya	2	C
82	赤間関街道 山口県・美弥市(1)	一般社団法人山口県観光連盟	古地図を片手にまちを歩こう(電子マップ、ガイドツアー)	https://yamaagu	3	A
83	萩往還 山口県・萩市、山口市、防府市(1)	萩往還観光誘致制度創設委員会	歴史の道 萩往還(ルートマップ、名所・旧跡案内、パンフレット、ガイド)	https://hagi-oka	2	B
84	四国遍路 徳島県、香川県、愛媛県、高知県(1)	(一社)四国八十八ヶ所霊場会	お遍路とは?	http://88shikok	1	B
85	土佐街道 愛媛県・四国中央市(1)	四国中央市観光協会	龍馬も歩いた土佐街道～四国中央市 歴史の道のご案内～(パンフレット)	http://www.shik	3	C
86	陶街道五十三次 愛媛県・砥部町(1)	砥部町観光協会	陶街道五十三次(スタンプラリー)	http://www.toby	3	B
87	土佐塩の道 高知県・香美市(1)	香美市	土佐塩野道(PR動画、ガイド、パンフレット)	https://www.cit	3	B
88	橋原街道 高知県・橋原町(1)	橋原町役場	龍馬脱藩の道・維新の道(街道紹介)	http://www.tow	3	C
89	長崎街道 福岡県、佐賀県、長崎県他(1)	シュガーロード連絡協議会	長崎街道シュガーロード	https://sugar-ro	1	A
90	長崎街道 福岡県・飯塚市(1)	(一社)飯塚観光協会	長崎街道歩こうマップ	http://kankou-i	3	C
91	長崎街道 福岡県・飯塚市(2)	いいつか街道まつり実行委員会(事務局・飯塚観光協会)	筑前の國 いいつか街道まつり	http://e-search	3	B
92	長崎街道 佐賀県・神埼市(1)	長崎街道かんざき宿場まつり実行委員会	長崎街道かんざき宿場祭り つなぐくしたPROJECT	https://kushida	3	B
93	長崎街道 長崎県・大村市(1)	長崎街道大村藩宿場まつり実行委員会((一社)大村市物産振興協会)	長崎街道大村藩宿場まつり	http://www.omu	3	B
94	薩摩街道 福岡県・筑後市(1)	筑後市観光協会	薩摩街道文学碑巡り(情報発信)	https://chikugo	3	C
95	薩摩街道 熊本県・鹿儿島県(1)	鹿儿島県	薩摩街道(出水筋)マップについて	https://www.pri	1	A
96	唐津街道 福岡県・宗像市(1)	唐津街道むなかた推進協議会(宗像市)	ちよっとよみち 唐津街道むなかた	http://yorimiti.v	3	C
97	唐津街道 福岡県・宗像市(2)	街道の駅 赤馬館	宗像市東部観光拠点施設 街道の駅 赤馬館	https://www.ak	3	C
98	中津街道 福岡県・築上町(1)	築上町(中津街道保存活用検討委員会)	中津街道保存活用計画書(計画策定)	https://www.tou	3	B
99	中津街道 福岡県・築上町(2)	築上町	中津街道 椎田宿 史跡散歩ガイド(リーフレット、ロゴマーク)	https://www.ch	3	C
100	島原半島うみやま街道 長崎県(1)	NPO法人 道守長崎	日本風景街道 島原半島うみやま街道 ～歴史と水と温泉のまち～	https://www.mi	2	B
101	日向往還 熊本県、宮崎県(1)	九央道沿線地域活性化事業実行委員会	日向往還	https://hyuga-o	1	B
102	豊前街道 熊本県・山鹿市(1)	山鹿温泉観光協会	The豊前街道(観光情報サイト)	https://www.y-k	3	B
103	豊前街道 熊本県・山鹿市(2)	下町惣門会(申込先:山鹿温泉観光協会)	山鹿の米米惣門ツアー	http://comecom	3	B
104	豊前街道 熊本県・山鹿市(3)	街道浪漫実行委員会、NPO法人山鹿もてなしたい(共催)	第5回 やまが豊前街道まるごとマルシェ 街道浪漫～歴史を遊ぶ～	https://www.tar	3	B
105	豊前街道 熊本県・山鹿市(4)	山鹿市	山鹿市企業版ふるさと納税活用事業	https://www.cit	3	C
106	豊後(肥後)街道 熊本県・菊陽町(1)	菊陽町	菊陽町文化財ツーリズム「人の道・水の道」	https://www.kik	3	C
107	豊後(肥後)街道 大分県・大分市(1)	野津原町商工会	肥後街道 ～加藤清正公が築いた歴史街道～(情報発信、ルートマップ)	http://notsuhar	3	C
108	豊後(肥後)街道 大分県・大分市(2)	おおいた遺産活性化委員会	野津原今市の石畳(おおいた遺産)	http://oitaaisan.c	3	C
109	中城ハタタ道 沖縄県・中城村(1)	中城村観光協会	中城ハタタ道マップ	https://www.na	3	C

凡例

連携種別 1…広域連携 2…地域間連携 3…地域

参考種別 A…広域連携の参考になる事例 B…他地域の参考になる事例 C…街道観光につながる取組事例

2-3-2 好事例の詳細調査（広域関東エリア外）

1) 好事例の抽出の観点（広域関東エリア外）

本事業での好事例についても基本的には、広域関東エリア内と同様の視点とし、まず江戸街道プロジェクトの趣旨である「地域連携」を念頭に、「街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討」（7章を参照）の読み手として想定する「観光地域づくり法人（DMO）」への知見の横展開を想定し、取組がイメージしやすい連携の区分を踏まえて選定した。

＜参考＞観光地域づくり法人（DMO）の登録区分について（観光庁 WEB サイトより）

「広域連携（広域連携 DMO）」

- ・地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。

「地域間連携（地域連携 DMO）」

- ・複数の地方公共団体に跨がる区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。

「地域連携（地域 DMO）」

- ・原則として、基礎自治体である単独市町村の区域を一体とした観光地域として、マーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

本項での広域関東エリア外での事例の深掘りは、観光入込客数や観光消費額などに一定の成果をもった事例を中心に好事例として注目した。

以上の視点から、前項で示した様々なパターンをもった取組みを示す目的で、WEB 調査を通じて把握した広域関東の各事例の中から、以下の5つの事例について深掘りして取組みを把握することとした。

表 2-3.4 抽出した好事例と調査概要

	取組み箇所・事業名	実施主体	実施方法	取組区分	観点
①	昇龍道プロジェクト	中部運輸局	訪問	広域連携	取組主体
②	シュガーロード	長崎市	オンライン	地域間連携	取組主体
③	古地図を片手にまちを歩こう	山口県観光連盟	オンライン	地域間連携	取組主体
④	西国街道	まちなか西国街道推進協議会	電話取材、資料提供	地域間連携	まちづくり
⑤	大垣市	中山道赤坂宿まちづくりの会	文献調査	地域間連携	まちづくり

2) 好事例の詳細調査結果（広域関東エリア外）

① 昇龍道プロジェクト

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	昇龍道プロジェクト
対象	中部運輸局
区分	広域連携
観点	事業主体

項	収集内容
A	「昇龍道プロジェクト」の取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からのインバウンドを推進するためのプロジェクト。 事務局は、中部運輸局、北陸信越運輸局、（一社）中央日本総合観光機構の3者。 中央日本総合観光機構は、前進団体である中部広域観光推進協議会をベースに広域観光DMOとして発足。 協議会は会員制とし、インバウンド誘致に向けた志のある方々が会員として登録（会費等は発生していない）。現在の会員は約2千者強。 会長には、中部経済連合会の会長、副会長には、北陸経済連合会の会長が就任している。 昇龍“道”と道としているが、Roadという捉え方ではなく、エリアと考えて活動している（北海道の「道」の使い方と同様の意味）。 発足当時は、中華圏を中心に、中部北陸9県の知名度向上、海外からの誘客に向けた取組（招請事業、海外旅行博への出展事業等）を実施。 現在は、定期的なメールマガジンの発行、宿泊旅行統計を活用した分析、勉強会の開催等を実施。コロナ前まで実施していた「地域プロモーション事業」が消滅したことにより、事務局が中心となって行うプロモーションはほぼ激減。 コロナ禍では、インターネットを通じた地域製品の紹介・販売やバーチャル旅行気分が味わえる動画の配信など、おうちにいながら地域の魅力を感じられるコンテンツ発信「ちいきのちから（おうちで昇龍道）」を展開した。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<ul style="list-style-type: none"> 部会と分科会が設置されており、部会は、主に海外市場毎のプロモーションについて、分科会は、主にインバウンドの受入環境整備について、協議等しており、それぞれのテーマに興味のある会員が参加。会員同士のネットワークの強化にも繋がっている。
C	街道活用の今後の展望
	<ul style="list-style-type: none"> 発足後11年が経過する中で、中華圏を中心とした東アジア・東南アジアでの認知はある程度向上したものと思慮しているが、欧米豪市場への展開をどうしていくか（キャッチフレーズやブランド名称含めて）が今後の課題。 また、広域DMOである中央日本総合観光機構の管轄エリアと昇龍道プロジェクトのエリアが重複しており、事務局機能も含めて中央日本総合観光機構を中心に展開したいが、中央日本総合観光機構の予算・人員が少ないことも課題となっている。
D	その他
	<ul style="list-style-type: none"> 昇龍道が別の団体により商標登録をされてしまっているため、発足時における確認は重要。 ロゴ使用は、地域の宣伝活動（営利を目的としない活動）であれば、基本的に活用は自由としている。ただし、事務局への使用申請は必要。

② シュガーロード

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	シュガーロード
対象	長崎市
区分	地域間連携
観点	事業主体
街道	長崎街道（脇往還）

項	収集内容
A	「シュガーロード」の取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県—佐賀県—長崎県の8市（長崎市、諫早市、大村市、嬉野市、小城市、佐賀市、飯塚市、北九州）で取り組む。 令和2年に日本遺産に認定、認定から3年間、ガイド育成による観光客受入体制の強化、学校との連携によるシビックプライドの醸成、展示会イベントによる周知啓発などに注力。 海外貿易の窓口であった長崎と小倉をつなぐ長崎街道沿いの地域には、砂糖や外国由来の菓子が多く流入した歴史をフックとして「長崎街道沿い独特の食文化、個性ある砂糖文化」をテーマに地域間で連携。 令和4年度は、PR動画を作成（財源は8市で負担）。 連携することにより、PRの単位を大きくすることで、魅力を拡大して伝えることができる以外にも、8市が互いの特産品を紹介し合うことができる。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議を年2回程度、総会を年1回程度開催している。 旅行会社から商品化の企画提案があった。
C	街道活用の今後の展望
	<ul style="list-style-type: none"> 今後の展開として、日本遺産認定を活用してブランド化を高めていきたい。 現在の課題としては、国の日本遺産の支援期間が認定後3年間であり、その後、国の支援がない中で取組を定着・強化していく必要がある。 事業継続の財源も問題として挙がる。
D	その他
	<ul style="list-style-type: none"> 特定の商品が協議会のオススメとしてPRすることは、行政主体の性質上、行っていない。

③ 古地図を片手にまちを歩こう

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	古地図を片手にまちを歩こう
対象	山口県観光連盟
区分	地域間連携
観点	事業主体
街道	山口県内の街道・市中

項	収集内容
A	「古地図を片手にまちを歩こう」の取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・幸いに震災も自然災害も少なかったため、長州藩の当時の地図が残されていた。 ・平成30年、明治維新150年の機会に向けて取り組みを開始。 ・意外と古地図が好きな人は多く、地元の方も関心を持ってくれた。 ・古地図から入ることで、街道歩きの層とは別のターゲットに顧客の間口が広がった（ちなみに、古地図のガイドも新たに広がった取組）。若い世代も来てくれたという声があった。 ・事業活動の財源は「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」が拠出。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<ul style="list-style-type: none"> ・従前からガイド団体とのコミュニケーションがあった。 ・基本的には活動はおまかせしている。 ・数年にわたり、古地図の勉強会を実施、ガイドウォークなどのスキル向上に努めた。 ・地域間連携のポイントとしては、意欲があるところと積極的に連携したところ。 ・隣県も事業エリアに含めている。
C	街道活用の今後の展望
	<ul style="list-style-type: none"> ・追加のコースを市町やガイド団体に募集すると多くの提案があり、活動に手応えを感じている。 ・課題は、事業の継続。
D	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

④ 西国街道

項	ヒアリング対象箇所の情報
取組	まちなか西国街道
対象	まちなか西国街道推進協議会
区分	地域連携
観点	事業主体
街道	西国街道（脇往還）

項	収集内容
A	<p>「まちなか西国街道」の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島駅周辺から平和記念公園の間は、原爆で街そのものが一度破壊されていることもあり、一見して旧街道と認識するのは難しく、それゆえ広島の人々にすらく知られていない。 ・しかし、広島を紡いできた西国街道には、今も当時の面影を色濃く残す景観やそこに暮らす人たちがいることから、まちなか西国街道推進協議会では、広島市中心部の東西の核である両地区の賑わいを都市全体に広げることを目的として西国街道の可視化に向けた活動に取り組む。 ・地域と地域をつなげるまちづくりの貴重な礎として「西国街道」を捉え、過去から現在へとつながる西国街道についての歴史を日本語と英語で併記した「文化の大動脈・西国街道マップ」として西国街道マップを制作。統一したロゴマークを活用し、来訪者が歩いて見て分かる西国街道にする取組。 <p>【道路標示・案内板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前大橋北詰めの歩道に西国街道をデザイン化した案内板を設置。また、「まちなか西国街道」ランドデザインを制作し、道路整備（色分けなど）での可視化を広島市道路計画課と協議。 <p>【マンホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市下水道局へ働きかけ、西国街道をかたどったマンホールを街道沿いに配置。デザインは広島市・広島市立大学芸術学部の協働制作。 <p>【のぼり・ステッカー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか西国街道」ロゴののぼりやステッカーを作成・配布・設置により、西国街道の存在について周知。多くの場所に、統一したステッカーを張ってもらえるよう、該当地域の市民へ働きかける。
B	<p>地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の市民や、商店街や市役所など、様々な背景を持つ地域住民と有識者が集まり西国街道準備委員会を設置 ・地域が自発的に行っているまちづくりとして、新聞にも掲載された。 ・広島市長の応援をうけ、広島市が西国街道マップの増刷。 ・地域の学校への出前授業を通じて、郷土の歴史・郷土愛を育む ・西国街道に伝統的に受け継がれてきた地域の伝統工芸と連携し、現代風アレンジするなどした「まちなか西国街道」ブランドを発足 ・そのほか、ホームページの制作、SNSでの拡散、西国街道DVDの作成・公開に取り組む。 ・中国新聞をはじめ、地元情報媒体と連携してプレスリリースなどを発信。
C	<p>街道活用の今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、ひろしま都心活性化プラン（都心の地区計画の見直し、駅・紙屋町・西国街道の歩行環境整備、等）の実施に向けて展開。



⑤ 大垣市

項	調査対象箇所の情報
取組	中山道赤坂宿まちづくりの会
対象	岐阜県大垣市
区分	地域連携
観点	事業主体
街道	中山道

項	収集内容
A	「中山道赤坂宿まちづくりの会」の取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え等により歴史的な雰囲気失われていくなか、行政の説明会等を契機に地元住民が主体となり「中山道赤坂宿まちづくりの会」を設立。 ・「まちなみ調査」の実施、「お嫁入り普請探訪館」の運営、勉強会の開催等の活動。
B	地域団体・民間企業との連携（民間主体の場合は行政との連携）
	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を重ねたことで取組への住民理解が確保された。 ・自治会を通じて地縁関係者を重視し、合意形成に最大限留意して進めてきた。 ・大垣市からの協力があり、補助金の確保を通じて先進地視察や勉強会に住民参加。
C	街道活用の今後の展望
	<ul style="list-style-type: none"> ・古い町並み（家屋）の保存と核となる資源が少ないため市内に点在する資源の連携。 ・60代以上が中心であり、後継者の養成が課題。 ・今後は、何らかの収益事業や企業からの支援金など、市からの補助金に頼らない収入源の確保の検討が必要。
D	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

2-4 旅行メディアにおける街道観光の取り上げ方について

1) 調査手法

街道観光が旅行メディアにおいてどう取り上げられているかについて調査を行った。

対象とする旅行メディアは、日本観光振興協会による「2022年観光関連サイト推計閲覧者数ランキング¹³」の〔旅行・交通〕のWEBサイトにおいて、PCからの推計閲覧者数ランキング(図2-4.1)とスマートフォンからの閲覧者数ランキング(図2-4.2)において、それぞれの〔メディア〕カテゴリの上位5サイトを選定した。また、日本語化が進んでいるインバウンド向け旅行情報サイトを追加した。重複や同一リソースのサイトを除き、調査の対象とした旅行メディアは以下のとおりである。

- ①じゃらんnet (<https://www.jalan.net/>) (※aumo)
- ②楽天トラベル (<https://travel.rakuten.co.jp/>)
- ③一休.com (<https://www.ikyuu.com/>) (※Yahoo!トラベル)
- ④ウォーカープラス (<https://www.walkerplus.com/>)
- ⑤MATCHA (<https://matcha-jp.com/jp>)
- ⑥ジャパン・トラベル (<https://japantravel.co.jp/>)
- ⑦Travel Japan (JNTO) (<https://www.japan.travel/jp/>)

rank	サイト	サイト名	カテゴリ	2022年	2021年	前年比
				推計閲覧者数	推計閲覧者数	
1	www.jalan.net	宿・ホテル予約 じゃらんnet	メディア	30,300,000	27,800,000	109.0%
2	travel.rakuten.co.jp	楽天トラベル	メディア	29,000,000	25,300,000	114.6%
3	www.ikyuu.com	一休.com	メディア	17,600,000	12,700,000	138.6%
4	www.jreast.co.jp	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	製品・サービス	17,500,000	15,900,000	110.1%
5	www.jal.co.jp	日本航空 (JAL)	ショッピング	16,900,000	14,400,000	117.4%
6	www.ana.co.jp	全日本空輸 (ANA)	ショッピング	16,600,000	14,800,000	112.2%
7	www.tripadvisor.jp	トリップアドバイザー	クチコミ・掲示板	14,800,000	11,400,000	129.8%
8	www.jtb.co.jp	ジェイティービー (JTB)	ショッピング	14,300,000	10,700,000	133.6%
9	travel.yahoo.co.jp	Yahoo! トラベル	メディア	13,800,000	11,000,000	125.5%
10	aumo.jp	aumo	メディア	13,600,000	11,900,000	114.3%
11	www.booking.com	Booking.com [オンラインホテル予約]	ショッピング	12,400,000	8,550,000	145.0%
12	asp.hotel-story.ne.jp	ホテル旅館予約 (ASP)	ショッピング	11,700,000	9,930,000	117.8%
13	www.eki-net.com	エキネット	ショッピング	11,100,000	8,190,000	135.5%
14	retrip.jp	RETRIP[リトリップ]	メディア	10,600,000	9,550,000	111.0%
15	www.walkerplus.com	ウォーカープラス Walkerplus	メディア	10,400,000	8,770,000	118.6%
16	4travel.jp	旅行のクチコミ、フォートラベル	クチコミ・掲示板	10,200,000	7,770,000	131.3%
17	nta.co.jp	日本旅行	ショッピング	10,100,000	6,400,000	157.8%
18	www.jr-udekake.net	JRおでかりネット	メディア	9,830,000	7,640,000	128.7%
19	www.his-j.com	エイチ・アイ・エス	ショッピング	9,550,000	6,130,000	155.8%
20	www.agoda.com	smarter hotel booking - agoda	ショッピング	9,040,000	5,650,000	160.0%

※バリエーション保有率での出現率を基に、国内ネット人口に照して20歳以上の人数を推測。 ©VALUES, inc.

図 2-4.1 [旅行・交通] WEB サイト PC からの推計閲覧者数ランキング

rank	サイト	サイト名	カテゴリ	2022年	2021年	前年比
				推計閲覧者数	推計閲覧者数	
1	www.jalan.net	宿・ホテル予約 じゃらんnet	メディア	31,900,000	25,100,000	127.1%
2	travel.rakuten.co.jp	楽天トラベル	メディア	29,300,000	21,100,000	138.9%
3	www.jreast.co.jp	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	製品・サービス	21,000,000	18,200,000	115.4%
4	www.jal.co.jp	日本航空 (JAL)	ショッピング	14,100,000	10,900,000	129.4%
5	www.ana.co.jp	全日本空輸 (ANA)	ショッピング	14,100,000	11,600,000	121.6%
6	www.walkerplus.com	ウォーカープラス Walkerplus	メディア	13,700,000	9,210,000	148.8%
7	aumo.jp	aumo	メディア	12,700,000	11,400,000	111.4%
8	www.jrepoint.jp	JRF POINT	製品・サービス	12,300,000	10,200,000	120.6%
9	www.ikyuu.com	一休.com	メディア	12,200,000	8,790,000	138.8%
10	www.jtb.co.jp	ジェイティービー (JTB)	ショッピング	11,700,000	7,990,000	146.4%
11	www.his-j.com	エイチ・アイ・エス	ショッピング	10,400,000	7,620,000	136.5%
12	retrip.jp	RETRIP[リトリップ]	メディア	10,400,000	9,370,000	111.0%
13	www.tripadvisor.jp	トリップアドバイザー	クチコミ・掲示板	10,300,000	8,320,000	123.8%
14	travel.yahoo.co.jp	Yahoo! トラベル	メディア	10,300,000	6,990,000	147.4%
15	www.asoview.com	asoview!	メディア	10,200,000	7,800,000	130.8%
16	www.eki-net.com	エキネット	ショッピング	9,810,000	7,970,000	123.1%
17	www.booking.com	Booking.com [オンラインホテル予約]	ショッピング	9,460,000	5,810,000	162.8%
18	www.jr-udekake.net	JRおでかりネット	メディア	8,950,000	6,750,000	132.6%
19	asp.hotel-story.ne.jp	ホテル旅館予約 (ASP)	ショッピング	8,560,000	7,220,000	118.6%
20	nta.co.jp	日本旅行	ショッピング	7,690,000	4,850,000	158.6%

※バリエーション保有率での出現率を基に、国内ネット人口に照して20歳以上の人数を推測。 ©VALUES, inc.

図 2-4.2 [旅行・交通] WEB サイトスマートフォン推定閲覧者数ランキング

¹³ 日本観光振興協会 HP

(<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/upload/files/autoupload/2023/02/1676353334.pdf>)

2) 調査結果

① じゃらんネット

<街道観光の取扱いの有無>

じゃらんネットはオンラインでの宿・ホテルやアクティビティ体験の検索、予約を目的としたサイトある。また、観光スポットやご当地グルメなどを検索する機能も有している。

観光スポットのジャンルとして「観光施設・名所巡り」>「旧街道」の項目が設定されており、ランキングを表示することができる。

<検索方法>

[トップページ] > [観光ガイド] > [エリア選択] > [観光スポット] と進み、[ジャンル] の絞り込みから [観光施設・名所巡り] > [旧街道] と選ぶことで、ランキングを表示することができる。表 2-4.1 から 10 に各地方のランキングページを示す。

ランキングページでは図 2-4.3 のように、シーズンもしくはタイプを選択することにより、順位の並び替えを行うことができる。



図 2-4.3 選択画面

<街道観光の取り上げ方について>

ランキング画面に到達するまでに細かい検索が必要なものの、旧街道というジャンルでしっかりと取り扱っている。

北海道では「赤松街道（日本の道百選、歴史街道）」が3位にランキングされており、その他、新しい街道として、2位にオホーツク・リラ街道（旧国鉄線路跡地の町道）、4位に芝桜花街道（道道網走川湯線の愛称）がランキングされている。

東北では「松前街道」が1位、「萱野峠（越後米沢街道十三峠）」が2位、「七ヶ宿街道」が3位、「六十里越街道」が5位にランキングされている。

関東では「日光街道」が1位、「箱根旧街道」が2位、「東海道品川宿」が3位、「会津西街道」が5位にランキングされている。

甲信越では1位から5位まで全て「中山道」がランキングされているが、それぞれ1位が奈良井宿エリア、2位が福島宿エリア、3位が追分宿エリア、4位が妻籠宿・馬籠宿エリア、5位が八幡宿・望月宿エリアでランキングされている。

北陸では木ノ芽峠（北陸道）が1位、「白ヶ峰往来（歴史の道百選）」が5位にランキングされており、その他、古道として木ノ芽古道が3位、深坂古道が4位にランキングされている。

東海では2・4・5位に「中山道」がランキングされているが、それぞれ2位が赤井宿・垂井宿エリア、4位が大湫宿エリア、5位が大井宿エリアでランキングされている。また、3位には「箱根旧街道」がランキングされている。

関西では1・3位に「熊野古道」がランキングされているが、それぞれ1位が紀伊路エリア、3位が中辺路エリアでランキングされている。また、2位には「中山道」の鳥居宿・高宮宿エリア、4位には「中山道守山宿」がランキングされている。

中国（山陰山陽）では2位に「出雲街道」、3位に「智頭往来」、4位に「津和野街道」、5位に黒瀬街道の常夜灯がランキングされている。

四国では「丸亀街道」が1位、「高松街道」が3位、「伊予・土佐街道」が4位にランキングされている。また、こんびら街道が丸亀街道の別称として5位にランキングされている。

九州では「豊前街道」が1位、「長崎街道」が4位にランキングされている。その他に、豊後・肥後街道の宿場町である今市宿の今市石畳が2位に、長崎街道の一部である曲里の松並木が3位、豊後・肥後街道の一部である二重峠石畳が5位にランキングされている。

表 2-4.1 北海道シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

	<p>観光ガイド×北海道×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り＞旧街道】</p> <p>■シニアにオススメランキング</p> <p>(北海道の旧街道ランキング TOP5 - じゃらん.net (jalan.net))</p>																									
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 石北峠 所在地を確認する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 60%;">  <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">石北峠</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>評価分布</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>満足</td> <td style="text-align: right;">13%</td> <td style="width: 50px;"><div style="width: 13%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td style="text-align: right;">32%</td> <td><div style="width: 32%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td style="text-align: right;">48%</td> <td><div style="width: 48%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td style="text-align: right;">3%</td> <td><div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td style="text-align: right;">3%</td> <td><div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>子連れ</td> <td style="text-align: right;">☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td style="text-align: right;">★★★★☆ 3.8</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td style="text-align: right;">☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td style="text-align: right;">★★★★☆ 3.3</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td style="text-align: right;">★★★★☆ 3.0</td> </tr> </table> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">北見の案内図</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">石北峠</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">1</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px; color: orange;">▶ 石北峠の写真をもっと見る (29枚)</p> <div style="margin-top: 15px;"> <p style="color: orange;"> </p> <p>石北峠について</p> <p style="font-size: x-small;">大雪国道中の最高標高地。広大な樹海を眼下に、雄阿寒岳・雄阿阿寒岳を望む。</p> </div> </div>	満足	13%	<div style="width: 13%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>	やや満足	32%	<div style="width: 32%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>	普通	48%	<div style="width: 48%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>	やや不満	3%	<div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>	不満	3%	<div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	★★★★☆ 3.8	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	★★★★☆ 3.3	一人旅	★★★★☆ 3.0
満足	13%	<div style="width: 13%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>																								
やや満足	32%	<div style="width: 32%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>																								
普通	48%	<div style="width: 48%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>																								
やや不満	3%	<div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>																								
不満	3%	<div style="width: 3%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	★★★★☆ 3.8																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	★★★★☆ 3.3																									
一人旅	★★★★☆ 3.0																									

表 2-4.1 北海道シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>2</p>	<div data-bbox="399 206 622 235"> <p>オホーツク・リラ街道</p> </div> <div data-bbox="1117 206 1244 235"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="411 250 1244 873">  <div data-bbox="973 250 1236 448"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>100%</td> <td><div style="width:100%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="414 627 1236 873">  </div> <div data-bbox="877 884 1244 907"> <p>オホーツク・リラ街道の写真をもっと見る (5枚)</p> </div> <div data-bbox="399 929 718 963"> <p>オホーツク・リラ街道について</p> </div> <div data-bbox="399 974 1244 1041"> <p>旧国鉄線跡地を町道「オホーツク・リラ街道」として整備され、ライラック約600本が植えられました。近年はボランティアによる活動が盛んで、並木の間の花壇に、様々な草花を植栽しています。また平成11年には、エゾヤマザクラが植樹され、「千本桜並木」として整備されました。エゾヤマザクラの見ごろは5月中旬、リラの見ごろは6月中旬。</p> </div> </div>	満足	0%	<div style="width:0%;"></div>	やや満足	0%	<div style="width:0%;"></div>	普通	100%	<div style="width:100%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width:0%;"></div>	不満	0%	<div style="width:0%;"></div>															
満足	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
やや満足	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
普通	100%	<div style="width:100%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
<p>3</p>	<div data-bbox="359 1057 462 1086"> <p>赤松街道</p> </div> <div data-bbox="1157 1057 1300 1086"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="363 1108 1300 1814">  <div data-bbox="989 1108 1292 1332"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>29%</td> <td><div style="width:29%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>57%</td> <td><div style="width:57%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>14%</td> <td><div style="width:14%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width:0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="989 1344 1292 1568"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="367 1579 1292 1814">  </div> <div data-bbox="989 1825 1300 1848"> <p>赤松街道の写真をもっと見る (7枚)</p> </div> <div data-bbox="359 1881 566 1915"> <p>赤松街道について</p> </div> <div data-bbox="359 1926 1165 1960"> <p>安政3年に植えられ、「日本の道100選」や「歴史国道」にも認定されており、大中山から鳴川の2kmが最も美しい。</p> </div> </div>	満足	29%	<div style="width:29%;"></div>	やや満足	57%	<div style="width:57%;"></div>	普通	14%	<div style="width:14%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width:0%;"></div>	不満	0%	<div style="width:0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	--	友達	☆☆☆☆☆	--	シニア	☆☆☆☆☆	--	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	29%	<div style="width:29%;"></div>																													
やや満足	57%	<div style="width:57%;"></div>																													
普通	14%	<div style="width:14%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width:0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	☆☆☆☆☆	--																													
友達	☆☆☆☆☆	--																													
シニア	☆☆☆☆☆	--																													
一人旅	☆☆☆☆☆	--																													

表 2-4.1 北海道シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

<p>4</p>	<p>芝桜花街道 所在地を確認する</p>  <p>いい香りで美味しい</p>  <p>奥のほう</p>  <p>入口付近</p>  <p>芝桜花街道</p> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>50%</td> <td><div style="width: 50%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>17%</td> <td><div style="width: 17%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>33%</td> <td><div style="width: 33%;"></div></td> </tr> </table> <p>芝桜花街道の写真をもっと見る (4枚)</p> <p>芝桜花街道について</p> <p>オホーツク海と釧路圏を結ぶ道道走川湯線は、オホーツク沿岸のJR藻琴駅からはじまり、弟子屈町の川湯温泉まで続いています。沿線の網走市、大空町（東藻琴）、小清水町、弟子屈町では、この道道の愛称を「芝桜花街道」としました。東藻琴の芝桜のほか、小清水町のユリと原生花園、弟子屈町の白ツツジなど、花の見所も多く、途中の藻琴山からの眺望も絶景。</p>	満足	50%	<div style="width: 50%;"></div>	やや満足	17%	<div style="width: 17%;"></div>	普通	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	33%	<div style="width: 33%;"></div>										
満足	50%	<div style="width: 50%;"></div>																								
やや満足	17%	<div style="width: 17%;"></div>																								
普通	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
<p>5</p>	<p>美深峠 所在地を確認する</p>  <p>カタクリとエゾエンゴサクが咲いていました。</p> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>50%</td> <td><div style="width: 50%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>50%</td> <td><div style="width: 50%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </table> <p>美深峠の写真をもっと見る (2枚)</p> <p>美深峠について</p> <p>山から山の架橋4橋からの景観（ウルベシ橋25.5m）。</p>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	50%	<div style="width: 50%;"></div>	普通	50%	<div style="width: 50%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや満足	50%	<div style="width: 50%;"></div>																								
普通	50%	<div style="width: 50%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									

表 2-4.2 東北シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

観光ガイド×東北×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】 ■シニアにオススメランキング 東北の旧街道ランキング TOP10 - じゃらんnet (jalan.net)																															
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>松前街道</p>  <p>松前街道</p> <p>松前街道について</p> <p>津軽国定公園入口にある、樹齢約300年の老黒松並木の旧街道。松前藩が参勤交代の道として利用し、その名が付いた。また、近くには「平館台場跡」がある。</p> </div> <div style="width: 35%; padding-left: 10px;"> <p style="text-align: right;">所在地を確認する</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>評価分布</p> <table border="0"> <tr><td>満足</td><td>8%</td><td><div style="width: 8%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>85%</td><td><div style="width: 85%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>8%</td><td><div style="width: 8%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="0"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> </table> </div> <p style="text-align: right;">松前街道の写真をもっと見る (1枚)</p> </div> </div>	満足	8%	<div style="width: 8%;"></div>	やや満足	85%	<div style="width: 85%;"></div>	普通	8%	<div style="width: 8%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	--	友達	★★★★☆	4.0	シニア	☆☆☆☆☆	--	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	8%	<div style="width: 8%;"></div>																													
やや満足	85%	<div style="width: 85%;"></div>																													
普通	8%	<div style="width: 8%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	☆☆☆☆☆	--																													
友達	★★★★☆	4.0																													
シニア	☆☆☆☆☆	--																													
一人旅	☆☆☆☆☆	--																													
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>萱野峠 (越後米沢街道十三峠)</p>  <p>黒沢峠へ あと 1.9km</p> <p>黒沢峠敷石道保存会</p> <p>萱野峠 (越後米沢街道十三峠) について</p> <p>越後街道十三峠の一つ。</p> </div> <div style="width: 35%; padding-left: 10px;"> <p style="text-align: right;">所在地を確認する</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>評価分布</p> <table border="0"> <tr><td>満足</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>100%</td><td><div style="width: 100%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div>  <p style="text-align: right;">萱野峠 (越後米沢街道十三峠) の写真をもっと見る (3枚)</p> </div> </div>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	100%	<div style="width: 100%;"></div>	普通	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>															
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
やや満足	100%	<div style="width: 100%;"></div>																													
普通	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													

表 2-4.2 東北シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>3</p>	<div data-bbox="351 208 485 239" data-label="Section-Header"> <h3>七ヶ宿街道</h3> </div> <div data-bbox="1149 210 1299 235" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="365 257 975 716" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="375 689 440 710" data-label="Caption"> <p>上戸沢宿</p> </div> <div data-bbox="989 257 1292 481" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>14%</td> <td><div style="width: 14%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>71%</td> <td><div style="width: 71%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>14%</td> <td><div style="width: 14%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="989 504 1292 716" data-label="Table"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="365 728 667 954" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="678 728 975 954" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="678 925 762 947" data-label="Caption"> <p>七ヶ宿街道</p> </div> <div data-bbox="989 728 1286 954" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 960 1297 990" data-label="Text"> <p>七ヶ宿街道の写真をもっと見る (4枚)</p> </div> <div data-bbox="351 1021 587 1055" data-label="Section-Header"> <h3>七ヶ宿街道について</h3> </div> <div data-bbox="360 1072 1287 1120" data-label="Text"> <p>福島県の桑折で奥州街道と分かれ、小坂峠を経て上戸沢・下戸沢・渡瀬・関・滑津・峠田・湯原の各宿場を通り、山形県の上山へいたる街道。渡瀬はダム湖底に沈んだ。また、幾度も大火に見舞われ、当時の面影を残す茅葺き民家は数件のみとなった。</p> </div>	満足	14%	<div style="width: 14%;"></div>	やや満足	71%	<div style="width: 71%;"></div>	普通	14%	<div style="width: 14%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	14%	<div style="width: 14%;"></div>																								
やや満足	71%	<div style="width: 71%;"></div>																								
普通	14%	<div style="width: 14%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									
<p>4</p>	<div data-bbox="351 1153 632 1187" data-label="Section-Header"> <h3>山刀伐峠 (山形県最上町)</h3> </div> <div data-bbox="1149 1155 1299 1180" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="365 1205 975 1664" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="375 1637 440 1659" data-label="Caption"> <p>山刀伐峠</p> </div> <div data-bbox="989 1205 1292 1429" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>67%</td> <td><div style="width: 67%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>33%</td> <td><div style="width: 33%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="989 1451 1292 1664" data-label="Table"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="850 1673 1299 1702" data-label="Text"> <p>山刀伐峠 (山形県最上町) の写真をもっと見る (5枚)</p> </div> <div data-bbox="351 1731 745 1767" data-label="Section-Header"> <h3>山刀伐峠 (山形県最上町) について</h3> </div> <div data-bbox="360 1783 1297 1986" data-label="Text"> <p>山刀伐峠は、最上町と尾花沢市を結ぶ峠のひとつ。 標高は470メートルにすぎないが、北の最上町側は急峻で、南の尾花沢市側は比較的なだらかな地形をしています。この形状が昔、山仕事あるいは狩の際にかぶった「ナタギリ」という冠物の形に似ていることから、峠名が発生したと言われています。 元禄2年(1689)5月17日、隠居にすると7月3日、松尾芭蕉と河合曾良は最上町の封人の家に逗留した後、「おくのほそ道」でも“最大の難所”と言われている山刀伐峠を越えて、尾花沢市へ向かいました。芭蕉は、その時の印象を「高山森々として一鳥声かす・・・」というくだりの見事な文章で表現しています。 現在、山刀伐峠の山頂へは舗装道路(旧道)が整備されています。ですが、その道とは別に芭蕉が辿った“歴史の道”(“二十七曲り”と言われるほどの曲がりくねった山道)は、散策道として整備されたブナの木が生い茂る手つかずの自然が残り、300年の時を越えても尚、松尾芭蕉の旅を偲ぶ貴重な史跡となっています。</p> </div>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>	普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>																								
普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									

表 2-4.2 東北シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

六十里越街道 [所在地を確認する](#)



田麦俣にあったのぼり

評価分布

満足	0%	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: #f08080;"></div>
やや満足	67%	<div style="width: 67%; height: 10px; background-color: #f08080;"></div>
普通	33%	<div style="width: 33%; height: 10px; background-color: #f08080;"></div>
やや不満	0%	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: #f08080;"></div>
不満	0%	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: #f08080;"></div>



案内板

[六十里越街道の写真をもっと見る \(3枚\)](#)

六十里越街道について

山形の内陸と庄内を結ぶ街道として、また出羽三山信仰の街道としてにぎわった出羽の古道。街道には、当時の石畳や、石碑も点在する。

表 2-4.3 関東シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

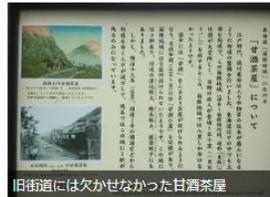
観光ガイド×関東×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り＞旧街道】 ■シニアにオススメランキング 関東の旧街道ランキング TOP10 - じゃらん.net (jalan.net)	
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> <p>日光街道</p> <p>所在地を確認する</p> </div> <div style="width: 80%;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="width: 60%;"> <p>両側が、杉並木。</p>   <p>風流。</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>日光川</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: blue;">▶ 日光街道の写真をもっと見る (25枚)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>日光街道について</p> <p>日光街道・例幣使街道・会津西街道の両側に延長3.7kmにわたってつく杉並木で、松平正綱が日光東照宮鎮座の後に、紀州熊野から20万本余りの杉苗を取り寄せ、植樹して寄進したものである。現在、その内1万4000余本が残っており、ほとんどが樹齢330年以上の老杉である。その由緒を記した寄進碑が日光神橋畔と今市の大沢・大森・小倉に立てられている。日光街道を宇都宮へ向かう右側にある杉に桜が寄生した珍しい桜がある。</p> </div>
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> <p>箱根旧街道（神奈川県箱根町）</p> <p>所在地を確認する</p> </div> <div style="width: 80%;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="width: 60%;"> <p>畑宿にて</p>   <p>石畳1 石畳2</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>旧街道には欠かせなかった甘酒茶屋</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: blue;">▶ 箱根旧街道（神奈川県箱根町）の写真をもっと見る (56枚)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>箱根旧街道（神奈川県箱根町）について</p> <p>箱根旧街道は江戸時代の箱根越えの道で、通称「箱根八里」で知られる難所でした。この急坂の多い山道は江戸時代初期、幕府の官道として整備されましたが、すねまでつかぬ泥道のため当時は近代的な石畳道を完成させました。そして今なお残る石畳には、往時の旅人の苦悩と喜びが偲ばれます。</p> </div>

表 2-4.3 関東シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>3</p>	<div data-bbox="406 212 550 235"> <p>東海道品川宿</p> </div> <div data-bbox="1117 212 1244 235"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="422 257 965 660">  <p>品川宿ののぼりが並ぶ旧東海道</p> </div> <div data-bbox="973 257 1236 448"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>29%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>43%</td></tr> <tr><td>普通</td><td>29%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="973 470 1236 660"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 3.5</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 3.7</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 3.9</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="422 672 686 873">  <p>東海道品川宿 まち歩きマップ</p> <p>京急の踏切を渡る前に案内板がある</p> </div> <div data-bbox="694 672 965 873">  <p>旧東海道の碑です。</p> </div> <div data-bbox="973 672 1236 873">  <p>東海道品川宿</p> </div> <div data-bbox="933 884 1244 907"> <p>東海道品川宿の写真をもっと見る (28枚)</p> </div> <div data-bbox="406 929 638 963"> <p>東海道品川宿について</p> </div> <div data-bbox="406 974 1228 1041"> <p>品川宿は東海道五十三次の最初の宿場である。江戸四宿の中で唯一海に面した宿場で、道の両側に旅籠や茶屋が軒を並べて賑わっていた。江戸時代後期には約1600軒、7000人が住んでいたという。現在、旧東海道は商店街となり、買い物の人たちでにぎわう。</p> </div>	満足	29%	やや満足	43%	普通	29%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	★★★★☆ 3.5	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	★★★★☆ 3.7	一人旅	★★★★☆ 3.9
満足	29%																				
やや満足	43%																				
普通	29%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	☆☆☆☆☆ --																				
カップル	★★★★☆ 3.5																				
友達	☆☆☆☆☆ --																				
シニア	★★★★☆ 3.7																				
一人旅	★★★★☆ 3.9																				
<p>4</p>	<div data-bbox="406 1075 486 1108"> <p>宮益坂</p> </div> <div data-bbox="1117 1075 1244 1108"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="422 1120 965 1534">  </div> <div data-bbox="973 1120 1236 1310"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>11%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>42%</td></tr> <tr><td>普通</td><td>44%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>3%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="973 1332 1236 1534"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>★★★★☆ 3.2</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 3.7</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆ 3.7</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 3.4</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 3.5</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="422 1545 686 1736">  <p>宮益坂</p> </div> <div data-bbox="694 1545 965 1736">  <p>神社</p> </div> <div data-bbox="973 1545 1236 1736">  <p>宮益坂</p> </div> <div data-bbox="973 1747 1244 1769"> <p>宮益坂の写真をもっと見る (33枚)</p> </div>	満足	11%	やや満足	42%	普通	44%	やや不満	3%	不満	0%	子連れ	★★★★☆ 3.2	カップル	★★★★☆ 3.7	友達	★★★★☆ 3.7	シニア	★★★★☆ 3.4	一人旅	★★★★☆ 3.5
満足	11%																				
やや満足	42%																				
普通	44%																				
やや不満	3%																				
不満	0%																				
子連れ	★★★★☆ 3.2																				
カップル	★★★★☆ 3.7																				
友達	★★★★☆ 3.7																				
シニア	★★★★☆ 3.4																				
一人旅	★★★★☆ 3.5																				

表 2-4.3 関東シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

会津西街道

[所在地を確認する](#)



旅行タイプ別評価

子連れ	☆☆☆☆☆ --
カップル	☆☆☆☆☆ --
友達	☆☆☆☆☆ --
シニア	★★★★☆ 4.2
一人旅	☆☆☆☆☆ --



[会津西街道の写真をもっと見る \(8枚\)](#)

会津西街道について

会津若松から横山・五十里・藤原・大桑を経て今市までの脇街道。

表 2-4.4 甲信越シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

観光ガイド×甲信越×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】

■シニアにオススメランキング

[甲信越の旧街道ランキング TOP10 - じゃらんnet \(jalan.net\)](#)

1

中山道 (長野県塩尻市)

[所在地を確認する](#)

奈良井宿



町並



中山道奈良井宿のお店



中山道木曾路の案内板



中山道木曾路奈良井宿

[中山道 \(長野県塩尻市\) の写真をもっと見る \(42枚\)](#)

2

中山道 (長野県木曾町)

[所在地を確認する](#)

福島宿



都心にも中山道を示す看板があちこちにありま



中山道福島宿



中山道福島宿



中山道

[中山道 \(長野県木曾町\) の写真をもっと見る \(16枚\)](#)

表 2-4.4 甲信越シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>3</p> <p>追分宿</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 中山道 所在地を確認する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>中山道追分宿</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>15%</td><td><div style="width: 15%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>72%</td><td><div style="width: 72%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>12%</td><td><div style="width: 12%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.0</td></tr> </table> </div> <div style="width: 35%;">  <p>中山道</p>  <p>中山道の20番目の宿場、追分宿分去れ</p>  <p>中山道の宿場町として知られる追分宿</p> <p style="text-align: right;">中山道の写真をもっと見る (20枚)</p> </div> </div>	満足	15%	<div style="width: 15%;"></div>	やや満足	72%	<div style="width: 72%;"></div>	普通	12%	<div style="width: 12%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	3.9	友達	☆☆☆☆☆	4.1	シニア	☆☆☆☆☆	4.1	一人旅	☆☆☆☆☆	4.0
満足	15%	<div style="width: 15%;"></div>																													
やや満足	72%	<div style="width: 72%;"></div>																													
普通	12%	<div style="width: 12%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	☆☆☆☆☆	3.9																													
友達	☆☆☆☆☆	4.1																													
シニア	☆☆☆☆☆	4.1																													
一人旅	☆☆☆☆☆	4.0																													
<p>4</p> <p>妻籠宿・馬籠宿</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 中山道 所在地を確認する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>中山道a</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>22%</td><td><div style="width: 22%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>67%</td><td><div style="width: 67%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>11%</td><td><div style="width: 11%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.1</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>4.0</td></tr> </table> </div> <div style="width: 35%;">  <p>馬籠宿</p>  <p>峠a</p>  <p>中山道</p> <p style="text-align: right;">中山道の写真をもっと見る (46枚)</p> </div> </div>	満足	22%	<div style="width: 22%;"></div>	やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>	普通	11%	<div style="width: 11%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	4.0	友達	☆☆☆☆☆	4.2	シニア	☆☆☆☆☆	4.1	一人旅	☆☆☆☆☆	4.0
満足	22%	<div style="width: 22%;"></div>																													
やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>																													
普通	11%	<div style="width: 11%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	☆☆☆☆☆	4.0																													
友達	☆☆☆☆☆	4.2																													
シニア	☆☆☆☆☆	4.1																													
一人旅	☆☆☆☆☆	4.0																													

表 2-4.4 甲信越シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

八幡宿・望月宿

|

中山道

所在地を確認する ▾



中山道の小田井宿



軽井沢町の追分地区にて。



中山道



八幡宿本陣跡

▶ [中山道の写真をもっと見る \(21枚\)](#)

評価分布

満足	19%	
やや満足	69%	
普通	12%	
やや不満	0%	
不満	0%	

旅行タイプ別評価

子連れ	★★★★☆ 4.6
カップル	★★★★☆ 3.9
友達	★★★★☆ 4.2
シニア	★★★★☆ 4.0
一人旅	★★★★☆ 3.9

表 2-4.5 北陸シニアにオススメランキングの TOP5 (1/2)

観光ガイド×北陸×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】 ■シニアにオススメランキング 北陸の旧街道ランキング TOP9 - じゃらん net (jalan.net)																									
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>木ノ芽峠 (北陸道)</p>  <p style="font-size: small;">木ノ芽峠のヘアピンカーブ</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>所在地を確認する</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価分布</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>16% <div style="width: 16%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>68% <div style="width: 68%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>12% <div style="width: 12%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4% <div style="width: 4%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅行タイプ別評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.5</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.3</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.0</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">▶ 木ノ芽峠 (北陸道) の写真をもっと見る (1枚)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>木ノ芽峠 (北陸道) について</p> <p style="font-size: small;">福井県を嶺北・嶺南に分ける旧北陸道の要所。柴式部・木曾義仲・源義経・新田義貞・織田信長・柴田勝家らがこの峠から越前入りした。いまでも戦国時代の城跡が残っている。</p> </div>	評価分布		満足	16% <div style="width: 16%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	やや満足	68% <div style="width: 68%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	普通	12% <div style="width: 12%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	やや不満	4% <div style="width: 4%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	旅行タイプ別評価		子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ 3.5	友達	☆☆☆☆☆ 4.3	シニア	☆☆☆☆☆ 4.0	一人旅	☆☆☆☆☆ --
評価分布																									
満足	16% <div style="width: 16%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
やや満足	68% <div style="width: 68%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
普通	12% <div style="width: 12%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
やや不満	4% <div style="width: 4%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
旅行タイプ別評価																									
子連れ	☆☆☆☆☆ --																								
カップル	☆☆☆☆☆ 3.5																								
友達	☆☆☆☆☆ 4.3																								
シニア	☆☆☆☆☆ 4.0																								
一人旅	☆☆☆☆☆ --																								
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>湯尾峠</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>所在地を確認する</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価分布</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>19% <div style="width: 19%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>76% <div style="width: 76%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>5% <div style="width: 5%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">旅行タイプ別評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.8</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.3</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.3</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>湯尾峠について</p> <p style="font-size: small;">今庄・湯尾の間にあり、茶屋・孫嫡子信仰・義仲古道の由来が伝えられている。</p> </div>	評価分布		満足	19% <div style="width: 19%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	やや満足	76% <div style="width: 76%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	普通	5% <div style="width: 5%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	やや不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>	旅行タイプ別評価		子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ 3.8	友達	☆☆☆☆☆ 4.3	シニア	☆☆☆☆☆ 4.3	一人旅	☆☆☆☆☆ --
評価分布																									
満足	19% <div style="width: 19%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
やや満足	76% <div style="width: 76%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
普通	5% <div style="width: 5%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
やや不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
不満	0% <div style="width: 0%; background-color: #f4a460; border: 1px solid #ccc;"></div>																								
旅行タイプ別評価																									
子連れ	☆☆☆☆☆ --																								
カップル	☆☆☆☆☆ 3.8																								
友達	☆☆☆☆☆ 4.3																								
シニア	☆☆☆☆☆ 4.3																								
一人旅	☆☆☆☆☆ --																								

表 2-4.5 北陸シニアにオススメランキングの TOP5 (2/2)

<p>3</p>	<p>木ノ芽古道 所在地を確認する</p>  <div data-bbox="991 253 1289 477"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>17%</td><td><div style="width: 17%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>78%</td><td><div style="width: 78%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>6%</td><td><div style="width: 6%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <div data-bbox="991 495 1289 712"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> </table> </div> <p>木ノ芽古道の写真をもっと見る (1枚)</p> <p>木ノ芽古道について</p> <p>平安時代初めにひらかれ、以来1,000年にわたって敦賀と越前を結ぶ幹線道路であった歴史の道です。往時には紫式部や道元や松尾芭蕉などの著名人も行き来しました。</p>	満足	17%	<div style="width: 17%;"></div>	やや満足	78%	<div style="width: 78%;"></div>	普通	6%	<div style="width: 6%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	★★★★☆	3.8	友達	★★★★☆	4.3	シニア	★★★★☆	4.2	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	17%	<div style="width: 17%;"></div>																													
やや満足	78%	<div style="width: 78%;"></div>																													
普通	6%	<div style="width: 6%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	★★★★☆	3.8																													
友達	★★★★☆	4.3																													
シニア	★★★★☆	4.2																													
一人旅	☆☆☆☆☆	--																													
<p>4</p>	<p>深坂古道 所在地を確認する</p>  <div data-bbox="991 943 1289 1167"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>6%</td><td><div style="width: 6%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>89%</td><td><div style="width: 89%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>6%</td><td><div style="width: 6%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <div data-bbox="991 1184 1289 1402"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆</td><td>--</td></tr> </table> </div> <p>深坂古道の写真をもっと見る (1枚)</p> <p>深坂古道について</p> <p>滋賀県の近江塩津と敦賀をつなぐ道で、かつては延喜式に規定された北陸道諸国貢物の輸送ルートでした。万葉歌人の笠金村や紫式部もこの道を越え歌を残しています。</p>	満足	6%	<div style="width: 6%;"></div>	やや満足	89%	<div style="width: 89%;"></div>	普通	6%	<div style="width: 6%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	★★★★☆	3.8	友達	★★★★☆	4.0	シニア	★★★★☆	4.0	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	6%	<div style="width: 6%;"></div>																													
やや満足	89%	<div style="width: 89%;"></div>																													
普通	6%	<div style="width: 6%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	★★★★☆	3.8																													
友達	★★★★☆	4.0																													
シニア	★★★★☆	4.0																													
一人旅	☆☆☆☆☆	--																													
<p>5</p>	<p>臼ヶ峰往来 所在地を確認する</p> <div data-bbox="368 1637 671 1861"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>67%</td><td><div style="width: 67%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>33%</td><td><div style="width: 33%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <p>臼ヶ峰往来について</p> <p>幕藩時代に能登と加賀、越中を結ぶ重要な街道として利用された。大伴家持の歌碑などを見ながら、ハイキングが楽しめる。平成8年に「歴史の道百選」に選ばれています。</p>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>	普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>															
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>																													
普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																													

表 2-4.6 東海シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

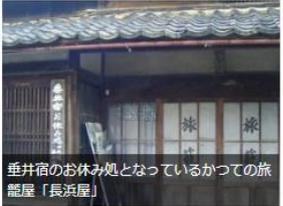
観光ガイド×東海×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】 ■シニアにオススメランキング 東海の旧街道ランキングTOP10 - じゃらんnet (jalan.net)																										
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>薩た峠</p>  </div> <div style="text-align: right;"> <p>所在地を確認する</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1"> <caption>評価分布</caption> <tr><td>満足</td><td>38%</td><td><div style="width: 38%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>52%</td><td><div style="width: 52%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>9%</td><td><div style="width: 9%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>1%</td><td><div style="width: 1%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> <table border="1"> <caption>旅行タイプ別評価</caption> <tr><td>子連れ</td><td>★★★★☆ 4.3</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 4.2</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆ 4.3</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 4.3</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 4.1</td></tr> </table> </div> <div style="margin-top: 10px; display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>旧東海道一の絶景ポイントです</p> <p>2016.12.3 10:00AM</p> <p>薩た峠の写真をもっと見る (92枚)</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>薩た峠について</p> <p>興津川の東、延長2 kmほどのこの山道は海に突き出した山裾を切り開いたけわしい峠道で、昔は箱根・鈴鹿とともに東海道三大難所のひとつとして知られていた。南北朝時代には足利尊氏と直義兄弟が戦い、戦国時代には武田・今川・北条がこの峠を中心に攻防戦をくり広げるなど、数多くの戦いの舞台になったところでもある。峠道が開かれる以前は、旅人は峠下の海辺を通っており、波の引いた時に親は子を、子は親をかえり見る間もなく、一気に通り抜けたことから「親知らず子知らずの難所」といわれていた。頂上からの眺めは素晴らしい、広重が描いた『由比サツタの嶺の図』も多分ここからの眺め。頂上までは車で行けるが、ミカンやビワ畑の中を歩くハイキングコースに人気がある。</p> </div>	満足	38%	<div style="width: 38%;"></div>	やや満足	52%	<div style="width: 52%;"></div>	普通	9%	<div style="width: 9%;"></div>	やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	★★★★☆ 4.3	カップル	★★★★☆ 4.2	友達	★★★★☆ 4.3	シニア	★★★★☆ 4.3	一人旅	★★★★☆ 4.1
満足	38%	<div style="width: 38%;"></div>																								
やや満足	52%	<div style="width: 52%;"></div>																								
普通	9%	<div style="width: 9%;"></div>																								
やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	★★★★☆ 4.3																									
カップル	★★★★☆ 4.2																									
友達	★★★★☆ 4.3																									
シニア	★★★★☆ 4.3																									
一人旅	★★★★☆ 4.1																									
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>中山道</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>所在地を確認する</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1"> <caption>評価分布</caption> <tr><td>満足</td><td>21%</td><td><div style="width: 21%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>61%</td><td><div style="width: 61%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>17%</td><td><div style="width: 17%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>1%</td><td><div style="width: 1%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> <table border="1"> <caption>旅行タイプ別評価</caption> <tr><td>子連れ</td><td>★★★★☆ 4.5</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 3.9</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆ 4.0</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 4.1</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 3.9</td></tr> </table> </div> <div style="margin-top: 10px; display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">  <p>大海人皇子が、ここに碑を置き兜を掛けたと伝わる石。</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>垂井宿のお休み処となっているかつての旅籠屋「長浜屋」</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>不破閣資料館から中山道を見下ろした光景。</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>中山道赤坂宿</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>中山道の写真をもっと見る (36枚)</p> </div>	満足	21%	<div style="width: 21%;"></div>	やや満足	61%	<div style="width: 61%;"></div>	普通	17%	<div style="width: 17%;"></div>	やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	★★★★☆ 4.5	カップル	★★★★☆ 3.9	友達	★★★★☆ 4.0	シニア	★★★★☆ 4.1	一人旅	★★★★☆ 3.9
満足	21%	<div style="width: 21%;"></div>																								
やや満足	61%	<div style="width: 61%;"></div>																								
普通	17%	<div style="width: 17%;"></div>																								
やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	★★★★☆ 4.5																									
カップル	★★★★☆ 3.9																									
友達	★★★★☆ 4.0																									
シニア	★★★★☆ 4.1																									
一人旅	★★★★☆ 3.9																									

表 2-4.6 東海シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>3</p>	<div data-bbox="384 206 667 235"> <p>箱根旧街道 (静岡県三島市)</p> </div> <div data-bbox="1125 208 1259 230"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="400 250 967 674">  <p>木漏れ日美しい</p> </div> <div data-bbox="975 250 1259 459"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>22%</td> <td><div style="width: 22%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>66%</td> <td><div style="width: 66%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>12%</td> <td><div style="width: 12%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="975 474 1259 674"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.9</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.1</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.0</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.0</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="400 685 679 893">  <p>歴史を感じます</p> </div> <div data-bbox="687 685 967 893">  <p>初音ヶ原</p> </div> <div data-bbox="975 703 1259 893">  <p>箱根旧街道</p> </div> <div data-bbox="821 900 1259 927"> <p>箱根旧街道 (静岡県三島市) の写真をもっと見る (32枚)</p> </div> <div data-bbox="384 958 772 987"> <p>箱根旧街道 (静岡県三島市) について</p> </div> <div data-bbox="384 1003 1259 1093"> <p>小田原市から三島市までの約32 kmの東海道は、「箱根八里」と言われています。「箱根八里」は2018年に日本遺産に認定されました。江戸時代の東海道の松並木や整備・復元された石畳が断続的に残り、自然や史跡がいっぱいです。ウォーキングを満喫しながら、江戸時代の旅人の気分を味わってみては。</p> </div>	満足	22%	<div style="width: 22%;"></div>	やや満足	66%	<div style="width: 66%;"></div>	普通	12%	<div style="width: 12%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ 3.9	友達	☆☆☆☆☆ 4.1	シニア	☆☆☆☆☆ 4.0	一人旅	☆☆☆☆☆ 4.0
満足	22%	<div style="width: 22%;"></div>																								
やや満足	66%	<div style="width: 66%;"></div>																								
普通	12%	<div style="width: 12%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ 3.9																									
友達	☆☆☆☆☆ 4.1																									
シニア	☆☆☆☆☆ 4.0																									
一人旅	☆☆☆☆☆ 4.0																									
<p>4</p>	<div data-bbox="284 1169 327 1283"> <p>大 湫 宿</p> </div> <div data-bbox="384 1122 469 1151"> <p>中山道</p> </div> <div data-bbox="1125 1124 1259 1146"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="400 1167 967 1590">  <p>風情ある情景</p> </div> <div data-bbox="975 1167 1259 1375"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>18%</td> <td><div style="width: 18%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>65%</td> <td><div style="width: 65%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>16%</td> <td><div style="width: 16%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>1%</td> <td><div style="width: 1%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="975 1391 1259 1590"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.8</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.2</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.1</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.8</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="400 1603 679 1812">  <p>旧森川訓行家住宅前</p> </div> <div data-bbox="687 1603 967 1812">  <p>中山道大湫宿</p> </div> <div data-bbox="975 1603 1259 1812">  <p>説明看板</p> </div> <div data-bbox="981 1818 1259 1845"> <p>中山道の写真をもっと見る (17枚)</p> </div>	満足	18%	<div style="width: 18%;"></div>	やや満足	65%	<div style="width: 65%;"></div>	普通	16%	<div style="width: 16%;"></div>	やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ 3.8	友達	☆☆☆☆☆ 4.2	シニア	☆☆☆☆☆ 4.1	一人旅	☆☆☆☆☆ 3.8
満足	18%	<div style="width: 18%;"></div>																								
やや満足	65%	<div style="width: 65%;"></div>																								
普通	16%	<div style="width: 16%;"></div>																								
やや不満	1%	<div style="width: 1%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ 3.8																									
友達	☆☆☆☆☆ 4.2																									
シニア	☆☆☆☆☆ 4.1																									
一人旅	☆☆☆☆☆ 3.8																									

表 2-4.6 東海シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

中山道 (岐阜県恵那市) [所在地を確認する](#)

大井宿



中山道002





中山道006 中山道003 中山道008

評価分布

満足	19%	<div style="width: 19%;"></div>
やや満足	67%	<div style="width: 67%;"></div>
普通	14%	<div style="width: 14%;"></div>
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>

旅行タイプ別評価

子連れ	★★★★☆ 4.3
カップル	★★★★☆ 3.8
友達	★★★★☆ 4.3
シニア	★★★★☆ 4.0
一人旅	★★★★☆ 3.9

[中山道 \(岐阜県恵那市\) の写真をもっと見る \(51枚\)](#)

中山道 (岐阜県恵那市) について

中山道 69 宿の中で最も大きな宿場大井宿。江戸から数えて46番目の宿場町です。町並みには歌の侵入を防ぐために直角になった「升形」がみられます。6カ所も現存しているのは日本でもここ大井宿だけです。大井から大湫には西行峠を通ります。

表 2-4.7 関西シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

観光ガイド×関西×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り＞旧街道】 ■シニアにオススメランキング 関西の旧街道ランキングTOP10 - じゃらんnet (jalan.net)																					
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">紀伊路</div> <div style="text-align: right;"> <p>熊野古道 (和歌山県海南市) 所在地を確認する</p>  <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>評価分布</p> <table border="0"> <tr><td>満足</td><td>30%</td><div style="width: 30%;"></div></tr> <tr><td>やや満足</td><td>59%</td><div style="width: 59%;"></div></tr> <tr><td>普通</td><td>11%</td><div style="width: 11%;"></div></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><div style="width: 0%;"></div></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><div style="width: 0%;"></div></tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="0"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 4.1</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆ 4.2</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 4.1</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 4.0</td></tr> </table> </div> </div> </div>	満足	30%	やや満足	59%	普通	11%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	★★★★☆ 4.1	友達	★★★★☆ 4.2	シニア	★★★★☆ 4.1	一人旅	★★★★☆ 4.0
満足	30%																				
やや満足	59%																				
普通	11%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	☆☆☆☆☆ --																				
カップル	★★★★☆ 4.1																				
友達	★★★★☆ 4.2																				
シニア	★★★★☆ 4.1																				
一人旅	★★★★☆ 4.0																				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 早朝の熊野古道</div> <div style="text-align: center;"> 山道</div> <div style="text-align: center;"> 湯浅町の看板</div> </div> <p style="text-align: right; color: #0070C0;">▶ 熊野古道 (和歌山県海南市) の写真をもっと見る (31枚)</p> <p>熊野古道 (和歌山県海南市) について</p> <p>平安から鎌倉にかけての時代、「熊の熊野詣」と表現されるくらい、熊野三山へお参りする信仰がさかんでした。上皇や女院をはじめ、多くの熊野詣の人々が、難行苦行しながら歩いた道はいくつかありますが、ここ海南市においてのメインルートは、松坂王子から汐見峠、松代王子や歌戸王子を経て藤白神社に至り、そこから藤白坂を越え橋本王子、一重王子を経て有田市にいたるコースが知られています。いわゆる「小栗街道」(熊野古道)がこのルートにあたります。</p>																				
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">鳥居本宿・高宮宿</div> <div style="text-align: right;"> <p>中山道 (滋賀県彦根市) 所在地を確認する</p>  <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>評価分布</p> <table border="0"> <tr><td>満足</td><td>19%</td><div style="width: 19%;"></div></tr> <tr><td>やや満足</td><td>65%</td><div style="width: 65%;"></div></tr> <tr><td>普通</td><td>16%</td><div style="width: 16%;"></div></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><div style="width: 0%;"></div></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><div style="width: 0%;"></div></tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="0"> <tr><td>子連れ</td><td>★★★★☆ 3.8</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>★★★★☆ 4.0</td></tr> <tr><td>友達</td><td>★★★★☆ 4.1</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>★★★★☆ 4.0</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>★★★★☆ 3.9</td></tr> </table> </div> </div> </div>	満足	19%	やや満足	65%	普通	16%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	★★★★☆ 3.8	カップル	★★★★☆ 4.0	友達	★★★★☆ 4.1	シニア	★★★★☆ 4.0	一人旅	★★★★☆ 3.9
満足	19%																				
やや満足	65%																				
普通	16%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	★★★★☆ 3.8																				
カップル	★★★★☆ 4.0																				
友達	★★★★☆ 4.1																				
シニア	★★★★☆ 4.0																				
一人旅	★★★★☆ 3.9																				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 古い町並み</div> <div style="text-align: center;"> いい感じ</div> <div style="text-align: center;"> いい感じ</div> </div> <p style="text-align: right; color: #0070C0;">▶ 中山道 (滋賀県彦根市) の写真をもっと見る (36枚)</p> <p>中山道 (滋賀県彦根市) について</p> <p>江戸時代の五街道の一つで、本州中部の内陸側を経由する路線である「中山道」。彦根には、中山道六十九次のうち、江戸から六十三番目の宿場町である鳥居本宿と六十四番目の宿場町である高宮宿があります。</p>																				

表 2-4.7 関西シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

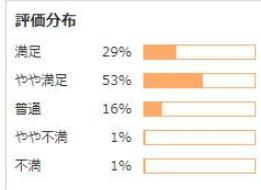
<p>3</p> <p>中辺路</p>	<div data-bbox="406 219 670 246"> <p>熊野古道 (和歌山県田辺市)</p> </div> <div data-bbox="1109 219 1236 241"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="418 264 957 667"> <p>熊野古道</p> </div> <div data-bbox="970 264 1236 459"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 477 1236 667"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>★★★★☆ 4.4</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>★★★★☆ 4.2</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>★★★★☆ 4.4</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>★★★★☆ 4.3</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>★★★★☆ 4.1</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="418 683 683 878"> <p>大門坂</p> </div> <div data-bbox="694 683 957 878"> <p>木々の間から漏れる光が気持ちいい</p> </div> <div data-bbox="965 683 1236 878"> </div> <div data-bbox="821 884 1236 907"> <p>▶ 熊野古道 (和歌山県田辺市) の写真をもっと見る (70枚)</p> </div> <div data-bbox="406 936 774 967"> <p>熊野古道 (和歌山県田辺市) について</p> </div> <div data-bbox="406 981 1236 1124"> <p>平安時代中期から鎌倉時代後半にかけて、既成宗教にあきたらなくなった都の貴族たちが求めた山岳信仰への道を熊野参拝道といい、現在、熊野古道と名づけられて、歴史の道に指定されている。熊野三山（本宮・新宮・那智の熊野大社）への信仰は大自然への信仰だった。山積や水伯や飛瀧や巨石に宿る靈魂に抱く畏怖と祈りに仏教や修験道の思想も加わり、現世極楽を熊野の地に求めたのである。熊野は隠野、那智は隠地、すなわち、地の運への難行苦行で、一切の罪業が消滅するという考えであった。ルートは何本があったが中辺路ルートが主要道で、一時は“鎌の熊野詣”といわれるほど盛んで、後白河法皇など実に33回の熊野御幸をしている。中辺路（なかへち）は紀州の海側から山深く分け入った所にある町の名だ。この町の名は熊野三山詣のルート、中辺路から命名された。そのいわれの通りに、町には熊野詣のための休憩所でもあり、また、道中の安全を祈ったりもした小祠の王子の跡が点々と残っている。</p> </div>	満足	44%	やや満足	44%	普通	11%	やや不満	1%	不満	0%	子連れ	★★★★☆ 4.4	カップル	★★★★☆ 4.2	友達	★★★★☆ 4.4	シニア	★★★★☆ 4.3	一人旅	★★★★☆ 4.1
満足	44%																				
やや満足	44%																				
普通	11%																				
やや不満	1%																				
不満	0%																				
子連れ	★★★★☆ 4.4																				
カップル	★★★★☆ 4.2																				
友達	★★★★☆ 4.4																				
シニア	★★★★☆ 4.3																				
一人旅	★★★★☆ 4.1																				
<p>4</p> <p>守山宿</p>	<div data-bbox="406 1160 694 1191"> <p>中山道守山宿 (滋賀県守山市)</p> </div> <div data-bbox="1109 1160 1236 1182"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="418 1205 957 1608"> <p>中山道</p> </div> <div data-bbox="970 1205 1236 1400"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 1417 1236 1608"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>★★★★☆ 3.9</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>★★★★☆ 4.3</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>★★★★☆ 4.2</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>★★★★☆ 4.0</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="418 1624 625 1818"> <p>よき風景</p> </div> <div data-bbox="694 1624 957 1818"> <p>文化交流館</p> </div> <div data-bbox="965 1624 1236 1818"> <p>旧東海道と旧中山道の分岐点の道標です</p> </div> <div data-bbox="805 1825 1236 1848"> <p>▶ 中山道守山宿 (滋賀県守山市) の写真をもっと見る (23枚)</p> </div> <div data-bbox="406 1877 790 1908"> <p>中山道守山宿 (滋賀県守山市) について</p> </div> <div data-bbox="406 1921 1236 2020"> <p>守山は古来、東山道の宿駅として栄えていた。江戸時代に入り、東山道から中山道に名前が改められ、寛永19年(1642年)守山宿は、徳川幕府より、中山道の正式宿場としての制札が下され認可された。滋賀県に唯一残っている「一里塚」は県指定史跡。守山は東下りの1番目の宿場で「京立ち守山泊まり」として旅人に知られていた。た。</p> </div>	満足	24%	やや満足	66%	普通	10%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	★★★★☆ 3.9	友達	★★★★☆ 4.3	シニア	★★★★☆ 4.2	一人旅	★★★★☆ 4.0
満足	24%																				
やや満足	66%																				
普通	10%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	☆☆☆☆☆ --																				
カップル	★★★★☆ 3.9																				
友達	★★★★☆ 4.3																				
シニア	★★★★☆ 4.2																				
一人旅	★★★★☆ 4.0																				

表 2-4.7 関西シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

勝尾寺 (大阪府箕面市)

[所在地を確認する](#)



旅行タイプ別評価

子連れ	★★★★☆ 4.1
カップル	★★★★☆ 4.0
友達	★★★★☆ 4.0
シニア	★★★★☆ 3.9
一人旅	★★★★☆ 4.0



[勝尾寺 \(大阪府箕面市\) の写真をもっと見る \(181枚\)](#)

勝尾寺 (大阪府箕面市) について

勝運のお寺・勝尾寺は四季の移ろいを楽しめる豊かな自然に抱かれたお寺です。当山の六代座主行巡上人が清和天皇の玉体安穩を祈って効験があったことから、「王に勝った寺」の意で「勝王寺」の寺号を帝より賜りました。後に王の字を尾に控え、以来「勝尾寺」と号します。以後、源氏や足利氏、豊臣氏ら時代の覇者が戦勝祈願し、勝運信仰が広まりました。現在でも試験・商売・就職・スポーツなど、あらゆる場面での「勝運」を祈る参拝者が後を絶たず、境内に奉納されたおびただしい数のダルマからもこのお寺の祈願力の効験が伺えます。

表 2-4.8 中国（山陰・山陽）シニアにオススメランキングの TOP5（1/3）

観光ガイド×中国(山陰山陽)×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】

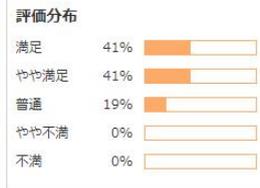
■シニアにオススメランキング

[中国\(山陰山陽\)の旧街道ランキング TOP10 - じゃらん net \(jalan.net\)](#)

1

石畳の参道

[所在地を確認する](#)



▶ [石畳の参道の写真をもっと見る \(25枚\)](#)

石畳の参道について

大山寺から大神神社奥宮へ続く参道。草に埋れた石垣やお地藏様、屋敷あとが残る。江戸時代寛政頃の築造。自然石を敷きつめた参道としては日本最長といわれる。

2

出雲街道（岡山県真庭市）

[所在地を確認する](#)



▶ [出雲街道（岡山県真庭市）の写真をもっと見る \(18枚\)](#)

出雲街道（岡山県真庭市）について

出雲街道は、出雲と美作、美作と京阪神を結ぶ地域の主要街道として発展してきました。江戸時代には美作国主・森忠政によって整備が図られ、出雲松江藩主・松平氏の参勤交代の道として、また人や物の物流の道として重要な役割を果たしました。その道筋は、時代とともに返還したり、今も国道181号線として機能したり、あるいは消失した部分もありますが、各地で大切に守られています。最近では、こうした街道でウォーキングする動きも活発になっています。

表 2-4.8 中国（山陰・山陽）シニアにオススメランキングの TOP5（2/3）

<p>3</p>	<div data-bbox="406 219 507 248" data-label="Section-Header"> <p>智頭往来</p> </div> <div data-bbox="1109 219 1241 246" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="418 264 960 672" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="418 645 582 667" data-label="Caption"> <p>町を大切にされています。</p> </div> <div data-bbox="970 264 1241 465" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 481 1241 667" data-label="Table"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>3.6</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="418 683 686 880" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="418 853 470 875" data-label="Caption"> <p>石谷家。</p> </div> <div data-bbox="694 683 960 880" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="694 853 805 875" data-label="Caption"> <p>木製のオブジェ。</p> </div> <div data-bbox="970 683 1241 880" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 853 1133 875" data-label="Caption"> <p>町のあちこちに見かける。</p> </div> <div data-bbox="970 891 1241 913" data-label="Text"> <p>智頭往来の写真をもっと見る (24枚)</p> </div> <div data-bbox="406 943 598 972" data-label="Section-Header"> <p>智頭往来について</p> </div> <div data-bbox="406 987 1241 1025" data-label="Text"> <p>下町より上町城沿いに白壁づくりの土塀・旧家など、藩政時代を偲ばせる古い町並み（智頭宿）が残っている。文化庁「歴史の道百選」選定。</p> </div>	満足	13%	やや満足	60%	普通	27%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	4.2	友達	☆☆☆☆☆	--	シニア	☆☆☆☆☆	3.9	一人旅	☆☆☆☆☆	3.6
満足	13%																									
やや満足	60%																									
普通	27%																									
やや不満	0%																									
不満	0%																									
子連れ	☆☆☆☆☆	--																								
カップル	☆☆☆☆☆	4.2																								
友達	☆☆☆☆☆	--																								
シニア	☆☆☆☆☆	3.9																								
一人旅	☆☆☆☆☆	3.6																								
<p>4</p>	<div data-bbox="406 1077 526 1106" data-label="Section-Header"> <p>津和野街道</p> </div> <div data-bbox="1109 1077 1241 1104" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="418 1122 960 1529" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1122 1241 1323" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 1339 1241 1525" data-label="Table"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 1541 1241 1563" data-label="Text"> <p>津和野街道の写真をもっと見る (1枚)</p> </div> <div data-bbox="406 1592 614 1621" data-label="Section-Header"> <p>津和野街道について</p> </div> <div data-bbox="406 1637 1241 1675" data-label="Text"> <p>廿日市市内と島根県津和野町を結ぶ約77kmの津和野街道は、参勤交代や公益に利用されていました。所々に、道が削られて痛むのを防ぐために敷いた石畳が今も残っています。</p> </div>	満足	0%	やや満足	40%	普通	60%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	--	友達	☆☆☆☆☆	--	シニア	☆☆☆☆☆	--	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	0%																									
やや満足	40%																									
普通	60%																									
やや不満	0%																									
不満	0%																									
子連れ	☆☆☆☆☆	--																								
カップル	☆☆☆☆☆	--																								
友達	☆☆☆☆☆	--																								
シニア	☆☆☆☆☆	--																								
一人旅	☆☆☆☆☆	--																								

表 2-4.8 中国（山陰・山陽）シニアにオススメランキングの TOP5（3/3）

5	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="406 208 584 237"> <p>黒瀬街道の常夜燈</p> </div> <div data-bbox="1114 208 1241 232" style="color: blue;"> <p>所在地を確認する</p> </div> </div>																														
	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="418 250 962 660" style="flex: 1;"> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">常夜燈</p> </div> <div data-bbox="975 250 1241 660" style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <p>評価分布</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">満足</td> <td style="width: 10%;">0%</td> <td style="width: 40%;"><div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>60%</td> <td><div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 60%; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>40%</td> <td><div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 40%; background-color: #f4a460;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div></td> </tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">子連れ</td> <td style="width: 30%;">☆☆☆☆☆</td> <td style="width: 20%;">--</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆</td> <td>--</td> </tr> </table> </div> </div>	満足	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>	やや満足	60%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 60%; background-color: #f4a460;"></div>	普通	40%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 40%; background-color: #f4a460;"></div>	やや不満	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆	--	カップル	☆☆☆☆☆	--	友達	☆☆☆☆☆	--	シニア	☆☆☆☆☆	--	一人旅	☆☆☆☆☆	--
満足	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>																													
やや満足	60%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 60%; background-color: #f4a460;"></div>																													
普通	40%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 40%; background-color: #f4a460;"></div>																													
やや不満	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>																													
不満	0%	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 10px; width: 0%;"></div>																													
子連れ	☆☆☆☆☆	--																													
カップル	☆☆☆☆☆	--																													
友達	☆☆☆☆☆	--																													
シニア	☆☆☆☆☆	--																													
一人旅	☆☆☆☆☆	--																													
	<p>▶ 黒瀬街道の常夜燈の写真をもっと見る (2枚)</p>																														

表 2-4.9 四国シニアにオススメランキングの TOP5 (1/2)

観光ガイド×四国×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】 ■シニアにオススメランキング 四国の旧街道ランキング TOP10 - じゃらん net (jalan.net)																										
1	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 80%;"> <p>丸亀街道</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>33%</td><td><div style="width: 33%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>33%</td><td><div style="width: 33%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>33%</td><td><div style="width: 33%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> </table> </div> </div> </div> <div style="width: 15%; text-align: right;"> 所在地を確認する </div> </div> <p>丸亀街道について</p> <p>この街道は道沿いに140基をこえる丁石・道標が数えられ、その数の多さに当時の賑わいが偲ばれる。安藤広重や与謝蕪村、十返舎一九などもこの道を歩いて金毘羅へ詣でていた。この道すがらを記した「金毘羅参詣名図絵」「道中藤栗毛」などの著は有名である。</p>	満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>	やや満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>	普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
やや満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
普通	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									
2	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 80%;"> <p>粟井坂</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>40%</td><td><div style="width: 40%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>60%</td><td><div style="width: 60%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> </table> </div> </div> </div> <div style="width: 15%; text-align: right;"> 所在地を確認する </div> </div>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	40%	<div style="width: 40%;"></div>	普通	60%	<div style="width: 60%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや満足	40%	<div style="width: 40%;"></div>																								
普通	60%	<div style="width: 60%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									
3	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 60%;"> <p>高松街道</p>  <p>Takamatsu city street</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr><td>満足</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>60%</td><td><div style="width: 60%;"></div></td></tr> <tr><td>普通</td><td>40%</td><td><div style="width: 40%;"></div></td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> <tr><td>不満</td><td>0%</td><td><div style="width: 0%;"></div></td></tr> </table> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr><td>子連れ</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>カップル</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>友達</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>シニア</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> <tr><td>一人旅</td><td>☆☆☆☆☆ --</td></tr> </table> </div> </div> <div style="width: 15%; text-align: right;"> 所在地を確認する </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">▶ 高松街道の写真をもっと見る (1枚)</p> <p>高松街道について</p> <p>高松街道は現在の国道32号線とほぼ同じ道筋であり、豊かな讃岐平野の田園地帯を横切って、高松から円座、陶、滝宮、岡田、榎井と通って琴平にたどり着くものである。この街道沿いにある滝宮神社は4月のうそかえ神事、8月の念仏踊りで有名。高松城下町から八里(約3.1km)続き、藩主松平家のお成道とも呼ばれ、歴代藩主の金毘羅参詣にも使われた。また榎井には、詩人であり勤皇の志士で、さらには博徒の大親分でもあった日柳燕石の旧邸「呑露楼(どんそろう楼)」が残されている。</p>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	60%	<div style="width: 60%;"></div>	普通	40%	<div style="width: 40%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや満足	60%	<div style="width: 60%;"></div>																								
普通	40%	<div style="width: 40%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									

表 2-4.9 四国シニアにオススメランキングの TOP5 (2/2)

<p>4</p>	<div data-bbox="319 201 510 235"> <p>伊予・土佐街道</p> </div> <div data-bbox="1173 201 1332 235"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="331 257 989 750"> <p>Kotohira area street</p> </div> <div data-bbox="997 257 1324 504"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>60%</td> <td><div style="width: 60%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>40%</td> <td><div style="width: 40%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="997 515 1324 750"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="949 761 1332 795"> <p>伊予・土佐街道の写真をもっと見る (1枚)</p> </div> <div data-bbox="319 828 622 862"> <p>伊予・土佐街道について</p> </div> <div data-bbox="327 884 1324 963"> <p>伊予土佐街道は、牛屋口峠、伊予見峠に通じており、幕末に高杉晋作がこの道を通って川之江を経て、国事に赴いたという史実があり、おそらくは坂本龍馬も足繁くこの道を行き来したものと思われる。並び燈籠が数多く残る沿道には、法然上人真蹟石碑や金毘羅別当職累代の墓所などの史跡が残されている。</p> </div>	満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>	やや満足	60%	<div style="width: 60%;"></div>	普通	40%	<div style="width: 40%;"></div>	やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ --	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
やや満足	60%	<div style="width: 60%;"></div>																								
普通	40%	<div style="width: 40%;"></div>																								
やや不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	☆☆☆☆☆ --																									
友達	☆☆☆☆☆ --																									
シニア	☆☆☆☆☆ --																									
一人旅	☆☆☆☆☆ --																									
<p>5</p>	<div data-bbox="319 974 510 1008"> <p>こんびら街道</p> </div> <div data-bbox="1173 974 1332 1008"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="359 1019 973 1478"> <p>おいりソフト</p> </div> <div data-bbox="989 1019 1284 1243"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>33%</td> <td><div style="width: 33%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>53%</td> <td><div style="width: 53%;"></div></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>13%</td> <td><div style="width: 13%;"></div></td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>2%</td> <td><div style="width: 2%;"></div></td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> <td><div style="width: 0%;"></div></td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="989 1254 1284 1478"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>★★★★☆ 4.4</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>★★★★☆ 3.8</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>★★★★☆ 3.3</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>★★★★☆ 4.0</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="941 1724 1292 1758"> <p>こんびら街道の写真をもっと見る (39枚)</p> </div> <div data-bbox="319 1780 622 1814"> <p>こんびら街道について</p> </div> <div data-bbox="327 1836 1324 1870"> <p>丸亀の太助灯籠からこんびらさんまでを「丸亀街道」といい、今でも昔の風情が感じられるまち並を残している。</p> </div>	満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>	やや満足	53%	<div style="width: 53%;"></div>	普通	13%	<div style="width: 13%;"></div>	やや不満	2%	<div style="width: 2%;"></div>	不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	★★★★☆ 4.4	友達	★★★★☆ 3.8	シニア	★★★★☆ 3.3	一人旅	★★★★☆ 4.0
満足	33%	<div style="width: 33%;"></div>																								
やや満足	53%	<div style="width: 53%;"></div>																								
普通	13%	<div style="width: 13%;"></div>																								
やや不満	2%	<div style="width: 2%;"></div>																								
不満	0%	<div style="width: 0%;"></div>																								
子連れ	☆☆☆☆☆ --																									
カップル	★★★★☆ 4.4																									
友達	★★★★☆ 3.8																									
シニア	★★★★☆ 3.3																									
一人旅	★★★★☆ 4.0																									

表 2-4.10 九州シニアにオススメランキングの TOP5 (1/3)

観光ガイド×九州×観光スポット×【ジャンル：観光施設・名所巡り>旧街道】

■シニアにオススメランキング

九州の旧街道ランキング TOP10 - じゃらん.net (jalan.net)

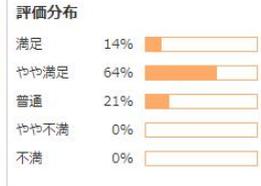
1

豊前街道 (熊本県山鹿市)

[所在地を確認する](#)



とても綺麗です



街道沿い



豊前街道



レトロな雰囲気です

[豊前街道 \(熊本県山鹿市\) の写真をもっと見る \(29枚\)](#)

豊前街道 (熊本県山鹿市) について

肥後・熊本(熊本市)を起点として北上し、熊本、山鹿から南関を経て豊前・小倉(北九州市)に至る道のことを豊前街道といえます。参勤交代道として栄え、善から湯のまちであった山鹿は宿場町、文化の中心として栄え、重厚な貴禄が町並みに残っています。豊前街道には、八千代座をはじめ山鹿灯籠屋敷、寺社、薬師堂や、昔の商家を利用した飲食店や土産物屋が並んでいます。あじ湯もありますので、休憩をしながら一帯をゆっくりと散策できます。

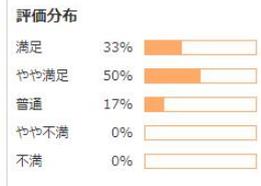
2

今市石畳 (参勤交代道路)

[所在地を確認する](#)



見取図



南側入り口



安楽寺です



途中「信玄曲り」というクランク状の曲がり角あり

[今市石畳 \(参勤交代道路\) の写真をもっと見る \(24枚\)](#)

表 2-4.10 九州シニアにオススメランキングの TOP5 (2/3)

<p>3</p>	<div data-bbox="405 203 544 232" data-label="Section-Header"> <p>曲里の松並木</p> </div> <div data-bbox="1109 208 1241 230" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="416 248 959 658" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 255 1236 443" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 465 1236 651" data-label="Figure"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.1</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ 4.3</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="416 667 683 866" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="692 667 959 866" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 667 1236 866" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="927 873 1241 898" data-label="Text"> <p>▶ 曲里の松並木の写真をもっと見る (19枚)</p> </div> <div data-bbox="405 925 633 956" data-label="Section-Header"> <p>曲里の松並木について</p> </div> <div data-bbox="405 969 1236 1055" data-label="Text"> <p>この松並木は、江戸時代に徳川幕府が全国の街道に松や杉を植樹させた名残である。江戸後期の狂歌師大田南畝（蜀山人は別号の一つ。寛延2年～文政6年=1749～1823）は「坂を下るに赤土の岸あり。松の並木の中をゆくゆく坂を上り下りて、又坂を下りゆけば、左に黒崎の内海見ゆ。」とその紀行文（小春紀行）にこの松並木あたりの描写をしている。昭和20年頃までは黒崎から木屋瀬にかけて、街道には多くの松を残していたが、今はわずかにこのあたりが昔日の長崎街道の面影をとどめている。</p> </div>	満足	28%	やや満足	61%	普通	11%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ 4.1	一人旅	☆☆☆☆☆ 4.3
満足	28%																				
やや満足	61%																				
普通	11%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	☆☆☆☆☆ --																				
カップル	☆☆☆☆☆ --																				
友達	☆☆☆☆☆ --																				
シニア	☆☆☆☆☆ 4.1																				
一人旅	☆☆☆☆☆ 4.3																				
<p>4</p>	<div data-bbox="405 1061 651 1090" data-label="Section-Header"> <p>長崎街道（佐賀県佐賀市）</p> </div> <div data-bbox="1109 1066 1241 1088" data-label="Text"> <p>所在地を確認する</p> </div> <div data-bbox="416 1106 959 1516" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1113 1236 1301" data-label="Figure"> <p>評価分布</p> <table border="1"> <tr> <td>満足</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="970 1323 1236 1509" data-label="Figure"> <p>旅行タイプ別評価</p> <table border="1"> <tr> <td>子連れ</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>カップル</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> <tr> <td>シニア</td> <td>☆☆☆☆☆ 3.8</td> </tr> <tr> <td>一人旅</td> <td>☆☆☆☆☆ --</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="416 1525 683 1724" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="692 1525 959 1724" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1525 1236 1724" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="847 1731 1241 1756" data-label="Text"> <p>▶ 長崎街道（佐賀県佐賀市）の写真をもっと見る (6枚)</p> </div> <div data-bbox="405 1783 754 1814" data-label="Section-Header"> <p>長崎街道（佐賀県佐賀市）について</p> </div> <div data-bbox="405 1827 1236 1868" data-label="Text"> <p>鳥栖市田代を起点に佐賀をぬけ埴野を経て長崎へ行く道、約130kmが長崎街道。旧国道34号線とほぼ重なる。鎖国の窓を開いていた長崎へ通じた道、ヨーロッパ文明が江戸へと運ばれた街道であった。城下町佐賀市の旧長崎街道6kmに往時の賑わいを偲ぶことができる。</p> </div>	満足	11%	やや満足	56%	普通	33%	やや不満	0%	不満	0%	子連れ	☆☆☆☆☆ --	カップル	☆☆☆☆☆ --	友達	☆☆☆☆☆ --	シニア	☆☆☆☆☆ 3.8	一人旅	☆☆☆☆☆ --
満足	11%																				
やや満足	56%																				
普通	33%																				
やや不満	0%																				
不満	0%																				
子連れ	☆☆☆☆☆ --																				
カップル	☆☆☆☆☆ --																				
友達	☆☆☆☆☆ --																				
シニア	☆☆☆☆☆ 3.8																				
一人旅	☆☆☆☆☆ --																				

表 2-4.10 九州シニアにオススメランキングの TOP5 (3/3)

5

二重峠石畳

所在地を確認する

評価分布

満足	41%	<div style="width: 41%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>
やや満足	44%	<div style="width: 44%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>
普通	15%	<div style="width: 15%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>
やや不満	0%	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>
不満	0%	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: #f4a460;"></div>

旅行タイプ別評価

子連れ	☆☆☆☆☆ --
カップル	★★★★☆ 3.6
友達	☆☆☆☆☆ --
シニア	☆☆☆☆☆ --
一人旅	☆☆☆☆☆ --



豊後街道二重峠石畳



豊後街道二重峠石畳



二重峠展望台からの景色



二重峠からの景色

▶ 二重峠石畳の写真をもっと見る (6枚)

二重峠石畳について

阿蘇市車埴の杉林の中に、かつて肥後藩の大名行列が通った石畳の道が残されている。二重峠の下にあるこの道は、座布団大の石が幅2mほどに敷き詰められ、約1.5kmにわたって続いている。近くには参勤交代の行列が休憩した的の御茶屋跡もあり、水前寺成趣園によく似たつくりの庭にはこんこんと清水が湧き出している。

73

② 楽天トラベル

<街道観光の取扱いの有無>

楽天トラベルはオンラインでのホテル・旅館の検索と予約を目的としたサイトである。ホテル・旅館を検索する際に各都道府県の観光スポットから近隣のホテル・旅館を検索する機能を有しており、観光スポットとして街道名や宿場名が設定されている。

また、ブログ記事形式で旅行先を紹介する旅行ガイドページでいくつかの宿場に関する紹介記事が掲載されている。

<検索方法>

[トップページ] > [他の目的・条件から探す] > [観光スポット名一覧] > [都道府県] と進むことで、各都道府県の観光スポット一覧を表示できる。

参考として、図 2-4.4 に青森県の観光スポットの一覧画面の奥州街道記載部分を示す。

旅行ガイド（トラベルガイド）ページ内の検索ボックスから[街道] や [宿場町] でキーワード検索を行うことで、関連する記事に到達することができる。

八戸・三沢・七戸十和田	キリストの里伝承館	蘆毛崎展望台	旧渋沢邸
	八戸城跡	八戸市史跡根城の広場	八戸市水産科学館マリエント
	八戸市埋蔵文化財センター 泉川縄文館分館	八戸市博物館	権引八幡宮
	上北温泉郷	蕨島	種差海岸
	種差キャンプ場	道の駅 さんのへ	わかさぎ公園浜台キャンプ場・オートキャンプ場
	奥州街道	旧園子家住宅	ふれあい体験の郷
	小沢田観光果樹園	乙女の像	十和田湖遊覧船
	氣比神社	小川原湖畔キャンプ場	桃川（見学）
	馬門温泉	道の駅 しちのへ	日本中央の礎保存館
	東八甲田家族旅行村	古牧温泉	天間詔神社（ヒナコウモリ小屋）
	鳥帽子岳	道の駅 よこはま	睡蓮沼
	十和田山	浜町の常夜燈	六ヶ所原燃P.Rセンター
	休屋	十和田ビジターセンター	十和田神社
	宇樽部キャンプ場	十和田湖モーターボート	十和田湖（青森県）
	道の駅 奥入瀬	奥入瀬溪流	夢の森ハイランド
	御島部山展望台	猿倉温泉	谷地温泉
	諏湖台	大町桂月の墓	蕨温泉
	史跡七戸城跡	蕨の七沼	小川原湖
	八戸港観光遊覧船	奥入瀬溪流館	八食センター
	カワヨグリーン牧場	太黒森	ブルーベリー観光農園
	道の駅 なんごう	名川チェリーセンター	タコブ創遊村
	みろくの滝	南部利康霊屋	田子町ガーリックセンター
	道の駅 はしかみ	八戸市賞魚菜小売市場	白華山法光寺
	ユートリー	虚空蔵菩薩	道の駅 なんごう
	「官庁街通り」（駒街道）	ファンタジードームはちのへ	太平洋無着陸横断飛行記念の礎
	斗南藩記念観光村先人記念館	三沢市歴史民俗資料館	玉代・勝世姫像
	十和田湖温泉郷	三沢市寺山修司記念館	手づくり村 鯉神郷
	キリストの墓（キリストの里公園）	奥入瀬湧水館	十和田市立新渡戸記念館
		太石神ピラミッド	道の駅 しんごう

図 2-4.4 青森県観光スポット一覧（奥州街道記載部分抜粋）

<街道観光の取り上げ方について>

各都道府県の観光スポットとして設定されている街道名や宿場名を表 2-4.11 に示す。

各都道府県で 106 カ所の街道・宿場町が観光スポットとして設定されているが、ホテル・旅館の検索条件のカテゴリとしての [街道] や [宿場町] は設定されていない。また、観光スポットの街道・宿場町についても大量の観光スポット一覧の中から一つ一つ探す必要があり、街道や宿場町だけを横断的に探すことは難しくなっている。

[トップページ] > [他の目的・条件から探す] 内の [目的から宿を探す] (図 2-4.5 内の赤枠部分) に [街道の近くの宿] や [宿場町の宿] といったカテゴリが追加されれば、街道や宿場に関する検索も容易になると考えられる。

旅行ガイド (トラベルガイド) でキーワード: 「街道」の検索結果を表 2-4.12 に、キーワード: 「宿場町」の検索結果を表 2-4.13 に示す。

検索結果に表示される紹介記事は「宿場町」をテーマとして取り上げたものであり、記事タイトルも「宿場町」が押し出され、街道観光としては点的な紹介となっている。「街道」は本文中の説明の中でわずかに使用されるだけのものがほとんどであり、街道観光として線的に紹介するような記事がないことがわかった。「街道」をテーマとした線的な紹介記事により街道観光の紹介のバリエーションを増やすことで、街道観光に関する関心を高めることにつながると考えられる。



図 2-4.5 [他の目的・条件から探す] 選択画面

表 2-4.11 各都道府県観光スポット一覧における街道・宿場町（1/3）

他の目的・条件から探す>観光スポット名一覧>都道府県 楽天トラベル:観光スポットのホテル・旅館 (rakuten.co.jp)	
青森県	奥州街道
宮城県	七ヶ宿街道
秋田県	三崎山旧街道
山形県	出羽の古道 六十里越街道
	榎下宿
福島県	旧奥州街道
	会津西街道
	大内宿
栃木県	日光街道
埼玉県	日光街道
東京都	伝鎌倉街道
神奈川県	箱根旧街道コース
	箱根旧街道東坂
新潟県	三国街道塩沢宿牧之通り
山梨県	台ヶ原宿
長野県	鬼無里街道
	北国街道 海野宿
	旧北国街道 柳町の通り
	旧谷街道
	北国街道 小諸宿
	女街道・毘地石仏群
	海野宿
	望月宿
	芦田宿
	御堂垣外宿
	妻籠宿
	須原宿
	福島宿
	奈良井宿
牛方宿	
福井県	馬借街道
	鯖街道起点
	若狭鯖街道
	今庄宿
	板取宿
	熊川宿
岐阜県	大井宿本陣跡
	中山道太田宿
	細久手宿
	中山道御嶽宿 商家竹屋

表 2-4.11 各都道府県観光スポット一覧における街道・宿場町 (2/3)

岐阜県	中津川宿
	馬籠宿
	垂井宿
	中山道赤坂宿
静岡県	旧天城街道
	姫街道
	東海道蒲原宿
	由比宿
	興津宿
	江尻宿
	府中宿
	丸子宿
	吉原宿
	三島宿
	沼津宿
	原宿
	岡部宿
	藤枝宿
	島田宿
	金谷宿
	三ヶ日宿
	気賀宿
	市野宿
	浜松宿
	舞坂宿
	新居宿
	白須賀宿
見付宿	
日坂宿	
掛川宿	
袋井宿	
愛知県	中馬街道
	二川宿本陣
	藤川宿
三重県	伊勢本街道
	和歌山街道
	関宿
滋賀県	鯖街道
	北国街道
	間の宿
	草津宿
	今津宿

表 2-4.11 各都道府県観光スポット一覧における街道・宿場町（3/3）

滋賀県	柏原宿
	木之本宿
	塩津宿
	醒井宿
	中山道守山宿
	鳥居本宿
	土山宿本陣跡
	石部宿
京都府	鞍馬街道
大阪府	暗越奈良街道
	郡山宿本陣
兵庫県	平福宿（道の駅 宿場町ひらふく）
奈良県	柳生街道
	竹内街道
和歌山県	高野街道
鳥取県	若桜街道・本通り
	若桜宿
	智頭宿
香川県	金毘羅街道の町並み
高知県	野根山街道
福岡県	唐津街道 畦町宿
佐賀県	長崎街道
長崎県	長崎街道の石碑
熊本県	豊後街道 菊陽杉並木

表 2-4.12 旅行ガイド検索結果【キーワード：街道】

旅行ガイド（トラベルガイド）×【キーワード検索：街道】

検索結果 [【楽天トラベル】 \(rakuten.co.jp\)](https://rakuten.co.jp)

1



絵になる宿場・妻籠宿に行く 江戸の町並みや信州グルメを満喫

長野 2019/06/27

江戸時代、街道の拠点として栄えた、長野県にある妻籠宿。日本で初めて古い景観の保護を行った場所としても知られています。山深い木曾路にあって本格的な江戸の町並みに出会える妻籠宿の歩き方やグルメ情報をご紹介します。

2



江戸情緒をいまに残す「宿場町」7選

全国 2022/04/07

「大内宿」や「妻籠宿」など、江戸時代に宿場として栄えた姿をいまなお残すおすすめの宿場町7選をご紹介します。中山道や東海道などの街道沿いに江戸情緒を残す街並みが続く様子はまるでタイムスリップをしたかのよう。今注目の宿場町観光へ。



「大内宿」を満喫！日本の原風景を楽しむ旅へ

福島 2022/12/14

江戸時代の景観が残る大内宿の見どころや宿泊スポットをご紹介します。かつて会津西街道の宿場町として栄えた大内宿には、茅葺屋根の民家がずらり。ここならではの風景とグルメ・雑貨・絵付け体験、冬の祭りなど1度は訪れてみたい魅力が沢山！

表 2-4.13 旅行ガイド検索結果【キーワード：宿場町】

旅行ガイド（トラベルガイド）×【キーワード検索：宿場町】

検索結果 [【楽天トラベル】 \(rakuten.co.jp\)](https://www.rakuten.co.jp)

1

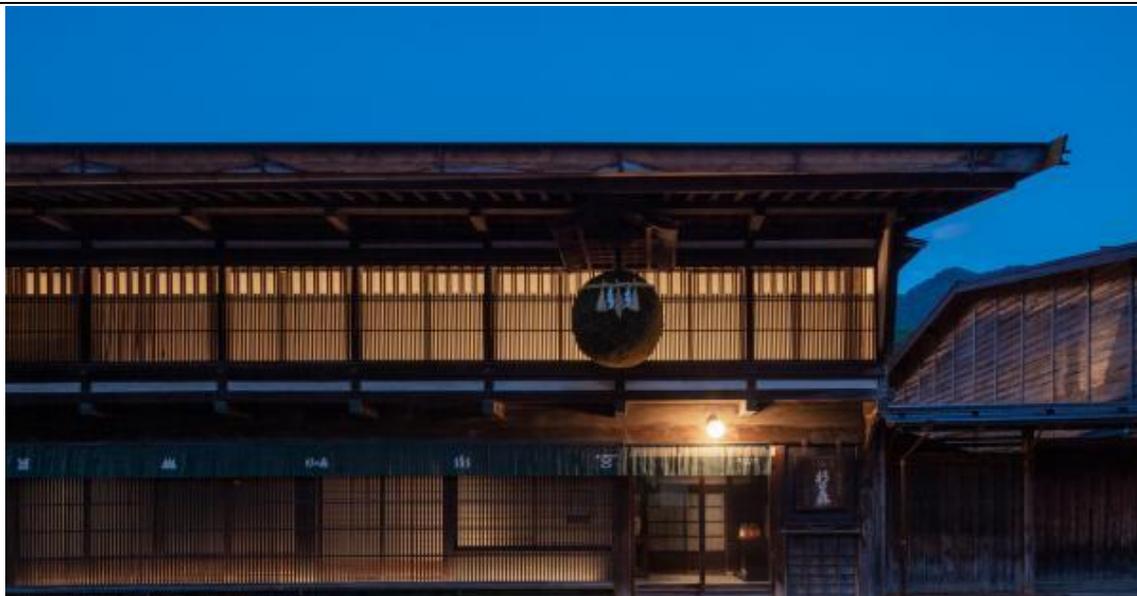


江戸情緒をいまに残す「宿場町」7選

全国 2022/04/07

「大内宿」や「妻籠宿」など、江戸時代に宿場として栄えた姿をいまなお残すおすすめの宿場町7選をご紹介します。中山道や東海道などの街道沿いに江戸情緒を残す街並みが続く様子はまるでタイムスリップをしたかのよう。今注目の宿場町観光へ。

2



長野県塩尻市の宿場町「奈良井宿」に6つの施設が開業！ 宿泊施設「BYAKU Narai」で非日常的な時間を過ごそう

長野 2021/08/31

株式会社竹中工務店と株式会社47PLANNINGは、長野県塩尻市の宿場町「奈良井宿」に小規模複合施設を開業。宿泊施設「BYAKU Narai」をはじめ、レストラン・酒蔵・バー・温浴施設・ギャラリーの6業態が入居しました。

3



会津若松の女子旅観光モデルコース【後半：東山温泉と大内宿編】

福島 2019/06/27

福島県 会津若松市は、城下町であり史跡が点在するレトロな観光地。女子旅モデルコース後半では、美肌の湯が堪能できる東山温泉、少し足をのばして宿場町の大内宿、かわいいお土産探しや喜多方ラーメンなどのグルメを楽しみましょう。

4



「大内宿」を満喫！日本の原風景を楽しむ旅へ

福島 2022/12/14

江戸時代の景観が残る大内宿の見どころや宿泊スポットをご紹介します。かつて会津西街道の宿場町として栄えた大内宿には、茅葺屋根の民家がずらり。ここならではの風景とグルメ・雑貨・絵付け体験、冬の祭りなど1度は訪れてみたい魅力が沢山！

③ 一休.com

<街道観光の取扱いの有無>

一休.com はオンラインでの宿泊施設や飲食店の検索・予約を目的としたサービスである。登録されたキーワードをタグとして、周辺の宿泊施設・飲食店を検索する機能を有する。

トップページのキーワード検索ボックスにおいて、「街道」と検索した際にタグ候補としていくつか「街道」とついたスポットが挙がる。「宿場」もしくは「宿場町」でキーワード検索した際は関連したスポットのタグ候補は挙がらない。

<検索方法>

【トップページ】のキーワード検索ボックスに「街道」と入力することで、街道を含んだタグ候補を確認することができる。参考として、図 2-4.6 に「街道」で検索した際の検索候補表示画面を示す。

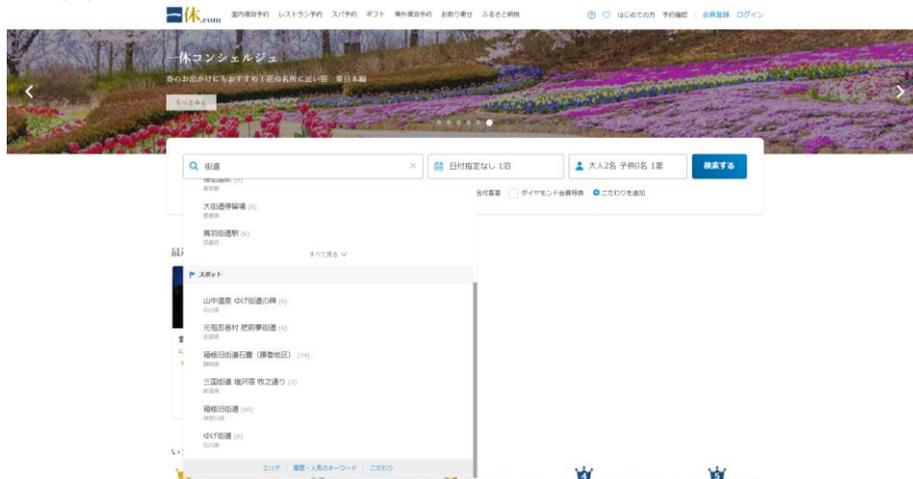


図 2-4.6 キーワード検索ボックス検索候補画面（キーワード：街道）

<街道観光の取り上げ方について>

宿泊施設・飲食店の検索の際のカテゴリやジャンルに、「街道」や「宿場町」といった設定はない。トップページのキーワード検索ボックスにおいて、「街道」と検索した際のタグ候補一覧を表 2-4.14 に示す。

表 2-4.14 にあるようにタグ候補は 6 カ所と総数も少ないが、街道観光に関連するスポットは中でも 3 件（表中赤字）とさらに少なく、限定的である。

こうした検索サイトでは登録タグに「街道」や「宿場町」を登録・紐付することはもちろん、「箱根旧街道」の「三国街道 塩沢宿 牧之通り」のような具体的な街道名や宿場名を登録・紐付することで、街道や宿場町で横断的な検索を可能にし、街道観光の線的、面的な広がりにつなげることができると考えられる。

表 2-4.14 スポット検索候補一覧（キーワード：街道）

スポット検索候補一覧（キーワード：街道）	
1	山中温泉 ゆげ街道の碑
2	元祖忍者村 肥前夢街道
3	箱根旧街道石畳（腰巻地区）
4	三国街道 塩沢宿 牧之通り
5	箱根旧街道
6	ゆげ街道

④ ウォーカープラス

<街道観光の取扱いの有無>

ウォーカープラスはエンタメ情報やスポット情報、イベント情報などを扱うニュースメディアである。ニュースやイベント情報では街道観光について特集などはなかった。全国のおでかけスポットを紹介するページでは、「馬籠宿」や「妻籠宿」といった観光地として有名な宿場町や「木曾路」といった街道もスポットとして紹介されている。

<検索方法>

[トップページ] > [おでかけ先を探す：スポット一覧] > [観光：名所・旧跡] もしくは [トップページ] > [おでかけ先を探す：スポット一覧] > [観光：歴史的建造物] で全国のおでかけスポット一覧から、街道や宿場町に関連するスポットを絞り込むことができる。

<街道観光の取り上げ方について>

エンタメ情報やイベント情報をメインに取り扱うメディアではあるが、街道観光に関連する特集等は見られなかった。

また、全国のおでかけスポット一覧の検索カテゴリの中に [街道] や [宿場町] のカテゴリはなかった。街道や宿場町に関するスポットを検索するためには、[観光：名所・旧跡] (全 134 件) や [観光：歴史的建造物] (全 24 件) のカテゴリの中から、一つ一つ探していくしかなく、街道や宿場町をみつけることは難しくなっている。

図 2-4.7 に示すような観光の絞り込みのカテゴリとして、[街道] や [宿場町] が設定されることで横断的な検索が可能になると考えられる。

また、こうしたニュースサイトで大きく取り上げられるためには、ひとつの宿場町での単発のイベントでは難しく、現在特集ページが作られている「全国お花見ガイド」や「花火大会カレンダー」、「紅葉情報」、「イルミネーションガイド」のような街道をベースとした大きな取組が必要と考えられる。

カテゴリで絞り込む	
アミューズメント	全件 遊園地・レジャー施設 テーマパーク 動物園・サファリパーク 水族館・アクアリウム 公園 観光農園 牧場・乗馬施設 植物園 プラネタリウム・天文台 工場見学 プール キャンプ場 フードテーマパーク レジャー・リゾート施設 バーベキュー場 海水浴場 庭園 スキー・スノボゲレンデ 展示場 屋内施設
商業施設	全件 デパート・百貨店 ショッピングモール アウトレットモール ファッションビル・商業施設 複合施設 観光アンテナショップ
ミュージアム	全件 美術館 博物館・資料館 科学館 ギャラリー
観光	全件 道の駅 サービスエリア・パーキングエリア 神社 寺・寺院 絶景・景勝地 名所・旧跡 城・城跡 歴史建造物 遺跡 史跡 展望台・タワー ホテル 旅館 空港 初詣 初日の出 夜景
温泉・スパ	全件 温泉 スパリゾート
エンタメ	全件 フットサルコート スポーツ施設・スタジアム ライブハウス 劇場 屋内アミューズメント施設

図 2-4.7 絞り込みカテゴリ

⑤ MATCHA

<街道観光の取扱いの有無>

MATCHA は訪日旅行者に向けて日本の情報を発信する WEB マガジンである。各都道府県の人気スポットを表示する機能も有している。記事検索の結果、街道観光を特集するような紹介記事は見当たらなかった。各都道府県の人気スポットには「信濃路」や「木曽路 中山道」といった街道や「大内宿」、「馬籠宿」のような有名な宿場町が設定されている。

<検索方法>

紹介記事の検索はトップページの検索ボックスに [街道] や [宿場町]、具体的な街道名や宿場名を入力することで、関連する紹介記事を検索することができる。

人気スポットについては、[トップページ] > [旅先] > [地方選択] > [都道府県選択] > [エリア選択] とすすんでいくことで各エリアの人気スポットを表示することができる。参考として、図 2-4.8 に [長野県] > [木曽] エリアの人気スポットの「木曽路 中山道」掲載部分（図内赤枠）の画面を示す。

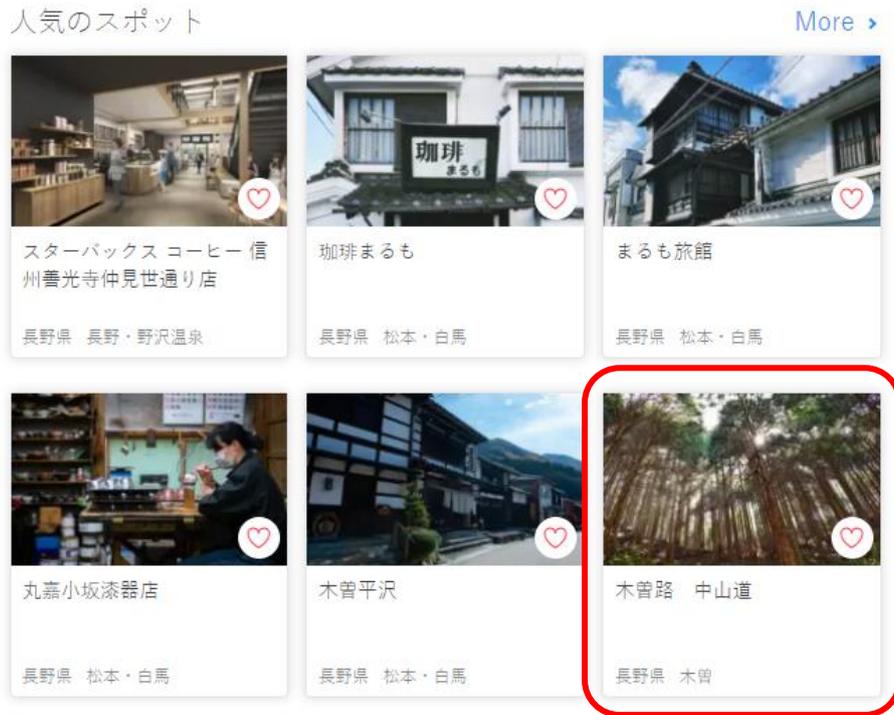


図 2-4.8 長野県木曽エリア人気スポット（木曽路 中山道掲載部分抜粋）

<街道観光の取り上げ方について>

キーワードを [街道] や五街道の具体的な街道名で記事検索した結果、検索候補は挙がったものの、街道がテーマとなっているものや、タイトルに「街道」や具体的な街道名が入っているという記事を見つけることはできなかった。検索結果として挙がった記事は宿場町を紹介する際の説明として「街道」という言葉や具体的な街道名が使われている記事がヒットしたものであった。

キーワード [宿場町] の検索結果についても、宿場町がテーマとなっている、タイトルに「宿場町」や具体的な宿場名が入っているという紹介記事はなく、ある地域のおすすめスポットをまとめて紹介する記事の中でスポットの一つとして扱われるにとどまっている。

人気スポットの検索については、[街道] や [宿場町] といったカテゴリやジャンルは設定されていない。街道や宿場町を探す場合、各エリアの人気スポットを一つ一つ確認していかなければならず、街道や宿場町だけを横断的に検索することは難しい作りとなっている。

また、人気スポットに設定されている街道、宿場町ともに数は少ない。さらに、図 2-4.9 に示すように、掲載されている情報も写真も説明文もなく公式サイト URL が掲載されているだけで、一見して詳細がわからないものがあり、情報が充実しているとは言えない。

一方で、新しい街道である「しまなみ海道」はサイクリングと絡めて多くの紹介記事が掲載されている。こうした記事内では「しまなみ海道」でサイクリングを楽しめることはもちろん、サイクリングを通してどのような体験ができるかということを重視した内容となっている。

今後、街道観光を周知していくうえでも、街道観光を通してどのような体験ができるのかを発信していくことが重要であると考えられる。

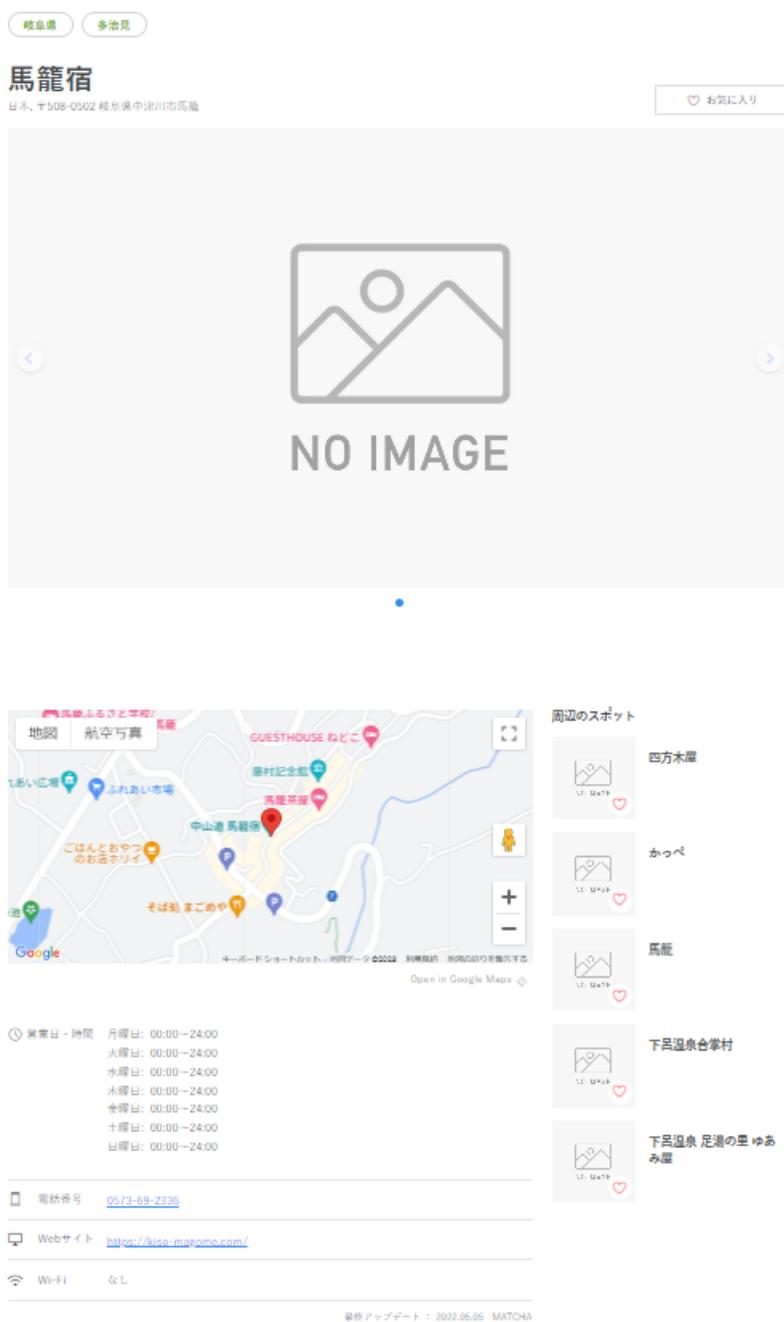


図 2-4.9 人気スポット詳細ページ（馬籠宿）

⑥ ジャパン・トラベル

<街道観光の取扱いの有無>

ジャパン・トラベルは訪日外国人向け観光情報メディアである。ブログ形式で日本各地の観光情報を発信している。

街道観光の紹介としては、「日光街道」沿いの飲食店の写真紹介記事、箱根旧街道のハイキングルートのレビュー記事などがあげられている。また、宿場町では「大内宿」や「大磯宿」の紹介記事などがあげられている。

<検索方法>

トップページの検索ボックスから[街道]や[宿場町]と検索することで、関連する記事を表示することができる。

<街道観光の取り上げ方について>

街道観光として街道や宿場町をテーマとした記事は掲載されている。しかし、キーワード検索によって候補として挙がってくる記事は関連性で並び替えした場合でも、上位以外は街道や宿場町との関連が薄いものが多い。絞り込みのカテゴリにも[街道]や[宿場町]の設定はなく、実際に街道や宿場町について紹介している記事を見つけることは難しい。

図 2-4.10 に示すカテゴリ検索の中に[街道]や[宿場町]といったものが追加されることで検索が容易になると考えられる。



図 2-4.10 絞り込みカテゴリ選択画面

⑦ Travel Japan (JNTO)

<街道観光の取扱いの有無>

Travel Japan (JNTO) は JNTO の外国人旅行者向け公式グローバルウェブサイトである。日本国内の観光地別・旅行者の興味関心別に多様な観光情報を紹介する「Destinations」「Things to do」ページについて、約 1,000 ページを英語から日本語に翻訳し、公開されている。

街道をテーマとした記事として、「中山道」や「熊野古道」を紹介する記事がある。

宿場町をテーマとした記事では「大内宿」や「馬籠宿」、「妻籠宿」を紹介する記事がある。また、あるエリアの紹介記事の中で、スポットの一つとして、宿場町が取り上げられているものもあった。

<検索方法>

トップページの検索ボックスから、「街道」や「宿場町」と検索することで関連するページに到達することができる。

別の方法として、「[トップページ] > [観光スポット・体験] > [日本文化] > [古い町並み]」もしくは「[トップページ] > [観光スポット・体験] > [歴史]」から街道や宿場町に関連する記事のページを表示することができる。

<街道観光の取り上げ方について>

「中山道」や「馬籠宿」のような街道や宿場町を主として取り上げる記事の数は少ないながら、内容は写真や説明文などが充実している。

検索については、キーワード検索により横断的に検索することが可能となっている。カテゴリ検索では「興味別の検索」>「歴史街道」があるが、街道観光とは関連のない記事が 1 件登録されているだけであり、実質、「街道」や「宿場町」といったカテゴリは無い。図 2-4.11 に「観光スポット・体験」>「歴史」>「興味別の検索」の画面を示す。

「歴史街道」のようなカテゴリと具体的な街道や宿場町の紹介記事を紐付けることで、検索が容易になると考えられる。

興味別の検索



図 2-4.11 「観光スポット・体験」>「歴史」>「興味別の検索」画面

3. 街道をテーマとした既存旅行商品の調査事業

3-1 調査手法

1) 調査目的

『江戸街道プロジェクト』において、今後、街道をテーマとした商品造成を検討していく際の参考資料とするために、実際に販売されている街道をテーマとした旅行商品の実態、ならびに商品造成における課題を調査する。教育旅行における街道観光の可能性も調査する。

2) 調査対象

街道をテーマとした旅行商品を販売している以下の事業者を対象とする。

○クラブツーリズム(株)（※五街道を歩くツアーをはじめ、25年以上の街道歩きツアーの実績）、(株)小田急トラベル、(株)JTBガイアレック、東日本旅客鉄道(株)

3) 調査方法

適切な情報収集、効率的な作業を行うために、次のステップで実施する。

STEP1：街道の旅行商品を国内で最も広く扱うクラブツーリズム(株)の取材を実施。

街道をテーマとした商品企画にあたって「重要な項目」や「留意すべき点」として、どういった切り口から整理することが望ましいのか、といったフォーマットについて、実際の実績も交え対面取材で得る。

STEP2：フォーマットを活用し、他事業者に対してメールを基本に、必要性に応じて電話取材、オンライン会議の方法で情報収集を行う。

4) 調査内容

現時点では以下を想定し、クラブツーリズム(株)のヒアリングを踏まえ詳細を詰める。

- ・旅行商品の実態として：種類、ターゲット、価格帯、販売時期など
- ・商品造成の課題として：付加価値創造、関係者調整など（商品造成において、自治体がどう動いたのか、地域(飲食店等)とどう繋がりをもたせたのか、等）

5) 実施概要

各旅行関連会社へのヒアリングの実施は下記の通り。

表 3-1.1 実施概要

	取材先	実施日時	実施方法
①	クラブツーリズム(株)	令和4年11月30日	訪問
②	(株)小田急トラベル	令和5年2月20日	オンライン
③	(株)JTBガイアレック	令和5年2月22日	オンライン
④	東日本旅客鉄道(株)	令和5年2月20日	訪問

3-2 調査結果

1) 取材結果

① 商品展開

- ・主に街道の宿場間を区切ったセクションハイクの商品を展開、全ての回に参加することで街道を踏破できる。
- ・商品の特性上、リピーターが多く、各社とも飽きない工夫を商品造成の際に意識。
- ・購入者は60代・70代が多い。男性は1人参加、女性はグループ参加が多い傾向。
- ・現役世代は子ども同伴の来訪が難しいこともあり、参加が少ない。
- ・歴史に関する説明ができるガイドを同行（自社添乗員の場合も）
- ・会社間の商品の主な違いとしては、客層に応じて歴史・文化のガイドに力を入れるケースとウォーキングに力を入れるケースが挙げられた。
- ・地域情報の収集は、基本的に自社社員が行うケースが多い（地域からの提案は多くはない）。

② 地域連携への主な意見

- ・地域の見どころや事前のイベント情報、活用できる宣材といったお客様に喜んでもらえるポイントの情報から通行止めなどの道路の安全情報まで、地域の実務的な情報窓口が明確にされていると有難い。
- ・早い段階から地域の情報を入手できていれば、より質の高い商品企画ができる。たとえば、地域の祭りなどのイベントを企画に組み込むならば、開催の3カ月以上前に情報提供を受け取る必要がある。
- ・地域のどこに何を尋ねたらいいのか、割引チケットなどどこまでのことが相談できるのかが分かる情報プラットフォームがあるとよい。

2) まとめ

- ・商品の多くが「街道を踏破する」というテーマである。そのため時間に余裕のあるリタイア世代の顧客が多い。
- ・幅広い層に街道をテーマにした旅行商品を訴求するには、気軽に参加できる新たな形の商品企画・造成が必要と考えられる。
- ・そのためには、旅行会社が企画段階で、地域ならではのコンテンツやイベントの情報を入手できる仕掛けが必要となる。
- ・例えば、地域が予定情報を旅行会社等に発信でき、それを旅行会社等が閲覧できるB to Bの情報プラットフォームを広域関東で整備していくことで、より幅広い街道関連商品の企画が生まれることが期待される。

4. 市場のニーズ調査事業

4-1 インターネット調査

4-1-1 調査手法

1) 調査目的

今後、街道をテーマとした商品造成を戦略的に検討するための基礎資料として、こういったターゲットが、江戸街道のこういったコンテンツに関心があるのか等、市場ニーズを把握する。

2) 調査方法

インターネット調査（楽天インサイト社のパネルを活用）

3) 調査対象

街道コンテンツへの訪問に関心がある人
（※有意なサンプルがとれるか予備検討の上で確定）

4) サンプル数

1,000 サンプル

5) スクリーニング調査項目

スクリーニング調査で歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道など）を選択した回答者を対象とした。

SC1：興味・関心のある観光のテーマ（グルメ、自然・アウトドア、歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道など）、宿泊・リラックス、特にない／観光・旅行には行かない）

6) 本調査項目

表 4-1.1 インターネット調査 設問内容

来訪経験者	設問	備考
1	<p>自粛を経て全国で旅行が再開されつつあります。あなたが旅行に行くとしたら目的としたいことを教えてください。（いくつでも）</p> <p>1 知的好奇心を満たしたい 2 感動したい 3 愛着を感じたい、懐かしい気持ちになりたい 4 健康や美容など癒されたい 5 ここでしかできない体験、話題の体験をしたい 6 家族・友人と親睦を深めたい 7 その他（回答必須）（200文字まで）</p>	
2	<p>普段の旅行先に期待することや旅行先を選ぶ際に重視することを教えてください。（いくつでも）</p> <p>1 自然・景観がよい 2 地域の人とのふれあいがある 3 体を動かせる 4 地域食文化・グルメを味わえる 5 伝統・芸術文化を体験できる 6 テーマパークがある 7 距離が近い 8 旅行費用が安い 9 自分の旅行行動で地域貢献ができると感じられる 10 その他（回答必須）（200文字まで）</p>	
3	<p>普段の旅行で多い旅行日数を教えてください。</p> <p>1 日帰り 2 1泊 3 2泊 4 3泊 5 4泊 6 5泊以上</p>	
4	<p>普段の旅行先への移動（家～目的地）で最も長い時間利用する移動手段を教えてください。</p> <p>1 飛行機 2 鉄道 3 自家用車 4 高速バス 5 団体バス 6 レンタカー 7 タクシー 8 船・フェリー 9 自転車 10 その他（回答必須）（200文字まで）</p>	
5	<p>旅行先の地域の中での移動でよく利用する移動手段を教えてください。（いくつでも）</p> <p>1 鉄道 2 自家用車 3 団体バス 4 レンタカー 5 タクシー 6 自転車 7 バイク 8 徒歩 9 その他（200文字まで）</p>	

来訪 経験者	設問	備考
6	あなたが思う「街道観光と言えば」のイメージを教えてください。(いくつでも) 1 古い街並みを活用したまち歩き 2 武将などの歴史や史跡(城など) 3 伝統文化や工芸の体験 4 まつりや伝統芸能・イベント 5 現代の礎となった産業遺産など 6 温泉 7 自然・景観 8 宿場町 9 ガイド 10 グルメ 11 その他(回答必須)(200文字まで) 12 具体的なイメージがない	
7	街道をテーマとした観光旅行に行ったことはありますか。 1 ある 2 ない	
8	前問で「ある」とお答えの方にお聞きします。訪問先の都道府県を教えてください。※複数あてはまる場合は、直近で訪れた都道府県をお答えください。 1 福島県 2 茨城県 3 栃木県 4 群馬県 5 埼玉県 6 千葉県 7 東京都 8 神奈川県 9 山梨県 10 新潟県 11 長野県 12 上記以外の道府県 13 分からない、不明	8で「ある」と回答した方のみ
9	街道観光で体験したものを選んでください。(いくつでも) 1 古民家を活かした宿での宿泊 2 古い町並みの景観 3 街道沿いの自然・風景 4 祭りなどのイベント 5 古民家を活かした飲食店・カフェ・喫茶店 6 地域の伝統工芸や雑貨 7 スタンプラリー 8 着物などの着付け体験(まち歩きなど) 9 その他(回答必須)(200文字まで)	8で「ある」と回答した方のみ
10	街道観光に行った際に1人当たりどのくらいのお金を使いましたか(おおよそで構いません)。(半角数字でご記入ください) 1 【必須】(整数7桁まで)円	8で「ある」と回答した方のみ
11	今後、街道観光に行く機会があれば体験してみたいものを選んでください。(いくつでも) 1 古民家を活かした宿での宿泊 2 古い町並みの景観 3 街道沿いの自然・風景 4 祭りなどのイベント 5 古民家を活かした飲食店・カフェ・喫茶店 6 地域の伝統工芸や雑貨 7 スタンプラリー 8 着物などの着付け体験(まち歩きなど) 9 その他(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)	8で「ない」と回答した方のみ
12	今後、機会があれば街道観光に行ってみたいですか。 1 行ってみたい 2 どちらとも言えない 3 行ってみたいとは思わない	
13	どんな情報があれば街道観光に行ってみたいと思いますか。(いくつでも) 1 アクセスの改善 2 街道観光の情報 3 ゆっくりできること滞在環境の情報 4 その他(回答必須)(200文字まで)	
14	日頃活用している観光情報の検索媒体を教えてください。(いくつでも) 1 旅行雑誌・ガイドブック 2 観光パンフレット 3 新聞記事・広告 4 テレビ・ラジオ 5 旅行会社に相談する 6 WEBサイト(HPやblogなど) 7 SNS(Facebook、Twitter、TikTok、YouTubeなど) 8 友人・知人からの薦め・クチコミ 9 その他(回答必須)(200文字まで)	
15	訪問地にて)近隣の観光情報を知るために何を利用してありますか。(いくつでも) 1 Google Mapなどの地図アプリ 2 地域が発行するマップ(紙) 3 地域が紹介するアプリなど 4 旅行雑誌・ガイドブックを予め持っていく 5 WEBサイト 6 SNS(Facebook、Twitterなど) 7 地域の人に直接聞く 8 その他(回答必須)(200文字まで)	
16	旅行経験をSNSに発信するとしたら、普段利用する媒体を教えてください。(いくつでも) 1 Facebook 2 Twitter 3 blog 4 TikTok 5 YouTube 6 その他(回答必須)(200文字まで) 7 発信することはない	
17	利用しやすい旅行商品やあったらいいと思うサービスについて教えてください。(いくつでも) 1 地域の歴史・文化を紹介してくれるアプリ 2 地域のイベントを情報 3 観光ガイド手配方法 4 周遊のオススメの紹介 5 行先での消費が地域貢献につながる情報が分かる情報 6 ゆっくりできる場所 7 その他(回答必須)(200文字まで)	

4-1-2 調査結果

1) スクリーニング調査結果

SC1 あなたが興味・関心のある観光のテーマをお選びください。

- スクリーニング調査では、本調査対象者である「歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道など）」の回答者は、43%で最も低かった。また、本調査対象者である「グルメ」は、66.5%であった。
- ※スクリーニング調査で「歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道など）」もしくは、「グルメ」と回答した方を本調査の対象者とした。
- 本調査対象者の本設問の回答割合は、2つ目のグラフの通りで、「歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道など）」は調査対象なので100%であり、「宿泊・リラックス」75.7%で次いで多かった。

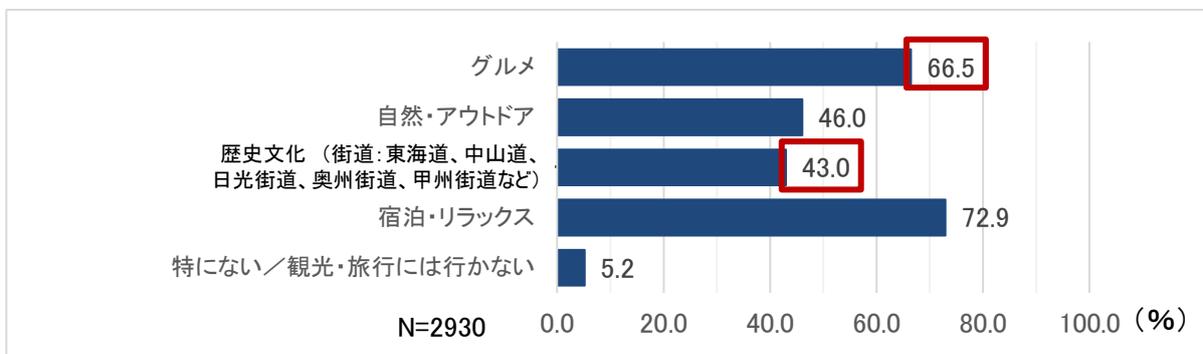


図 4-1.1 興味・関心のある観光のテーマ（スクリーニング調査結果）

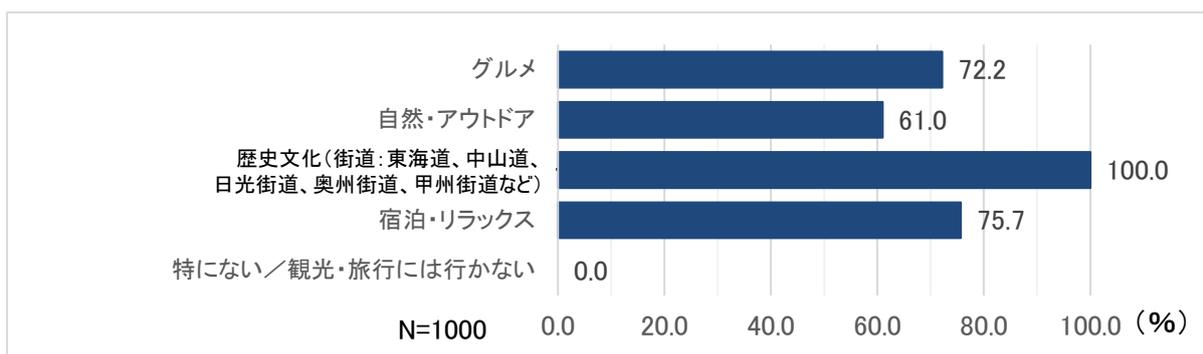


図 4-1.2 興味・関心のある観光のテーマ（本調査対象者の回答）

2) 本調査結果（単純集計）

Q1 自粛を経て全国で旅行が再開されつつあります。あなたが旅行に行くとしたら目的としていたいことを教えてください。（いくつでも）

- 「知的な好奇心を満たしたい」が65.6%と最も高く、次いで「感動したい」が61.4%と続いている。
- 「ここでしかできない体験、話題の体験をしたい」と「家族・友人との親睦を深めたい」も50%を超えており、比較的高い値となった。

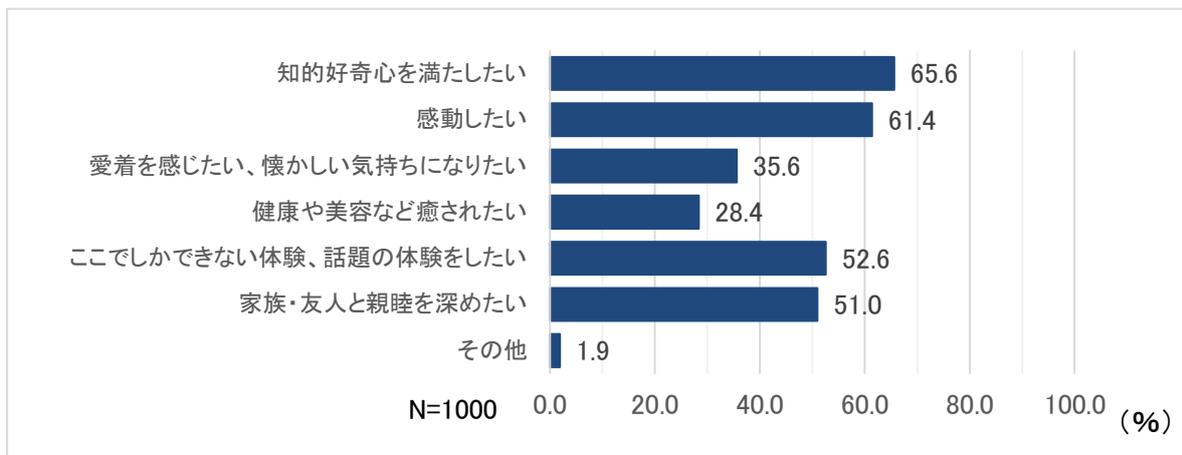


図 4-1.3 旅行に行く目的

その他
ローカル線に乗りたい
自然の中でのんびりしたい
美味しいものを食べたい
ふれあい
まちあるき
神社お城
おいしい物を食べたい
静かな温泉旅館
ゆっくりと温泉に浸りたい
アクティビティや食事を楽しみたい
ゴルフ
美味しい料理を食べたい
エンタメのための旅行
のんびり
歴史を感じたい
鉄道写真を撮ったり乗りたい
自然を満喫したい
趣味
美味しい食べ物を食べる。

Q2 普段の旅行先に期待することや旅行先を選ぶ際に重視することを教えてください。
(いくつでも)

- 「自然・景観がよい」が83.9%と最も高く、次いで「地域食文化・グルメを味わえる」が76.4%と続いている。
- 「伝統・芸術文化を体験できる」や「旅行費用が安い」も55%を超えており、比較的高い値となった。

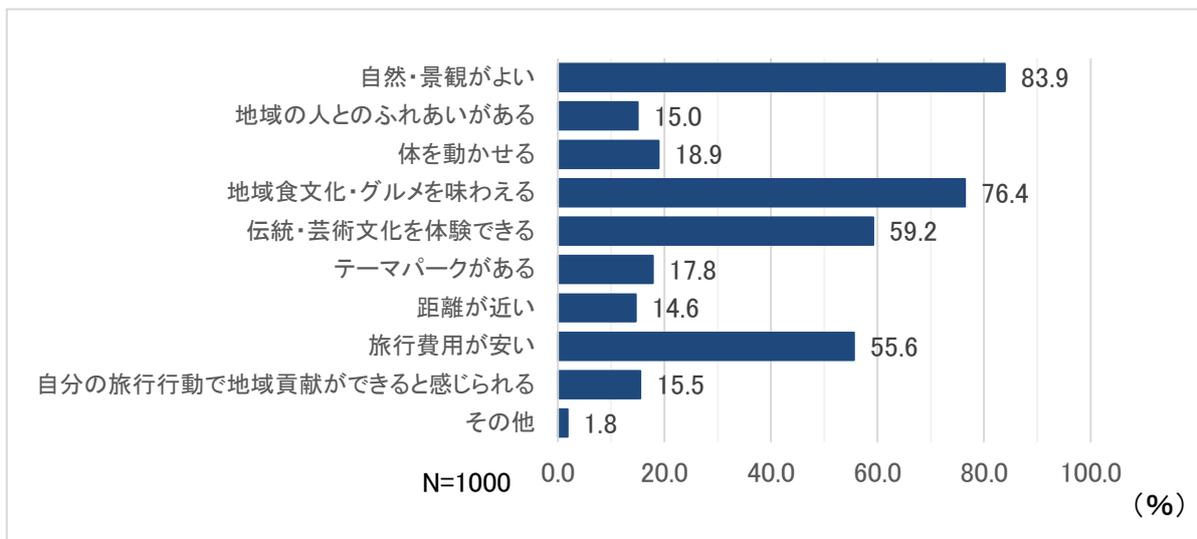


図 4-1.4 普段の旅行先に期待することや旅行先を選ぶ際に重視すること

その他 (主な回答)	回答数
温泉がある	3
私鉄地方鉄道がある	2
犬と一緒に宿泊	2
癒される	2
行きたい史跡や寺社がある	2
交通の便が良い	1
歴史を感じられる	1
自由行動	1
1人でも宿泊可能	1
家族の思い出	1
趣味	1
なし	1

Q3 普段の旅行で多い旅行日数を教えてください。

- 普段の旅行で多い旅行日数については「1泊」が47.8%と最も多く、次いで「2泊」が28.5%と続いている。
- 「日帰り」、「1泊」、「2泊」の合計が全体の約9割を占めている。

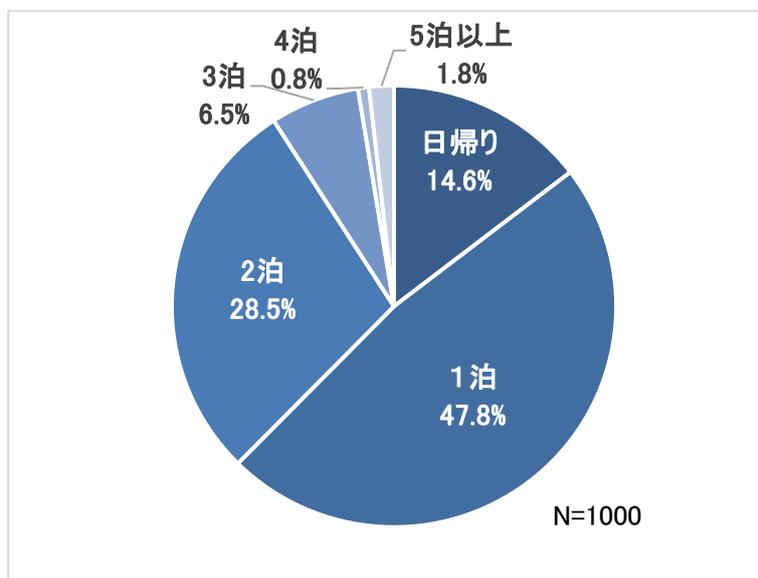


図 4-1.5 普段の旅行で多い旅行日数

Q4 普段の旅行先への移動（家～目的地）で最も長い時間利用する移動手段を教えてください。

- 「自家用車」が57.5%と最も高く、次いで「鉄道」が32.7%と続いている。
- 「自家用車」と「鉄道」で全体の約9割を占めている。

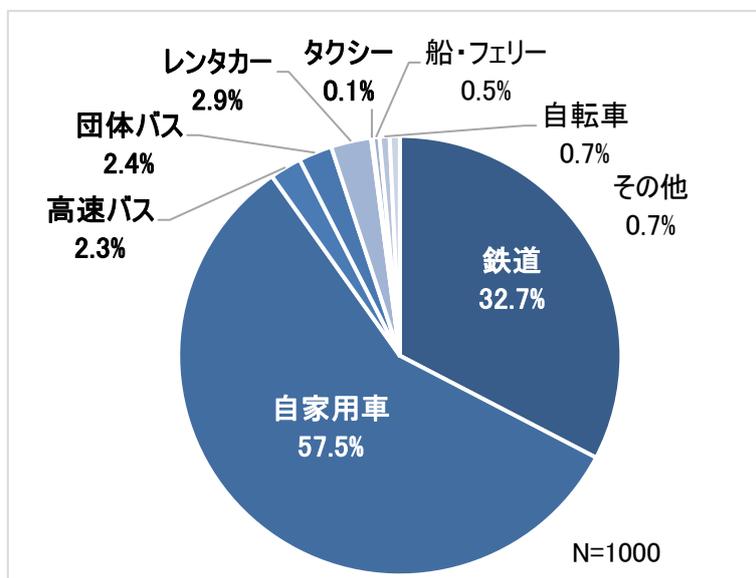


図 4-1.6 普段の旅行先への移動（家～目的地）で最も長い時間利用する移動手段

その他
バイク（オートバイ）

Q5 旅行先の地域の中での移動でよく利用する移動手段を教えてください。（いくつでも）

- 「自家用車」が51.7%と最も高く、次いで「鉄道」が40.6%と続いている。
- 「レンタカー」と「徒歩」とも20%を超えており、比較的高い値となった。

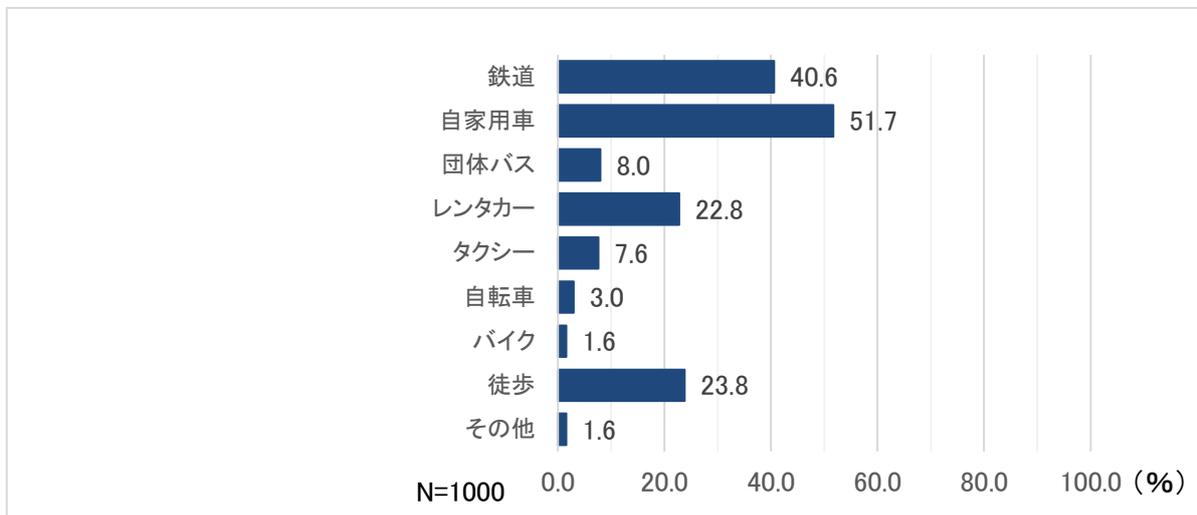


図 4-1.7 旅行先の地域の中での移動でよく利用する移動手段

その他（主な回答）	回答数
路線バス	14
知人の車	1
公共交通	1

Q6 あなたが思う「街道観光と言えば」のイメージを教えてください。（いくつでも）

- 「古い街並みを活かした街歩き」が72.5%と最も高く、次いで「武将などの歴史や史跡（城など）」が57.8%と続いた。
- 「温泉」、「自然・景観」、「宿場町」も約55%で、比較的高い値となっている。

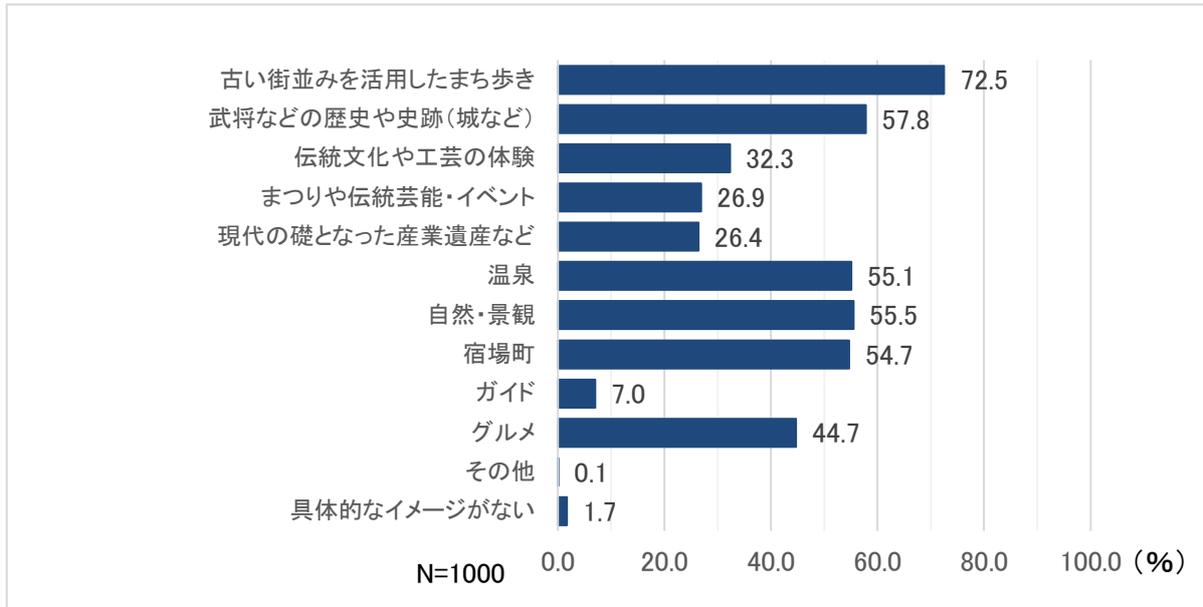


図 4-1.8 街道観光のイメージ

その他
社寺仏閣

Q7 街道をテーマとした観光旅行に行ったことはありますか。

- 「ある」が44.9%で、過半数を下回った。
- 調査対象は「歴史文化（街道：東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道）」に興味・関心があると回答しているが、過半数を下回る低い値であることがわかった。

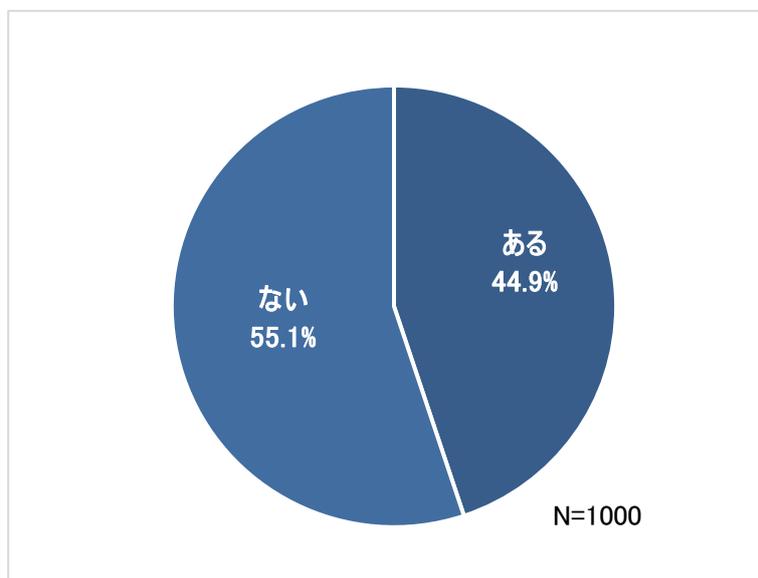


図 4-1.9 街道をテーマとした観光旅行の有無

Q8 前問で「ある」とお答えの方にお聞きします。訪問先の都道府県を教えてください。
※複数あてはまる場合は、直近で訪れた都道府県をお答えください。

・「長野県」が22.0%と最も高く、次いで「福島県」が12.9%と続いている。

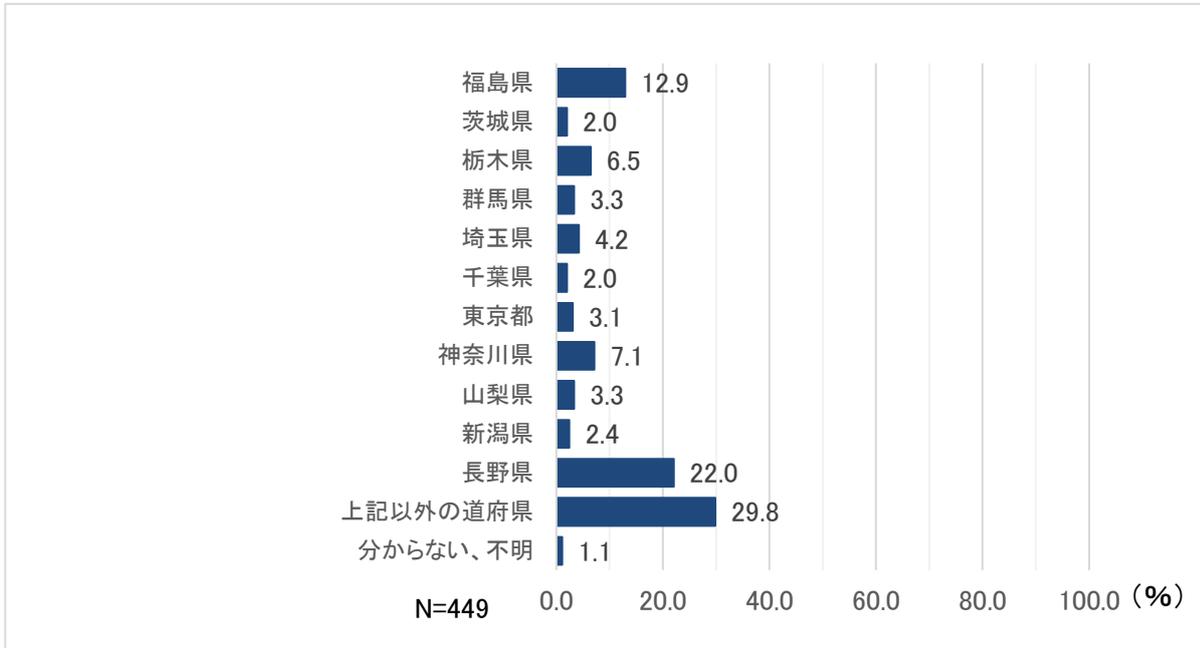


図 4-1.10 街道観光で来訪した都道府県

Q9 街道観光で体験したものを選んでください。(いくつでも)

- 「古い街並みの景観」が79.5%と最も高く、次いで「街道沿いの自然・風景」が75.3%と続いている。
- 「古民家を活かした飲食店・カフェ・喫茶店」が44.3%、「地域の伝統工芸や雑貨」が38.3%と比較的高い値となっている。

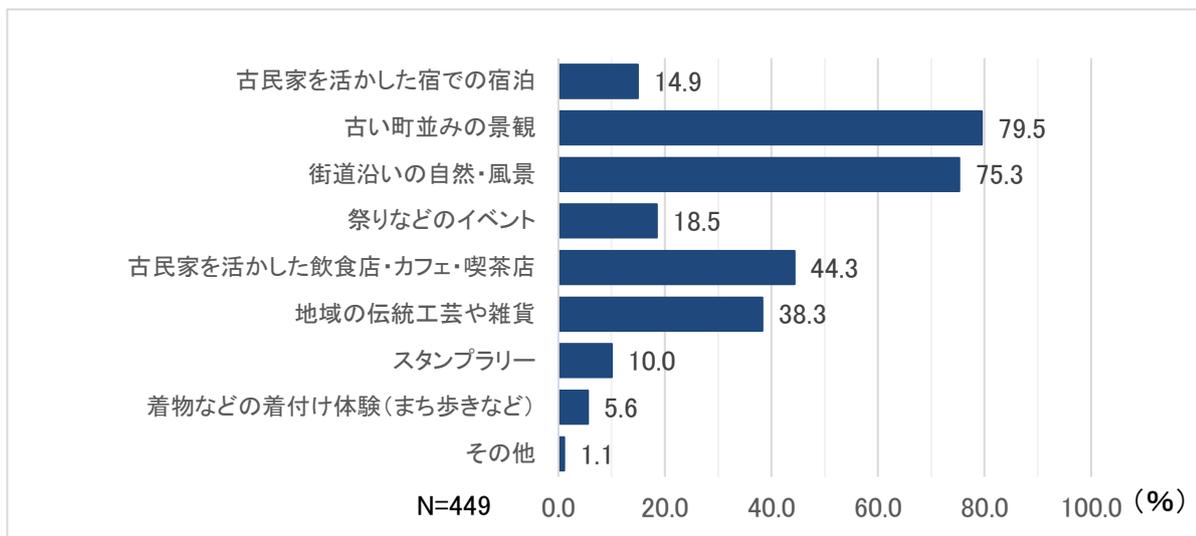


図 4-1.11 街道観光で体験したもの

その他
社寺仏閣
地元海産物の購入
登山
農産物
グルメ

Q10 街道観光に行った際に1人当たりどのくらいのお金を使いましたか。
(おおよそで構いません)

- 「2万円以上～3万円未満」が19.8%と最も高く、次いで「1万円以上～2万円未満」が19.4%と続いている。
- 4万円未満までで全体の8割以上を占めているが、「5万円以上～」も13.6%と一定数いることがわかった。

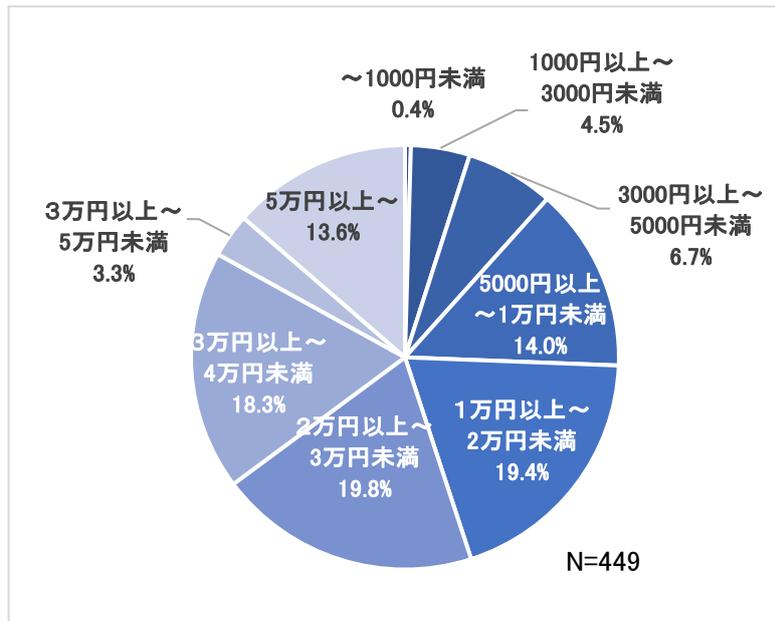


図 4-1.12 街道観光に行った際の1人当たりの金額

Q11 今後、街道観光に行く機会があれば体験してみたいものを選んでください。
(いくつでも)

- 「古い町並みの景観」が79.9%と最も高く、次いで「街道沿いの自然・風景」が71.3%と続いている。
- 「古民家を活かした飲食店・カフェ・喫茶店」が50%を越えており、比較的高い値となっている。

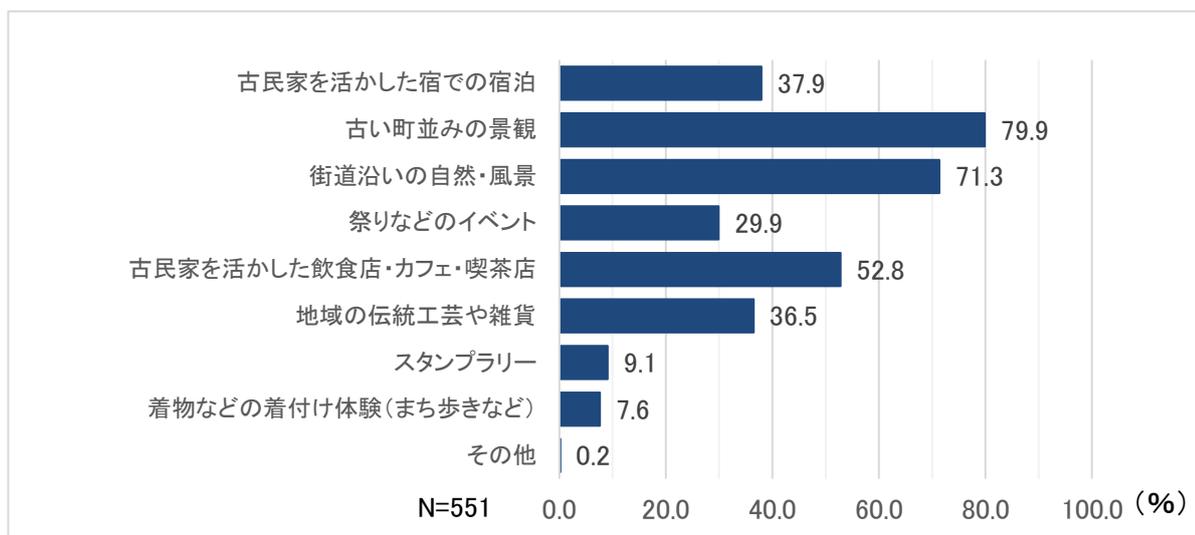


図 4-1.13 街道観光に行く機会があれば体験してみたいもの

その他
城、寺、神社

Q12 今後、機会があれば街道観光に行ってみたいですか。

・「行ってみたい」が84.0%と多数を占めた。

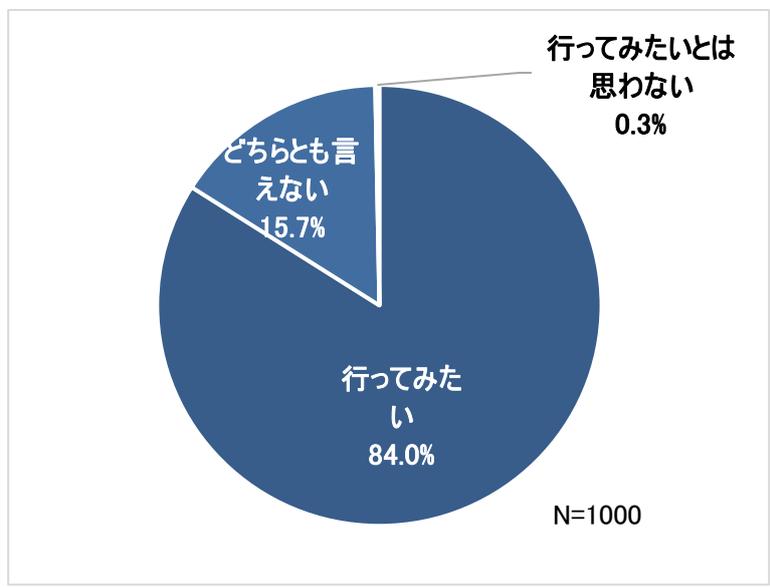


図 4-1.14 街道観光の今後の意向

Q13 どんな情報があれば街道観光に行ってみたいと思いますか。（いくつでも）

- 「街道観光の情報」が75.7%と最も高く、次いで「ゆっくりできる滞在環境の情報」が57.8%と続いている。

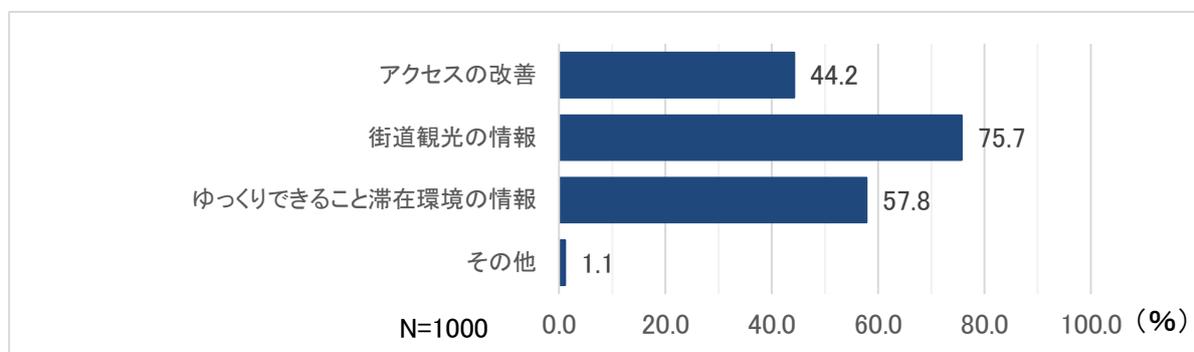


図 4-1.15 街道観光を行う際に欲しい情報

その他
犬と一緒に宿泊できる宿があるか
時間と金
美味しいもの
トイレの整備
宿泊割引
安価な宿泊施設
穴場情報
単に行きたいトコロ
激安ツアー
特にない

Q14 日頃活用している観光情報の検索媒体を教えてください。（いくつでも）

・「WEB サイト（HP やblog など）」が 76.5%と最も高く、次いで「旅行雑誌・ガイドブック」が 50.8%と続いている。

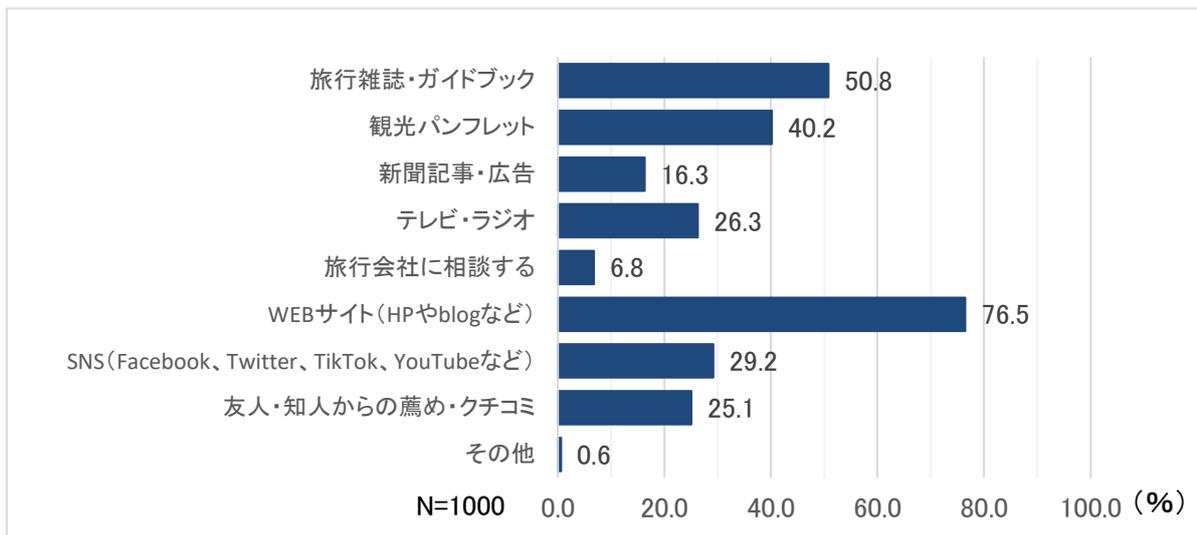


図 4-1.16 日頃活用している観光情報の検索媒体

その他（主な回答）
家族から聞く。
YouTube
自己情報
常宿が決まっている
ない

Q15 (訪問地にて) 近隣の観光情報を知るために何を利用していますか。(いくつでも)

- 「WEB サイト」が68.9%と最も高く、次いで「Google Mapなどの地図アプリ」が46.7%と続いている。
- 「地域が発行するマップ(紙)」や「旅行雑誌・ガイドブックを予め持っていく」も40%を越えており、比較的高い値となっている。

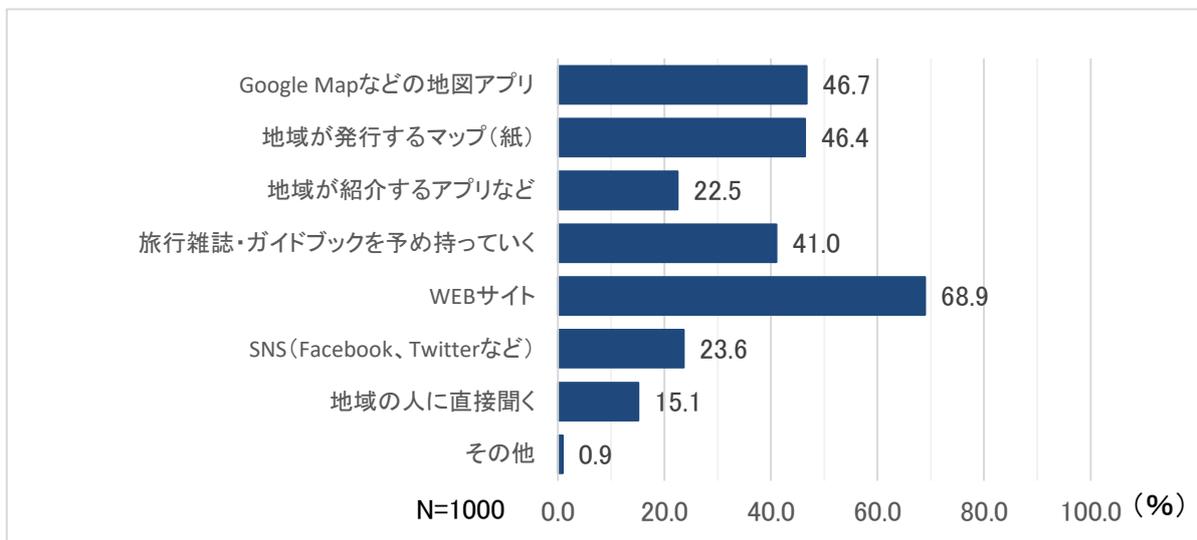


図 4-1.17 近隣の観光情報を知るための手段

その他
観光案内所
旅行パンフレット
地元自治体などの観光案内(紙)
ホテルの人に聞く
自治体の資料
YouTube
特には無い

Q16 旅行経験を SNS に発信するとしたら、普段利用する媒体を教えてください。
(いくつでも)

- 「発信することはない」が 50.1%と最も高い。
- SNS に発信する場合は Twitter が 24.3%で最も高く、次いで「YouTube」20.6%、「Facebook」が 20.2%と続いている。

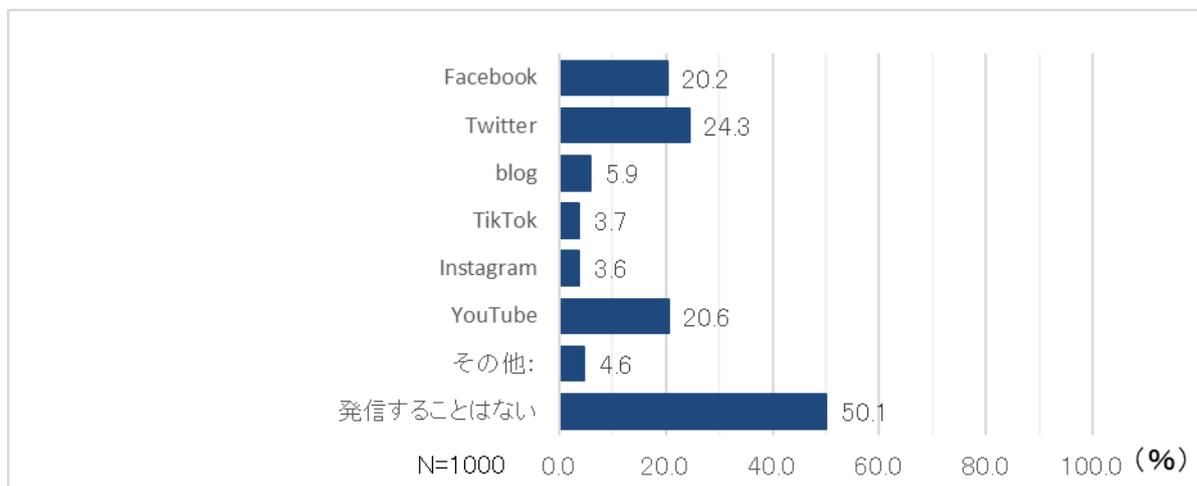


図 4-1.18 旅行経験を SNS に発信する際に利用する媒体

その他 (主な回答)	回答数
LINE	2
Google マップ	2
Web の口コミ	2
twitch	1
アメブロ	1
トリップアドバイザー	1
mixi	1

Q17 利用しやすい旅行商品やあったらいいと思うサービスについて教えてください。
(いくつでも)

- 「周遊のオススメの紹介」が62.0%と最も高く、次いで「地域の歴史・文化を紹介してくれるアプリ」が55.2%と続いている。
- 「地域のイベント情報」と「ゆっくりできる場所」も40%を越えており、比較的高い値となっている。

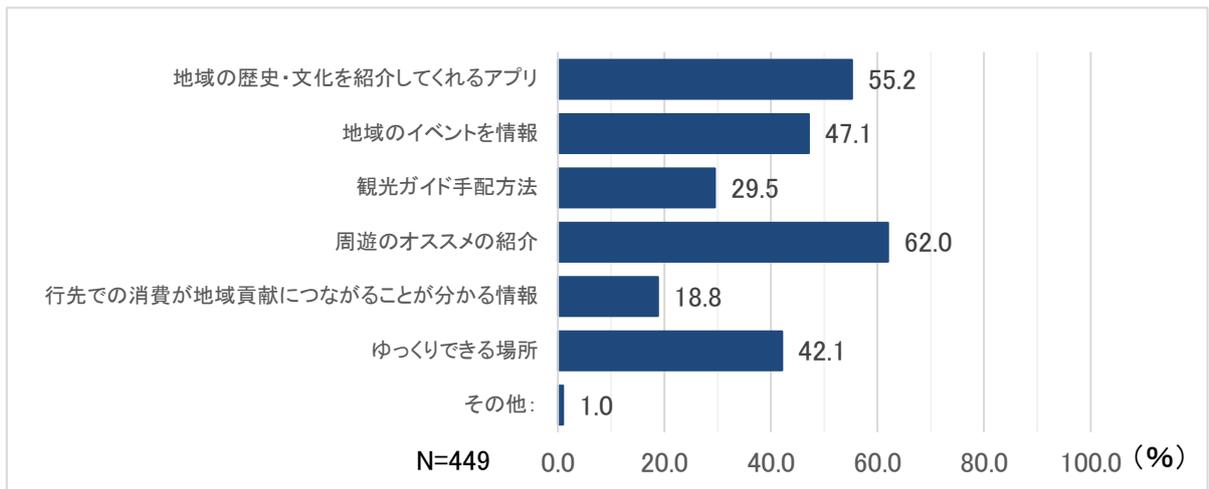


図 4-1.19 利用しやすい旅行商品やあったらいいと思うサービス

その他
名所をまわるバスやフリーパス
観光情報
公共交通機関
道路地図
ルート検索
1人宿泊者歓迎の宿の紹介
釣り情報
なし

4-2 グループ・インタビュー

4-2-1 調査手法

1) 目的

「街道」というテーマにおいて、従来の顧客層というのは、ニッチな層であると想定される。広く街道に関わる観光に興味を持ってもらうためには、街道をどう読み解いて見せるかが重要であり、そのため、次の目的でグループ・インタビューを行った。

- ・若者（特に女性）の意見や考え、街道のイメージについて参考とする。
- ・街道に関わる観光について、若い人達に知ってもらい、興味を持ってもらうためのアイデアを得る。

2) 調査方法

①インタビュー対象者

跡見学園女子大学 学生8名

②モデレータ

受託事業者 (株)ケー・シー・エス 3名

③進め方

参加者には事前に下記資料を配布し、「江戸街道プロジェクト」に関する内容を把握してもらった上で、インタビューに参加してもらった。

【配布資料】



『いざ！江戸街道プロジェクト』



『江戸街道ショーケース』



関東運輸局 HP
『江戸街道紹介ページ』

当日は、モデレータから対象者に質問事項（別紙のとおり）を投げかけながら、グループ・インタビューによる対話形式で行った。

また、インタビュー時間内では、聞き取りできなかった意見や後日に思いついた意見のフォローアップを行った。

④実施場所

跡見学園女子大学 文京キャンパス 2702号教室

⑤実施概要

当日のインタビューの流れは下記のとおりである。

【シナリオ概要(次第)】

時刻	時間	ディスカッションの内容
15:00	約 5 分	開会あいさつ、趣旨説明 司会(KCS 井上)
15:05	約 15 分	1. 江戸街道の事前説明 司会(KCS 井上)
15:20	約 20 分	2. 自己紹介 ※18~24分(3分×6~8人) ファシリテーター(KCS宇野)
15:40	約 20 分	3. 江戸街道の観光をしたことがあるか? ※18~24分(3分×6~8人) ファシリテーター(KCS宇野)
16:00	約 20 分	4. 江戸街道ショーケースへの意見 ※18~24分(3分×6~8人) ファシリテーター(KCS宇野)
16:20	約 20 分	5. 江戸街道を知ってもらうには、関心をもってもらうには? ※18~24分(3分×6~8人) ファシリテーター(KCS宇野)
16:40	約 10 分	クロージング ファシリテーター(KCS宇野)
16:50	約 5 分	閉会あいさつ ※5分余裕をもっています。 司会(KCS井上)
17:00	終了	グループ・インタビュー終了

4-2-2 調査結果

1) 街道観光のイメージ

Q：街道観光のイメージおよび訪問経験について質問した。

- ・歴史が好きという参加者はいたものの、街道観光の視点やイメージを明確に持った参加者はいなかった。
- ・観光には多く訪問しているが、街道沿いであることや宿場町であることが意識された発言はあまりなかった。

⇒（仮説）若年層の街道観光に対する認知度の向上が必要である。

2) 街道観光の興味・関心

Q：「江戸街道ショーケース」（関東運輸局観光部）を例に、街道観光の興味・関心について質問した。

- ・江戸街道の変遷が見れると面白い。「ココは昔は海だった？」のような。
- ・キャッシュレスで特典を付ける、インスタマップを見てお店の場所を探せる、といったことができるの良いのではないか。
- ・温泉だけでなく、今流行のサウナも紹介してはどうか。
- ・街道観光というなら街並みが重要ではないか。歩くといろいろな新発見がある。

⇒（仮説）歴史・文化の知識だけでなく、ゲーム感覚のようなライトな要素をからめると良いのではないか。

3) 行ってみたい街道（具体的地名があれば挙げる）

Q：行ってみたい街道観光について質問した。

- ・東海道：名古屋城、高速道路のSA
- ・日光街道：日光（小学生の時と今で感じるものが違うと思う）
- ・甲州街道：山梨県、松本城
- ・中山道：妻籠宿（時代を感じる、食を楽しみたい）
- ・奥州街道：具体はなし（牛タン）
- ・その他：フォトスポットマップ、御朱印集め

⇒（仮説）歴史観光をベースに、写真映えする地域の情報を発信すると良いのではないか。

4) 街道観光に関心をもってもらうには

Q：若い人に関心をもってもらうための発信等について質問した。

- ・知名度の高い観光情報だけでなく、マイナーな観光情報も交えて情報を発信することが重要だと思う。そのほか、公共交通へのアクセス情報も重要。
- ・地域のイベント、地域資源を活用した工芸品や食材、カフェ等にも関心がある。
- ・インスタやSNSの活用がよいと思うが、まずは見てもらうための仕掛けとしてもインフルエンサーとの連携も検討してはどうか。

⇒（仮説）希少性のある“地域ならではの”情報を訴求すると良いのではないか。

5. 連携可能なコンテンツの整理

5-1 調査手法

ここでは、2章から4章までの調査結果を踏まえ、「江戸街道プロジェクト」として地域間の連携や広域連携を推進するために活用できると考えられる、連携可能なコンテンツの整理を行った。

5-2 調査結果

連携可能なコンテンツについて、以下の3つの観点から、収集した事例を参考に整理を行った。その結果を下表にて整理を行った。

●仕掛け

旅行者を訪問または周遊させる契機になる要素を挙げた。

●取組の狙い

前項の仕掛けを活用することで生じるメカニズムについて記載した。

●コンテンツ例

事例調査等で得られた該当する取組みを例として挙げた。

表 5-2.1 連携可能なコンテンツの整理

仕掛け	取組の狙い	コンテンツ例
コレクション性のある媒体の発行	コレクションできる媒体を活用し、収集する楽しみを通じて旅行者の訪問契機を創出する。	御朱印・御宿場印集め
周遊した結果に特典をつける	指定ポイントを周ることで特典贈呈や抽選参加権などつけ、お得感による周遊契機を創出する。	スマホ・台紙などでのスタンプリイイベント
周遊にゲーム性をもたせる	ただ周ってもらうのではなく、謎解きをしながら、街道や宿場の歴史・特徴などを知ってもらう知的好奇心に訴えた周遊契機を創出する。	謎解きツアー
街道沿い宿場の“地域ならではの”を一箇所に集める	地域の産業関係者と協働し、地域産の資源（食料、工芸品）などを集め、地域を知ってもらう	地域マルシェの開催
地域のイベント情報、季節性など将来の情報の集約	地域の“今だけ、ここだけ”の情報を集約し、旅行会社へ届ける仕組みの構築し、旅行会社が造成する商品造成の質的な向上をアシスト（B to B の発信）	地域がコンテンツ情報・イベント情報を登録できる仕組みの構築（情報の一元集約）
地域情報を一体（複合的に）発信し、エリア全体の魅力として示す	複合的にコンテンツの魅力を示すことで、旅行先選択のニーズを拾う（B to C の発信）	旅行検討者に向けて広域関東として一元発信する仕組みの構築（情報の一元発信）

6. 街道の成り立ちや歴史的な背景の整理

6-1 調査手法

(1) 調査目的

各街道にはそれぞれの成り立ちや歴史的な背景があることから、これらを街道ごとに整理した。また、五街道の全体を象徴するシンボルマークを作成した。

(2) 調査対象

対象は五街道（東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道）とした。

(3) 調査方法

街道の成り立ちや歴史的な背景について、既存文献¹⁴等に基づき街道ごとに整理した。成果は今後活用しやすい一覧表として整理した。なお、情報収集にあたって歴史に強い出版社等への取材を行った。

【収集・整理する情報の例】五街道の概要¹⁵

◆東海道

- ・1601年正月、東海道諸宿に伝馬制が敷かれる。箱根関などの難所があったが、施設が最も優れ、つねににぎわった。
- ・常備人馬数:100人 100疋
- ・宿:江戸(日本橋)－京都(三条大橋)間に53宿。
- ・総延長:江戸・京都間 126里6町余(約495.5km)
- ・京街道(大津-守口間の4宿)も延長とされる。

◆中山道

- ・東海道に次いで伝馬制を実施(1602年)。単に山道といったり、木曾路と呼ばれたりした。
- ・常備人馬数:50人 50疋(贄川～馬籠は20人20疋)
- ・宿:板橋より守山まで67宿あるが、通常は草津、大津を加え木曾街道六十九駅という
- ・総延長:江戸～草津間 129里10町余(約507.7km)

◆甲州街道

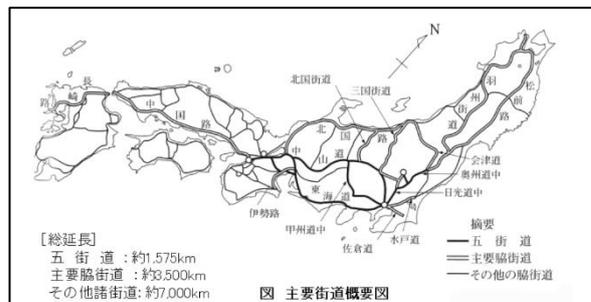
- ・1618年に官道となる。江戸中期以降、商品流通路としてにぎわった。
- ・常備人馬数:25人 25疋 ・宿:内藤新宿、八王子など45の宿。下諏訪で中山道に合流。
- ・総延長:江戸－下諏訪間 55里(約220km)

◆日光道中

- ・1602年、宇都宮町に伝馬の負担が命じられる。
1617年の東照宮造営以後、参詣路として重要視。
- ・常備人馬数:25人 25疋 ・宿:江戸から日光鉢石宿に至る21宿
- ・総延長:40里18町(約130km)

◆奥州道中

- ・寛永年間(1624-44年)頃に整備・改修される。江戸後期、北方問題が起こり、公用通行が増加。
- ・常備人馬数:25人 25疋 ・宿:白沢から白河までの10宿。
- ・総延長:48里(約190km)



¹⁴ 既往文献として「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査」（平成20年度、国土交通省）を参照

¹⁵ 出典：「Ⅲ.近世の道 五街道」（<https://www.mlit.go.jp/road/michi-re/3-1.htm>, 2023.2.17 閲覧）

6-2 総論

1) 五街道の成立

我が国の街道は、律令制の時代の京の都を中心とした「五畿七道¹⁶」に始まり、鎌倉に向かう「鎌倉街道¹⁷」を経て、戦国時代の諸大名による領国内の道路整備から、徳川幕府による日本橋を起点とした「五街道」の整備へと変遷してきた。その後、江戸時代に整備された五街道はじめ各地の街道を骨格として、明治期の鉄道網の整備、昭和の国道や高速道路・鉄道網の整備、平成の情報通信の整備が進められてきたという歴史がある。

五街道は、1601年、徳川家康が東海道の宿駅を設け、江戸―京都間に伝馬制を敷いたことに始まる、日本橋を起点とする幕府直轄の主要な5つの陸上交通路である。各街道に宿場が設置され、宿場には人馬の常備が義務付けられた。

五街道には、日本橋を起点として一里塚が設けられた。一里塚は、5間四方の小山形の塚上に1本から数本の榎(エノキ)を植えたものである。また、街道沿いには、日陰形成等の“道路施設”として杉や松、柏、榎などの並木が植えられた(図6-2.1参照)。

江戸時代には、参勤交代をはじめとして、街道(水運も含め)を通じた人流、物流及び情報の流れがあり、宿場・市場はそれらの伝播に大きな役割を果たし、それぞれの土地に独自の文化が形成された。街道の整備に伴い、十返舎一九の「東海道中膝栗毛」などの書物や歌川広重の「東海道五十三次」などの浮世絵によっても庶民の旅行への関心が高まり、各街道はお伊勢参りなど巡礼旅行者でも賑わった。

当時の街道のにぎわいの様子については、外国人旅行者による第三者的な視点からの紀行文としても多く残されており、江戸幕府の統治機能を担うだけでなく、我が国の景観形成や文化形成に大きな役割を担ってきた重要な要素であることが窺われる。

1605(慶長10年)年 徳川秀忠の命により、下記のように街道を整備

- ・標準幅員は約9m(山間部等では約4~7mに縮小)
- ・1里毎に塚を築く(一里塚)
- ・並木を植える



図 6-2.1 五街道の標準的横断面¹⁸

¹⁶ 五畿七道：五畿は、京周辺の大和・山城・摂津・河内・和泉の五国。七道は、東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道の7道。道ごとに都から放射状に各国府を連ねる官道が設けられた。

¹⁷ 鎌倉街道(鎌倉往還)：鎌倉に向かって放射状に走る主要な道筋で、鎌倉幕府の開設以来、各地から「鎌倉へ向かう」ための中世および近世古道の呼称である。

¹⁸ 出典：「Ⅲ.近世の道 五街道の道路整備と維持管理」(<https://www.mlit.go.jp/road/michi-re/3-2.htm>, 2023.2.17 閲覧)

2) 宿場の成立

宿(しゆく)の起源は古く、「古代末、河川・峠などの滞留の多い場所に自然発生¹⁹⁾し、律令制の施行とともに道路が整備され、駅伝制が布かれたのち、公用旅行者に宿所や食糧・馬・船などを供給する旅宿を中心に形成されてきたものと考えられる。平安時代に入り駅伝制が崩壊した後は、官使の旅行には沿道の国司が路次の供給をし、貴族の社寺参詣には、国司のほか荘園や社寺が伝馬・渡船・宿所などの接待をした。平安時代中期以降、熊野・吉野・高野山などの社寺参詣が頻繁になると、沿道には常置の宿舎が設けられ、食糧や人馬の供給が行われるようになり、それを宿と称した。鎌倉時代には「東海道の60余の宿が形成¹⁰⁾された」とされる。

江戸時代には「宿場」が指定されるが、そこにある集落をそのまま指定したというよりは、街道に沿って一定の屋敷割りをして1つの宿を形成させたことが多い。今日残されている宿絵図を見ても、それらは決して自然に形成された集落ではなく、街道沿いに軒を並べて屋敷が配分されたことが明らかである。1つの宿が1つの村または町から成り立っていることもあるが、城下町などの場合は、その一部が伝馬町として宿駅の負担をした。

江戸では日本橋の大伝馬町・南伝馬町・小伝馬町があったが、宿継業務をしたのは大伝馬町・南伝馬町であって、何百とある他の町々は宿継には関係がなかった。宿場の間隔の平均的な距離は、東海道の場合、2里14町(約9.3km)であるが、小田原～箱根間では4町8里、御油～赤坂間は16町など、一定しているわけではない。中山道の場合は平均すれば2里にも達していない。しかし、甲州道中などになると「合宿」が多く存在する。合宿とは複数の宿で業務の分担をする宿場のことである。上高井戸宿と下高井戸宿は、1ヶ月のうちの前半の15日は上高井戸、後半の15日は下高井戸が継立業務を扱っていたので、上り下りで宿場の距離に違いが生じた。「調布五宿」または「布田五宿」といわれた国領・下布田・上布田・下石原・上石原では、1ヶ月のうち6日ずつ継立業務を分担していた。また、小原宿と与瀬宿では小原宿が上り(甲府方面)の継ぎ立てのみ、与瀬宿は下り(江戸方面)のみを継ぎ立てるという特殊な方法をとっていた。こうしたことから同じ1宿とはいっても、その内容には相違があった。

宿の負担は第一に人馬の提供である。東海道の伝馬制度が設けられた当初は、各宿は1日36疋の馬が提供すべき数であった。しかし次第にその数は増加し、寛永15年から17年には100疋になる。また人足も100人となるが、これらの数の増大は参勤交代制の確立と関係する。中山道は50人・50疋が原則であり、日光道中・甲州道中は25疋・25人であった。

なお、「江戸幕府は鎌倉時代の宿をそのまま認定したため、間隔がまちまちになったとされ、「間隔の広い宿間には幕府非公認の『間の宿(あいのしゆく)』が発生。宿場には人馬の提供義務があるが、間の宿には義務がないことなどから度々いさかいが起きたため、幕府は宿場保護策として、大名、御家人による間の宿の利用を禁止¹⁰⁾した」とされる。

3) 参考：水上交通

水上交通も盛んであり、江戸一大坂間をはじめ廻船による物流が盛んであり、瀬戸内海は物資や旅行者に多く利用され、湖沼・河川も運航が可能な限り利用された。江戸幕府は、河村瑞賢に命じて全国各地と江戸を結ぶ廻船航路を開発した。この廻船航路を利用して、全国からの年貢米や生活物資が江戸の隅田川河口の江戸湊に運ばれた。隅田川中流・日本橋川・神田川などの河川と、河川を結ぶ水路・運河の船着場は、すべて物資を荷揚げする河岸だった。魚の日本橋²⁰⁾、米の蔵前、野菜の神田、木材の木場、酒の新川など、品目別に河岸があった。

¹⁹⁾ 出典：「IV.近代の道 (コラム) 江戸時代を中心とした道にかかわるエピソード」
(<https://www.mlit.go.jp/road/michi-re/5-4.htm>, 2023.2.17 閲覧)

²⁰⁾ 魚河岸：日本橋の魚河岸は、天正18年(1590年)に徳川家康が江戸へ入った時、摂津国佃村の住民が江戸湾の漁業の許しを受け、漁獲した魚の余りを市民に販売したのが始まりとされる。(一説には、家康の「伊賀越え」を佃村の漁師たちが手助けしたことが御縁となったとも言われている。)

6-3 東海道

6-3-1 東海道の歴史

1) 東海道の成立

東海道は、日本橋から小田原、駿府、浜松、桑名、草津を経て、京都・三条大橋までの53次(約490km)である。慶長9年(1604年)、徳川家康が大久保長安に命じて東海道の整備を行い、道幅や1里の長さ、各駅の駄賃を定めた。

軍事上の理由から、酒匂川・興津川・安倍川・大井川の4河川には架橋せず、渡船も禁止されていたため、往来には川の中を徒歩で渡ったり、人足が担ぐ台に乗ったりした。

東海道は、江戸日本橋より京都までの街道と、大津より分かれて大坂に至る街道とをいう。武蔵・相模・伊豆・駿河・遠江・三河・尾張・伊勢・近江・山城の10カ国を通り、大坂への道は河内・摂津が加わる。江戸ー京都間が126里6町1間(約495km)、江戸ー大坂間が137里4町1間(約538km)であった。

2) 宿の成立

関ヶ原の戦い直後の慶長6年(1601年)正月、徳川家康の朱印状で、各宿に伝馬を出すべきことを伝え、奉行名で1宿の伝馬数を36疋とし、馬数に応じて屋敷を与えることを通達した。地子免許(じしめんきょ)の屋敷は、最初は1疋当り30坪・40坪・50坪・60坪・70坪など、宿によってまちまちであったが、のちには宿全体としての坪数が定められたりもしている。

宿場の大部分はこの時に設けられたが、戸塚(慶長9年)、袋井・石薬師(元和2年:1616年)、箱根(同4年)、川崎(同9年)、庄野(寛永元年:1624年)などはのちに設けられ、御油・赤坂は五位赤坂として1宿分で、のちに2宿に分かれている。その結果、江戸と京都との間に53宿が置かれて、東海道五十三次(継)といわれた。また、大津ー大坂間にも4宿が置かれた。

江戸ー京都は、箱根峠・伊勢湾・鈴鹿峠を通る中世以来の街道筋であったが、城下を通るのが原則で、駿河国の田中城に少し離れて藤枝宿を設けたほかは、城下町の一部を伝馬町として、宿の機能を持たせた。

各宿は旧来の集落を主体としたものもあるが、新しく町場を形成したものが大部分で、街道に面して屋敷割りをし、その間口に応じて人馬役の負担をするようにした。

箱根宿は東麓の小田原から50戸、西麓の三島から50戸を移して新駅を作り、小田原町と三島町とに分かれ、一方は小田原藩領、一方は幕領として推移した。藤枝宿は2郡8カ村の各一部から成立していた。

東海道の各宿では、当初、36疋の伝馬を提供することが義務づけられていたが、寛永年代までに、1日に馬100疋・人足100人の提供が要求された。それを超過する人馬を必要とする時は、近隣の村落から人馬の提供を受けたが、やがて、それらの村落は助郷として指定された。街路・宿駅・並木などは、初期には江戸幕府の奉行衆が管理し、当初の駄賃は江戸の町年寄が通達したが、のちに道中奉行が置かれると、その管轄となった。

6-3-2 人流・物流等の概要

1) 人流(参勤交代など)

東海道は、東日本と西日本とを結ぶ最重要幹線で、参勤交代をする150前後の大名、年賀その他で参府する公家、京都・大坂・長崎などへ往来する幕臣をはじめ、武士や庶民の往来が

盛んであった。また、物資の輸送や通信なども、主に宿の人馬によって行われた。箱根と新居とは関所を設けて武器や武家・公家の女性の出入りを主として検査したり²¹、大井川・天竜川などの大河川、箱根・宇津谷・鈴鹿などの峠、今切や伊勢湾(桑名七里の渡)の渡海などの難所があったが、時代とともに交通量は増加した。

2) 物流・文化交流など

宿駅の施設も次第に整備され、沿道では特産物も売られ、物資の流通、文化の伝播に大きな役割を果たした。

『東海道名所記』をはじめ、多くの道中案内書が発行され、ことに『東海道名所図会』『東海道中膝栗毛』などの書物や、「東海道五十三次」などの浮世絵その他によって庶民の旅への関心が高まり、19世紀初期には伊勢参宮、奈良・京都・大坂などの社寺詣に赴く東日本の旅行者で、非常な賑いを見せた。近世初頭からの紀行文・道中記の類は多数にのぼる。沿道には沼津の千本松原、田子の浦、吉原の富士などの景勝地もあり、鎌倉・江の島・金沢・三保の松原・久能山・熱田神宮も遠くはない。『伊勢物語』で知られた宇津谷峠は十団子を名物とし、西行の歌で有名な小夜の中山は夜泣石で旅人の足をとどめたが、近くの無間山淡ヶ嶽が『傾城小夜の中山』や『ひらかな盛衰記』で人口に膾炙し、川柳の好題材にもなった。

沿道の名物には、大森の麦藁細工、小田原の外郎、箱根の木工細工、府中の茶、丸子のとろろ汁、その近くの柴屋寺の吐月峯(灰吹き)、掛川の葛布、鳴海の有松絞、桑名の蛤、石部と草津間の六地蔵の和中散、草津の姥ヶ餅、大津の大津絵などがある。

旧宿の多くは変貌したが、鈴鹿峠の前後には旧態を残す所もあり、「関宿跡」は重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

6-3-3 その他の特徴や脇往還など

1) 中原街道(御酢街道)

① 街道の成立

平塚の中原御殿²²から江戸城虎ノ門までを結ぶ街道である。古代に発祥を持ち、相模国国府から武蔵国橘樹郡郡衙を通り、丸子で多摩川を渡り、江戸に至る。後北条氏が本格的に整備し、江戸時代には東海道のバイパスとして多く利用されるようになった。

② 人流・物流・文化交流など

中原御殿周辺で製造された「成瀬酢」を江戸城へ献上するための道として使用されていたことから「御酢街道」とも呼ばれる。大名行列の煩わしさを嫌う商人なども積極的に利用したとされ、赤穂浪士も討入の際にあえて東海道を避け、中原街道を通ったとされる。

2) 下田街道

① 街道の成立

下田街道(下田路)は、三島宿から分岐し、伊豆半島を縦断して下田に至る、延長約60kmの街道である。東海道の三島宿(静岡県三島市)の三島大社を起点に、韮山・大仁(伊豆の国市)、湯ヶ島(伊豆市)を通り、天城峠を越えて梨本(河津町)に至り、更に小鍋峠を越え、箕作・河内(下田市)を経て下田に至る、17里14町21歩の口伊豆(北伊豆)と奥伊豆(南伊豆)とを結ぶ幹線道路であった。江戸時代には下田路と呼ばれた。

²¹ 関所においては「入鉄出女」の取り締まりを厳しく行い、江戸への武器の持ち込みと人質として江戸に住んでいる妻子らの脱出を防いだ。

²² 中原御殿：徳川家康が鷹狩の際の休憩所として使用した建造物。

6-4 中山道

6-4-1 中山道の歴史

1) 中山道の成立

中山道は、江戸日本橋より京都に至る街道であるが、最後の草津・大津の2宿は東海道と重なる。中仙道とも書いたが、享保元年(1716年)に江戸幕府は、東山道の内の中筋の道であるから、古来、中山道と称しているとし、東山道・山陽道などの「山」はセンと読んだと説明している。しかし、民間では中仙道とも書き、信濃国の木曾路を通るので、木曾街道・岐蘇路・岐岨路などともいわれた。武蔵・上野・信濃・美濃・近江の5カ国を通り、京都に入るには山城国が加わる。

江戸から草津まで129里10町8間(約508km)、京都まで135里34町8間(約534km)であった。古代の東山道とは異なった通路も多いが、戦国時代末期には成立していた宿駅が少なくない。

追分は北国街道の分岐点、洗馬は北国西街道(善光寺道)の分かれ道で、両道は善光寺の手前の丹波島宿で合する。美濃国では大井宿から岩村に行く岩村街道が出ているが、これは遠江国の秋葉山にも通ずる。垂井からは東海道の熱田に達する美濃路があり、五街道につぐ重要路である。関ヶ原からは南に向かう伊勢街道と、北へ向かう北国街道とがある。鳥居本から北に進む北国街道とは木之本で一つになる。鳥居本からは彦根を通り、琵琶湖東岸の安土や八幡を経て、守山の手前で中山道に合する朝鮮人街道も分かれている。

2) 宿の成立

慶長6年(1601年)には木曾路の集落に対して大久保長安が伝馬掟状を出しており、翌7年には徳川家康の朱印伝馬掟書を与えた所もあり、駄賃や渡船賃も定められているから、両年間に宿駅制が整ったとみることができよう。

しかし、下諏訪と贄川との間は小野峠・三沢峠・牛首峠を越える道で、間に小野宿が設けられたが、慶長19年に塩尻峠を越す道に改め、塩尻・洗馬・本山の3宿を加えた。

本庄宿と倉賀野宿との間は、はじめ本庄から玉村を経由して倉賀野に出たが、慶安4年(1651)に落合新町、承応2年(1653)に笛木新町が伝馬役を命ぜられたとされ、最も遅い成立である。

これによって板橋より守山まで67宿であるが、東海道と重なる草津・大津の3宿を加えて、中山道六十九次とよぶのが通例である。なお番場と高宮との間は、はじめ小野町が継場とされたが、のちに10町ほど離れた鳥居本が宿場になった。

各宿立の人馬は50人・50疋が通則であったが、信濃国佐久郡の塩名田・八幡・望月・芦田の4宿と、木曾路の11宿は25人・25疋立であった。

助郷高も一万石以上が大部分であったが、沓掛と中津川との間は、2宿から4宿で共通の合助郷が多く、その助郷高も一万石未満が過半で、この地域の助郷負担が重かったことが明らかである。宿も東海道と異なり、地子免許のない宿が大部分であった。

6-4-2 人流・物流等の概要

1) 人流(参勤交代など)

中山道は、上野・信濃・越後・越中・加賀国などの30余の大名の参勤交代のほか、日光例幣使の下向などもあり、また徳川将軍の夫人となるため東下した皇族や摂家の女性は多く中山

道を通った。わけても、文久元年(1861年)の和宮(親子内親王)の通行は前例のない設備・警衛であった。

2) 物流・文化交流など

18世紀以降は善光寺・妙義山・榛名山などの参詣者も次第に増加した。ことに近江国の多賀神社は長寿の神として近畿地方一帯から多数の参拝者があった。沿道には碓氷(横川)・福島に關所があり、碓氷・和田・塩尻・鳥居などの峠が多く、木曾の栈道など険しい山道もあったが、木曾の寝覚の床、太田宿と鵜沼宿との間の木曾川を見おろす所において、美濃路第一の勝景といわれた観音坂の岩屋観音、関ヶ原の古戦場、日本武尊の伝説にからまる泉の湧いている醒井、琵琶湖はもとより近江一国の山水を一望のもとにする摺針峠、歌文に名高い老蘇の森や鏡山など、名所・旧跡も多い。

各地の産物には、桶川の臘脂、鴻巣の雛、木曾路の木工品(わけても「お六櫛」や漆器は名高いが、御留山の木曾の良材の余木を利用したものである)、柏原の伊吹き艾、鳥居本の赤玉などの薬品、高宮の麻織物などが知られた。

脇道には板橋宿から出る川越街道、倉賀野から日光へ向かう日光例幣使街道があるが、倉賀野河岸は利根川舟運の上流起点で、信濃国方面から馬で運ばれてきた領主米などを江戸へ送り、また山間地への物資の中継地であった。

中山道では古い宿が残っている所が多く、「奈良井」と「妻籠」の雨宿は重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、ことに妻籠はその復元・修景が徹底したことで有名である。

6-4-3 その他の特徴や脇往還など

1) 川越街道

① 街道の成立

川越街道は、15世紀に江戸城と川越城を築いた太田道灌が部分的にあった古道をつないだものを、江戸時代に川越藩の松平信綱が中山道の脇街道として整備したものである。

この頃の川越街道は、板橋宿より中山道を分かれ、川越城大手門に至る13里半の道であった²³。さらに川越からは、児玉街道が上野国藤岡に通じて中山道に合流しており、この2つの道を合わせて川越・児玉往還と呼ばれていた。

明治期になると、川越街道に沿って東京から上州を結ぶ東上鉄道(現、東武東上線)が開通し、鉄道時代の幕開けとなった。昭和初期になると、交通手段は徒歩から自動車となり、川越街道も東京都内において道路拡張工事がなされ、現在の川越街道の形になった。

② 人流・物流・文化交流など

川越街道は、中山道より行程距離が短かったため多くの通行者があり、物資の輸送を行う舟運と合わせ、川越の重要交通路であった。新座市の北の入間郡三芳町、ふじみ野市近辺では、現在も街道筋の松並木が残り、当時の風情を伝えている。

川越の特産品であるサツマイモを指して「九里(栗)より(四里)うまい十三里半」という言い回しが生まれ、江戸で宣伝文句として使われたという(ただし、由来については諸説あり)。

関越自動車道が開通するまでは交通情報の渋滞名所として名高かった上板橋の「五本櫛」は、川越街道の拡幅工事の際に上板橋村村長であった飯島氏が屋敷庭の木を残すことを条件に土地を提供したもので、現在も道路の中央に5本のケヤキが残っている。

²³ ほぼ現在の旧川越街道、埼玉県道109号新座和光線に相当する。

2) 秩父往還

① 街道の成立

秩父往還は、秩父大宮（秩父市）から荒川溪谷沿いに秩父盆地を横断し、雁坂峠を越えて甲州に入り甲府に至る街道である。秩父甲州往還とも呼ばれ、甲州側からは雁坂口、秩父路、秩父側からは甲州路、信玄路などの呼称が見られる。

江戸から甲府を経て中山道に通じる甲州街道の裏街道であり、大菩薩峠越えの青梅往還とともに甲府と北関東を結ぶ街道であった。甲州街道は内藤新宿から分岐して大宮へ至り、青梅街道は多摩田無宿で分岐して大宮へ合流する間道がある。

② 人流・物流・文化交流など

古くから甲斐国、武蔵国両国間の往来に利用され、秩父巡礼や富士登山、身延参詣など信仰の道として利用され、戦国時代には甲斐国守護武田氏の行った金山経営も秩父方面に及んだため往来に利用され、武田氏の北武蔵侵攻路の一つにもなった。

近世には埼玉県側の秩父市（旧大滝村）の栃本と山梨県側の甲州市（旧塩山市）にそれぞれ口留番所が設置され、牛馬による米穀や繭の輸送に利用された。

明治初期には山梨県の主用産業となった生糸の輸出路として着目され、山梨県令藤村紫朗の主導した道路改修がなされるが、雁坂峠は 1998 年に雁坂トンネルが完成するまで長く未整備のままであった。

3) 三国街道

① 街道の成立

三国街道は、江戸と越後国とを結び、佐渡国に至る三道の一つ。中山道高崎宿から分かれ、上州側は金古・渋川・中山・永井など 11 宿、永井より 3 里半の三国峠越えで越後に入り、浅貝・湯沢・六日町・川口・長岡・与板など 17 宿を経て佐渡への渡海場寺泊宿に到着する。

長岡で分かれ見附・加茂・新津・新発田・村上へ通じる山通りの道筋も、新発田藩や村上藩では三国街道と呼び、浜通り（北陸道）とともに越後の主要街道の一つであった。

三国街道は途中の六日町から魚野川を経て信濃川へ下る舟便があり、長岡で舟継ぎして新潟まで通じた。

② 人流・物流・文化交流など

参勤交代の定式通路として利用した大名は越後の長岡・村松・与板藩主で、新発田・村上藩主の通行もみられる。また正徳 2 年(1712)から佐渡奉行が赴任に利用し、安永 7 年(1778)から佐渡送り無宿人の目籠が北国街道と隔年で通行した。

越後から三国街道を輸送した貨物は、魚沼郡の農民が北上州へ向けて売り出す米や雑穀、越後の各産地から江戸へ送る越後縮・三条金物・塩鮭・紫蕨・薬種などの特産品であった。幕末には鉛や生糸が大量に江戸や横浜へ向けて送られている。

越後から江戸向けの輸送は他の 2 道(北国街道・会津街道)と比べて距離が短く、六日町まで上り舟、倉賀野から下り舟が利用できたので三国街道が主に利用された。しかし、12 月から 3 月までの厳冬期は豪雪のため通行困難となった。しかし、幕末には、呉服問屋に年末納めの縮荷を運んで雪の峠道を越えて行く飛脚たちが現われた。

4) 北国街道・北国西街道

① 街道の成立

北国街道は、本州中央部と新潟および北陸3県を結ぶ北陸道とを連絡する近世の街道で、二つある。一つは浅間山麓の信濃追分で中山道と分かれ、小諸、上田、長野、高田を経て直江津で北陸道に合流するもの。また、長野の南方、篠ノ井から松本を経て木曾谷の北端、洗馬で中山道に合流するものを北国西街道（善光寺街道）とよび、善光寺の参詣者が多く利用した。

他の一つは、近江(滋賀県)、美濃(岐阜県)西部と越前(福井県)を連絡する街道で、中山道と彦根市街北東の鳥居本で分かれ、米原、長浜、木之本、栃ノ木峠を経て今庄へ通ずる。このうち近江国境の栃ノ木峠までは北国街道、峠を越え越前に入ると北陸道とよんだ。また、関ヶ原で中山道と分かれ、伊吹山麓を通り、木之本で北国街道に合流するものを北国脇往還とよんだ。

また、北国西街道は信濃国に存在した脇往還で、中山道と北国街道を連絡し、松本藩や松代藩、善光寺へ向かう道のひとつとして整備された。正しくは北国西脇往還という。善光寺街道、善光寺西街道などの別名を持つ。洗馬で中山道と分かれた後、松本城下を経て山間地に入り、街道最大の難所である猿ヶ馬場峠を超えて善光寺平の南端（稻荷山宿・桑原宿）に至り、丹波島で北国街道に合流する。

② 人流・物流・文化交流など

加賀・高田藩が江戸へ出仕のおり通行したが、江戸幕府の財政をまかなった佐渡の金を江戸へ輸送するのに利用され、五街道に次いで重要視された。善光寺参詣に使われた。

5) 千国街道

① 街道の成立

長野県の松本市から大町市を経て、新潟県糸魚川市に至る近世の街道。糸魚川街道、松本街道ともいう。糸魚川から姫川の険しい谷をさかのぼり、白馬岳山麓から佐野坂峠を越え、青木、中綱、木崎の仁科三湖の西岸を経て大町に至った。

② 人流・物流・文化交流など

参勤交代では、白馬山麓の千国集落に松本藩の番所があり、この集落を通ったことから千国街道の名がつけられた。

物流では、糸魚川方面から塩を中心に海産物を松本や大町など信州の内陸地へ輸送する道として重要で「塩の道」とも呼ばれた。塩倉、塩を運んだ牛や牛方が泊まった牛宿が残り、石仏群もあり、大町以北は遊歩道として整備されている。白馬山麓の自然美とともに、近年観光地として注目されている。

6-5 日光街道（日光道中）

6-5-1 日光街道の歴史

1) 日光街道の成立

日光街道は、江戸から日光東照宮門前の鉢石宿(栃木県日光市)に至る 21 宿、約 140km を結ぶ街道で、幕府の公道としては「日光道中」と言った。

日光には、東照大権現と崇められた徳川家康の墓があり、歴代将軍や諸大名の社参の道として整備された。また、江戸から宇都宮までは東北へ向かう奥州街道と重複しているため、参勤交代の大名の通行も多かった。

江戸本郷追分で中山道と分かれ、岩淵一川口一鳩ヶ谷一大門一岩槻を経て幸手宿に至る日光御成街道(御成道)、小山宿の北の喜沢村から西北へ分かれ、飯塚一壬生一楡木(日光例幣使街道を合わせる)一奈佐原一鹿沼一文挾一板橋を経て今市宿に合する日光道中壬生通りが付属する。

もともと、慶長 5 年(1600 年)、天下統一を成し遂げた徳川家康が、江戸にあって、奥州の抑えとしてこの道筋を重視したことに起源を持つ。慶長 7 年正月、徳川家康の代官頭大久保長安(石見守)ら 3 名の名で、宇都宮町に地子免許状が出され、伝馬役が義務づけられたことがそれを示す。

宇都宮以南の街道がその後順次整備され、宿駅が設けられ始めたことは、同年 12 月から小金井宿において集落移動が行われ、同 9 年に問屋が定められるなど、町割りが定められたことなどからわかる。小金井・石橋など 5 宿を除いて多くは一万坪の地子免許。

しかし、元和 2 年(1616 年)10 月から日光山内に家康廟の造営が開始され、日光への通行が増大し始め、その役割が変化した。

まず壬生経由の壬生通りが、造営資材の搬入などにも利用され、鹿沼宿の整備もその時に行われ、元和 3 年、家康の遺骸も、武蔵府中から、川越一館林一天明(佐野)を経て、それを通っている。家康廟(東照大権現社)が完成した一周忌法会(元和 3 年 4 月 17 日)の際、将軍徳川秀忠は、越ヶ谷宿から岩槻城へまわって泊り、御成道経由で古河城を経、奥平美作守忠昌の宇都宮から日光に入っている。これが将軍の第一回日光社参となるが、以後、もっぱら江戸から日光への将軍その他の社参路として利用された。

元和 5 年、宇都宮城を領した本多上野介正純は、城下の町割りの大改変と宇都宮城の改築を行うが、併せて江戸から日光・奥州への街道の分岐としての宇都宮宿の町立ても新しくした。宇都宮経由がいわゆる日光道中となり、3 泊 4 日が通例の将軍社参の際は、宇都宮城が宿泊所となった。壬生経由は日光西街道ともいわれ、将軍徳川秀忠・家光の代には、特に帰路に使われることが多かった。秀忠・家光の将軍時代の 30 年余の間に、将軍家の社参は 15 回に及ぶが、特に寛永 13 年(1636 年)、日光廟の大改築が成ってからは、その通行は大規模となった。

諸宿の人馬のほか、早くから周辺の村々よりの助馬の動員が行われたが、元禄 9 年(1696 年)、壬生通りも併せて全宿一斉に、各宿十数カ村、総村高一万石程度の定助郷村が定められた。

2) 宿の成立

宿の定備は、宇都宮宿の 100 人・100 疋のほかは 25 人・25 疋で、内 5 人・5 疋は困人馬。4 月 17 日の家康忌日の東照宮大祭、法会前後に集中して通行が極度に増大し、特に将軍社参や特別回忌の大法会の際には助郷村がさらに拡げられ、農繁期にもかかり、沿道村々の過重負担が累積、江戸時代中期以降の村落荒廃の有力因となった。

6-5-2 人流・物流等の概要

1) 人流（参勤交代など）

宇都宮宿から分岐して奥州道中が伸びるので、下野北部から奥羽全城の大名の参勤路にもなったが、その他は年間を通じて、武家や公家の日光関係の通行に利用者が限られた。

2) 物流・文化交流など

奥羽南部から江戸への廻米や商品輸送は、下野北部の鬼怒川の阿久津・板戸両河岸からの舟運が利用され、また会津西街道・日光例幣使街道・壬生通りなどの脇道とそこにつながる諸河川の河岸が、その機能を担った。

雀宮宿の南側の鞘堂新田から東南へ分かれて、日光道中に併行、多功一薬師寺一仁良川一結城城下一七五三場一諸川を経て、利根川の境河岸へ至る道が日光東街道と呼ばれた脇道で、これも諸物資の輸送などに用いられ、特に下野国内では養蚕地帯を通るため、「絹の道」ともいわれた。

家康・秀忠・家光三代の側近松平右衛門大夫正綱が寛永年間以降二十余年間にわたり大沢宿南から今市宿を挟んで日光鉢石宿まで(壬生通り・会津西街道も)沿道に植樹したのが日光杉並木で、山口村(今市市)や日光神橋北側など4カ所に、慶安元年(1648年)4月17日付の林道春(羅山)の碑文による寄進碑も建てられている。

宇都宮までは現在の国道四号線で、東武鉄道日光線とJR東北本線が併行し、日光までは国道119号線とJR日光線が添う。

6-5-3 その他の特徴や脇往還など

1) 日光例幣使街道

① 街道の成立

中山道・倉賀野宿から分かれ、日光道中・壬生通り楡木宿に至る、上野国と日光を結ぶ街道。例幣使街道とも。楡木から日光道中・今市宿までの壬生通りの北部も、例幣使街道と言いつらされている。

② 宿の成立

玉村・五料・柴・木崎・太田・八木・梁田・天明(佐野)・犬伏・富田・栃木・合戦場・金崎の13宿である。各宿常備の義務は、人足25人・伝馬25疋で、内5疋・5人は困人馬。

明和元年(1764)、翌年の東照宮150回忌法会を前に、幕府道中奉行支配となり、明和3年に、各宿の定助郷村が定められた。

③ 人流（参勤交代など）

日光例幣使は、元和3年(1617年)4月徳川家康廟東照大権現社の遷座祭に、朝廷から勅使と奉幣使が派遣されたのを起源とし、その後も家康の七回忌・十三回忌などに出向しているほか、正保2年(1645年)11月、東照宮号宣下の伝達なども、一旦江戸へ下ってから日光へ往復している。

翌3年4月の奉幣使も同様であるが、その年から奉幣使が4月の東照宮例祭に詣でることが毎年の行事となり、例幣使と呼ばれるが、その日光への下向路(帰路は江戸経由)が中山道からこの道をたどるようになった。

五料宿と柴宿の間に利根川本流があり「平水川幅四拾間程、出水之節は三百六拾間程」(『例幣使街道宿村大概帳』)で、渡船によって通行し、西岸五料宿側に関所があった。また梁田宿の北側には渡良瀬川の渡船場があった。

④ 物流・文化交流など

天明宿は隣町の小屋町を加宿とし、佐野の城下町でもあり、館林一忍(行田)を経て江戸への近道で、天明鑄物師が居住した。富田宿の南方からは、日光道中小山宿へつながり、栃木宿は巴波川の河岸で活発な商都であった。日光例幣使以外の公用通行がない代わりに、各所で河川の河岸と結びつき、商品輸送路として利用された。

北は今市宿を経て会津西街道を通過して下野の奥地や南会津地方につながり、山村の特産物である木材・板・薪炭・藁加工品などが壬生河岸や栃木河岸に運ばれ、逆に利根川・渡良瀬川・思川などやその支流を遡行して肥料・塩・各種消費物資が内陸部に送られた。

元禄2年(1689年)、俳人松尾芭蕉と門人曾良の『奥の細道』紀行は、小山ー壬生から鹿沼を通り、この道を北上して日光へ入っており、のち明治11年(1878年)、英人女性イザベラ・バードは、例幣使街道杉並木から日光・会津への旅行記を「Un beaten Tracks in Japan」(高梨健吉訳『日本奥地紀行』)に書いている。

2) 日光壬生街道

① 街道の成立

日光壬生道は、日光道中の小山の喜沢の追分から飯塚宿、壬生宿、楡木宿、奈佐原宿、鹿沼宿、文挾(ふばさみ)宿、板橋宿を経由して今市で再び日光道中と一緒になる経路。小山宿から今市宿まで12里27町(約50km)と、日光道中より1里10町(5km)ほど短くてすむことから江戸時代、日光に行く人には大いに利用された。

② 人流(参勤交代など)

慶安4年(1651年)に亡くなった三代将軍徳川家光の遺骸を江戸から日光に改葬するときはこの壬生道を通ったこともあって、道中奉行の管轄下に置かれました。公式の将軍の日光社参は、往路は日光道中を経由、帰路はこの壬生道を通った。

3) 水戸街道

① 街道の成立

日光道中・千住宿で分岐し、水戸に至る。岩城街道と合流し、陸前浜街道とも呼ばれる。五街道の日光道中に付属するが、道中奉行の支配は千住から松戸まで。一説によると、元禄期に佐倉道が千住ー新宿経由になった。

主な経由地は松戸・我孫子・取手・牛久・土浦・府中・片倉・長岡で、江戸川右岸に金町・松戸関所があった。享保15年(1730年)、土浦ー小金間に新道が開かれると、その間の本街道の宿駅が衰微したため、水戸藩は本街道の通行を指示するが、その後も新道は盛んに利用された。

② 人流・物流・文化交流など

水戸藩は藩主定府のため、家臣の通行や物資運送が頻繁で、藩は道路整備・並木造成を積極的に実施した。藩士は江戸ー水戸間を2泊3日で歩き、土浦・小金に宿泊を指定されている。

藩主旅行の休泊用に小幡・長岡に御殿が、小金・取手・藤代・牛久・府中に宿館が指定されていた。このうち取手の染野本陣は現存する。

4) 成田街道（佐倉道）

① 街道の成立

成田街道（なりたかいどう）は、江戸時代には水戸街道新宿（にいじゅく）から分岐して佐倉藩や成田山新勝寺に向かう街道であり、現在は千葉県道路愛称名により国道 296 号の船橋市前原西の中野木交差点～印旛郡酒々井町下台と、国道 51 号の酒々井町下台～成田市寺台の寺台 IC を指し示す。

ただし、この成田街道は江戸時代後期に成田山参詣が盛んになってからの愛称であり、江戸幕府の公式文書では「佐倉街道」（江戸城と譜代の藩佐倉藩を結ぶ街道の意味）と呼称されていた。このほか、水戸街道我孫子宿から分岐して利根川沿いに成田へ向かう道も同名で呼ばれた。現在は国道 356 号の一部となっている。

② 人流・物流・文化交流など

成田山参詣が盛んになり成田街道と呼ばれる。

6-6 甲州街道（甲州道中）

6-6-1 甲州街道の歴史

1) 甲州街道の成立

甲州街道は、江戸日本橋を起点に、内藤新宿、下高井戸、上高井戸、布田五宿、府中、日野、八王子を通り、小仏峠から甲府を経て信州の下諏訪に至る、200km 強にも及ぶ約 53 里の道である。慶長 9 年(1604 年)に高井戸宿がおかれているので、このころの開設と推定される。はじめは甲州海道と呼んだが、享保元年(1716 年)、海端道旭でないとの理由から甲州道中と改称された。

江戸中期頃から、甲州・信州などから江戸への流通の道として重要性を増し、江戸 100 万人の生活を支える動脈として発展、様々な名所旧跡や景勝地、歴史的なエピソードの残る街道。参勤交代では主に高島藩諏訪家、高遠藩内藤家、飯田藩堀家の 3 藩が甲州街道を利用し、甲斐国が幕府直轄地となってからは甲府城の警衛にあたる武士らも往来するようになった。

2) 宿の成立

内藤新宿から上諏訪までの宿数は全部で 45 であり、各宿 25 人・25 疋の人馬を常備する定めであったが、布田 5 宿などのように数宿が交代で 1 宿として機能したり、上りまたは下りのみの片道継立てを行うものなどがあったので、宿駅の数え方には古来諸説があり、一定しない。もと第一宿であった下高井戸は、江戸から 4 里という遠距離の地にあるため、元禄 11 年(1698 年)、中間の萱野の地にあった内藤氏（信州高遠城主）の下屋敷内に宿駅を新設して内藤新宿と称した。古い城下町の八王子は、絹織物の集散地および千人同心の居住地で、30 軒余りの旅宿があった。

甲府は武田信虎以来、甲州の政治経済上の中心で、青梅・秩父・鎌倉・中道・駿州・関屋の諸往還が集中し、宿駅は寛永 13 年(1636 年)柳町に定められ、馬数 50 疋、茶壺通行などは付近の 7 町が助けた。韮崎は北へ佐久甲州街道、南へ駿信往還が分出する要地で、富士川舟運による海産物を集散した。

6-6-2 人流・物流等の概要

1) 人流（参勤交代など）

甲州道中は江戸防衛のための軍事的な意義が大きく、小仏関所をはじめ境川・鶴瀬・山口には口留番所が設けられていた。参勤交代の大名通行は、信州の高島・高遠・飯田の三小藩にすぎず、江戸城への茶壺道中のほか、常時の公用通行は江戸幕府と甲府勤番および代官所との連絡が主であった。

2) 軍用路としての役割

当初は、万一に備える重要な軍用路として整備された道であった。これは甲府城を有する甲府藩が親藩であること、沿道の四谷に伊賀組・根来組・甲賀組・青木組（25 騎組）の 4 組から成る鉄砲百人組が配置し、鉄砲兵力が将軍と共に甲府までいったん避難した後に江戸城奪還を図るためである。

また、宿場町の出入り口付近や甲府城東側には、二手に分かれる道やほぼ直角に曲がる道があり、これらは宿場町や城下町に入るにあたって、相手を錯乱させたり、見通しを悪くして敵の攻撃を防御する役割があったといわれている。

3) 物流・文化交流など

江戸中期頃から、甲州・信州などから江戸への流通の道として重要性を増して行き、甲府城に詰める武士「甲府勤番」や八王子千人同心、富士講（富士山信仰の組織）にさらに毎年4月には、幕府御用達の宇治茶を江戸まで届けるお茶壺道中も通り、街道筋は賑わいを見せ、江戸100万人の生活を支える動脈として発展した。

江戸時代の中・後期になると、天下泰平の時代と共に旅人や文化人が行き交ったほか、甲州・信州から江戸へ農産物を運ぶ流通の道としての役割も重要になった。甲州街道には、宿場を拠点に江戸との交流による文化が育まれ、行き交う旅人たちと楽しんだ娯楽や芸能も含めて、いまもその痕跡が継承されている。

一方で、貧しかったゆえに近隣の村どうしが協力して宿場を運営した合宿といった制度や、大きな被害をもたらした水害からの復興には、人々の協働の歴史がみられる。

甲州街道最大の難所といわれた笹子峠を超えて甲府盆地にはいると、ブドウやモモ、柿などの甲州八珍果を栽培する独特の風景や、のちに果物栽培が盛んになった土台の一つである扇状地や河岸段丘地形などの景観も目にすることができる。

民間通行としては甲州産の葡萄・梨・煙草・繰綿・甲斐絹などの江戸への輸送、登せ糸の上方への出荷などがあり、信州からの中馬の通過も多かった。

6-6-3 その他の特徴や脇往還など

1) その他の特徴

日野宿（東京都内で唯一現存する本陣）、小原宿（神奈川県内唯一の本陣）、上諏訪宿（下諏訪宿本陣の間屋場跡）の3軒の本陣建物が残っており、遺跡・遺構も多く見られる。

また、犬目宿の「犬目の兵助の墓」を振り返ると、葛飾北斎が富嶽三十六景を完成させた際に甲列犬目峠からの富士山を描いたと言われる富士の絶景が現れる。

こういった情景溢れる景色の良さも甲州街道の特徴で、行楽シーズンには大勢の人出で賑わう。しかし、難所と呼ばれる小仏峠や笹子峠などでは、場所によって道が荒れているので十分な注意が必要である。歴史的な遺構としては、武田信玄や新撰組にまつわる資料館や寺社などを随所に見ることができる。

桃太郎伝説は岡山県のイメージがあるが、全国各地に存在する。甲州道中と桃太郎伝説との関りは、地名にある。談合坂（団子坂）、犬目、鳥沢、猿橋、百蔵山（ももくらやま）、九鬼山（くきやま）、これだけ地名が揃っている場所はここだけであり、大月市は昔から鬼の伝説が多いといわれている。

2) 陣馬街道

陣馬街道は、街道沿いにある地域名から「恩方街道」「佐野川往還」「案下（あんげ）道」、また甲州街道と別に甲斐国に向かうルートとして利用されていたことから、「甲州脇往還」「甲州裏街道」など、多くの別称がある。

古くから武蔵と甲斐をつなぎ、甲州や恩方などの山の産物を江戸へ運ぶための重要な交易路でもあった。そのため江戸時代には、上恩方町の高留に出入りを取り締まる口留番所が置かれていた。都の通称道路名として「陣馬街道」という呼称が使用されるようになったのは1963（昭和38）年のこと。街道の起点となるのは、甲州街道の追分交差点。脇に建つ江戸時代の道標には「右あんげ道」と刻まれている。南浅川を越え、元八王子地域を経て、切り通しを境に恩方地域に入る。

6-7 奥州街道（奥州道中）

6-7-1 奥州街道の歴史

1) 奥州街道の成立

奥州街道は、江戸時代に整備された五街道の一つである。正式には奥州道中といい、道中奉行の管轄では江戸日本橋を起点として千住から陸奥白川(福島県白河市)までの 27 宿、そのうち宇都宮(栃木県宇都宮市)までは日光街道を通り 17 宿を共有する。

なお、日光道中千住宿から宇都宮宿に至る 17 宿は、その機能上、奥州道中に兼ねて属するものであり、事実これら宿駅が両属を称した場合もしばしばあった。しかし、あえて「日光道中」と公称したことは、日光に鎮座する幕府祖廟の重さを示すものであろう。

江戸幕府の直接的支配下にあり、道中奉行が管轄した厳密な意味での奥州道中は、日光道中・宇都宮宿から分岐して、白沢・氏家・喜連川・佐久山・大田原・鍋掛・越堀・芦野・白坂・白河宿に至る 10 宿である。白河宿の隣北、根田宿から以北も奥州道中と呼ばれることもあったが、宿次も一定せず、また管理も勘定奉行に属し、幕府の間接的支配下にあった。

一般には、実際に奥州を通る脇街道もふくめた街道の総称として用いられることが多い。この脇街道とは陸奥白川から仙台(宮城県仙台市青葉区)までの仙台道、仙台から蝦夷館(はこだて)(北海道函館市)までの松前道であり、勘定奉行や沿道の諸藩の管理下におかれた。すなわち日光街道との分岐点である宇都宮から白河までと、白河以北の仙台道および松前道のうち本州北端の三厩宿(青森県東津軽郡外ヶ浜町)までの 100 余宿を指すことが多い。

江戸時代初期には主に東北諸藩の参勤交代の交通・連絡に用いられたが、中期には蝦夷地開発のため、江戸末期にはロシアからの蝦夷地防衛のために往来量が増加した。明治 6 年(1873)に陸羽街道と改称され、現在は大部分が国道 4 号となり、並行して東北自動車道、八戸自動車道が通っている。

2) 宿の成立

奥州道中の開発はかなりの年限を要し、初めはその東を宇都宮から板戸・鴻野山・鹿子畑・福原・余瀬・寒井・稲沢・伊王野・蓑宿・旗宿・白河の 11 宿を連ねた街道だったようであるが、それが寛永 4 年(1627 年)頃に改められ、正保 3 年(1646 年)越堀宿の宿並の整備によって完成した。

6-7-2 人流・物流の概要

1) 人流（参勤交代など）

奥州道中は、奥羽・北関東諸大名の参勤交代の通路だったので、諸大名の交通量が多く、これを文政 5 年(1822 年)についてみると、37 家、高 257 万 27 石となっている。これは東海道の 144 家、高 1,194 万 82 百石に次ぎ、中山道の 30 家、高 212 万 8,023 石を凌ぐものであった。このうち陸奥の大名は 18 家(定府一家)、出羽は 13 家、蝦夷 1 家、下野 4 家であった。

最も多く継立人馬を要したのは、普通 1,000 人程度の行列を従えた仙台藩伊達氏であった。天保 2 年(1831 年)の参府に際し、越堀宿が必要とした継立人馬は、325 人、224 疋であった。このほか、会津藩松平氏・秋田藩佐竹氏らが多くの人馬を必要とした。したがって宿駅と助郷村との間に人馬請負契約が結ばれる場合、これら諸大名の通行は除外例とされるのが普通であった。なお、寛文 12 年(1672 年)6 月に芦野宿がはじめて他領助郷を徴集することとなったのをみれば、諸大名の奥州道中通行は、このころすでに始まっていたと思われる。

2) 物流・文化交流など

奥州道中は後進地域を通過していたので、大名の交通量はともかく、交通量全体はさほど多くはなく、したがって、黒羽藩のごとく領内越堀宿助郷を領内助郷のみで賄う体制を樹立することも可能であった。しかし、北門の急を上げて以来、幕末期の混乱に際して公用人馬の継立は激増し、一方、経済的發展によって諸物資の運送量は増大した。上り荷は幕・藩の廻米を主とし、諸穀類・煙草・蠟・生糸・紅花などがあり、下り荷は衣料品・金肥などを主としていたが、また江戸文化伝播通路ともなった。しかし、廻米および商品荷物は、その性格上脇街道を通行し、河川の舟運によることが多かった。

6-7-3 その他の特徴や脇往還など

1) 陸前浜街道

① 街道の成立

街道そのものの歴史については古く、奈良時代には既に石城国（福島県いわき市周辺）に駅が設置されていたことや、平安時代の千載集に茨城・福島県境の勿来関に関する歌が残されており、浜街道として整備が進められていたことが知られている。

江戸時代には、水戸では日本橋から茨城県水戸市までを水戸街道、水戸市から岩沼市までを岩城街道（もしくは磐城街道）などと呼んでいたが、明治に入り両街道をまとめて陸前浜街道として扱うようになった。街道名としては比較的新しい名称である。なお、公式な文書に名が残るのは、陸前浜街道という名を用いた通達が出された 1872 年から、国道に番号制度ができる 1885 年の間のわずか 13 年間である。

② 物流・文化交流など

なお、常磐線取手～藤代間をはじめとして、成田線・新金線などを交差する踏切には「陸前浜街道踏切」「浜街道踏切」などの名称を持つ踏切がいくつも存在し、現在も名を残している。

2) 会津街道（会津西街道、会津中街道、会津東街道）

① 街道の成立

江戸より陸奥国会津若松に至る街道。これには三通りある。

第一は、奥州街道を白河で分岐し、山路に入り長沼・勢至堂・赤津などを経て、若松に達するもので「会津東街道」といった。

第二は、奥州街道の氏家より分かれて、石上・板室・三斗小屋を経て大峠を越え、松川・弥五島などを過ぎて若松に至る街道で「会津中街道」と呼ぶ。中街道は天和 3 年(1683 年)戸板山が崩れ男鹿川を堰とめ五十里沼となり、西街道の往来を阻んだから、その代りに元禄 8 年(1695 年)に開通した。最短の街道ではあるが、高峰を通るだけに道の傷みや輸送米もぬれ腐りやすいので、享保 8 年(1723 年)五十里湖が決壊し干拓すると、西街道がこれに代わった。

第三は、日光街道の今市より高德・藤原・三依を経て山王峠を越え、川島・田島・櫛原・大内を過ぎて若松に至るもので「会津西街道」（別称：下野街道）といった。

② 物流・文化交流など

東街道を運送する貨物は、白河より原街道を転送して氏家より阿久津に至り、鬼怒川を水上江戸に運ぶこともあった。西街道を輸送した物資は、浅草御蔵入米のほか種々あったが、これらを婦人が一人で牝馬数頭を巧みに操縦したのは一特色であり、この街道に会津線が開通しているのは、西街道の輪廻とも見られる。

6-8 五街道の特徴について（とりまとめ）

1) 街道ごとの特徴

ここでは文献・資料に基づいて五街道の特徴を整理した（表 6-8.1 参照）。

なお、本事業は、広域関東エリア内の各街道の関係者等との議論や合意形成を行うものではないため、街道ごとのロゴマーク・キャッチコピー等の検討は行わない（念のため明記）。

① 東海道

東海道は、江戸と京都・大阪を結ぶ陸上の大動脈である。古く五畿七道の時代から現代までその位置づけと重みは変わらず、これは太平洋側の平野部を貫通する立地から必然といえる。現在をみると、都市化の進展とともに、江戸街道としての風景や情緒の残る要素は少なくなっているが（関宿：三重県亀山市）、歴史的・文化的な名所・見所は多く、資料も残されている。

【キーワード】太平洋側、平野、なだらか、温暖・陽光、にぎわい、渡し、滞留、都会

② 中山道

中山道は、東海道と対をなす、江戸と京都・大阪を結ぶ山側の大動脈であり、これも五畿七道の時代まで遡る歴史ある街道である。東海道には大井川等に橋がないため天候による滞留があったのに対し、中山道には山道の険しさはあるが旅程が計算できる便利があった。現在をみると、長野県の奈良井宿や妻籠宿に代表されるように街道の景観や風情を残す宿場等も少なくない。

【キーワード】山道、けわしい、難所・峠、旅程どおり、のどか、いなか、宿場情緒、奈良井宿、妻籠宿、街道歩き

③ 甲州街道

甲州街道は、軍用路として整備されたが、平時は甲州などから江戸へ農産物を運ぶ流通の道として重要であった。また、宿場を拠点に江戸との交流による文化が育まれ、旅人たちによる娯楽や芸能も含め、いまでもその痕跡が継承されている。現在をみると、葡萄や桃、柿などの甲州八珍果に適する甲府盆地の扇状地や河岸段丘などの地形・景観を一望にすることができる。

【キーワード】軍用路、府中・八王子、物流路、信州・甲州、そば・農産物、葡萄や桃など甲州八珍果

④ 日光街道

日光街道は、日光東照宮の参詣道である。将軍も通る道であり、江戸時代からなだらかで歩きやすい道として整備されてきた。現在をみると、街道歩きはアップダウンが少ないので歩きやすく、交通の便も良いが、旧街道の大半が国道になり街道の雰囲気を残す場所は多くない。コンテンツとしては日光東照宮（世界遺産「日光の社寺」）が突出し、他がかすんでしまう。

【キーワード】日光東照宮、参詣、文化財、世界遺産、なだらか、街道歩き

⑤ 奥州街道

奥州街道は、宇都宮で日光街道から分岐した後の白沢宿から白河宿（福島県）までの10宿である。白河以北の街道は脇往還も含めて「仙台道」や「松前道」などと呼称された。江戸と奥州・蝦夷地を結ぶ人流・物流の動脈であり、また松尾芭蕉の「おくのほそ道」のイメージと強く関連している街道でもある。現在をみると、白河までの10宿は、距離も短く田園風景の中にあるが、江戸街道の情緒を残す部分は少ない。なお、会津西街道の「大内宿（福島県下郷町）」は茅葺屋根の民家が街道沿いに建ち並び、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

【キーワード】のどか、田園風景、（*白河以北も含む：奥の細道、みちのく、北国、蝦夷地）

表 6-8.1 五街道の諸元と特徴 (1/2)

街道名	特徴	摘要
東海道 五十三次	<p><諸元> 概要：1601年正月、東海道諸宿に伝馬制が敷かれる。箱根関などの難所があったが、施設が最も優れ、つねににぎわった。 総延長：江戸・京都間 126里6町余(約495.5km) 宿：日本橋～三条大橋の53宿(京街道：大津～守口間の4宿を加え57宿ともいう) 参勤通交大名数(文政期)：146家</p> <p><特徴> ・東海道は、太平洋側の平野部をとおり、難所の少ない(箱根や鈴鹿など)、もっともよく利用された江戸と京都を結ぶ大動脈であった。ただし、多くの大河川の下流部を横断する必要があり、また軍事的・技術的な理由から橋がなく、「渡し」の箇所も多いため、天候によっては長期間の滞留が生じることがあった。 ・参勤交代の大名数は146家と五街道の中で圧倒的に多い。お伊勢参りなど庶民にもよく利用され、十返舎一九の「東海道中膝栗毛」や歌川広重の「東海道五十三次」をはじめ、小説や絵画等にも数多く取り上げられている知名度の高い街道である。</p> <p><現在の状況> ・東海道は、戦後復興から高度経済成長期を経て急速に都市化が進行したエリアであり、いまは旧街道の風景や風情が見られないところも多い。 ・しかし、歴史・文化的な名所・見所も多く、地図や資料は豊富にある。現在も基本的に国道沿いのルートであり、交通、宿泊、飲食等は充実している。</p>	<p>出典²⁴</p> <p>【Key Word】 太平洋側 平野 なだらか 温暖 にぎわい 渡し 滞留 まち・都会</p>
中山道 六十九次	<p><諸元> 概要：1602年、東海道に次いで伝馬制を実施。木曾路とも呼ばれた。 総延長：江戸～草津間 129里10町余(約507.7km) 京都まで 135里34町余(約526.3km) 宿：江戸：板橋宿～守山宿までの67宿に、通常は草津宿・大津宿を加えた69宿。 参勤通交大名数(文政期)：30家</p> <p><特徴> ・中山道は、東海道が主に海側の平野部を通るのに対し、信州や木曾の険しい山道を通る道筋である。東海道より距離が40kmほど長く、碓氷峠や和田峠など難所もあるが、大河川の渡河がなく長期滞留のリスクが少ないため、東海道に次いで重用された。 ・東海道と中山道が江戸と京都・大阪をつなぐ陸の大動脈であったといえる。</p> <p><現在の状況> ・旧街道をそのまま拡幅せずに新道を作った区間も多く、昔ながらの道幅や町並みが残され、旧街道の風景・風情が残る。古い宿場町が残っているところも多く、奈良井宿や妻籠宿は「重要伝統的建造物保存地区」に指定されている。 ・街道を歩く人も多く、地図や資料も豊富に出ている。ただし、難所となる峠がいくつかあるほか、宿泊施設や飲食店が少ない区間も散見される。</p>	<p>出典同上</p> <p>【Key Word】 山道 けわしい 難所・峠 旅程どおりのどか いなか 宿場情緒 奈良井宿 妻籠宿 街道歩き</p>
甲州道中 四十四次	<p><諸元> 概要：1618年に官道となる。江戸中期以降、商品流通路としてにぎわった。 総延長：江戸～下諏訪間 55里(約220km) 宿：内藤新宿、日野宿、八王子宿など45宿。下諏訪宿で中山道に合流。 勤通交大名数(文政期)：3家</p> <p><特徴> ・甲州道中には江戸城の軍用路の位置づけがあったとされる。沿道の四谷には伊賀組・根来組・甲賀組・青木組の4組からなる鉄砲百人組が配置されており、日野・八王子宿などは直轄領で、八王子千人同心(武田遺臣)には甲州道中と日光道中の街道維持の役目があった。甲州道中を参勤交代で利用したのは信州の3藩のみである。 ・甲州道中は、信州・甲州から江戸へ農産物を運び重要な物流路であった。また、宇治から献上されるお茶壺道中、富士講、身延参詣等にも利用された。</p> <p><現在の状況> ・東京都西部から長野県にかけて開発の進んでいない道歩く区間が多く、旧街道の雰囲気を楽しめる。温泉やフルーツ・ワインの産地等を通る。五街道の中では資料などがあまりない。概ね鉄道に沿うが、峠越えがあり、鉄道から長く離れる区間もある。</p>	<p>出典同上</p> <p>【Key Word】 軍用路 府中・八王子 物流路 信州・甲州 そば 農産物 葡萄や桃など 甲州八珍果</p>

²⁴ 出典：「Ⅲ.近世の道 五街道―諸道の性格」(<https://www.mlit.go.jp/road/michi-re/3-3.htm>, 2023.2.17 閲覧)

表 6-8.1 五街道の諸元と特徴のとりまとめ (2/2)

街道名	特徴	摘要
日光道中 二十一次	<p><諸元> 概要：1602年、宇都宮町に伝馬の負担が命じられる。1617年の東照宮造営以後、参詣路として重要視。 総延長：40里18町（約130km） 宿：江戸から日光鉢石宿に至る21宿 参勤通交大名数(文政期)：41家</p>	出典同上
	<p><特徴> ・日光街道は「日光東照宮」(世界遺産「日光の社寺」)の参詣道として賑わった。将軍家が参詣する時は日光御成道(本郷追分～幸手宿)を利用した。小山宿以北は日光街道の他、壬生通り、日光例幣使街道など「日光脇往還」と呼ばれる経路があった。 ・日本橋～宇都宮宿までの17宿は奥州街道の宿場を兼ねている。難所は利根川を渡る栗橋のみ(房川の渡し)で、その他は橋が架けられ歩きやすい道に整備された。 <現在の状況> ・街道歩きをする場合はアップダウンが少ないので歩きやすく、交通の便も良い。ただし、旧街道の大半が国道になっており、往時の雰囲気が残る場所は多くない。</p>	【Key Word】 日光東照宮 参詣 文化財 世界遺産 なだらかな街道歩き
奥州道中 二十七次	<p><諸元> 概要：寛永年間(1624-44年)頃に整備・改修される。江戸後期、北方問題が起こり公用通行が増加。 総延長：48里（約190km） 宿：白沢宿～白河宿までの10宿。（宇都宮宿までの17宿は日光道中と兼ねる） 参勤通交代大名数(文政期)：37家</p>	出典同上
	<p><特徴> ・幕府直轄の奥州道中は宇都宮で分岐した後の白河宿(福島県)までの10宿である。白河宿より北の三厩宿(青森県)までは「仙台道」や「松前道」などと呼ばれた。 ・奥州街道は、参勤交代に利用する大名も37家あり、下野国・武蔵国を経由して、江戸と奥州・蝦夷地を結ぶ物流の動脈であった。また、松尾芭蕉の「おくのほそ道²⁵」のイメージと強く関連している街道として特筆される。 <現在の状況> ・白河宿(福島県)までの10宿は、比較的距離が短く、のどかな田園風景が広がる。ただし、鉄道ルートからやや離れる区間もある。</p>	【Key Word】 のどかな田園風景 * (奥の細道) (みちのく) (大内宿) (北国) (蝦夷地)

2) 宿場ごとの特徴

街道別・宿場別にそれぞれの特徴、食文化や工芸品、農産物等の特産品、歴史的なエピソード等に関する情報整理を行った。

²⁵ 「おくのほそ道(奥の細道)」の行程は、江戸深川の芭蕉の草庵「採茶庵」を出発し、日光道中、奥州道中を経て平泉から出羽国の尾花沢に入り、さらに北上して象潟に至り、ここで折り返して日本海側を南下し、北陸道を経て、美濃路の大垣に至るものである。

表 6-8.2 五街道の宿場ごとの特徴の整理（東海道：1/1）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
日本橋	起点	武蔵国	豊島郡	東京都	中央区	江戸幕府開府とともに城下町として急成長を遂げた日本橋。全国各地から商人や職人が集まり、地域のシンボルでもある名橋「日本橋」は五街道の起点となった。また、水運に恵まれたこともあり、多種多様な物資が集結・流通した場所でもある。それらは、暖簾という形で代々受け継がれることもあれば、企業という形へ変化するなど、いまなお、さまざまな形で成長を続けている。	水天宮、小網神社、コレド日本橋、コレド室町、三井記念美術館、日本橋クルーズ	山王まつり、茅の輪くぐり(小網神社)、日本橋・京橋まつり、小網神社どぶろく祭	江戸の食の四天王(うなぎ、すし、てんぷら、そば)、「江戸前」	黒江屋(漆器)	山本山(お茶と海苔)、長門(和菓子)、榮太樓(和菓子)	日本橋は五拾三次の出発点であり、ここより京都まで124里半(約490km)の旅が始まる。鐘が七ツ(午前四時)を打つと木戸が開かれ、日本橋の一日が始まる。	谷崎潤一郎、水森亜土、林家木久扇
品川宿	2里		荏原郡		品川区	五街道のそれぞれで、起点となる日本橋駅から最も近い「江戸四宿」(品川宿、板橋宿、千住宿、内藤新宿)のひとつ。五街道の中でも特に重要視された東海道の初宿であり、西国へ通じる陸海両路の江戸の玄関口として賑わい、他の江戸四宿と比べて旅館の数が参勤交代の大名通過の数が多かった。	品川寺、利田神社、品川台場、養願寺、品川神社、泉岳寺	しながわ宿場まつり、品川神社例大祭	品川海苔	表具、桐箆筒、骨董修理、漆工芸、江戸切子、金網、理美容鉢、提灯文字、東京手描友禅、草木染手機織物、日本刺繍、和裁、江戸すだれ、仏像彫刻、陶芸、畳		・飯売旅館「相模屋」は、外装が海鼠(なまこ)塀の土蔵造りだったことで、通称「土蔵相模」と呼ばれていた。土蔵相模は品川でも有数の規模を誇った妓楼で、高杉晋作、伊藤博文ら幕末の志士たちが密儀を行った場所として知られている。文久2年の長州藩士による英国公使館焼き討ち事件の際は、ここ土蔵相模から出発。安政7年(1860)には桜田門外の変で襲撃組主体をなした水戸浪士17名がここで訣別の宴を催した。	遠藤憲一
川崎宿	2里半		橋本郡	神奈川県	川崎市 川崎区	江戸を出生し、最初の難所となるのが「暮れ川」と呼ばれた六郷川、現在の多摩川である。橋をかけても洪水で流されるため船を利用してという「六郷の渡し」は象も渡したというから驚きである。川崎大師の参拝客でも賑わった川崎宿、そのパワースタイルは現在にも継承されている。	川崎大師、工場夜景、東海道かわさき宿交流館		・奈良茶飯…『東海道中膝栗毛』で登場し全国的に有名に。 ・くず餅、とんとこ餅…川崎大師名物		・川崎宿の中でも最大規模だった旅館「万年屋」は、ハリスが宿泊したことでも有名。名物「奈良茶飯」は大名がお昼時に立ち寄るほどの人気。 ・享保14年ベトナムから贈られた象が長崎から江戸へ向かう途中、川崎宿に1泊し、「六郷の渡し」から多摩川を渡った。	坂本九、岡本太郎 芭蕉句碑「妻の櫛を たよりにつかむ 別れかな」	
神奈川宿	2里半				横浜市 神奈川区	『東海道中膝栗毛』でも賞賛された、神奈川湊を見下ろす景勝地。浮世絵にも鮮やかに描かれる青い水面に「浦島太郎」の伝説を見る。	浦島寺(慶運寺)、洲崎大神、料亭「田中家」		・亀の甲せんべい			文久2年の生妻事件の際、神奈川台にあった関門では、島津久光の行列の通過を待つために門を閉じ、イギリス兵の追撃を封じたという。	「神奈川沖浪裏」葛飾北斎 おりょう(坂本龍馬の妻)、高島嘉右衛門
保土ヶ谷宿	1里9丁				保土ヶ谷区	箱根駅伝でもおなじみ「権太坂」は、江戸を出て最初の急勾配の坂。その手前に位置する保土ヶ谷宿は、坂を越える前のちようどいい休息の場であったのだろう。『東海道五十三次』には、宿場裏に広がる田畑など、見るだけでも癒されるようなのどかな風景が描かれている。	洪福寺松原商店街、保土ヶ谷公園	保土ヶ谷宿場まつり	・ぼたもち…保土ヶ谷宿名物		西谷ネギ、保土ヶ谷いも	・「権太坂」の由来には、旅人が老人に坂の名前を尋ねたところ、自分の名前を聞かれたと思い「権太」と答えたという説と、藤田権左衛門という開発者の名前から「権左坂」と呼ばれていたものが転じたという説がある。	
戸塚宿	2里9丁	相模国	鎌倉郡		戸塚区		どつが宿場まつり	うどん豆腐					
藤沢宿	1里30丁		高座郡		藤沢市	いくつもの街道(※)が集まり、江戸島や遊行寺などの観光資源を有する宿場町。(※大磯道、江の島道、鎌倉道、八王子道(浦山街道)、厚木道など。)多くの浮世絵に描かれる江の島一ノ鳥居と老若男女が、この町の賑わいを物語る。	江戸島神社、清浄光寺(遊行寺)、ふじさわ宿交流館、藤沢市藤澤浮世絵館	藤沢宿・全日本落語フェスティバル	弁慶餅		しらす干し	「小栗判官照手姫」の物語が流行すると、その舞台となった遊行寺には、参拝客だけでなく観光客も多く訪れるようになった。	
平塚宿	3里半		大住郡		平塚市	中原御殿や成瀬軒など、徳川家康にゆかりのある地。江戸へのバイパスとして利用された「中原街道」との分岐点。街道から見える、丸みを帯びた形が特徴的な高麗山は浮世絵にも多く描かれ、遠くに見える富士山とのコントラストが魅力的な景観となっている。	平塚八幡宮、湘南ベルマーレ	セタまつり	・成瀬軒…徳川家康愛用の江戸献上品。 ・出世汁…家康が出世したときにお祝いの席で出された味噌汁。 ・弦巻カレーパン	相州だるま	たたみいひし	平塚宿の旅館の客引き「留め女」は、京へ向かう旅人をつかまえ、往く手に見える高麗山を指さし、「あの山を越えないと大磯宿には行けないよ!」と嘘を言って旅館に宿泊させたという(実際には山を越えず周りを歩くだけ)。そこから高麗山は「ペテン山」と呼ばれるようになったとか。	「番町皿屋敷」お菊 村井弦斎
大磯宿	27丁		海綾郡		中部 大磯町	歌舞伎でも人気の『首我物語』に描かれた悲恋の舞台、そして多くの文豪や歴代総理大臣にも愛された大磯の地。山と海に挟まれた豊かな自然の魅力、そして400年続く盛大な火祭りも必見。	大磯ロングビーチ、旧吉田茂邸、旧島崎藤村邸	大磯の左義長(国指定重要無形文化財)、大磯宿場まつり、御船祭	・うなぎ ・豆腐		大磯野菜	日本三大仇討ち物語の一つ『首我物語』のヒロイン・虎御前は大磯宿の遊女。『東海道五十三次』に描かれる大磯宿の「虎が雨」も、この虎御前の悲劇にちなんだもの。	吉田茂 『首我物語』虎御前 大岡昇平 獅子文六
小田原宿	4里		足柄下郡		小田原市	戦国時代に関東で勢力を誇った後北条氏の拠点・小田原城を有し、町全体を囲った総構の跡も魅力の一つ。『東海道五拾三次』にも、背後に迫る山頂の箱根連山を背負った毅然とした佇まいで描かれる小田原城は、現在までこの町を見守り続けている。	小田原城、石橋山古戦場	梅まつり、北條五代まつり、酒匂川花火大会、おでん祭り、ちようちんまつり	・小田原おでん ・ういろう	小田原提灯、小田原漆器、小田原陣物、箱根寄木細工、木象嵌	小田原蒲鉾、小田原ひもの、和菓子、漬物、湘南ゴールド、梅干	小田原宿に入るために越えなければならない酒匂川は、軍事上の理由で架橋も渡船も禁止されていた。そのため川を渡るには、台に乗り、人足に担いてもらう必要があった。	後北条氏、風魔忍者、二宮尊徳(金次郎)
箱根宿	4里8丁				足柄下郡 箱根町	富士山がすむほどの険しい箱根の山々。駅伝でも毎年注目される難所にも関わらず、温泉や芦ノ湖など多くの観光資源に恵まれ、国内外問わず現在も人気を誇る、言わずと知れた観光地である。	仙石原、大涌谷、芦ノ湖、箱根関所、箱根温泉		・そば ・豆腐 ・自然薯	寄木細工			唱歌『箱根八里』

参考・引用文献:各自治体・観光協会・博物館(資料館)HP、「人力(じんりき)旧街道ウォーキング」(株式会社エヴォルブド・インフォ、<https://www.jinriki.info/>)、「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査報告書」(平成20年度、国土交通省関東地方整備局)

表 6-8.3 五街道の宿場ごとの特徴の整理（中山道：1/3）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場にまつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
日本橋	起点	武蔵国	豊島郡	東京都	中央区	江戸幕府開府とともに城下町として高成長を遂げた日本橋。全国各地から商人や職人が集まり、地域のシンボルでもある名産「日本橋」は五街道の起点となった。また、水運に恵まれたこともあり、多種多様な物資が集結・流通した場所でもある。それらは、暖簾という形で代々受け継がれることもあれば、企業という形へ変化するなど、いまなお、さまざまな形で成長を続けている。	水天宮、小網神社、コレド日本橋、コレド室町、三井記念美術館、日本橋クルーズ	山王まつり、茅の輪くぐり(小網神社)、日本橋・京橋まつり、小網神社とぶろく祭	江戸の食の四天王(うなぎ、すし、てんぷら、そば)、「江戸前」	黒江屋(漆器)	山本山(お茶と海苔)、長門(和菓子)、榮太樓(和菓子)	日本橋は五街道の出発点であり、ここより京都まで124里半(約490km)の旅が始まる。鐘が七ツ(午前四時)を打つと木戸が開かれ、日本橋の一日が始まる。	谷崎潤一郎、水森亜土、林家木久扇
板橋					板橋区	江戸の玄関口である、江戸四宿の一つ。京都側(北側)から上宿(現在の板橋)、仲宿(中宿とも、現在の仲宿)平尾宿(現在の板橋)に分かれており、それぞれに名主が置かれた。上宿と仲宿の境目は板橋の架かる石神井川、仲宿と平尾宿の境目は観明寺付近。本陣は仲宿に1ヶ所、他に脇本陣が2ヶ所で、旅籠は50軒程度だった。宿内では、川越街道と分岐する。	蓮照寺、板橋、縁切履	田遊び、いたばし花火大会、茂呂遺跡、志村城址					
蕨				埼玉県	蕨市	戦国時代には渡川氏の居城であり、江戸時代に宿場としての機能を持ってからは、岡田氏が本陣を務めた。用水堀で宿場を囲み防火していたが、しばしば大火に見舞われた。隣の浦和宿とともに、縁の有名な宿場町であった。現代における蕨市は、人口密度No.1の市、成人式発祥の地として有名である。	蕨宿江戸方木戸跡、歴史民俗資料館分館					蕨本陣跡…一の本陣と呼ばれた岡田加兵衛の本陣。向かいには岡田五郎兵衛の本陣があり、この2つが蕨宿の本陣であった。蕨本陣跡として公開されているのは加兵衛家の本陣である。ここには、老中水野忠邦や松平加賀守、皇女和宮などが宿泊した。	星野源
浦和					さいたま市	江戸に近すぎたこともあり、宿場としてはそれほど大きなものではなかったが、戦国時代から始まった二七の市場は活況であり、江戸時代には將軍の鷹狩りの休憩所として「浦和御殿」が設けられるなど賑わいを見せた。また、幕府の直轄領であった。	浦和レッドダイヤモンド、調神社、北浦和公園、玉蔵院通り		縁の食い納め…蕨宿・浦和宿を越えて上方へ向かうと、しばらくの間縁を食せる店が無くなってしまったため、ここで食べていく客が多く、両宿はともに縁で有名な宿場町であった。			二七の市場…毎月二と七の日に市が開かれ、農産物や各種生活必需品が取引された。これにちなんで、昭和55年、当時を偲んでこの通りに市場通りの愛称がつけられた。	
大宮						氷川神社の門前町として栄えた大宮宿は、本陣1軒、旅籠25軒と、それほど規模の大きな宿場ではなかったにも関わらず、脇本陣の数が9軒と、中山道で最も多かった。現在は当時の面影を見ることはほとんどできないが、氷川神社は今も変わらずそこにある。	氷川神社、大宮公園						
上尾					上尾市	上尾宿は、日本橋から出て最初に泊る宿場として、小さな宿場にもかかわらず、本陣1軒、脇本陣3軒、旅籠41軒と旅籠が多かった。しかし、安政7年(1860年)の大火で宿場の遺構は残っていない。	脇本陣井上家の鬼瓦、氷川神社、蓮照院						
桶川					桶川市	桶川宿は、江戸から出た旅人が最初に宿泊することが多かったようだ。現在の町並みは、寛永12年(1635)にほぼ完成し、紅花の生産地として、出羽の最上に次ぐ生産量で問屋が軒を並べるようになった。紅花は荒川の太郎右衛門河岸から江戸へと出荷されたが、明治以降化学染料の普及で紅花は衰退した。						・大雲寺…本堂に向かって右に3体の地蔵があり、右端が女郎買地蔵である。由来は、この地蔵が夜な夜な飯盛り女に会いに出る。このため和尚が地蔵の背中に錠を打ちつけ鎖で繋いだ。これは和尚が寺の小僧の夜遊びを戒めるためであったらしい。 ・武村旅籠…幕末に紙屋半次郎がここで旅籠を営み、大正時代に改築されたが内部の間取りは昔の名残を残す。和宮が本陣に泊まったとき、付き添いの山岡鉄舟はここに泊まっており、自筆の宿帳も残る。 ・府川本陣跡…幕末には15代将軍徳川慶喜の父にあたる水戸藩主徳川斉昭がここに宿泊し、文久元年(1861)年に皇女和宮がここに宿泊した。 ・北木戸跡…文久元年(1861)に皇女和宮を迎える前に木戸を立て直した記録が残っている。	
鴻巣					鴻巣市	宿場には徳川家康、秀忠、家光が鷹狩りの際に宿泊所とした鴻巣御殿があった。しかし、鴻巣宿はもともと北本市にあり、中山道を整備したとき、北本宿を鴻巣宿として移設してきた。	池元院…閻魔堂碑がある。閻魔堂如水、本名は北岡仙左衛門俊之といひ、書道を長年教えてきた。明治14年8月門弟たちによって筆塚が建立され、郷土の子弟教育に生涯を捧げた如水翁の功績を称えて、この碑が建てられた。						
熊谷					熊谷市	宿場の規模は、中山道でも屈指の大きさを誇ったものの、飯盛岡部には安倍家の日岡部岡部陣屋があり、遺構として長屋門、西島町に地方道用門が残っている。熊谷では飯盛女がいなかったのに対して、深谷宿は、中山道最大規模の宿場で、飯盛女も多く、遊郭もあり、ほとんどの旅籠が飯盛女をかかえ一層の賑わいを見せた。その様子を浮世絵師英泉は「岐陽街道 深谷之驛」で描いている。洗沢栄一の生誕地でもある。	高城神社						
深谷					深谷市		大谷邸…昭和恐慌の時、時の深谷町長故大谷豊氏がお助け普請で建てた木造二階建て洋館付和洋折衷住宅。ステンドグラスなど大谷邸には精巧優美な細工が数多く見られる。登録有形文化財。						
本庄					本庄市	本陣2軒、脇本陣2軒、旅籠70軒と中山道でも最大の規模の宿場である。ここが最大規模の宿場であった理由は、利根川の水運の集積地であったということが大きい。また、宿場町として規模が大きかった為、大きな火災もあったため、当時の面影を残す建物が少ない。	高保己一記念館、舞岡城、鷲山古墳、本庄サーキット	本庄まつり					
新町		上野国		群馬県	多野郡 新町	当初は宿場として存在していなかったが、先の川渡りを控えて、宿場が無いと不便であるということから、中山道の制定から実に50年遅れて新設された宿場である。							
倉賀野					高崎市	倉賀野宿には、烏川を利用した舟運の河岸があり、河岸を合わせた宿場であった。さらに日光例幣使街道の分岐点として、交通上の重要な地点でもあった。宿は「下町、中町、上町」で成り立っており「中町」が中心であった。街道は大名の宿泊や日光東照宮へ派遣される例幣使などで賑わいを見せたが、例幣使はカラが悪く怒鳴りかきの行為が目にとり宿は相当迷惑したといわれる。						高札場跡…須賀本陣跡の50mほど先に「高札場跡」が復元されており「高札場跡碑」もある。後ろの「樅の木」には伝説が伝わる。安政2年(1855)のこと、倉賀野宿の宿場全部を焼き尽くすほどの大火災が発生した。ところがこの樅の木に天狗が現れ傍の1軒の家を必死で火災から守った。	
高崎						高崎宿は、井伊直政が築いた高崎城の城下町として発展し、上州最大の賑わいを見せる宿場町となった。しかし、高崎宿には、本陣や脇本陣が置かれていなかった。理由は、諸大名が御城下での宿泊を敬遠したからである。	中山道街道絵巻、高崎神社、恵徳寺、長松寺、山田文庫、正一位稻荷大明神、上毛かるた、高崎城、少林山達磨寺、高崎観音、真輪城跡、権名湖、権名神社、権名山	七草大祭たるま市		だるま	だるま弁当、ラスク、梅、梨、プラム、椎茸、公魚(権名湖)、JA高崎ハム、ミヨウカ	・長松寺の本堂には、狩野派の絵師「狩野探雲」による龍と天女の絵と涅槃図の掛け軸がある。これは、高崎市指定重要文化財である。この寺の客間は高崎城から移築されたのもで、江戸幕府3代将軍徳川家光の弟、徳川忠長が切腹した部屋と伝えられている。	BOOWY(出身)

表 6-8.3 五街道の宿場ごとの特徴の整理 (中山道: 2/3)

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場にまつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)	
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品			
板鼻					安中市	中山道では、川渡しとして随一の難所であったという碓氷川の川渡しを控えて、宿泊するものも多かったという。								
安中						新島襄旧宅など、古い町並みが残る風情ある場所。	茶臼山、妙義山、松井田城、磯部温泉、碓氷関所跡、新島襄旧宅				磯部せんべい、峠の釜めし			
松井田				碓氷郡	松井田町	碓氷峠に向かう人、越えてきた人で賑わいをみせたという。また、信州諸藩の城米が集積され、江戸廻米の中継地となっていたことから、米宿とも呼ばれて反映した。								
坂本						道路の中央に用水路があり、両側に本陣、脇本陣、旅籠、商家が160軒ほどあり、賑わっていたという。馬子唄には、「雨が降りやまず松井田泊まり 降らにゃ越します坂本へ」と唄われている。						・金井本陣跡…ほとんどの大名や例幣使が坂本泊まりであったことから、多くの大名がこの金井本陣に宿泊した。皇女和宮も宿泊された。 ・佐藤本陣跡…坂本宿には本陣が2つあり、佐藤本陣は上の本陣、金井本陣は下の本陣とも呼ばれた。文政年間て31の大名が往来したが、裏に碓氷関所、西に碓氷峠がひかえているため、坂本宿への宿泊が必然となり、その結果2軒の本陣が必要であった。		
軽井沢		信濃国		長野県	北佐久郡	軽井沢町	中山道有数の難所であった碓氷峠の西の入口にあたり、六十九次で最も栄えた宿場であった。本陣と脇本陣合わせて5軒、旅籠は最盛期には100軒近くあったとされ、数百人の飯盛女が働いていたという。宿場の裏にある矢ヶ崎川にかかる二手橋は、旅人と飯盛女が別れを惜しんだ場所。明治時代以降は欧米人宣教師に避暑地として広く紹介され、現在も多くの人が訪れる人気スポット。	軽井沢シヨ-記念礼拝堂、神宮寺、碓氷峠、白糸の滝				茶屋つるや跡…現在は旅館になっている。昔は、茶屋で強飯やざるそば、煮しめを供した。	『風立ちぬ』(舞台)	
沓掛						両隣の軽井沢宿、追分宿の賑わいに比べ、あまり大きな宿場ではなかった。天明3年(1783)の浅間山の噴火により壊滅的な被害を受けた。また、1951年の大火で町の殆どを焼失、往時の様子を伝えるものは殆ど残っていない。現在は中軽井沢と名を変え、主に避暑地として利用されている。	長倉神社、右平公園、沓掛温泉、小倉山							
追分						追分宿は4.7kmと短い、本陣1軒、脇本陣2軒、旅籠35軒があった。中山道と北国街道分岐点の分岐点であり、「右、従軍北国街道 左、従軍中山道」と刻まれてた「分かれ」は、今も賑わったありし日の面影をとどめている。右は北国街道姫掛山の「田毎の月」で知られる東科へ。左は中山道で京都へ、そこから桜の名所奈良吉野山へ向かうという意味である。	浅間神社、追分本陣門(東門)、土屋本陣跡、諏訪神社、泉洞寺、枳形茶屋つがるや、堀辰雄文学記念館、軽井沢町追分宿郷土館				・旅籠35軒に250人の飯盛女がいたため、追分節につきのように唄われた。 「浅間山から飛んでくる鳥、金も無いのにかうかうと」 「浅間山から追分見れば、飯盛女郎がうようよと」 「三味を横抱き浅間を眺め、辛い勤めと眼に涙」 ・油屋脇本陣跡…旅籠である油屋の「つけの間」で堀辰雄は「風立ちぬ」を執筆した。	芭蕉句「ふきとばす 石も浅間の 野分かな」		
小田井						皇女和宮を始めとして、宮家や公家の姫君の休泊に利用されることが多かったことから、「姫の宿」とも呼ばれた。天保14年(1843)の調査では、家屋が109軒、319人が住んでいた。	本陣跡、問屋場跡							
岩田村					佐久市	かつては民家6千軒を有し信濃でも有数の都市として発展していたが、文明16年(1484年)村上軍の戦火に焼きつくされ廃墟になった。その後、戦国時代武田氏の支配下で復活していき江戸時代に中山道の宿駅となり発展。岩田宿は小諸への街道、甲州への街道、下仁田への街道の分岐点であった為、交通の要衝地として重要な役割を果たした。元禄十六年(1703年)に内藤氏によって岩田宿が成立するが、城下町であったため、本陣・脇本陣が設置されず、周辺の寺院が本陣・脇本陣の機能を果たした。	龍運寺、西念寺					龍運寺…鎌倉時代の初め、地頭大井氏(甲斐源氏)の菩提寺として創建された。しかし、その後戦火のため荒れ果て、位置も現在へ移った。武田信玄が信濃の経路が一段落した永禄3年(1560年)中興開基となり、北高全祝禪師を迎えて興隆をはかった。		
塩名田					北佐久郡	朝科村	中山道で唯一千曲川と合流する宿場。近郷無類の羅れ川と呼ばれる千曲川の氾濫に苦しんでおり、明治期になって舟をつないでその上に板を架けて橋とする「船橋」方式がとられた。現在も格子戸が残る街並みには旧屋号の看板が下げられており、老舗の川魚料理店がある。	龍雲寺、貞祥寺、旧中込学校、新海三社神社、龍岡城、妙義荒船佐久高原国定公園、温泉	佐久パルーンフェスティバル、跡部の語り念仏、SAKU BLOOM			郷土料理「鯉こく、煮こじ、鮎寿司、おなっとう		
八幡						宿場名の由来となったのは「八幡神社」。八幡本陣には、幕末動乱期に「公武合体」の象徴として、第14代将軍の徳川家茂に降参した皇女和宮が泊まっていた、和宮から下賜された品物などが現在も伝えられている。	八幡神社、八幡本陣跡							
望月						古くから馬の名産地として知られ、毎年旧暦8月15日の盂蘭盆の日に馬を朝廷や幕府に献上していたことから「望月」の名が付いたとも言われる。大和屋など、往時を残す建物も現存する。街道沿いには、「望月歴史民俗資料館」や国の重要文化財に指定されている、出桁造りの旅籠「真山さなやま家(大和屋)」がある。	大和屋、大伴神社	禰祭り				大伴神社…祭神の天忍日命は、馬に乗ってこの地へ来たと言われている。乗って来た馬を種馬として駒の改良繁殖をはかり、この地は、多数の馬を産する地となったと言われている。8月15日には、数百人の人が松明を持ち、山を駆け下り望月橋から鹿曲川に松明を投げ込む神事禰祭りがある。		
芦田						本陣土屋家は、問屋を兼ねる芦田宿の開祖でもあった。本陣御殿(客室)は寛政12年(1800年)に再建されたもので、イチイの木を使った京風上段の間があり、大名の宿泊を今に伝える「宿札」も残され、往時をそのまま伝える建物は、中山道唯一と言われている。	蛇石様、土屋本陣跡、庄屋・山浦家脇本陣跡					・蛇石様…江戸時代末期頃から蛇石神社として、右を覆うような社があったとされ、戦前までは清水家のくわで4月にお祭りを行っていた。 蛇石様は夜泣きの神様として、米をおひねりにお参りすると、乳呑児の夜泣きが治るとされた。現在は、まわりが2m以上ある大きな石のみが残され、石の真ん中には蛇が通った跡と思われる筋が残っている。		
長窪					小県郡	長和町	笠取峠、和田峠に挟まれている上、上田の城下町へ向かう道への分かれ道にも当たったことから、宿泊の人手で賑わった。	本陣跡、釜鳴屋						
和田						金田村	中山道最大の難所和田峠の手前にあり、参勤交代の大名も必ず宿泊した宿場である。	かわち屋(歴史の道資料館)、和田宿本陣、脇本陣、美ヶ原高原				同年11月、皇女和宮降参の際、和田宿宿泊のため、昼夜兼行で宿内復旧工事がなされた。		
下諏訪						下諏訪町	かつては、高島城の城下町ともなっていたようだが、実際に城からは距離があり、実質は街道筋の宿場町としての要素が強かったと思われる。寺社や造り酒屋が点在し、風情が漂う一方で、現在は温泉地としても有名である。甲州道中の終点(始点)と中山道が合流する場所。	諏訪湖わかさぎ釣り、佛法紹隆寺、温泉寺、諏訪市美術館、片倉館、湖群公園、足湯、神宮寺足湯、高島城・高島公園、北澤美術館、SUWAガラスの里、諏訪市博物館、諏訪市原田泰治美術館、諏訪大社 上社本宮、諏訪大社 上社前宮、諏訪大社下社秋宮、諏訪大社 下社春宮	小宮御柱祭、諏訪湖イルミネーション、諏訪湖マラソン大会	そば	「大社煎餅」のピーナツせんべい、「新橋本店」の元祖・塩羊羹、「福田屋本店」あべ川餅、老舗酒蔵「本金酒造」、「丸安田中屋」のチーズアントルメ、かりん、ワカサギの甘露煮	出身:美川憲一、原田泰治 舞台:新海誠監督・アニメ映画「君の名は。」		

表 6-8.3 五街道の宿場ごとの特徴の整理（中山道：3/3）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場にまつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)	
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品			
塩尻					塩尻市	塩尻宿は、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠75軒と中山道では旅籠が2番目に多く、北国西往還(善光寺街道)と三州街道、中山道が交差しているため、交通の要衝として賑わっていた。	塩尻口留番所跡、小野家住宅 二棟、明治天皇御所行在所、塩尻宿本陣跡、平出歴史博物館、塩尻短歌館、塩尻市小坂田公園、高ボッチ高原、みどり湖、塩尻御野立公園	塩尻御野立記念祭(日本一短い祭り)、阿彌神社例大祭、高ボッチ高原観光草競馬大会	ワイン、山賊焼き			明治天皇塩尻御膳水碑…明治天皇ご来訪の折りに、この水が炊飯やお茶に供されたことから、御膳水と呼ばれている。 阿礼神社…平安朝時代醍醐天皇の延長5年(927年)に撰進された、延喜格式神名帳記載の由緒ある古社。 堀内家住宅…旧堀の内村の庄屋を務めていた。建物は、築200年の本棟造りで、国重要文化財となっている。		
洗馬						慶長19年(1614)、中山道が牛首峠越えから塩尻峠越えに変更になったとき、中山道と北国臨往還(善光寺街道)との分岐の宿場として新設された。南北の出入り口は鉤型になっており、また宿内は湾曲して造られている。	本陣跡、平出遺跡					本陣跡…洗馬宿本陣の庭園は「善光寺道名所図会」の中で、「中山道に稀な」と評された庭園だったが、鉄道の開通によって洗馬駅の敷地となり、失われた。		
本山						本山宿は距離は短い、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠34軒と賑わっていた。とくに民家は、当時の旅籠の姿をそのまま残していて、とても見事な造りがわかる。蕎麦切り発祥の地。	秋山家(若松屋)・田中家(池田家)・小林家(川口家)(国登録有形文化財)		そば切り発祥の地					
貫川				木曾郡	楡川村	天正18年(1590)に、天下統一を果たした豊臣秀吉が木曾を直轄領とし、貫川に番所を置いた。	貫川関所跡、深澤家住宅、麻衣姫神社、観音寺、貫川のトチノキ							
奈良井						古くは東山道、又戦国時代には武田氏が定めた宿駅である。木曾11宿の中でも標高940mと高い位置にあり、首谷最大難所鳥居峠(標高1197m)を控え、大層賑わい「奈良井千軒」と称されたという。町並みは大保年間の建物が多数残っていて、昭和53年、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、地区を上げて町並み保存に尽力している。	専念寺、上間屋跡、伊勢屋、越後屋、中村屋、木曾の大橋(道の駅)、鳥居峠			曲げ物、繻、木曾漆器		・専念寺…入り口に、うなり石と呼ばれる大きな石がある。これには、その昔、この石が夜になるとうなりだすので、釘を打ち付けたがうなりが止まらないので今度は酒をかけたらうなりがなくなったという伝説がある。今でも打ち付けた釘が残っている。		
敷原					木祖村	中山道の難所の一つ、鳥居峠の麓に位置し、また飛騨街道との分岐があったため、宿泊するものも多かったという。	本陣跡、防火高塚跡							
宮越					日義村	平安末期の武将木曾義仲ゆかりの場所。宿場関連の史跡よりも、木曾義仲関連の史跡が多い。かつては木曾川の水を使った用水が宿場内を流れていた。	義仲館、徳音寺、本陣跡							
福島					木曾福島町	宿の入口には関所を配し、関所の町として栄えた。また、木曾氏の居城上の段城があったことから城下町として発達し、上の段区には町並みが残されている。	福島関所(天下の四大関所)、高瀬家、山村代官屋敷					・高瀬家…木曾の地を治めた山村代官の家臣として仕えた家柄で、文豪・島崎藤村の姉、園の嫁ぎ先でもある。 ・山村代官屋敷…木曾義元の食客となったことにはじまり、木曾氏の重臣として活躍した。後に、関ヶ原に向かう徳川秀忠の先陣として活躍し、勝利を得たことから、木曾谷の徳川直轄支配をまかされる木曾代官となり、明治に入るまでの約270年間、関所を守った。		
上松					上松町	上松宿は、木曾ひのきの集散地であり、木曾ひのきを商う商人たちの町として栄えた。たびたび大火に襲われているが、上町では焼失をまぬがれた部分があり、遺構を残している。	八幡神社、玉林寺、材木役所跡							
須原					大桑村	正徳5年(1715)の木曾川の大洪水によって、宿場のほとんどが流出したため、その後一段高い土地に移転したのが現在の須原宿の町並みである。水舟と呼ばれる木をくり抜いて作られた水汲み場が、随所にある。	枳形 鍵屋の坂、定勝寺							
野尻						野尻宿は、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠19軒であった。「野尻の七曲り」と有名で、外敵からの進入を防ぐために、道が左右に曲がっており、今でもその面影を残している。	イボ石(触るとイボが治るといわれている)							
三留野					南木曾町	和宮や明治天皇なども宿泊した記録が残っている。	口留番所跡、南木曾町博物館			かきぞれ味噌	蘭ひのき笠、南木曾ろくろ細工、木工芸品(ひのき)、なぎぞねこ		・脇本陣奥谷…島崎藤村の初恋の相手「ゆふ」さんの嫁ぎ先。 ・妻籠宿本陣・問屋場…妻籠宿の本陣は、代々島崎氏が務めた。馬籠の島崎氏とは同族で、幕末にも妻籠から「ぬい」が馬籠の正樹(「夜明け前」の主人公青山半蔵)のもとに嫁いだ。7人の子供をもうけ、末子が春樹(近代の文豪島崎藤村)である。藤村の次兄広助は妻籠宿本陣の養子となり、最後の当主となった。 ・鯉ヶ岩…昔当地(妻籠)城山に木曾義仲の後裔義昌が砦を築いていた其頃、武将が此岩の附近で恋の物語りをささやきなりと云う伝説あり。其の後、部落の地名も恋野となり現在も其の面影残っている。中山道筋の旅人を驚かしたり喜ばしている。(信濃道中記)鯉ヶ岩は名の如く、大きな鯉の形をした大岩であったが、明治24年美濃の大震災で移動したため形が変わった。附近の鳥帽子岩(吾妻橋地区)兜岩(神戸地区)と共に「三大岩」として有名である。	
妻籠						妻籠宿から馬籠宿まで2里、宿の延長は2町30間。宿内は問屋2・本陣1・脇本陣1・旅籠31となっていた。妻籠は文献によると中世から宿として利用され、木曾路から飯田へ抜ける道分になっていた。全国で初めて古い町並みを保存した宿場町で、現在、国の重要伝統的建造物群保存地区(昭和51年)に選定、「郷土環境保全地域」(昭和56年)の指定を受けている。国道はここから大きく西側にそれ、妻籠宿から馬籠峠へ向かう道はひっそりとした趣のある道となっている。枳形の町並みの中は古い建物が残され、常夜燈や水場も宿場の面影を偲ばせ、高札場も復元され、江戸時代の民家(熊谷家)も残っている。	口留番所跡、南木曾町博物館							
馬籠					山口村	街道が山の屋根に沿った急斜面を通っているため、その両側に石を積んで屋敷を造る「坂のある宿場」が特長になっている。明治に入って宿場としての使命を終えた後、2度の大火で遺構はほとんど焼失した。現在は、宿場町としての町づくりによって、往時の雰囲気は今に伝えている。	上陣場跡、脇本陣跡、本陣跡、馬籠脇本陣史料館、藤村記念館(島崎藤村生家跡)					・上陣場跡…天正12年(1584)、徳川家康と豊臣秀吉が戦った小牧・長久手の戦いの時、徳川方の菅沼・保科・諏訪氏の軍が陣をとった場所。	島崎藤村(出身) 島崎藤村「夜明け前」(舞台)	

参考・引用文献: 各自治体・観光協会・博物館(資料館)HP、「人力(じんりき)旧街道ウォーキング」(株式会社エヴォルブド・インフォ、<https://www.jinriki.info/>)、「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査報告書」(平成20年度、国土交通省関東地方整備局)

表 6-8.4 五街道の宿場ごとの特徴の整理 (甲州街道: 1/4)

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
日本橋	起点	武蔵国	豊島郡	東京都	中央区	江戸幕府開府とともに城下町として急成長を遂げた日本橋。全国各地から商人や職人が集まり、地域のシンボルでもある名産「日本橋」は五街道の起点となった。また、水運に恵まれたこともあり、多種多様な物資が集結・流通した場所でもある。それらは、暖簾という形で代々受け継がれることもあれば、企業という形へ変化するなど、いまなお、さまざまな形で成長を続けている。	水天宮、小綱神社、コレド日本橋、コレド室町、三井記念美術館、日本橋クルーズ	山王まつり、茅の輪くぐり(小綱神社)、日本橋・京橋まつり、小綱神社とぶろく祭	江戸の食の四天王(うなぎ、すし、てんぷら、そば)、「江戸前」	黒江屋(漆器)	山本山(お茶と海苔)、長門(和菓子)、榮太樓本舗(和菓子)	日本橋は五拾三次の出発点であり、ここより京都まで124里半(約490km)の旅が始まる。鐘が七ツ(午前四時)を打つと木戸が開かれ、日本橋の一日が始まる。	谷崎潤一郎、水森士、林家木久麿
内藤新宿					新宿区	五街道のそれぞれで、起点となる日本橋から最も近い江戸四宿(品川宿、板橋宿、千住宿、内藤新宿)のひとつ。もともとの甲州街道の第一宿は高井戸宿であったが、日本橋から4里と距離があったため、後から追加で設置された。新しい宿場なので「新宿」。一度は廃止となるも、幾度もの再開要求により50数年の時を経て復活。その後は繁栄を続け、現在でも多くの人が集まる。	新宿御苑、太宗寺、正受院、成覚寺、天龍寺、花園神社、ルミネ the よしもと					江戸時代の四谷に設けられていた、甲州街道を通過して江戸に入り出す進行人などを取り締まるための関所「四谷大木戸」があった。 ・新宿御苑は、もともとは江戸時代に信濃高遠藩内藤家の下屋敷のあった敷地である。現在は環境省管轄の国民公園として親しまれている。 ・上町の南にある天龍寺は、江戸城裏門鎮護。定刻より早く鐘を鳴らしたため、内藤新宿で遊行する人々に「追出しの鐘」と呼ばれた梵鐘、「時の鐘」が現存する。内藤新宿は江戸の外れにあり、武士が登城に遅れぬようにとの理由であった。	出身:夏目漱石、緒形拳 舞台:『シティーハンター』
高井戸					杉並区	当初は甲州街道の1番目の宿場であったが、後に内藤新宿が設置され、次第に素通りするものが多くなった。現在は便利さと緑豊かな住環境で人気の町。地名の由来となった「高井堂」のある宗源寺は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で注目を集めた「武士の義」黒山忠忠の一族を祖とする。	宗源寺、下高井戸おおぞら公園、高井戸温泉 美しい湯、塚山公園					月初~15日までを下高井戸宿、16日~月末までを上高井戸宿が勤める合宿であった。	
国領					調布市	問屋業務を5宿で分け合い「布田五宿」と呼ばれた(1ヶ月のうち1~6日が上石原宿、7~12日が下石原宿、13~18日が上布田宿、19~24日が下布田宿、25~29日が国領宿)。江戸日本橋から近く「間の宿」的色彩がよかった。本陣や脇本陣はなく、旅館9軒。現在は、自然・歴史・芸術と観光資源にも恵まれ、便利さも兼ね備えた住環境で人気の町。	覚證寺、西光寺、布多天神(五宿天神)、深大寺、JAXA調布航空宇宙センター、せんがわ劇場、東京アートミュージアム、マヨテラス(キュービーマヨネーズ)、味の素スタジアム、武者小路実篤記念館・実篤公園、京王閣競輪場(東京オーヴァル京王園)、下石原八幡神社、深大寺城跡、鬼太郎ひろば、国領神社	近藤勇生誕地まつり、国領千年乃藤まつり	深大寺そば…江戸時代、深大寺北の台地ではそばの生産が盛んであった。深大寺は来客をぞばでもてなすようになり、元禄年間には上野寛永寺の公辦法親王にも献上した。親王がそれを賞賛すると将軍家や全国の諸大名にも広まり知名度アップ。多くの家から「深大寺そば」の使者が立つほどになったという。	赤崎…NHKの朝ドラ「ゲゲゲの女房」にも登場。	焼酎、深大寺の厄よけ米、ゲゲゲの鬼太郎の妖怪焼き、五宿天神 梅むらさき、そばようかん、裕次郎あんぱん	近藤勇が甲陽鎮撫隊を編成し甲府に出陣する途中、西光寺の向かいの民家で歓待を受け、しばし休息をしたという。2001年、以後130年を記念して門前に近藤勇像が建立された。	・近藤勇 生誕の地 ・水木しげる(調布市名誉市民) ・映画「花束みたいな恋をした」(2021年)ロケ地 ・作曲家・本多鉄蔵「思い出のアルバム」
上・下布田					調布市								
上・下石原					調布市								
府中					府中市	武蔵国の国府、武蔵総社の「大國魂神社」があり、古代より「武蔵国の中心部」にあった。鎌倉街道と現在の旧甲州街道が交わる場所には交通の要所として高札場もあり、非常に栄えた宿場である。飲食をはじめ多岐に渡る商店も142軒あり、近隣の消費経済の中心地。特に生糸を扱う商家が軒を連ねていた。当時の高札場が現在でも残っているほか、問屋場の蔵も再建され、酒屋として現在も営業。ほかにも古い商店が残っており、建築物の一部は「府中市郷土の森博物館」へ移設復元されている。徳川家康ら武士によって献上された「けやきの並木道」は、国の天然記念物に指定され、現在でも庄巻の町のシンボルである。	大國魂神社、高安寺、善明寺、妙光院、普門寺、熊野神社、東郷寺、武蔵府中熊野神社古蹟、国史跡武蔵国府跡、多磨霊園、サントリー 天然水のビール工場 東京・武蔵野ブルーリー、JRA東京競馬場	くらやみ祭	府中産まくわ瓜…徳川家に献上されていた。	武蔵国府ロール、府中バックカス	・飛鳥~奈良時代の初め頃から平安時代の終わり頃にかけて武蔵国を治めた行政機関の長、国司の居宅兼執務室「国司館」があった。 ・甲州街道と鎌倉街道が縫の手に交わる場所に高札場があったことから、この界隈を「札の辻」「鍵屋の辻」と呼び親しまれていた。 ・安政6年(1859)府中宿本町に大火があり、それを機に寛延2年(1861)中久本店の店蔵を防火建築物として再建。隣地は問屋場であったため、大道芸人の辻芸を楽しむ人々等で賑わい、武蔵府中の中心として栄えた。 ・大國魂神社は、徳川家康が関が原の戦いや大坂の陣の戦勝祈願成就の御礼として馬場を献上し、本殿や拝殿、接門を修築した。 ・徳川家康が鷹狩をする際に宿泊・休息をした府中御殿も置かれた。 ・馬場大門のケヤキ並木…1062年、源頼義、義家父子が、前九年の役の戦勝祈願御礼としてけやきの苗1,000本を寄進したことに始まる。その後、徳川家康が関が原、大坂両役の戦勝の御礼として馬場を献上し、けやきの苗を植樹した。現在のけやき並木には、その江戸初期のものが数本残っているほか、けやきが約110本、その他えのきなどの老樹を含め、合計で約120本の木が植えられており、緑のトンネルを思わせるその景観は庄巻。大正13年、国の天然記念物に指定。けやきの並木道が指定されているのは日本でここだけ。	・分倍河原古戦場(新田義貞) ・漫画「ちばやふる」(舞台) ・依田伊織(墓所) ・勤王の志士・西園寺実満(墓所) ・澤 穂希(出身)	
日野					日野市	日本橋から数えて10番目の宿場。本陣もしくは脇本陣として	日野宿本陣、新選組のふ	ひの新選組まつり、ひのよ				宿場町として整備されたのは慶長10年(1605)の	出身:平山孝幸、佐藤彦五郎、土方歳三、井上源三郎、井
横山					八王子市	北条氏照の居城であった八王子城が天正18年(1590)秀吉方前田利家の攻撃で落城。その後、関八州の領主となった徳川家康が、大久保長安に新たな町作りを命じた。当初宿並は十五宿で構成され、横山宿と呼ばれたが、後十五宿を総称して「八王子宿」となった。四の日は横山宿に、八の日は八日市宿に市がたち賑わっていた。市には、八王子周辺の村々から納税物・紙・穀物・塩・木物(綿織物)などたくさんの商品が集まった。中でも綿織物の取引はだんだん盛んになっていった。	市守大鳥神社						
駒木野						当初から小さな宿場だったようだが、現在もほとんど遺構は見られない。	高尾駒木野庭園					小仏関所は、戦国時代には小仏峠に設けられ富士見関とも呼ばれた。武田・今川・織田などの周辺の有力氏が滅ぶと籠に一度移され、その後、北条氏の滅亡により、徳川幕府の甲州道中の重要な関所として現地に移されるとともに整備された。この関所は、道中奉行の支配下におかれ、元和9年(1623)以降4人の関所番が配備された。 関所の通過は、明け六ツ(午前6時)から暮六ツ(午後6時)までとし、しかも手形を必要とした。鉄砲手形は老中が、町人手形は名主が発行。この手形を番所の前にすえられた手形石にならべ、もう一つの手付き石に手をつけて許しをまいったという。 特に「入鉄砲に出女」は幕府に対する謀反の恐れがあるとして重傷し厳しくとりしまった。抜け道を通ることは「関所破り」として「はりつけ」の罪が課せられるなど厳しかったが、地元者は下番を交替することもあって自由な面もあったらしい。明治2年(1869)1月の太政官布告で廃止され、建物も取りこわされた。	
小仏							寶珠寺、小仏峠		やまめ				

表 6-8.4 五街道の宿場ごとの特徴の整理（甲州街道：2/4）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
小原		相模国		神奈川県	津久井郡 相模湖町	県指定重要文化財の「小原宿本陣」は、東海道・甲州街道中に置かれた神奈川県下26本陣中、唯一現存する本陣建築。小原は尾原ともいい、箱(小仏峠)の尾さきにて、くだりはたてたところの、少しひらけてるところからそう呼ぶ。11月3日は小原本陣祭りが行なわれている。	小原宿本陣、相模湖、さかみ湖リゾートプレジャーフォレスト、キャンプ場、正覚寺、弁天橋	甲州街道小原宿本陣祭					
与瀬							相模ダム						
吉野					藤野町	郷土資料館として開放されている旅館「ふじや」や、本陣跡の土倉など、当時の面影が残る。	吉野宿ふじや(郷土資料館)、古民家園、相模田名民家資料館、陣谷温泉、キャンプ場、陣馬山、緑のラブレター	藤野くるっと陶器市、藤野まつり、藤野復活村歌舞伎公演、藤野ふる里まつり				吉野宿本陣跡…かつては5階建ての巨大な建物があつたが、明治27年の大火で消失。隣に焼け残った土倉が残る。上り下りの大名が宿泊する規模の大きな本陣であった。	
関野						陣馬街道との合流地点							長谷川伸の戯曲「関の弥次ッペ」の舞台
上野原		甲斐		山梨県	北都留郡 上野原市	花井の番所(口留番所)を越えと宿に入る。この地は四方が崖になっており、この崖の上の広野であったことから「上の原」の地名となった。毎月一と六がつくに市が立ち、相州や八王子から多くの仲買人が訪れて賑わいを見せた。郡内地域の農家は、農耕のかたわら家内工業的に絹や織物を織っていたため、市では荒物や日用品のほか、こうした織物が集められて盛んに取引され、地域特産の「郡内織」が生まれた。数回の大火に見舞われながらも甲州街道沿いの商店街には蔵が残るなど宿場町の面影があり、「金仏横丁」や「稲荷横丁」などの当時の通り名も残されている。	諏訪神社、桂川、保福寺					「上野原宿を訪れた歌川広重は、「蔵音響く町」と書き残している。蔵(おさ)とは織機の部品のこととて、織物がさかんだった様子が見える。 ・諏訪番所は諏訪の関、境川の関とも云われ甲斐国、相模国の国境警備の為に甲斐武田氏が築いた関所で江戸期に入り幕府がそのまま利用したもの。取り締まりの厳しい小仏関所から近い為に女人以外は通行手形を必要としない警備が軽かったという。 ・中里介山が時代小説「大吾峠」で「甲州上野原の報(保)福寺、これを月見寺と唱える」と書いた保福寺。正門の右側には中里介山の手による「月見寺」の石碑がある。当寺を改修・移築した加藤丹後守景忠の父・虎景は、武田信玄の旗本武者奉行で信玄の武術指圖役を務めた。景忠は武田氏重臣の小山田氏と共に「上野原七騎」と称される武士団を率いて、甲斐と相模の国境にあたる津久井口で警備の最前線に担っていた。	
鶴川						上野原宿から鶴川を渡ったすぐ先にあつた宿場が鶴川宿。「一村一宿」といって、村のほとんどの家が宿屋を営んでいた。本陣はなくなったが、現在も各家には宿屋の屋号が残し、表札などに書かれたものを見ることが出来る。また、「問屋場」の建物は一部残っており、当時の面影を残す。	鶴川神社					「鶴川の渡し場…この辺りの鶴川は流れも緩やかで深さも無く徒歩でも十分に川越でき、増水時でも徒歩で渡っていた。 ・鶴川神社…本陣の影刻は上野原市内の三大影刻の一つ。鶴川宿で馬をつないでおくために使われていた「駒繋石」が境内に移設されている。 ・近くの山には、8世紀ごろに相当の権力を持った豪族のものと思われる古墳があり、古くからこの地域が栄えていたことがわかる。	
野田尻						比較的小ぶりの宿場ながら、戦国の強者の遺構と竜神伝説の美しい池 が共存する。	犬鳴神社、西光寺、お玉ヶ池、長峰砦				ほぐし飯の素 甲州地鶏、甲斐漬け、カリカリ揚ほうとう	「戦国期、この辺り一帯を長峰と呼んでいた。長峰砦は、武田家臣・加藤丹後守が小田原北条氏の侵攻を防ぐ為に築いた甲州街道筋の押さえの砦であった。 ・お玉ヶ池…旅館恵比寿屋の女中・お玉が、恋が叶ったお札に水不足であった野田尻宿の為に水を沸か立たせたと伝わる。お玉の正体は竜で、長峰の池の竜神と結ばれていたとされる伝説が残る。	
犬目						この地極めて高き所にて、房総の海、富士の眺望奇絶たる所。犬目宿から見た富士山は「犬目富士」と呼ばれ、葛飾北斎や歌川広重もその絶景を描いた。犬目地区「遠見」の地名の通り、富士山を遠く四方を見渡すことができ、天気良ければ、左右に相野をのぞいた雄大な富士山が年間を通じて望める。南には丹次連舟が見え、展望が良い場所である。						「天保4年以來凶作が続き、同7年犬目の竹七と平助が指導し一揆を起した。この騒動は国中に広がり、鎮圧後竹七は捕らえられ牢死した。平助は逃げ切り、明治時代になって犬目宿に戻り、実家の旅館「水田家」で静かな余生を送った。甲州一揆の首謀者兵助はこのとき40歳で、妻や幼息を残して参加したが、揆の首謀者は当然死罪になる。家族に類が及ぶのを防ぐための「書置きの手紙」や、妻への「離縁状」などが、この生家である「水田屋」に残されている。また、宿場の東にある高台には犬目兵助の墓が残っている。 ・桃太郎伝説「犬」にまつわる伝承が残る。 ・宿場通りの西に位置する犬鳴神社と宝勝寺が、西からの侵略を守っており、江戸防衛のための戦略的な構えとなっていた。	葛飾北斎「富嶽三十六景 甲州犬目峠」 歌川広重「不三十三景 甲斐犬目峠」 つげ義春『猫町紀行』(猫町のモデル)
鳥沢					大月市	下鳥沢宿と上鳥沢宿の両宿で一宿。問屋業は上15日は上鳥沢宿、下15日は下鳥沢宿。宿場町らしい町並みですが、1906(明治39)年の大火で焼失したため、現在残っている家は明治以降の建物ですが、屋根やひさしが大きくせり出した古い構えの家を街道の両側に見ることができます。	大月エコの里、桂川ウェルネスパーク、新桂川橋梁、宮谷白山遺跡			ウコン製品	桃太郎伝説「雉」に関する伝承が残る。		
猿橋						「岩国の鏡帯橋」木曾の榎」と並ぶ日本三奇橋のひとつ「猿橋」に近い宿場であり、歌川広重や国定忠治もこの猿橋の近くで一休みしたという。現在も季節ごとに様々な景色を見せる観光名所となっており、土産屋や食事処もあり、観光客で賑わう。	猿橋、猿橋近隣公園、猿橋遊覧、八ツ沢発電所一号水路橋、深城ダム(シオジの森ふかしる湖)、東京電力葛野川発電所、西国三十三番観音霊場写(藤岡町強瀬)、浅川の不動尊像(七俣町浅川)、森武七墓碑、殿上三嶋神社柔師如来懸仏、一目四橋	あじさい祭り、山王祭、出世大神宮祭	「忠治そば…国定忠治が追っ手に追い詰められた時に猿橋の上からこの深い深谷に飛び込んだという伝承にちなんだ名物。 ・大月元氣種…大月特産のウコンを入れた種。昔懐かしい種を健康志向な地域商品として開発したものの。	木の実せんべい、猿橋まんじゅう	「猿橋のたもとにあつた蕎麦屋「大黒屋」はかつて旅館で、江戸時代後期の侠客、国定忠治の定宿だったとされる。 ・猿橋の起源は西暦600年ごろ。朝鮮半島の百濟の造園博士の志羅呼が、たくさんの猿がつかかりあつて対岸へと渡っていく姿からヒントを得て作られたという逸話がある。 ・桃太郎伝説「猿」に関する伝承が残る	広重「甲斐猿橋之図」 十返舎一九「諸国道中金之草鞋」	
駒橋						桂川の河岸段丘にあつて水利に恵まれた地で、山間地にしては珍しく畑のみ田方の村であつた。本陣・脳本陣はなく、旅館も4軒のみ。宿の両側には家並が続くがその他は田畑であつた。農業は五穀の他に野菜などを作り、農間には往還稼ぎ・山稼ぎを行い、養蚕や機織が盛んで絹や織を織った。旅館の他に食物を扱う茶店やその他の諸商人もいた。次の宿場の犬目宿までの間には集落が無く、並木や一里塚、立場も無かつた。一部国道20号線として開発されたが、現在も古い伝統的な様式の家屋が点在する町並である。	檀屋、三嶋神社、子育て閻魔					「子育て閻魔」…ある夏、母親が赤ん坊をおぶつて薬の葉を摘んでいると突然の激しい雨、母親は赤ん坊を閻魔堂へ覆かしつけ、再び薬の葉を摘み、ようやく摘み終えて閻魔堂へ戻ると赤ん坊が見当たらない。ふと閻魔様を見ると口に赤ん坊のおぶい紐が引っかかっていた。それ以来「人食い閻魔」と呼ばれ、村人に恐れられていた。しかし数年後、若い武士が村へやってきて自分の母親を探しているという。あの日になくなった赤ん坊は、通りかかった甲府勤番の武士によって保護され、江戸で立派に育てられていたのである。若い武士は実の母と再開し、江戸へ連れ帰り共に幸せに暮らしたという。それ以来、「子育て閻魔」と皆に慕われ信仰されるようになった。	

表 6-8.4 五街道の宿場ごとの特徴の整理（甲州街道：3/4）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
大月						市のシンボルとして親しまれ、桜の名所でもある「岩殿山」は、鏡岩と呼ばれる大岩壁が特徴で、戦国期には武田家の重臣小山田氏が岩殿城を築城し、関東三名城のひとつに数えられた。「菊花山」は、観音石として有名な菊化石(中に菊の模様がある石)が取れることでその名がついたと言われる。花と岩にちなんだ見所の多い大月には、他にも「一里塚跡」や「子の神古墳」などの史跡がそこかしこに残っている。	大月口ハス村、星野家住宅、岩殿山、真木諏訪神社本殿、子の神古墳	大月さくら祭り、かがり火祭り		ガラス工芸 (白石ガラス工房)、真木陶芸、郡内織物	厚煎煎餅、富士納豆、弥生の舞(ミネラルウォーター)、真木の里まんじゅう、甲州名物ほうとう、天然醸造みそ、		
花咲						花咲宿は下花咲と上花咲で一宿を成していた。問屋継立業務は、上15日を上花咲宿が下15日を下花咲宿が勤めた。花咲の地名は両宿の間にあった花折と言う地に桜の古木があり、花咲く旅人が憩ったところから由来している。	国指定重要文化財「甲州街道花咲本陣」星野家住宅	花咲本陣 ひな飾りの展示					
下・中初狩						初狩宿は下初雁と中初狩で一宿を成していた。問屋継立業務は、上15日を中初狩宿が下15日を下初雁宿が勤めた。宮川橋は当時は名勝として知られ、橋の上から富士山が見える事から「宮川橋の一目富士」と言われた。また、山本周五郎誕生之地としても知られ、生家は洪水によって消失したが石碑が建立されている。	宮川橋、本陣跡・古民家みどう本陣、初狩立河原、大菩薩山端岳院						山本周五郎誕生之地 松尾芭蕉「山賊のおとがいつるむぐらかな」
白野							宝林寺						
阿弥陀海道						今はない葦ヶ池の悲しい伝説、そして平和を願う大太鼓。	稲村神社、世界一の大太鼓(ギネスに登録)			笹一酒造		立石坂の立石…現在、中央線によって分断されているが、甲州街道はこの坂を通行していた。名前の由来になった立石は、山やまんば姥が折れてしまった石杖をこの場所に突き刺したものと伝えられている。 ・葦ヶ池跡碑…その昔、「よし」という娘が旅の僧侶に叶わぬ恋をし、その悲しみから毒蛇になり、通行人を襲っていたという伝説がある。現在はない葦ヶ池は、その毒蛇が棲みついた池といわれ、この池を訪れた親鸞聖人により供養されたと伝えられる。	
黒野田						比較的小さな宿場町だが、笹子峠を控えていることもあり、多くの旅人達が利用したとされる。黒野田宿の有力者・大野景貫は、今川氏、徳川氏、武田氏という戦国期の強者たちに次々仕えた後、当地に土着した珍しい経歴の持ち主。					笹子餅		
駒飼				東山梨郡	大和村	問屋継立業務は、毎月1日～20日迄は鶴瀬宿で、21日～末日迄を駒飼宿が勤めた。甲州街道最大の難所といわれた笹子峠を越えたふもとにある。この宿には、甲斐国の御牧(御料牧場)があったと言われており、大昔に聖徳太子がこの地で甲斐の黒駒を飼っていたことから駒飼と言われるようになった。この地区に住む人々は現在もお互いを屋号で呼び合い、当時の名残をとどめている。	叶岡地蔵尊					・武田勝頼公腰掛石…武田信玄の4男・武田勝頼は織田信長と徳川家康の連合軍に大敗し、徐々に勢力を失っていった。1582(天正10)年、織田軍が甲斐への侵攻を開始し、新府城を築いて追いつめられた勝頼はこの石に腰かけて敵の動静を伺ったとされる。その後、勝頼は甲州市大和町の大目山で一族とともに自害し、武田家は滅亡した。	
鶴瀬						問屋継立業務は、毎月1日～20日迄は鶴瀬宿で、21日～末日迄を駒飼宿が勤めた。「甲州十二関」の一つ「鶴瀬の番所」があり、特に「入り鉄砲に出女」を取り締まった。						・御徒横手…新府城を退去し笹子峠を越えて小山田氏の所領に向かった武田勝頼だったが、裏切りに遭い、笹子峠と対面側の大目山にある橋雲寺を目指してこの道を進んで向かったと伝えられる。武田勝頼が目指した大目山橋雲寺は、新生武田の原点として知られる。武田信玄より6代前の当主である武田信海の墓や信玄公鉄製軍配などの武田家まつわるもののほか、中峰明本坐像(国指定重要文化財)などの貴重な文化財がおさめられている。	
勝沼					勝沼町	宿並は東西12町と長く、甲府盆地の東端に位置し、物資集積の地として栄えた。芭蕉の句にも「勝沼や馬子もぶどうを食いなから」とあるように、ぶどうの里として江戸にも知れ渡り、商売繁盛の場所として繁栄を極めた。	旧田中銀行社屋、大日影トンネル、勝沼氏館跡、旧田中銀行博物館、宮光園、サッポロビール株式会社 グランボレー勝沼ワイナリー、株式会社シャトレーゼバールフォーレワイナリー勝沼ワイナリー、基六桜公園、勝沼ぶどうの丘、ぶどうの国文化館				ブドウ、ワイン、ほうとう	・勝沼氏館跡…武田信玄の父、信虎の弟、勝沼信友と子信元二代の武将として活躍した武田親族衆。館跡は戦国時代の武田武将の暮らしが明らかになり国指定史跡として保存され史跡公園として公開されている。 ・本陣槍掛の松…勝沼宿本陣に大名、公家などが泊ると、その目印に槍を立て掛けたという老松が残っている。 ・慶応4年、近藤勇率いる幕府軍と官軍が、柏尾の大善寺付近で戦火を交えた。この古戦場跡に近藤勇之像がある。	芭蕉の句「勝沼や馬子もぶどうを食いなから」
粟原				山梨市		本陣と脇本陣、問屋場があったほか、旅館の数も多く、1842(天保13)年の「下栗原村明細帳」には20軒あったと記され、その翌年の1843(天保14)年発行の「宿村大観帳」によれば、旅館の数は甲斐国の甲州街道25宿の中で4番目に多かったとある。頻りに市も開かれ、かなり大規模で多くの人で賑わった宿場だったと考えられる。	大宮五所大神・明和・安政年間の江戸絵師による浮世絵風芝居の絵馬が奉納されており、全国でも貴重な民俗遺産として山梨市の民俗文化財に指定されている。						
石和				東八代郡	石和町	石和は武田氏の故地。新羅三郎義光から四代目信義の時、垂崎の地に移り、以降武田と名乗った。五郎信光は甲斐守として石和に領を構え、18代信虎の時に甲府の鷹ヶ崎に移るまでここが武田氏の本拠地であった。宿の北東大蔵寺山麓に温泉が僅かに湧いていたが、昭和36年1月石和の地で突然大量の高温の温泉が湧き出し、現在でも多くの人々が温泉に癒されている。	石和温泉、宿懐信玄餅工場テーマパーク、山梨県森林公園 金川の森、八代ふるさと公園、石和宿本陣跡	ハウス桃宴、石和温泉花火大会、笛吹川 石和輪鮎、川中島合戦絵巻、			ワイン、栴檀信玄餅、にんにくトマトラー油、甲州カステラ	・石和とは大小の多くの川が流れる荒地で圃(い)が一面に生い茂っていたので圃の沢と呼ばれ、その後転化し石和となった。	
甲府柳町				甲府市		今の甲府市外は武田信玄の父・信虎が石和から移り、鷹ヶ崎に居館を構えたのに始まる。その後、垂崎の新府に移り、翌年武田家は滅亡してしまう。さらに信長の死後、家康が領し、秀吉の代に築城した甲府城を中心に宿場町が発展した。甲府城下町に置かれたことで、多くの商人や、市川團十郎や歌川広重などの芸能人、芸術家も賑わった宿場であった。周辺には、魚町、橋屋町、鏡治町など、職人たちが集まる通りがあり、現在もその地の名前として継承されている。また、武家地や町人地を囲ったお堀と土塁の名残が所々に見られたり、江戸時代の情報誌「甲府買物案内」に掲載されているお店で今も当時の名物を手に入れることができたこと、今でも当時の風情を十分に楽しむことができる。	甲府城		・煮貝…海に面した隣国、駿河国では新鮮な魚介類が獲れるが、輸送に時間がかかるため江戸時代に甲斐国に運ばれたのは、ほとんど塩漬や干物であった。アフリカを生の味を生かした方法で甲州の人々に食べさせたとい、みな今の6代目と総元が加工方法について研究し、江戸末期の頃に煮貝の製法が完成したと伝えられる。浜で採れたアフリカを醤油樽に詰め、馬の背に乗せて運ぶと、程よく濡らされて馬の体温で温められ、甲府に着く頃には醤油がよく染みて程よい味加減になったという。	・印伝…甲州印伝は江戸時代に初代上原勇七が独自の技法を考案して生まれたとされ、1854(安政元)年に発行された「甲府買物案内」にも掲載されている。また、十返舎一九の滑稽本「東海道中膝栗毛」にも、「腰に下げたる 印伝の巾着を出だし 見せる」の登場。旧甲州街道に面し、甲府柳町宿のあった場所に建つ「印傳屋上原勇七本店」は印伝の様々な品物を販売・展示している。		・甲府城下町の中の「柳町」という通りに、本陣や問屋場などの宿の機能が集約されていたため、「甲府柳町宿」という名前が付いた。 ・甲府城の八日町口の手前で、甲州街道が90度に曲がっているのは、甲府城が簡単に攻められないよう、戦略的に考えられたもの。 ・旧魚町…江戸時代、駿河国から甲斐国へは中道往還を通して、海産物が運ばれていた。甲府城下町で約400年間もの間、流通を担っていたのが、現在の甲府市中央2～5丁目付近にある旧魚町と呼ばれる通り。通り沿いには、今も甲州名物の煮貝を作り出した元祖「みなと」があり、魚町の面影と伝統を引き継いでいます。 ・亀屋座…江戸時代に甲府にあった芝居小屋。地元商人の亀屋兵衛が光沢寺の境内に仮小屋を作ったのが始まりで、1803(享和3)年に現在の若松町に小屋を新築し、芝居興業を行った。歌舞伎以外の芸能も上演されており、甲府の文化発信の中心的存在であった。当時は「甲府で流行った芝居は江戸でも流行る」と言われており、甲府の人々の芝居を見る目が肥えていたことが伺える。	

表 6-8.4 五街道の宿場ごとの特徴の整理（甲州街道：4/4）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
韭崎					韭崎市	「韭崎」の地名は、長く伸びる七里岩が二ラ(韭)の葉のように見え、その先端(崎)に宿場町が位置しているから、あるいは二ラの群生地であったことに由来するなどの説がある。甲斐武田氏發祥の地で、武田勝頼の新府城をはじめ、武田家ゆかりの史跡が多く残る。	甘利山、武田八幡宮、若宮八幡宮、武田廣神社、為朝神社、藤武神社、苗敷山、穂見神社、勝手神社、富麻戸神社、穂見神社、光明寺、雲岸寺、海福寺、願成寺、宗泉院、大光寺、常光寺、武田信義公館跡、新府城跡、平和観音、涙の森、将棋頭、雪雲寮、韭崎中央公園、観音山公園、穴山さくら公園、大賀ハス園、甘利沢川さくら公園(幸福の小径)、銀河鉄道展望公園、穂坂自然公園、深田記念公園、牛頭島公園、韭崎大村美術館、韭崎市民俗資料館、東京エレクトロン韭崎文化ホール、キャンプ場、鮎釣り(釜無川・塩川)、鳳凰三山(地藏ヶ岳、観音岳、薬師岳)、温泉	窟観音祭典、初に塚のサクライトアップ、信玄公祭り～甲州軍団出陣～、穴山町さくら祭り、武田の里ウォーク、新府桃源郷コース、深田祭、春の武田の里まつり新府藤武神社祭典～お新府さん～、小田川ホテルまつり、サマーイルミネーションinにらさき、若宮八幡宮例大祭、サンライズビル穂坂・ヤマケンカップ、武田陣没将士供養会、武田の里にらさき花火大会、円野町かかし祭り、フェスタ韭崎、にらさきワインフェスティバル、武田八幡宮例大祭、秋の武田の里ウォーク、甘利山グリーン大作戦、イルミネーションINにらさき、雲岸寺 成田講 節分会			馬刺し、ほうとう、ワイン	・武田勝頼は、1581年武田の里新府に新府城を築くが、戦運悪く自ら城に火を放ち落ちていった。城が焼けると共に軍用米も焼け、のちに住民がその米を拾って食べたという言い伝えがある。	武田勝頼(新府城)
台ヶ原				北巨摩郡	白州町	江戸方面から見て韭崎宿の次の宿で、日本橋からちょうど40番目。今でも古い民家や蔵が点在し、「北原家住宅」の建物は地元銘酒「七賢」を造る山梨銘醸という酒造会社として現存。また、旅館の一つ「まるや」の建物は、明治時代から外観はそのままに改築され、老舗和菓子屋「台ヶ原金精軒」となっている。歴史を踏まえた宿場町の景観保全が図られていることから、台ヶ原宿がある台ヶ原から白須までの旧甲州街道は1986(昭和61)年に「日本の道100選」に選ばれたほか、北杜市が選ぶ「北杜24景」の一つにも選ばれている。	金精軒、地酒「七賢」				地酒「七賢」、信玄餅、大吟醸粕た	・江戸～明治時代には、道に白砂が敷かれ、街道沿いに植えられた松の並木が美しい風景を作り出していたという。 ・地酒「七賢」の製造元・山梨銘醸は、創業者の北原伊兵衛が「白州の水」と出会い、酒造りを始めたという老舗。明治天皇の宿泊所(菅原行在所)となった造り酒屋の建物は、本陣の様式を今に伝える木造建築で、山梨県の有形文化財に指定されている。 ・御坂峠から望む富士山、南部町の西行峠からの富士山と並んで、花水坂(白野坂)から望む富士山は「甲斐富士見三景」に数えられている。	
教来石						村の西に教来石があり、高さ七尺(約2.1m)、竪三間(約5.4m)、横二間(約3.6m)の巨石である。昔は石の上に小祠があり日本武尊を祀ってあった。日本武尊がこの石の上で休息したといわれ、村人が経(ハ)で来石(こいし)と呼び、経を教と誤記したものと伝えられている。	山王口留審所跡、山王素堂文学碑、キャンプ場						山口素堂
鳥木		信濃		長野県	諏訪郡	富士見町	8000株・百数十種類のアジサイが花曼荼羅の如く咲く「あじさいの山寺」三光寺。与野野子も宿泊したというその花のお寺と、「信玄堀」に守られた宿場町。	枳形道路、道の駅信州鳥木宿、敬冠院・日蓮聖人の高座石、鳥木宿本陣跡、三光寺、川除古木			鳥木米	・三光寺は、鳥木宿訪問の折、与野野子が泊まったという花の寺。春の梅、初夏のアジサイが楽しめる。 ・釜無川の氾濫による水害から鳥木宿を守るために、宿の上の入口付近につくられた信玄堀と呼ばれる堤防がある。また、川除古木は、この信玄堀と共に水害から地域を守るために植えられた川除木の名残りの古木である。	
金沢					茅野市	かつて、諏訪藩の命令により金沢宿の所有地および、大沢山の入会権を隣の茅野に奪われてしまった際、当時本陣を勤めていた小松三郎左衛門が諏訪藩に直訴したことがあった。しかし三郎左衛門は捕えられ、妻子まで処刑されてしまう。それ以降この地では「みょうり様」と呼ばれ親しまれ、ついに明治17年、裁判で金沢宿の権利が認められたという。						宿の入口に設けられた枳形路は、宿内の外からの見通しを遮り、侵入者の直進を妨げて、安全防衛の役割をはたしてきた。	
上諏訪					諏訪市	上諏訪は諏訪氏三方五ヶ所高島城の城下町として栄えた。天正18年(1590)諏訪に転封された日根野織部正高吉がそれまでの金子城を築き、慶長3年(1598)高島城(西北1km現高島公園)を築いた。日根野は、慶長6年(1601)下野の壬生に転封となり、諏訪頼水が入城以後幕末の10代藩主忠礼まで続いた。高島城は別名浮城とも呼ばれ諏訪湖に面していた。	諏訪湖わかさぎ釣り、佛法紹隆寺、温泉寺、諏訪市美術館、片倉館、湖畔公園、足湯、神宮寺足湯、高島城、高島公園、北澤美術館、SUWAガラスの里、諏訪市博物館、諏訪市原田泰治美術館、諏訪大社 上社本宮、諏訪大社 上社前宮、諏訪大社 下社秋宮、諏訪大社 下社春宮	小宮御柱祭、諏訪湖イルミネーション、諏訪湖マラソン大会	そば		「大社煎餅」のピーナツせんべい、「新鶴本店」の元祖・塩羊羹、「福田屋本店」あべ川餅、老舗酒蔵「本金酒造」、「丸安田中屋」のチーズアントルメ、かりん、ワカサギの甘露煮	出身：美川憲一、原田泰治 舞台：新海誠監督・アニメ映画「君の名は。」	
下諏訪						かつては、高島城の城下町ともなっていたようだが、実際に城からは距離があり、実質は街道筋の宿場町としての要素が強かったと思われる。寺社や造り酒屋が点在し、風情が漂う一方で、現在は温泉地としても有名である。甲州道中の終点(始点)と中山道が合流する場所。							

参考・引用文献：各自治体・観光協会・博物館(資料館)HP、「人力(じんりき)旧街道ウォーキング」(株式会社エヴォルブ・インフォ、<https://www.jinriki.info/>)、「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査報告書」(平成20年度、国土交通省関東地方整備局)

表 6-8.5 五街道の宿場ごとの特徴の整理（日光街道：1/2）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
日本橋	起点	武蔵国	豊島郡	東京都	中央区	江戸幕府開府とともに城下町として急成長を遂げた日本橋。全国各地から商人や職人が集まり、地域のシンボルでもある名橋「日本橋」は五街道の起点となった。また、水運に恵まれたこともあり、多種多様な物資が集結・流通した場所でもある。それらは、暖簾という形で代々受け継がれることもあれば、企業という形へ変化するなど、いまなお、さまざまな形で成長を続けている。	水天宮、小網神社、コレド日本橋、コレド室町、三井記念美術館、日本橋クルーズ	山まつり、茅の輪くぐり(小網神社)、日本橋・京橋まつり、小網神社とがらく祭	江戸の食の四天王(うなぎ、すし、てんぷら、そば)、「江戸前」	黒江屋(漆器)	山本山(お茶と海苔)、長門(和菓子)、榮太樓(和菓子)	日本橋は五捨三次の出発点であり、ここより京都まで124里半(約490km)の旅が始まる。鐘が七ツ(午前四時)を打つと木戸が開かれ、日本橋の一日が始まる。	谷崎潤一郎、水森亜土、林家木久扇
千住					足立区	「江戸四宿」のひとつ。日光、水戸、成田へ向かう人々で賑わった千住宿は、江戸時代後期の人口が約1万人で、第2位の品川宿の6300人を大きく引き離して、最大だった。広重や北斎の画にも多く描かれている。	源長寺、勝専寺、千住宿歴史博物館、伝馬屋敷(横山家)地蔵寺紙問屋、大橋公園					・徳川家の御殿が造営され、徳川秀忠、家光、家綱らの利用があった。 ・勝専寺に安置されている木造千手観音立像は、荒川から引き上げられたと言われており、千住の地名起源のひとつともされている。「赤門寺」の通称で親しまれている。	「3年B組金八先生」ロケ地
草加				埼玉県	草加市	慶長11年(1606)、当時の日光街道は、千住と越谷の間は沼地が多く、大きな迂回を余儀なくされていた。そこで、大川図書という人物が、村民と共に、茅野を開き沼を埋め立て、まっすぐにする新道を開いたといわれている。このとき、沼地の造成で多くの草が用いられたことから、草加と呼ばれるようになった。その後宿場が設置されたが、城下町を除くと、千住、越谷、幸手に次ぐ規模にまで賑わいを見せたという。名物に草加せんべいがあり、現在も数多くのせんべい屋を楽しむことができる。かおり風景100選にも選ばれている。	東福寺、神明神社、おせん公園、日枝神社、浅間神社、そうか公園		草加せんべい	ゆかた、皮革	草加せんべい	・草加の茶屋のおせんがつくる団子は、旅人に評判だった。それまで売れ残った団子は川に捨てていたのだが、ある日それを見た武者修行の侍が「団子を捨てるとはもったいない。その団子をつぶして天日で乾かして焼餅として売ってはどうか」と教えた。早速作って売り出したところ大評判になり、「草加せんべい」として日光街道の名物になったという。	
越ヶ谷					越谷市	日光街道が整備された当初からの宿場として栄えた越ヶ谷宿は、徳川家康が鷹狩りのために頻りに訪れたことでも知られている。元荒川に突き当たるところ、川に沿って東へ行くと、越谷御殿跡があることから、その重要性が伺える。明治期の大火で大半が焼失したこともあり、宿の大半は近代化されてしまっているものの、宿内には、古い様式を残している建物もあり、往時の雰囲気を感じることができる。また、越谷だるまの産地としても有名で、全国各地に向けて出荷されている。	塗師屋、越谷御殿跡、古民家複合施設「はかり屋」、CAFE803、木下半助商店、			越谷だるま	越谷くわい銘菓	越ヶ谷には、徳川家康・秀忠が好んだという鷹狩りの拠点として使用された御殿があった。明暦3年(1657)の江戸大火による江戸城焼失の際には、この越谷御殿が将軍の居城として、江戸城二の丸に移された。	
粕壁					春日部市	朝江戸を発った旅人の多くは、夕刻にこの粕壁宿にたどり着き、宿を取った。南北朝時代、新田義貞の家臣春日部氏が当地を領地としたことから「春日部」の地名が生まれ、その後江戸時代には「粕壁」と表記されるようになり、さらに昭和に入ってから再び「春日部」が使用されるようになった。宿場の中心付近には粕壁の地名も残っている。現在は往時の町並みを想像するのは難しいかもしれないが、国民的アニメ「クレヨンしんちゃん」の舞台として多くの人に親しまれている。	牛島のフジ(国の特別天然記念物)、春日部八幡神社、内牧塚内古墳群、庄和総合公園	大風あげ祭り、春日部鷹祭り		桐箆筒、麦わら帽子	味好堂の上昇大風せんべい、御菓子司 青柳の麦わら帽子、菓匠 ちくさの羽子板最中	・東陽寺には、松尾芭蕉が宿泊したとされている。 ・山中千手観音堂は、もとは粕壁の山中というところに祀られていた。俳諧師の増田眠牛は、千手観音を背負ってこの地方を行脚していたのだが、粕壁の米問屋伊勢平の家に滞在するようになった。その後、伊勢平が好意で建てた観音堂で生活するようになり、やがてこの地で一生を終えた。眠牛を慕う人々は、その観音堂の境内に墓標を建て、千手観音を祀って信仰したという。	「クレヨンしんちゃん」
杉戸				北葛飾郡	杉戸町		宝性院、永福寺、道の駅アグリパークゆめすざと						
幸手					幸手市	日光御成道との合流地点であった。現堂川沿いの権現堂堤は桜の名所として知られており、春には多くの花見客が訪れるが、夏は紫陽花、秋は曼珠沙華も咲き誇り、1年を通して美しい景観を見せる。	幸手宿問屋跡、正福寺、八幡神社、権現堂堤					・神明神社は村の鎮守で、境内には「たにし不動尊」とも呼ばれる菅谷不動尊があり、眼病の人が「たにし」を描いた絵馬を奉納して祈願すればご利益があるという。 ・聖福寺は、三代将軍徳川家光をはじめとした歴代将軍や、例幣使が休憩所として利用した。この寺の観音像は、運慶の作だといわれており、また左甚五郎の作といわれる彫刻も残されている。	
栗橋				北葛飾郡	栗橋町	利根川の渡し場として賑わい、関東平野北辺に対する警備上	浄信寺、深廣寺、池田屋	豊田ふるさと祭り				・宿落地蔵…昔廻り場があった地で、関所破りで火指	
中田		下総国		茨城県	古河市	中田宿は、利根川を挟んで栗橋宿と隣り合っており、宿場業務も毎月15日交代で行う合宿であった。光寺には、静御前や後白河天皇などの伝承が残る。	鶴峯八幡神社					・利根川には橋を掛ける事が許されず、房川渡という渡船場が設けられていた。明治の廃止令で関所は消えたが、大正13年(1924)に利根川橋ができるまで、渡し船は続けられていた。 ・光寺…県指定有形文化財の木造聖徳太子立像が安置され、静御前のゆかり地でもある。寿永2年(1183)、大宴な日照りに見舞われた際、後白河天皇は、高僧を招き雨乞いをして雨降らないので百人の舞姫を集め次々に雨乞いの舞を舞わせた。百人目の舞姫が踊ろうとした時、天皇が静に御衣を与え、その御衣で舞ったところ、たちまち大雨が降ったという。この衣が蛙蟻龍の舞衣で、今も光寺に保存されている。	
古河						日光社参の将軍が、3泊目に宿泊したのが古河城であった。古河宿は、この古河城を中心に栄えた城下町で、道沿いには、旅館や茶店が軒を並べ、飯盛女が多かったことでも知られている。現在でも、御所沼、古河公方館跡がある古河総合公園など、関東の小京都と称されていて、全国京都会議に加盟している。	古河城址、古河公方館跡、賴政神社、長谷観音、正定寺、蛙延寺、古河総合公園、金比羅宮、神宮寺、	古河桃まつり			地酒、よしず、フナ甘露煮、傘、ほおずき、しらたま(和菓子)、さしま茶	・古河城御茶屋口…徳川将軍の日光社参に伴い、休憩所として設けられた茶屋があったとされる。 ・日光街道古河宿道標…旅人の往来などで賑わった古河宿において、日光街道と筑波道の分岐に、旅人が迷わないようにと建てられた道標である。珍しい常夜燈形式の道標である。古河市の指定文化財である。	足利成氏、鷹見泉石
野木		下野		栃木県	下都賀郡 野木町	野木神社の回りに人が住み始めたものが、次第に規模を大きくし、その後街道筋へ出たものが野木宿の起りである。古河宿に近いこともあり、宿泊の需要は少なく、小さな宿場町であった。	海願寺、野木神社、野木町交流センター「野木ホフマン館」、ひまわりフェスティバル、渡良瀬遊水地						
間々田					小山市	日光街道の中間に位置し、日光参詣する大名や旗本にも利用される、位置的に重要な宿場であった。思川の乙女河岸は東照宮造営の資材が陸揚げされ、米や物資の輸送の要衝となった。	間々田八幡宮、浄光寺、行泉寺	蛇祭り				龍昌寺…慶安四年(一六五二)、徳川家光の遺骸を日光廟に葬送の途中で安置所が設けられた。また、住職が有名な「間々田の蛇祭り」を立案した。	
小山						平将門の乱を鎮めたといわれる、藤原秀郷を祖とする小山政光が築城した小山城の城下町。北関東の交通の中心として発展し、天下分け目の関ヶ原合戦を目前に徳川家康が評定した「小山評定」の地として有名である。	小山町まちなかの駒、光照寺、元須賀神社、興法寺、愛宕神社、天翁院、祇園城址、鷲城址	祇園祭				須賀神社…天慶3年(840年)、藤原秀郷が戦勝成就に感謝して、京都の祇園社(八坂神社)から分霊し勧請した。夏に行われる祇園祭は盛大で、江戸時代の『下野国誌』に「当国第一の祇園会なり」と記されているほどである。	「小山評定」(徳川家康が、関ヶ原の戦いのため上杉景勝討伐をやめ、西に向かう評定をした場所) ・小山義政の乱(鷲城址)
新田													
小金井					下都賀郡 国分寺町	宿場の西側で黄金が取れたという伝承から金井村と呼ばれていた。宿場として移転した際に「小」の字をつけて小金井となったといわれている。古くから開けた地で、下野国の中心地として栄えていた。	慈眼寺、金井神社、俳諧の句碑、蓮行寺、薬師堂						
石橋					石橋町		石橋愛宕神社、開運寺						

表 6-8.5 五街道の宿場ごとの特徴の整理（日光街道：2/2）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
雀宮					宇都宮市		正光寺、雀宮神社					雀宮神社…社伝によると、長徳元年(995年)藤原実方が陸奥守として赴任途中休憩したこの地で、後を追ってきた妻の綾女が病死した。遺言で持ってきた宝珠を埋め、産土神として祀ったのが神社の始まり。その後、赴任地の陸奥で実方がなくなると、その霊魂が雀となってこの地に飛来したので、綾女と実方を合祀し雀宮と称した。	
宇都宮						宇都宮城の城下町であり、「当時は日光街道第一の繁昌の地にして、町48丁目、通り抜け40丁目」といわれた。奥州街道及び諸街道の要路にあたり、今も県庁所在地として、そして「餃子の街」として賑わっているが、下野宇都宮氏発祥の地であり、幕末には宇都宮城の戦いが繰り広げられるなど、歴史も多く残されている。	彌生君平勅産碑、台陽寺、熱木不動尊、三峯神社、宝勝寺、宇都宮城址公園	うつのみや花火大会、				・一向寺…この寺の阿弥陀如来坐像は、汗かき阿弥陀といわれ、宇都宮家に凶変がある時は仏体に汗が流れるといわれた。応永12年(1405)に造られたとされ、国の重要文化財に指定されている。 ・桂林寺…境内には彌生君平の墓がある。	宇都宮城の戦い
徳次郎						徳次郎宿は、下徳次郎、中徳次郎、上徳次郎の三宿で一宿の役割をなしており、1月の3分の1ずつ、宿場の役割を担った。この地は多量の砂鉄と良質の粘土・水が入り込めることから刀鍛冶に適しており、南北朝時代から戦国時代まで刀を生産してきた。守勝は相模国の刀工に学んだことから作風は相州伝であり、「徳次郎正宗」と讃えられた。	薬師堂、智賢部神社、						
大沢					今市市	徳川将軍家の日光参詣に際し宿泊所として使用された「大沢御殿」のあった場所。	王子神社、八坂神社					・建久年間(1190～99年)に源頼朝が狩りに訪れたとき、広大な荒地だったのを見て、4人の従者(宮下、大島、安西、高橋)に開拓居住させた。そして、頼朝の息沢にちなみ、地名を息沢とし、のちにそれが大沢となり、さらに現在の読み方のおおさわになつて言われている。 ・元和年間には大沢御殿が建造され、徳川将軍家の日光参詣に際し宿泊所として使用された。	
今市						今市宿は、日光街道、日光例幣使街道、会津西街道が合流する交通の要衝であり、二宮尊徳の終焉の地としても知られている。宿場を中心に東西に伸びる日光街道には、特別史跡で、特別天然記念物に指定された見事な杉並木が残る。	瀧尾神社、高麗神社、報徳二宮神社、浄泉寺					浄泉寺…小児の夜泣きを「そばを献上して祈願したら直ちに治った」という伝えで、子育て稲荷とも呼ばれて信仰を集めた沢蔵司稲荷が併設されている。この伝えが、今市がそばのまちとして知られるルーツとなったといわれている。	
鉢石					日光市	鉢石宿は、正保元年(1644)に宿に定められ、日光街道の終点となる。元々、天平神護2年(766)に勝道上人により日光が開山されたときの輪王寺とともにできた門前町で、鉢石の地名の由来は、芝田善平の宅地に鉢を伏せたような石があることから鉢石村と呼ばれていた。その鉢石は、現在も史跡として保護されている。	鉢石、観音寺、深沙王堂、輪王寺、日光東照宮、日光二荒山神社、輪王寺大猷院、鬼怒川温泉、日光江戸村				日光ラスク、三猿人形焼き、日光甚五郎煎餅、日光ぶりん、揚げゆばまんじゅう、さしみ湯波	・龍蔵寺…山重忠の末子重慶が庵を建てたのがこの寺の始まりと云われている。鎌倉幕府に謀反を企てたと誤解され首を斬られた重慶を弔うために寺が建てられた。本堂右手に「重慶阿闍梨塔」と彫った墓碑がある。また傍らに、戊辰戦争で戦死した芸州藩士墓がある。 ・西行戻り石…西行は東大寺再建の基金集めで旅した奥州平泉からの帰りに僧たちの知恵を試そうとした。日光権現がこのことを知ると小僧に姿を変えてこの石に乗り、西行が「どこへ行く。」と尋ねると「冬雨(ほ)きて夏枯草を刈りに行く。」と歌で答えたといふ小僧に罵って引き返したと云われている。 ・入江本陣跡…入江家がつとめたが、「御宮御菓子屋、本陣兼帯」といわれ日光御用達の菓子屋であった。 ・板垣退助像…戊辰戦争の時、幕府方の大鳥圭介と官軍の板垣退助が話し合つて日光を戦火から守った功績により像がある。 ・神橋…昔は「山管の蛇橋」などと呼ばれ日光二荒山神社の建造物で、橋の長さは28メートル、巾7.4メートル、高さ10.6メートルある。奈良時代の末に、神秘的な伝承によって架けられたこの橋は神聖な橋であり、寛永13年(1636)に現在のような神橋に造り替えられてから、神事・将軍社参・勅使・幣帛供進使などが参向のときのみ使用され、一般は下流に日光橋を通行する。はね橋の形式としては我国唯一の古橋であり、日本三大奇橋(山口県錦帯橋、山梨県嶺橋)の一つである。国重要文化財指定。世界遺産。 ・杉並木寄進碑…大沢宿手前にあった杉並木寄進碑と同じものである。松平正綱が杉並木を植栽して東照宮に寄進したことが記された石碑。並木の起点となる神橋畔および、各街道の切れる今市市山口(日光街道)、同小倉(例幣使街道)、同大森(会津四街道)の4ヶ所に建つてゐる。この碑は日光神領の境界に建てられているので、境石と呼ばれている。	

参考・引用文献: 各自治体・観光協会・博物館(資料館)HP、「人力(じんりき)旧街道ウォーキング」(株式会社エヴォルブ・インフォ、<https://www.jinriki.info/>)、「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査報告書」(平成20年度、国土交通省関東地方整備局)

表 6-8.6 五街道の宿場ごとの特徴の整理（奥州街道：1/1）

宿場	里程	令制国	郡	現在の自治体		宿場の特徴			食・工芸品・特産物など			宿場まつわる歴史上のエピソード	特記事項 (出身著名人、文学・映画等の舞台など)
				都道府県	市区町村	概要コメント	観光資源	祭事など イベント	食文化	工芸・民芸品	農林水産物等の 特産品		
宇都宮				栃木県		宇都宮城の城下町であり、「当町は白川街道第一の繁昌の地にして、町48丁ヨ、通り抜け40丁ヨ」といわれた。奥州街道及び諸街道の要路にあたり、今も県庁所在地として、そして「餃子の街」として知られているが、下野宇都宮氏発祥の地であり、幕末には宇都宮城の戦いが繰り広げられるなど、歴史も多く残されている。	蒲生君平勲産碑、台陽寺、熱木不動尊、三峯神社、宝勝寺、宇都宮城址公園	うつのみや花火大会、				・一向寺…この寺の阿弥陀如来坐像は、汗かき阿弥陀といわれ、宇都宮家に凶妻がある時は仏体に汗が流れるといわれた。応永12年(1405)に造られたとされ、国の重要文化財に指定されている。 ・桂林寺…境内には蒲生君平の墓がある。	宇都宮城の戦い
白沢					河内郡 河内町	慶長5年(1600)、徳川家康が上杉家討伐のためにこの地に息子・秀康を布陣させ、鬼怒川の対岸の氏家に兵を進める際に、当地の庄屋であった宇加地家と福田家を案内役とした。その後、この時の功により両家に白沢に宿駅を開設することが認められ、その後幕末まで、宇加地家が本陣を福田家が脇本陣を営むこととなった。	薬研坂、白髪神社		牛房汁				
氏家					塩谷郡 氏家町	氏家宿は、慶長2年(1597)の勝山城廃城に伴って、禄を失った三十六人衆と呼ばれる人々が氏家に住み着き宿を開いたのが始まりであるという。奥州街道・会津西街道・原方街道が集まり、日づ、鬼怒川舟運の北限である阿久津河岸に近い氏家宿は、物資の集散地として賑わう交通の要所として繁栄した。	西導寺、光明寺、松島温泉						
喜連川					喜連川町	天下人となった徳川家康は、武家の名門である足利家の流れをくむ喜連川足利家を重視し、喜連川藩を創設すると、参勤交代を免除、藩主の正室も喜連川に住むことを認めた。これは、武家の名門である足利氏を優遇し主従関係ではなく、同格の客分扱いとすることで徳川氏の権威付けに利用する意図があったものと考えられる。そのため、諸国の大名が参勤交代の際に喜連川を通過する際にも、この地の住民は土下座をする必要がなかったり、街道筋の住民に課されていた助郷の一部を免除されたり等、当時の街道筋の他の宿場町とは様相が異なる特殊な宿場町であった。	喜連川神社、専念寺、龍光寺、勝山城址、喜連川温泉						
佐久山					大田原市		長宗寺、正浄寺、佐久山温泉						
大田原						『手にすくう水もなし』と詠われた荒地那須野が原(扇状地)の中であって、扇端湧水地帯付近に位置し比較的水の便に恵まれている。そのため古くより奥州街道の宿場町として繁栄し、また戦国時代より続いた大田原氏の居城・大田原城の城下町でもあった。	薬師堂、大田原神社、大田原城址、黒羽城址、雲巖寺、温泉、なかかわ水遊園、高館城跡		竹工芸品	栃木三鷹唐辛子	源平鷹島の戦いにおいて、一発必中の弓の名手として知られた那須与一は、この地で修練の時を過ごしたという。	那須与一	
鍋掛					黒磯市	鍋掛宿は奥州道中の難所那珂川を控え、対岸の堀越と2宿で1宿の機能を果たしていた。鍋掛の名の由来は、那珂川の川溜めにより旅人が滯れ、宿住民が総出で鍋を出し、炊き出しを行なったからで、川溜めになると大いに賑わった。	清川地蔵尊、正観寺						芭蕉の句「野を横に 馬牽きむけよ [ほととぎす]」
越堀						那珂川を挟んで、鍋掛宿と二宿で一宿の役割を果たした。	浄泉寺						文人画家・高久麗屋
戸野					那須郡 那須町		旅籠丁子屋、石の美術館、建中寺、新町地蔵尊						
白坂		陸奥国		福島県	白河市	小田原攻めの勝利を確信した豊臣秀吉が伊達政宗に小田原から会津の街道整備を命じた際に、戸野と白河間が長すぎるということで宿駅となったのが白坂宿の起こりである。「雨が降っても傘いらす」といわれる程軒を連ねており、旅籠も多かった。	観音寺						
白河						奥州の玄関口に位置する白河藩は、伊達など、奥州の外様大名に対する備えとされていたため、丹羽氏以降は親藩・譜代大名が藩主を務め、240年の間に丹羽氏を含め7家21代の大名が治めている。歴代藩主の中には老中首座となって寛政の改革を断行した松平定信、同じく老中として幕末の混乱期に外国公使との交渉役を務めた阿部正外が有名だ。その正外は攘夷論者の策謀により老中職を免ぜられ、塾居する事になるが、跡を継いだ正静が左遷的国替えによって棚倉に移ると、白河は幕府領となり、二本松藩主の丹羽氏が城郭守備を命じられ、戊辰戦争を迎える。戊辰戦争では奥州諸藩の拠点となり、会津、仙台、棚倉、二本松等の兵が薩摩、長州、大垣等の西軍と戦うが、数日の激戦の後落城、城は兵火にかかって焼失してしまう。このように、白河宿は幕府の道中奉行が管轄する奥州街道の終着地であるが、老中・松平定信の居城であった小峰城の城下町としても発展し賑わった宿場であった。	関川寺、姫神社、白河関跡、南湖公園、白河小峰城、白河集古苑、	白河ラーメン		白河だるま、白河石	戊辰戦役碑…この地は、会津街道と仙台街道の分岐点であったが、東軍の最前線基地として激戦が展開されたため、戦死供養塔が建てられている。	沖田総司(江戸白河藩邸の生れ)、松平定信	

参考・引用文献: 各自治体・観光協会・博物館(資料館)HP、「人力(じんりき)旧街道フォーキング」(株式会社エヴォルブド・インフォ, <https://www.jinriki.info/>)、「五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する調査報告書」(平成20年度、国土交通省関東地方整備局)

6-9 江戸街道のロゴマーク検討

1) 検討手法

江戸街道プロジェクトを表すロゴマークを検討した。なお、本事業は、広域関東エリア内の各街道の関係者等との直接の議論や合意形成を行うものではないため、五街道の街道ごとのロゴマークやキャッチコピー等の検討は行わないものとした。

2) 検討結果

① 江戸街道ロゴマーク

有識者委員等の意見を踏まえ、下記のデザイン案を採用した。

A



② ロゴマークの詞書

街道がさまざまな歴史を結ぶことを象徴的に表現するため、世界を表す円環と5色の街道により構成される図柄としました。街道が5色なのは街道それぞれで特徴が異なることを表します。円環の2色は水と緑、日本の山川海を表します。（関東平野の西に山、東に海を念頭に）街道と円環が交差するところを歴史の色、青としました。

青を歴史としたのは、江戸時代に流行した藍の色をイメージしたものです。当時、幕府の奢侈禁止令により自由に色が使えない中、規制の対象外だった藍色を使うしかなかった江戸の住民は、使い込むと味わいが出るこの藍色を「粋」な色と考えて使っており²⁶、当時の浮世絵師の描く江戸の町並みでも、いたるところでこの藍色を使っている様子が見られています。

²⁶ 出典：「北斎も広重も愛した藍…ジャパンプルーの意外な歴史」（調査研究本部・丸山淳一、2021年6月16日、Webコラム・今につながる日本史、読売新聞オンライン）
<https://www.yomiuri.co.jp/column/japanesehistory/20210614-OYT8T50079/>

7. 街道を活用した広域関東の新たな観光振興策の検討

7-1 検討方針

ここでは、本業務で収集・整理した五街道沿線のコンテンツをもとに、市場ニーズや好事例を参考にして、広域関東エリアにおける観光関係団体等による「街道を活かした積極的な取り組み」を促すための方策を検討する。

街道を活用した広域関東の新たな観光振興策 目 次

7-2-1 広域関東観光の現状と課題

- 1) 広域関東観光の概況
- 2) アフターコロナの動向

7-2-2 広域関東観光のポテンシャル

7-2-3 広域関東における観光推進の方向性

7-2-4 広域関東の新たな観光振興策「江戸街道プロジェクト」

- 1) 目的
- 2) ターゲット
- 3) 取組の概要
- 4) 期待されるメリット

7-2-5 「江戸街道プロジェクト」の基本方針

- 1) 位置づけ
- 2) 取組
 - ①連携の契機となる街道ごとのストーリー設定
 - ②ロゴマークの活用と展開による気運の醸成
 - ③ニーズとターゲットに対応したプロモーションの推進
 - ④既存の街道関連団体との協働と連携組織の拡大
 - ⑤地域の取組や人材育成に対する支援
 - ⑥実証事業の実施によるモデル事例の構築
 - ⑦補助金等を活用したコンテンツ造成等の推進
 - ⑧フォーラム等の開催による認知度の向上

7-2 検討結果

7-2-1 広域関東観光の現状と課題

1) 広域関東観光の概況

旅行・観光消費動向調査によると、コロナ禍前の2019年の広域関東*エリアでは、日本人国内旅行による訪問者数が延べ3億人超で全旅行者の36.2%を占めており、その観光消費額も約6.3兆円と全体の29.0%を占めていた。

ただし、その過半数は東京、神奈川、千葉の3都県に集中しており、エリア全体の観光振興の観点から、他地域への周遊促進が課題と言える。

*広域関東：福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県の1都10県



■ 広域関東 ■ 域外
 全国に占める広域関東の訪問者数(万人)
 旅行消費額(億円)
 旅行・観光消費動向調査 2019-2020



都県別訪問者数(万人)
 旅行・観光消費動向調査 2019



都県別旅行消費額(億円)
 旅行・観光消費動向調査 2019

また、訪日外国人消費動向調査によると、コロナ禍前5年間の訪日外国人旅行者の消費額の伸びは、関西エリアや中部エリアに比べ低くなっており、訪日外国人旅行者の消費の取り込みの面で課題があったと言える。



広域連携 DMO エリア別外国人消費指数の推移
 (2015=100とした場合の相対値)
 訪日外国人消費動向調査 2015-2019

2) アフターコロナの動向

コロナ禍で国内旅行は大きく低迷したものの、国の全国旅行支援などにより、2022年の日本人国内延べ旅行者数は4億人超となり回復傾向にある。また、訪日外国人旅行者に関して、昨年10月からの入国者数の上限撤廃、短期滞在者のビザ免除等によって回復傾向にあり、さらに本年3月から中国に対する新型コロナウイルスの水際対策が緩和されたことから、今後は最大の訪日旅行者数を占めていた中国からの来訪も復活してくるものと想定される。

7-2-2 広域関東観光のポテンシャル

豊かな山海の自然に囲まれている広域関東エリアには、国内有数の観光地や温泉地、江戸文化が花咲いた歴史・文化のほか、まだ知られていない地域資源も含めコンテンツが豊富にある。また、エリア内には高度に整備された鉄道・バス・高速道路ネットワークがあり、東京を起点にすればほとんどの観光地に2～3時間程度でアクセスできる環境にあり、周遊観光のポテンシャルは高い。

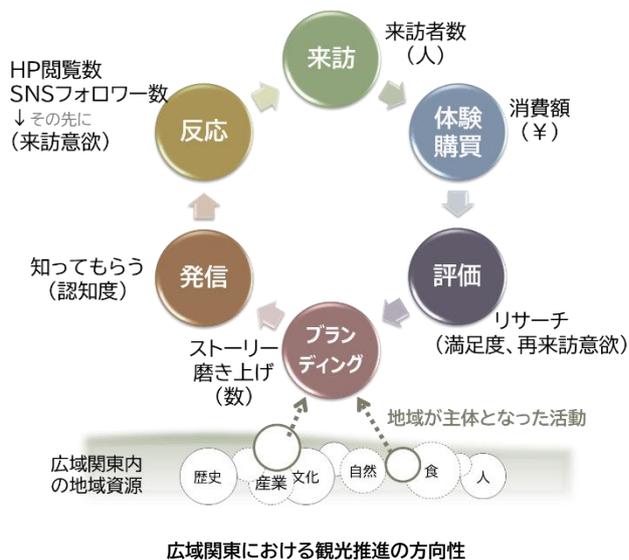
さらに、国内を代表するゲートウェイである成田・羽田の国際空港があり、訪日外国人旅行者の誘客にも有利である。

7-2-3 広域関東における観光推進の方向性

域内に潜在する地域資源を磨き、ブランディングすることで、情報発信力を高め、国内外の多くの方々に認知され、訪れてもらい、そして体験（消費）してもらう。そしてその評価がさらにブランド価値を高め、さらなる来訪を促す、そういった循環を目指す。

そのためには、域内全体が意識を共有できるブランディングが重要であり、長期的な取組により広域関東に浸透させていく。

- ・ 広域関東における観光資源の総合的なイメージづけ（ブランディング）を図ることを目的として、地域ごとの観光資源を共通のテーマとストーリーで結びつけ、トータル的な発信力の強化につなげることが重要である。
- ・ 文化遺産や自然環境へ配慮しつつ、観光経済が融和した持続可能な観光を目指しながら、広域関東エリア全体、津々浦々への周遊拡大、観光消費額の増大といった循環を形成することが重要である。



7-2-4 広域関東の新たな観光振興策「江戸街道プロジェクト」

広域関東観光のブランディングに向け、他との差別化やマーケティング優位性につながる統一的なイメージ戦略として、このエリア形成の礎となった江戸時代に焦点をあて“江戸街道”をブランディングのキーワードとする取組を推進する。

江戸街道プロジェクトは、各地それぞれで取り組んでいる活動やそれに関わる方々が、江戸街道にまつわる歴史や文化、あるいは食などで連携することで、地域をより一層活発にし、魅力発信力を高め、そして来訪と観光消費の促進につなげる取組である。

1) 目的

旧宿場町等を起点に地域資源を散策する観光スタイルを広めていくことで、持続可能な地域経済への寄与と来訪者の健康増進につなげる。

また、街道を活用することで、都県・基礎自治体・登録DMO・候補DMO・観光事業者・交通事業者・地域事業者・金融機関等、関係者間での連携が容易となり、自治体の境界を越えた連携を図る。

2) ターゲット

第一ステップとして、歴史好き女子（刀剣、神社仏閣、御朱印、仏像、城等）、健康志向の高齢者、車や鉄道、自転車を利用するユーザー等の国内観光客をはじめ、日本の伝統文化や歴史に関心のある欧米豪市場を主な対象に展開しつつ、そこから発信される様々な地域資源の魅力的な情報をフックに、次のステップでは多様な国内旅行者と訪日外国人旅行者に対象を広げていく。

3) 取組の概要

- ・日本橋を起点とする五街道とその枝道として整備された脇往還を中心としたそれぞれの街道沿いに豊富に点在している歴史的な観光資源、食や文化などの魅力的なコンテンツを再編集し、広域関東を「江戸街道」という統一テーマでブランディングすることで、効果的に国内外へ発信し誘客促進を図る取組を支援する。
- ・地域の特性を活かしながらDMO等が稼げる仕組みづくりを支援する。

4) 期待されるメリット

- ・広域での取組ができるため、各地域が持つ長所（観光地としての強み）を最大限に引き出しながら、互いの短所（観光名所だけでなく観光に必要なインフラ等）を補うことができる。
- ・江戸街道は地理的に鉄道路線や主要道路等に沿っており、旅行者の動線に合わせ、関係者間での連携が取りやすい。
- ・インバウンドに向けては、都県の枠を超えた統一テーマでの発信により地域一帯を強く印象づけることができる。

7-2-5 「江戸街道プロジェクト」の基本方針

1) 位置づけ

本ビジョンは、江戸街道プロジェクトを 2024 年度までに広域関東における効果的な施策とするために、エリアにおける観光関係団体等による「街道を活かした積極的な取組」を促すための方針についてとりまとめたものである。

2) 取組

① 連携の契機となる街道ごとのストーリー設定

地域資源を名称や写真に加え、他との違いや潜在価値等でストーリーとして可視化することは、その魅力の磨き上げになる。とりわけ知名度がまだ高くない地域資源ほど、あまり知られていないが故に、その魅力を磨くことは消費者の来訪意欲を促すために重要である。

◆街道のストーリーを通じてまちの「あらたなにぎわい」を創出する

既存事例の紹介 ～まちなか西国街道推進協議会～

- ・ 広島駅周辺から平和記念公園の間では原爆で街そのものが一度破壊されていることもあり、一見して旧街道として認識するのは難しく、それゆえ広島の人々にすらく知られていない。しかし、広島を歴史を紡いできた西国街道には、今も当時の面影を色濃く残す景観やそこに暮らす人たちがいる。
- ・ まちなか西国街道推進協議会は、広島市中心部の東西の核である両地区の賑わいを都市全体に広げることを目的として活動。広島市とも連携しつつ、西国街道を復興させる。



広島市内の旧西国街道



道路整備における西国街道の可視化



まちなか西国街道の
ロゴマークを使ったマンホール



まちなか西国街道の
ロゴマークのステッカー

② ロゴマークの活用と展開による気運の醸成

国内外を問わず幅広く知ってもらえるように、また各地域で一緒に取り組む方々が江戸街道プロジェクトの目的、理念、想いをひとつにできるように、ロゴマークを掲げる。この旗印のもと、国内はもとより今後増加が期待される訪日外国人旅行者にも自信と真心をもって私たちが暮らす地域の歴史や文化、自然といった古くて新しい魅力を発信し、多くの来訪者から共感や信頼感を得られるようなブランド価値の醸成につなげる。

◆江戸街道のロゴマーク（案）



■ロゴマークに込めた想い

街道ブランドによってこれからも様々な歴史を結ぶことを象徴的に表現するため、世界を表す円環と5色の街道により構成されるデザインとしました。

濃い色から広がる5色のラインは、地域それぞれの特色ある営みが詰まった歴史から未来に向け発展していく姿をイメージし、円環の2色は広域関東の山、大地、そして海を表します。

③ ニーズとターゲットに対応したプロモーションの推進

すでに宿場巡り・街道歩き等の街道観光に興味がある方は、自らそれらに関する情報を探し、得て、現地を訪ねるが、そうでない方々、特に若い方たちは街道という言葉も、その沿線地域に何があるかも知らない場合が多く、結果、情報を探そうという行動に至っていない。

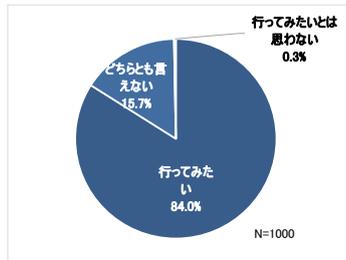
したがって、そういった方々にも刺さる情報を掘り起こし、如何にして情報を届けるかが課題である。そのため、フックとなる魅力的なコンテンツとして、例えばご当地ごとの食・グルメ・江戸フードに着目して「街道観光」を磨き、それを伝えるWEBサイトを整備し、それと合わせて多くの方々をインターネット検索に向かわせるきっかけになるようなプロモーションが必要である。

昨今、若い人を中心にSNSで情報を得ている人が多いことから、情報媒体の入り口としてSNSを活用したプロモーションを推進する。

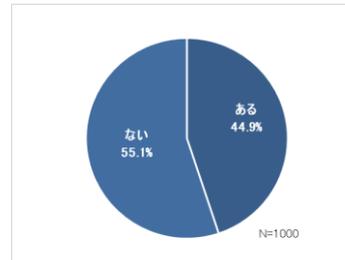
◆街道観光に関心がある人の多くは機会があれば実際に旅行してみたいと考えているが、実際に旅行したことがある人は半数を下回る。

関東運輸局調査事業 ～街道観光に関するWEBアンケート調査～

- 街道観光に関心があると答えた人を対象にした調査でも、街道観光への訪問意向は8割超と高いものの、実施に街道観光に行った経験がある人は約半数で、掘起こしが必要。

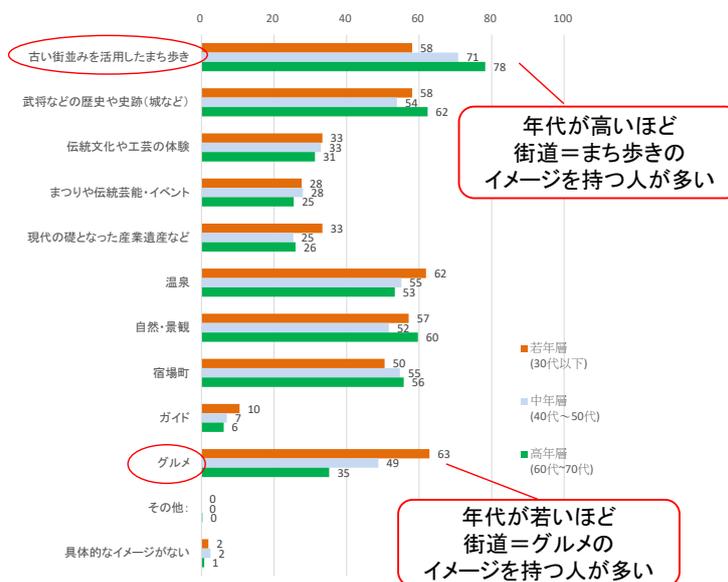


街道観光に関心がある回答者のうち今後、街道観光に行く意向の割合



街道観光に関心がある回答者のうち実際に訪問経験がある人の割合

- 街道観光のイメージについて、年代の違いが比較的大きい項目は「古い町並みを活用したまち歩き」（若年層で少なく、年齢が高くなるほど多くなる）と「グルメ」（30代以下で多く、年齢が高くなるほど少なくなる）であった。



◆若者へのアプローチには、食、体験、ゲーム感覚を

関東運輸局調査事業 ～街道観光に関するグループ・インタビュー調査～

- 跡見学園女子大学の学生を対象としたグループ・インタビュー調査では、地域資源を活用しているカフェや工芸品店の紹介など、あまり知られていない情報にも関心があることが挙げられた。
- 地域への来訪や地域内の周遊を呼びかける際には、若者も参加できるイベントなどを通じたものが望ましく、その訴求にはSNSの活用が挙げられた。

④ 既存の街道関連団体との協働と連携組織の拡大

広域関東には、すでに宿場町や街道を軸に街並み保全や地域振興に取り組んでいる団体がある。これらの既存活動団体と連携して取り組むことで江戸街道プロジェクトの取組を効果的かつ加速的に進める。

また、本プロジェクトの目的の一つである地域の散策促進や健康増進といった観点から関連団体と連携を図ることも考えられる。

◆宿場町ごとに「御宿場印」を販売することで、「線」として街道観光を促進する仕掛けを打ち出す

既存事例の取組紹介 ～御宿場印プロジェクト～

- 「コロナ禍における地域経済活性化」の想いを抱く各地の信用金庫、観光・NPO 団体と協力し、日光街道および日光西街道を来訪した証しとして、「日光街道・日光西街道 御宿場印めぐり」と銘打って「御宿場印」を販売。
- 活動から2年で1,000枚以上の御宿場印が販売され、周遊の契機となっていることが窺える。



足立成和信用金庫を中心に各地域の信用金庫ネットワーク等と連携して「線」としてつないだ日光街道の御宿場印一覧

⑤ 地域の取組や人材育成に対する支援

宿場町であった地域でも、現在そこに暮らす人々が宿場町であった歴史を知っているとは限らない。また、それを知っていたとしても、街道や宿場といったテーマで観光振興において何から取り組めばよいか分からないケースも多い。

そこで、本プロジェクトでは、様々な有識者と連携し、街道観光振興を検討する地域に向けて専門家の派遣を行い、地域資源化の取組の相談やこれを支える地域の人材教育の支援を行う。

◆地域への街道振興策の機運醸成

関東運輸局の取組紹介 ～専門家派遣事業～

- これまでも街道観光に関する様々な取り組みはあるものの、悩みながら模索してきた地域も少なくない。
- 関東運輸局が窓口となり、地域からの相談に基づいて、対応する課題への解決を目的に専門家の協力を得ながら地域の活性化を支援した。
- 地域の何に取り組めばよいか、どのようにPRすればよいかなどの疑問に対して専門家によるアドバイスを送った。



ルース・マリー・ジャーマン様を招いて川越で開催した専門家派遣事業

◆地域の取組を支える人材の育成の重要性

既存事例の紹介 ～株式会社まちづくり越谷～

- 越谷を集客交流（観光交流）都市とすることを目標とし、「地域を担う優れた人材を輩出すること」「地域ならではのビジネスを創出すること」を目的に活動。
- 現在の越谷市では「越ヶ谷宿の雛めぐり」など宿場を活かしたイベントはあったものの、観光地の名所は多くはない。しかし、宿場町の歴史を通して古くから伝わる「技」・「生業」は多く隠れており、そういった掘り出しをまちの人々が行う。
- 失敗の経験を恐れず、まちの人々が自分で考え生み出すことを重視、塾を通じて学んだ人材が「越谷技博」などイベントを通じて成果を発揮している。



㈱まちづくり越谷が中心になって活動するこしがや「まち未来創造塾」では、幅広い年代が参加



⑥ 実証事業の実施によるモデル事例の構築

関係者が連携し知恵を出し合って地域固有のストーリーで磨き上げた観光コンテンツも評価をするのは消費者である。したがって、造成した観光コンテンツを稼げる商品とするためには、消費者による評価検証、課題の洗い出しと改善を予め行う実証事業も一つの手段である。その結果をお互いで共有し、参考にしながら各々のストーリーづくりに活かすこともできる。

本プロジェクトでは、そういったモデル事例を共有できるプラットフォームを構築して、各地域の取り組みを支援する。

（※プラットフォームについては、後出の「8」を参照）

◆旅行会社と地元をつなぐ実務的な情報共有環境を整えることが求められている。

関東運輸局調査事業 ～旅行会社ヒアリング～

- 地域のイベントを商品に取り入れるためには、少なくとも開催の3カ月以上前に情報がないと組み込めない。早い段階から情報提供があるとよりよい企画ができるがそういった情報を吸い上げる体制がない。
- 商品造成を企画する際に、「パンフレットに使用する画像やその許諾の申請先」、「来訪者にどこで付加価値を見せるポイントの相談先」など、造成側がお客様に喜んでもらえるポイントや活用できる宣材について相談できる実務的な窓口（集約先）にアクセスできるよう、広域関東内で窓口情報が分かりやすく整理・共有されることが望まれる。

⑦ 補助金等を活用したコンテンツ造成等の推進

観光庁では、新型コロナウイルスで大きな打撃を受けた日本の観光産業の本格的な復興に向け、観光再始動事業やインバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（ともに令和4年度第二次補正予算）、令和5年度では新たな交流市場の創出事業等々の支援を進めている。

それぞれの地域での取組が、当面の地元負担を抑えつつ、将来的に稼げる観光商品づくりにチャレンジすることも可能であり、江戸街道プロジェクトに位置付けて後押ししていく。

◆観光庁看板商品創出事業を活用したコース造成の取組

既存事例の紹介 ～一般社団法人平塚市観光協会～

- 平塚は東海道の宿場町であったことや徳川家康が駿府と江戸の往復で立ち寄った御殿や鷹狩り、お酢街道など多くの歴史遺産はあるが、全国的に知名度が低い。
- 平塚市観光協会を中心に観光庁事業を活用して、家康が平塚で食べていた食の開発・販売を行い、地域イメージの再構築と地域への集客の取組を実施した。



観光庁看板商品創出事業を活用し
市内の複数の飲食店が開発した
「家康弁当」

⑧ フォーラム等の開催による認知度の向上

広域関東が「江戸街道」を掲げて取り組むことはまだ十分に知られていないため、広域関東の総合的なイメージ付け（ブランディング）を図るためには、本プロジェクトの存在意義を高め、内外に発信し、より多くの参加を募って活動を活性化することが求められる。そのためには、地域全体をトータルの情報発信とさらに多くの協力者を得ていくことが課題である。そのため、立ち上げ段階からプロジェクトの露出を高めることが重要であり、セミナーやシンポジウム等を積極的に展開していく。

こうした露出機会は、新聞等のマスコミからの注目を集めることから、広域関東が一体となった取組であることを広く発信していくことができる。

◆「江戸街道プロジェクト」の認知を広げるためのシンポジウムと街道をテーマとした観光振興の取組について

関東運輸局事業 ～シンポジウム・セミナーの開催～

- ・「江戸街道プロジェクト」として進めるにあたり、地域の認識や街道観光への意識はまだ低い状況にある。また、コロナ禍で疲弊した観光について、新たに取り組むにあたり、近年はプロフェッショナルを対象にしたモノが多く、これから観光振興に取り組むような地域を含めて企画された開催は少ない。
- ・これらの状況を踏まえ、有識者からの意見を踏まえてプロジェクトの意義と目的を広く多くの方に理解してもらうシンポジウムを開催した。
- ・また、街道観光を積極的に取り上げた観光振興のイメージをつくるセミナーを開催し、参加者の何をどのように取り組んだらいいかといった疑問に各回講師の有識者が助言をおこなった。



令和4年7月、日本橋で開催した
江戸街道プロジェクトシンポジウム



令和5年1月より全6回で開催した
街道観光実践オンラインセミナー
(第一回「観光資源のみつけ方」(株)リクルート 高橋氏)

8. 次年度の進め方の検討

8-1 検討方針

次年度には、『江戸街道プロジェクト』方針に示されたロードマップを前提にしつつ、本事業の結果を踏まえた「誘客に繋がる具体的な事業を実施、効果と課題を把握」といった実証業務を想定しており、本業務にてその仕様及びスケジュール等を検討する。なお、上記に加え、行政連携事業の情報及び補助金活用情報を提供する環境の構築についても検討する。

<着眼点>

- ・令和4年度（本事業）の成果を活用したプロジェクトが地域活性化に寄与するエビデンスをもって地域へ周知する取組みの企画
- ・令和6年度を見据え、地域による取組みの創出に向けた支援をするための企画

<江戸街道プロジェクトのロードマップに示された項目と仕様作成の項目>

■実証事業

- ・活用可能な国の事業等、積極的な応募を促す事業の想定
- ・募集要件
- ・実施期間

■プラットフォームの整備について

- ・具体的なイメージの構築
⇒ [例] SNS を通じた『江戸街道』情報の双方方向環境の整備
(イメージ) 情報発信、ファンコミュニティの仕組み構築 等

■キャッチコピーの普及促進

- ・参考事例の整理
- ・ブランド化に向け、認知向上の取組み、シンボルマークの使用許諾の整備などを検討

8-2 検討結果

1) 次年度事業案

アプリを活用した街道観光促進に関する事業を想定。

〈仕様イメージ案〉

- ①ウォーキング誘導アプリ（歩くとわかる、ここだけのレア情報。近づいたら画面ポップアップで紹介）
- ②旅行者による魅力発信・投稿機能アプリ（推し情報を写真、コメント、ハッシュタグで発信）
- ③デジタルクーポン・アプリ（近くの商業施設などへの立ち寄りを促す）
- ④AR/VRなどの活用（情景が浮かび上がる、当時の様子や風景とのリンクなど）

2) スケジュール

本プロジェクトのロードマップを以下に示す。

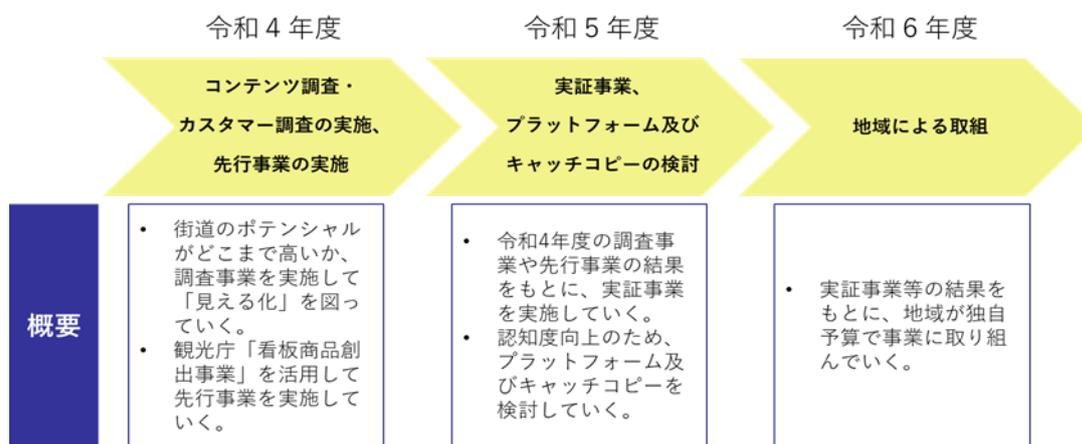


図 8-2.1 江戸街道プロジェクト実施方針(案)ロードマップ

3) 補助金等の情報

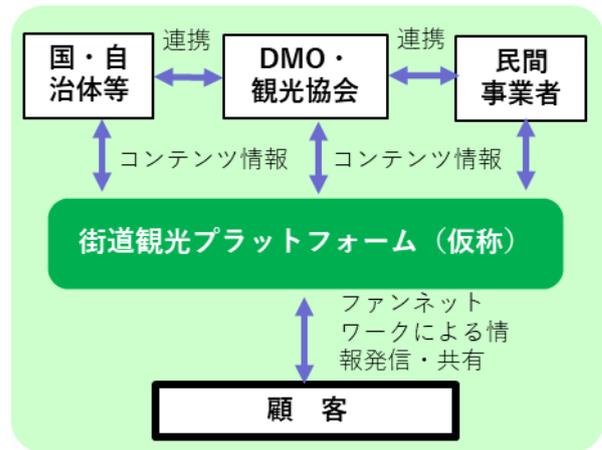
表 8-2.1 補助金等の情報（一例）

所管官庁	支援事業
国土交通省 観光庁	持続可能な観光推進モデル事業
国土交通省 観光庁	広域周遊観光促進のための観光地域支援事業等
国土交通省 観光庁	将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成
経済産業省	面的地域価値の向上・消費創出事業
国土交通省 観光庁	観光再始動事業
国土交通省 観光庁	新たな交流市場の創出事業（第2のふるさとづくり、ワーケーションの推進）
国土交通省 観光庁	持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業
国土交通省 観光庁	インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
国土交通省 観光庁	地域観光資源の多言語解説整備支援事業
国土交通省 観光庁	地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化
国土交通省 観光庁	ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業
文部科学省 文化庁	文化芸術創造拠点形成事業
国土交通省 観光庁	歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進
文部科学省 文化庁	文化資源を活用したインバウンドのための環境整備
文部科学省 文化庁	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

4) 推進体制づくり

本プロジェクトの出口戦略は、江戸街道というプラットフォームで広域関東の観光におけるブランド価値を高め、維持し、地域が自立して持続可能な観光で稼げるようになっていくことである。

そのために、地域の観光コンテンツや街道プロモーションツールを集約し、広域関東における街道観光の情報発信を一元提供できる環境を構築するとともに、関係者が無理なく、できる体制をつくる。



プラットフォームの活用による推進体制イメージ

- B to C：一方向な情報発信にとどめず、双方向ファンネットワークの仕掛けづくり
- B to B：地域の関係者が繋がる場としての機能構築

